

堺 市

高齢者等実態調査報告書

平成 26 年 3 月

堺 市

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果からの総括と課題のポイント	3
1	調査結果の概要	3
2	次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に向けた課題	11
III	調査結果	25
1	一般高齢者調査	25
(1)	本人について	25
(2)	生活状況や健康について	29
(3)	日中活動や生きがいづくりについて	45
(4)	住まいについて	56
(5)	介護について	58
(6)	住み慣れた地域で暮らし続けることについて	64
(7)	その他について	75
2	介護保険サービス利用者調査	77
(1)	本人について	77
(2)	生活状況や健康について	83
(3)	介護保険制度について	86
(4)	ケアマネジャーについて	87
(5)	サービスの利用状況について	89
(6)	住み慣れた地域で暮らし続けることについて	99
(7)	主に介護をしている方について	105
3	介護保険サービス未利用者調査	118
(1)	本人について	118
(2)	生活状況や健康について	123
(3)	介護保険制度について	126
(4)	住み慣れた地域で暮らし続けることについて	137
(5)	主に介護をしている方について	141

4	介護事業者調査	153
(1)	法人や実施事業について	153
(2)	災害時の対策について	163
(3)	居宅介護支援事業所を運営している法人対象	167
(4)	施設サービス（特養・老健・介護療養型）を運営している法人対象	171
IV	生活機能評価結果	174
1	生活機能評価の目的	174
2	集計データ	174
3	生活機能評価手法の概要	174
4	項目別評価結果	177
(1)	各項目の比較	177
(2)	虚弱（生活機能全般）	177
(3)	運動器の機能向上	179
(4)	栄養改善	180
(5)	口腔機能の向上	181
(6)	閉じこもり予防・支援	182
(7)	認知症予防・支援	183
(8)	うつ予防・支援	184

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、高齢者の生活状況や保健・福祉に関するニーズを把握し、今後の高齢者保健福祉行政のより一層の計画的かつ効果的な推進と、平成 27～29 年度を計画期間とする次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、実施するものです。

2 調査対象

(1) 調査地域 堺市全域

(2) 調査の種類と対象者

調査の種類	対象者
一般高齢者調査	平成 25 年 10 月末日現在で、要介護等認定を受けておらず、かつ介護保険適用除外施設及び養護老人ホームに入所していない 65 歳以上の方 4,100 名を無作為に抽出
介護保険サービス利用者調査	平成 25 年 10 月末日現在で要介護等認定を受けている方のうち、同年 8 月に介護・介護予防サービスを利用された方(施設サービスを除く) 6,800 名を無作為に抽出
介護保険サービス未利用者調査	平成 25 年 10 月末日現在で要介護等認定を受けている方のうち、同年 8 月に介護・介護予防サービスのいずれも利用されなかった方 2,800 名を無作為に抽出
介護事業者調査	平成 25 年 10 月末日現在で、堺市の指定を受けた介護保険事業所を市内に保有している 738 法人を悉皆調査

3 調査基準日と調査期間

(1) 調査基準日 平成 25 年 12 月 1 日

(2) 調査期間

- ①一般高齢者調査、介護保険サービス利用者調査、介護保険サービス未利用者調査
平成 25 年 12 月 12 日～平成 25 年 12 月 27 日
- ②介護事業者調査
平成 25 年 12 月 20 日～平成 26 年 1 月 14 日

4 調査方法

郵送による配布・回収

I 調査の概要

5 回収状況

	配 布 数	有効回収数	有効回収率
一般高齢者調査	4,100 通	2,822 通	68.8%
介護保険サービス利用者調査	6,800 通	3,878 通	57.0%
介護保険サービス未利用者調査	2,800 通	1,565 通	55.9%
介護事業者調査	738 通	410 通	55.6%

6 調査結果の見方

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）また、コメントで言及している部分を太字で強調しています。
- ・介護保険サービス利用者調査及び介護保険サービス未利用者調査において実施した基本チェックリスト（サービス利用者調査の問15、サービス未利用者調査の問14）の結果については、「Ⅳ 生活機能評価結果」で取り扱っているため、「Ⅲ 調査結果」では掲載していません。

Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

1 調査結果の概要

(1) 本人について

〔年齢構造〕

○一般高齢者では「65 歳～69 歳」、「70 歳～74 歳」がそれぞれ 28.3%と最も高く、前期高齢者が半数以上を占めている一方で、サービス利用者やサービス未利用者では「80 歳～84 歳」がそれぞれ 25.8%と最も高く、ともに後期高齢者が約 8 割を占めています。

〔世帯状況〕

○一般高齢者では「ひとり暮らし」が 21.8%となっているのに対し、サービス利用者では「ひとり暮らし」が 41.2%、サービス未利用者では 26.8%となっています。

〔住まいの状況〕

○いずれも「持ち家（一戸建て）」の割合が最も高くなっています。

〔就労状況（一般高齢者調査）〕

○収入のある仕事を「している」が 17.8%、「していない」が 79.6%となっています。

〔現在の要介護度（サービス利用者調査、サービス未利用者調査）〕

○いずれの調査でも「要支援 1」「要支援 2」の人が約半数を占めています。

〔1 年前からの要介護度の変化（サービス利用者調査、サービス未利用者調査）〕

○いずれの調査でも、要介護度に関わらず、1 年前の要介護度を維持している人の割合が高い傾向にありますが、特に要支援 1 の人において、変化していない人の割合が高くなっています。

○サービス利用者では、要介護度が上がるほど、1 年前から軽度化している人の割合が低く、重度化している人の割合が高い傾向にあります。

（２）生活状況や健康について

〔外出範囲〕

- 一般高齢者では「他の市町まで」が 25.1%と最も高くなっており、年齢が上がるにつれ、外出範囲が狭くなる傾向にあります。
- サービス利用者、サービス未利用者では、「ほとんど外出しない」がそれぞれ 30.7%、22.4%と最も高くなっている一方で、外出する人については「だいたい小学校区の範囲」や「となり近所ぐらい」がそれぞれ 2 割近くとなっています。また、いずれの調査でも要介護度が上がるほど「ほとんど外出しない」の割合が高くなる傾向にあります。

〔食事〕

- 食事に関して困っていることについては、一般高齢者では「特にない」が 73.0%となっているのに対し、サービス利用者、サービス未利用者では、「特にない」がそれぞれ 29.0%、39.0%と低くなっています。
- サービス利用者、サービス未利用者が困っていることとしては、「台所に立って調理や片付けをすること」がそれぞれ 31.0%、22.7%、「食べ物を噛んだり、飲みこんだりしにくいこと」がそれぞれ 18.1%、13.2%となっています。

〔入浴〕

- 主な入浴場所については、一般高齢者では「自宅」が 89.6%となっているのに対し、サービス利用者、サービス未利用者ではそれぞれ 61.3%、68.8%と低くなっています。

〔健康（一般高齢者調査）〕

- 健康について知りたいこととしては、「認知症の予防について」が 39.2%と最も高く、次いで「生活習慣病（高血圧など）の予防について」が 28.8%、「関節痛の予防について」が 23.6%となっており、認知症に関する関心が特に高いことがうかがえます。
- 健康のため心がけていることについては、「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」が 50.6%と最も高く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」が 45.4%、「散歩やスポーツなど体を動かす」が 27.3%となっています。
- 健康状態が比較的良いと感じている人は「体を動かす」こと、比較的良くないと感じている人は「身の回りのことはなるべく自分で行う」ことを心がけている人が多い傾向にあります。

〔認知症（一般高齢者調査）〕

- もし家族が認知症になった場合不安に思うこととしては、「どのような介護サービスを受けられるのかわからない」が 30.0%と最も高く、次いで「精神的に疲れる」が 29.1%、「火の不始末や徘徊（はいかい）などの行動が心配」が 24.3%となっています。

○認知症対策について取り組んでほしいこととしては、「早期診断する仕組みづくり」が 42.9%と最も高く、次いで「専門相談や情報提供窓口の設置」が 36.7%、「入所施設の充実(グループホームや特別養護老人ホームなど)」が 35.2%となっています。

(3) 日中活動や生きがいづくりについて（一般高齢者調査）

〔日頃の過ごし方と生きがい〕

○日頃の過ごし方については、「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」が 78.0%と最も高く、「新聞や本、雑誌の読書」が 53.1%、「友人、知人との交流」が 45.5%となっています。

○そのうちで生きがい（喜びや楽しみ）を感じていることについては、「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」や「新聞や本、雑誌の読書」はそれぞれ 58.3%、36.5%と日頃の過ごし方に比べて 10 ポイント以上低くなっています。一方、「友人、知人との交流」は 43.4%と、日頃の過ごし方とほぼ同程度となっています。

○今後やってみたいこととしては、「趣味の活動」が 35.5%と最も高い一方で、「特にない」が 31.6%もみられます。

〔仕事〕

○これから働き始めようとする場合に仕事に求めるものとしては、「働くつもりはない」が 42.5%、無回答が 19.6%となっているものの、37.9%の人が仕事に対して何らかの関心を持っていることがうかがえます。こうした人が仕事に求める要素としては、「収入を得ること」が 13.9%、「健康の維持」が 13.1%となっています。

(4) 住まいについて（一般高齢者調査）

○将来暮らしたい住宅(施設)については、「現在の住宅のまま住みたい」が 54.6%、「現在の住宅の不便な部分を改修して、住みたい」が 14.1%となっており、合わせて約 7 割の人が現在の住宅で住み続けることを望んでいます。

(5) 介護保険について

〔今後の保険料〕

○一般高齢者においては「介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない」とする意見の割合が最も高くなっており、サービス未利用者においても「わからない」を除けば最も割合が高くなっています。

○サービス利用者においては、「わからない」を除けば、「介護予防対策が重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方ない」とする意見の割合が最も高くなっています。介護保険サービス受給の有無によって、保険料に対する考え方に大きな差異があることがうかがえます。

Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

〔介護保険サービスの利用状況と今後の利用意向（サービス利用者調査）〕

- 現在の利用状況については、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が 34.6%と最も高く、次いで「福祉用具貸与（レンタル）」が 27.7%、「通所介護（デイサービス）」が 26.4%となっています。
- 今後の利用意向については無回答を除くと「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が 14.2%と最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」が 11.1%、「福祉用具貸与（レンタル）」が 10.7%となっています。

〔介護保険サービスの未利用の理由等（サービス未利用者調査）〕

- サービス未利用者の半数以上が、認定を受けてから一度も介護保険サービスを利用していない結果となっています。未利用の理由としては、「状態が軽いので今のところサービスは不要」が 44.1%と最も高く、次いで「家族の介護を受けているから、今のところサービスは不要」が 22.2%となっています。要介護 4・5 の人は「入院」が最も多くなっています。
- 要介護度が上がるほど、一度もサービスを利用したことのない人の割合が低くなる一方で、以前は利用していたが現在は利用していない人の割合が高くなる傾向にあります。なお、以前は利用していたが現在は未利用の理由としては「入院」が 31.6%と最も高くなっています。

（６）介護の意向等について

〔介護に対する意向〕

- 一般高齢者において、介護が必要となった場合の希望として、「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」が 36.1%、「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」が 17.2%となっており、約半数の人が在宅での介護生活を望んでいます。
- サービス利用者、サービス未利用者の今後の介護に対する意向についても、「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」がそれぞれ 38.3%、31.4%、「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」が 10.4%、17.3%となっており、一般高齢者と同様に、約半数の人が在宅での介護生活を望んでいます。

〔人生の最期を迎えたい場所〕

- 一般高齢者、サービス利用者、サービス未利用者のいずれも、「自宅」が半数近くを占め、「病院」についても約 15%となっている一方で、「わからない」が約 25%を占めています。

(7) 住み慣れた地域で暮らし続けることについて

〔自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと〕

- 高齢者ができる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこととしては、一般高齢者やサービス未利用者においては、「介護保険料・利用料等の負担の軽減」の割合が最も高いのに対し、サービス利用者においては「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」の割合が最も高くなっています。また、いずれにおいても「24 時間対応してもらえる訪問介護サービス」「介護をしている家族等への支援」「気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと」の割合も高くなっています。

〔介護予防を支援するサービスの利用意向（一般高齢者調査）〕

- 「認知症予防のために、有酸素運動や脳の活性化に効果のあるプログラムを実施する教室」が 39.8%と最も高く、次いで「転倒予防や体力増進、運動習慣を身につけることなどを目的とした教室」が 36.7%、「介護予防や健康づくり、食生活に関する講座や実習」が 31.1%となっています。

〔住民相互の自主的な支えあいや助けあい（一般高齢者調査）〕

- 「とても必要だと思う」「ある程度必要だと思う」を合わせて約 7 割の人が住民相互の支えあいや助けあいの必要性を感じています。
- どのような活動であれば参加したいかについては、「ひとり暮らしや閉じこもり高齢者の見守りや声かけ、話し相手」が 55.8%と最も高く、「高齢者の通院の付き添いや、ごみ出しや買い物などの日常生活の援助」が 26.1%、「公園や街路などの清掃」が 23.9%となっています。

〔心配ごとや悩みごとの相談先〕

- 一般高齢者、サービス利用者、サービス未利用者のいずれも、「家族・親類」が最も割合が高く、このほか「友人・知人」「かかりつけ医」が上位となっています。また、サービス利用者では「家族・親類」に次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）」の割合が高くなっています。

〔地域包括支援センターの認知度〕

- 一般高齢者については、「存在を知らない」が 43.8%、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 29.1%、「知っている」が 11.7%となっています。また、地域包括支援センターの存在を知っている人は、半数以上が「身近に感じている」と回答しています。
- サービス利用者調査、サービス未利用者調査における主な介護者については、いずれも「知っている」が約 3 割、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が約 3 割、「存在を知らない」が約 2 割となっています。

（８）介護者について（サービス利用者調査、サービス未利用者調査）

〔介護者の基本属性〕

- 介護者の性別については、サービス利用者では女性が 55.5%、男性が 28.5%で、サービス未利用者では女性が 46.3%、男性が 30.6%となっています。
- 介護者の年齢については、いずれの調査でも 60 歳代以上が半数以上を占めています。
- 要介護者との同居状況については、いずれの調査でも「同居している」が半数以上を占めている一方で、「別居しており、行き来に 15 分以上かかる」も 1 割以上みられます。
- 介護に要する日数については、いずれの調査でも「ほぼ毎日」が約半数となっています。また、サービス利用者の要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向にあり、要介護 3 以上では約 7 割の人が「ほぼ毎日」介護しています。
- 1 日あたりの介護時間についてはいずれの調査でも「1 ～ 2 時間程度」が約 3 割、「ほぼ 1 日中」が約 1 割、「4 時間程度」が約 1 割となっています。また、サービス利用者の要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「ほぼ 1 日中」の割合が高くなる傾向にあり、要介護 5 では約 4 割の人が「ほぼ 1 日中」介護しています。

〔介護する上で困っていること〕

- いずれの調査でも、「精神的な負担が大きい」「身体的な負担が大きい」「自分の時間が持てない、自分の仕事ができない」が上位となっています。サービス利用者の要介護度別にみると、要介護度が上がるほど「身体的な負担が大きい」の割合が高くなる傾向にある一方、精神的な負担感については、要介護 3 以上の中重度者ではその割合がほぼ変わらず、半数以上の人が高負担を感じています。

〔今後の介護意向〕

- いずれの調査でも、介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」と「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」を合わせ、半数以上の人が高齢者の介護を望んでいます。

〔介護者の休息（レスパイト）に対する理解〕

- いずれの調査でも、「休息は必要なことであり、それに対する支援も必要だと思う」の割合が最も高く、半数近くを占めています。
- 家族介護者の介護疲れやストレスケアに必要なこととしては、いずれの調査でも「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」が約 3 割と最も高く、次いで「介護者の健康づくりについての情報提供」が約 2 割となっている一方で、「周りの方が理解し、見守ること」が必要とする意見も多くみられます。

(9) 介護事業者調査

〔事業者の基本属性〕

- 回答のあった法人が現在堺市内で運営している事業所数は、居宅介護支援が 435 件、居宅サービスが 829 件、地域密着型サービスが 76 件、施設サービスが 62 件となっています。

〔事業運営の意向〕

- 今後事業運営を行いたいサービスについて意向を示している事業者は 58 法人あります。また、理由については、居宅サービス、地域密着型サービスにおいて、「利用者から他の介護サービスの要望があったため」の割合が高くなっています。
- 今後廃止を予定しているサービスについては、訪問介護や通所介護において、「利用者確保ができなくなった（できなくなる）ため」「経営が悪化してきているため」などの理由から廃止を予定している事業所が若干みられます。

〔職員数の過不足〕

- 「非常に不足している」「やや不足している」を合わせると 51.9%となり、半数以上の法人で職員数が不足しています。
- 不足している理由は、「新規雇用の際、思った程の人材を確保できなかったため」が 63.4%、「新規採用者が短期間で退職していくため」が 13.1%となっています。

〔職員の定着率〕

- 「非常に定着率が良い」「どちらかという而定着率が良い」を合わせると約 8 割の法人が定着率が良いと感じています。
- 定着率の原因については、「給与」「相談体制」「経営理念等の共有」において、定着率が良いと感じている法人と悪いと感じている法人との間では、認識に大きな差がみられます。

〔職員の確保や質の向上を図るために必要な取り組み〕

- 「基本的な技術や実践的知識の向上」が 66.6%と最も高く、次いで「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が 61.7%、「意思疎通を図るためのミーティングの充実」が 50.0%となっています。

Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

〔災害時の対策〕

- 訪問型のサービスに比べ通所型のサービスや入所型のサービスでは何らかの災害対策を実施済みまたは検討中の事業所が多く、特に火災対策は約9割の事業所が実施しています。
- 実施（検討）している災害対策の内容としては、「災害時対応マニュアルの作成・職員への周知」が比較的多くなっています。
- 災害対策を実施・検討のどちらもしていない理由としては、訪問型のサービスでは「実施したいがどう進めたらいいのかやり方が分からない」が多くなっています。

〔居宅介護支援事業所の運営法人に対する質問〕

- 外部の諸機関との連携については、他の居宅サービス提供事業者との連携がとれている事業者の割合が高い一方、介護保険以外のサービス提供機関（ボランティア・NPO含む）との連携がとれていない事業者の割合が高くなっています。
- 困難ケースなどの地域包括支援センターへの相談状況については、相談したことがある法人が7割以上となっています。相談内容については「虐待」が最も多くなっています。

〔施設サービスの運営法人に対する質問〕

- 施設に入所待機者がいる状況について考えられる主な要因としては、「在宅介護より施設介護を望む人が増えたため」が45.8%と最も高く、次いで「現在のところ入所の必要はないが、将来を見込んで事前に申し込む人が多いため」が33.3%となっています。
- 施設サービス事業所におけるボランティアの活用については、すべての事業所がボランティアを活用しています。また半数以上の法人が、「もっとボランティアに来てもらいたい」と考えています。
- 施設サービス事業所における介護者支援については、75%の法人が取り組んでいます。

2 次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に向けた課題

平成 27～29 年度を計画期間とする次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画では、団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者に突入する 2025 年における超高齢社会に向け、第 5 期における地域包括ケアシステムの構築のための方向性を継承しつつ、在宅医療介護連携等の取り組みを本格化していくことが求められます。この項では、次期計画策定に向け、今回の調査結果から読み取れる課題についてポイントを絞り整理しました。

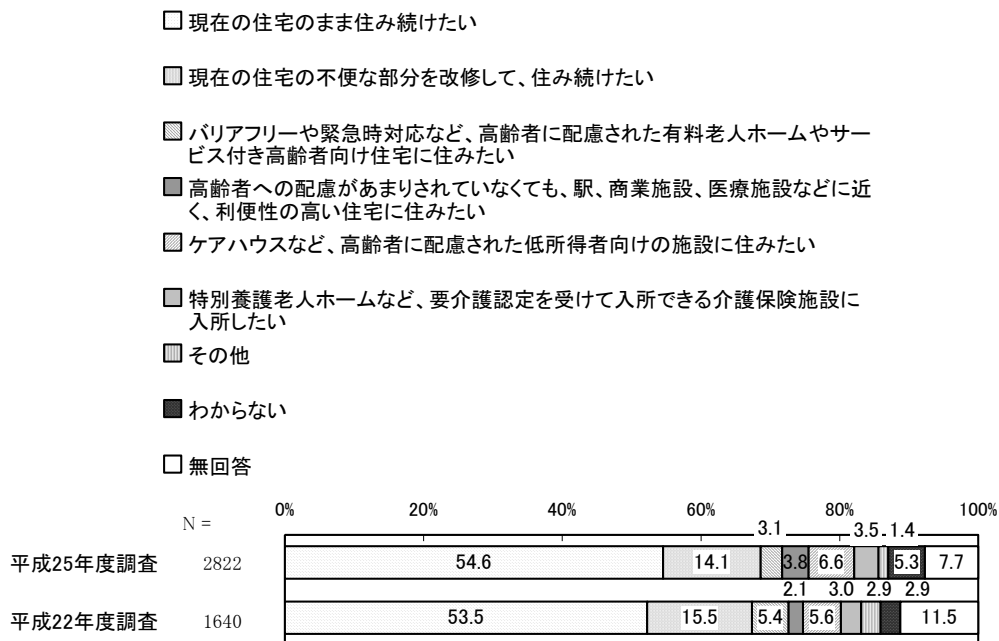
(1) 在宅生活を支えるサービスや体制の充実

①在宅生活に対するニーズ

一般高齢者の将来の住まいの意向（図表 1）をみると、「現在の住宅のまま住み続けたい」が 54.6%、「現在の住宅の不便な部分を改修して、住み続けたい」が 14.1% となっており、合わせると約 7 割の人が現在の住まいで住み続けることを望んでいます。平成 22 年の調査結果においてもこの傾向は同様であり、依然として在宅生活のニーズが高いことがうかがえます。

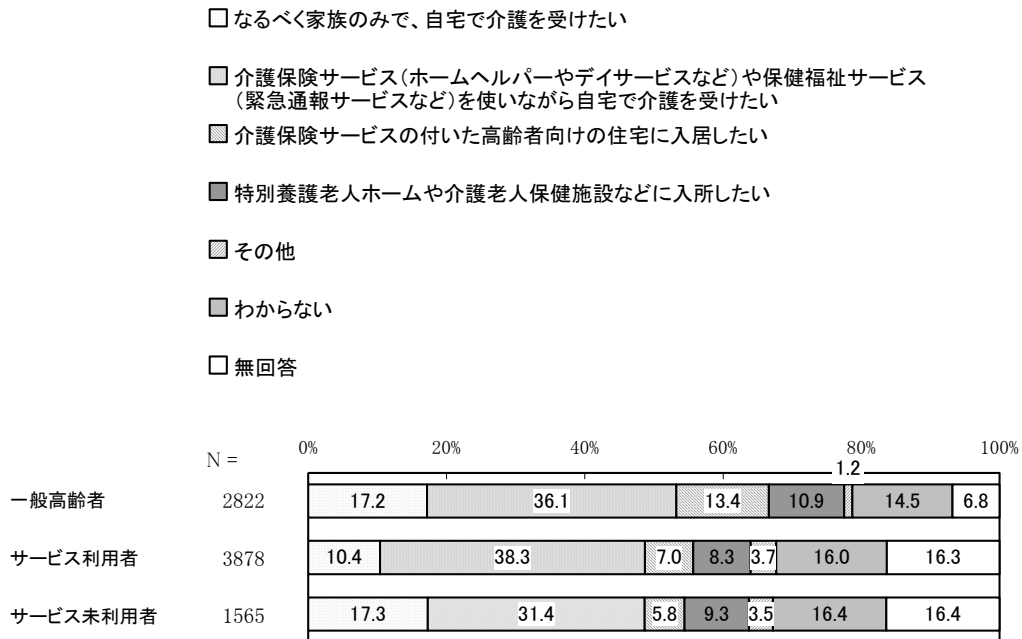
また、今後の介護に対する意向としては（図表 2）、いずれの調査でも「わからない」や無回答が合わせて約 2 割～3 割みられ、将来の見通しが立てづらい現状がうかがえるものの、「介護保険サービスや保健福祉サービスを使いながら自宅で介護を受けたい」と「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」を合わせると、介護の必要性の有無に関わらず約半数の人が在宅での介護生活を希望しています。

図表 1 将来の住まいの意向 [単数回答] (一般高齢者調査)



Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

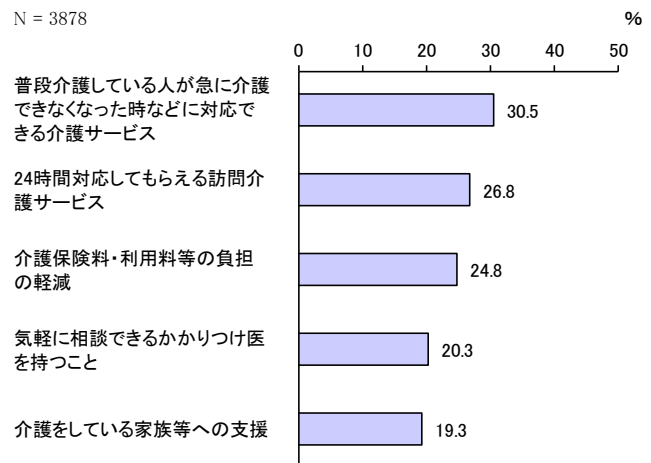
図表 2 今後の介護に対する意向 [単数回答]



②在宅での介護生活を続けるために必要と感じることと、介護保険サービスの利用意向

在宅での介護生活に対するニーズが高い中、できる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこととしては、介護保険サービス利用者では(図表3)、「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」が30.5%と最も高く、次いで「24時間対応してもらえる訪問介護サービス」が26.8%となっています。

図表 3 できる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと(上位5位) [複数回答]
(サービス利用者調査)



一方で、24 時間対応の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」に対する、「24 時間対応してもらえる訪問介護サービス」が必要と答えた人の利用意向をみると、利用意向を持つ人の割合は低い結果となっています（図表 4）。また、緊急時対応可能な「短期入所生活介護（ショートステイ）」に対する、「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」が必要と答えた人の利用意向についても、それほど高くありません。

このように、在宅での介護生活続けるために必要と感知することが、具体的な介護保険サービスの利用意向につながっていない現状がうかがえます。これは、介護保険サービスの利用意向で半分以上の人が無回答となっていることから、介護保険サービスについて十分に理解されていないことが原因のひとつである可能性が考えられます。

以上のことから、介護が必要となった人ができる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、その人の状態像に応じた適切なサービスの利用につなげることが課題と考えられます。

Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

図表4 在宅での介護生活をつづけるために必要と感ずること（上位5位）と、介護保険サービスの利用意向
〔複数回答〕（サービス利用者調査）

単位：％

利用したいサービス 在宅介護を続けるのに必要と感 じること	有効回答数（件）	訪問介護（ホームヘルプサ ービス）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション （デイケア）	短期入所生活介護（ショ ーステイ／特養）	養 型）	短期入所療養介護（医療 型 ショートステイ／老健・療 養型）	福祉用具貸与（レンタル）	特定福祉用具販売（購入）	居宅療養管理指導	住宅改修
24 時間対応してもらえる訪問介護サービス	1038	20.2	3.8	6.5	8.1	12.6	6.4	5.2	3.8	14.5	6.7	7.2	8.0	
普段介護している人 が急に介護できなくな った時などに対応 できる介護サービス	1183	14.7	3.2	3.8	8.0	17.0	8.3	12.1	5.2	15.0	7.0	6.5	8.8	
介護をしている家族 等への支援	749	17.1	3.7	4.9	7.6	16.3	8.1	11.6	5.5	13.9	6.7	6.7	9.2	
介護保険料・利用料 等の負担の軽減	960	15.2	2.9	3.8	5.8	13.2	5.4	8.2	5.3	12.3	5.1	5.0	6.1	
気軽に相談できるか かりつけ医を持つこと	789	15.5	1.8	4.2	5.7	9.8	4.7	4.1	2.8	9.8	4.6	5.3	6.8	

利用したいサービス 在宅介護を続けるのに必要と感ずること	特定施設入居者生活介護	夜間対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型通所介護（認知症対応型デイサービス）	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（入所）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	複合型サービス	介護老人福祉施設への入所（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設への入所（老健）	介護療養型医療施設への入所	無回答
24時間対応してもらえる訪問介護サービス	2.7	4.9	4.0	3.1	2.4	2.0	2.7	4.9	2.0	5.9	3.2	3.8	55.9
普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス	2.2	2.7	4.5	3.6	2.3	1.8	3.2	3.1	2.2	5.9	3.1	3.6	53.4
介護をしている家族等への支援	2.3	2.7	4.9	4.7	2.3	2.0	3.6	3.5	2.4	7.3	3.2	3.2	53.1
介護保険料・利用料等の負担の軽減	2.1	2.8	4.3	2.8	2.3	1.4	2.7	2.5	1.5	7.2	2.8	4.1	59.3
気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	2.4	1.6	3.7	2.3	1.0	1.1	1.9	2.4	1.3	3.8	2.0	2.5	63.6

③要支援認定者への生活支援サービス体制の充実

③-1介護保険サービスの利用意向と要支援認定者の訪問介護に対するニーズ

要介護度別の介護保険サービスの利用意向（図表5）では、無回答が多くみられるものの、回答があった中では、通所介護（デイサービス）や福祉用具貸与（レンタル）の利用意向が要介護認定者において比較的高いのに対し、要支援認定者においては低くなっています。

一方、訪問介護（ホームヘルプサービス）のニーズは要支援認定者においても比較的高く、要支援1で12.8%、要支援2で14.9%となっていることから、要支援認定者の訪問介護サービスに対する一定のニーズがあることがうかがえます。

図表5 要介護度別の介護保険サービスの利用意向〔複数回答〕（サービス利用者調査）

単位：％

利用意向 要介護度	有効回答数 (件)	訪問介護 (ホームヘルプサービス)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護 (デイサービス)	通所リハビリテーション (デイケア)	短期入所生活介護 (ショートステイ ／特養)	短期入所療養介護 (医療型・療養型)	福祉用具貸与 (レンタル)	特定福祉用具販売 (購入)	居宅療養管理指導	住宅改修
要支援1	1135	12.8	0.4	1.5	3.2	8.7	4.5	1.9	1.5	5.4	2.7	1.6	4.6
要支援2	886	14.9	1.6	2.0	5.4	8.5	4.2	3.2	2.1	9.0	4.0	3.3	8.1
要介護1	466	18.9	2.8	3.6	5.8	18.2	6.0	8.6	3.2	14.4	5.4	3.9	6.7
要介護2	523	14.7	3.6	5.0	5.5	14.1	6.5	9.4	4.4	16.6	5.7	7.8	7.8
要介護3	267	13.5	4.5	6.0	7.5	18.4	7.1	14.6	7.5	17.2	5.6	9.0	4.1
要介護4	190	16.8	3.7	11.1	11.6	12.1	10.5	11.6	5.8	21.1	7.9	11.6	8.9
要介護5	139	12.9	7.2	9.4	12.2	11.5	5.0	11.5	5.8	15.8	7.2	12.2	5.8
わからない	27	3.7	—	—	7.4	3.7	—	—	—	3.7	3.7	3.7	—

利用意向 要介護度	特定施設入居者生活介護	夜間対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型通所介護 (認知症対応型通所 デイサービス)	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設 (入所)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	複合型サービス	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設 (老健)	介護療養型医療施設への入所	無回答
要支援1	1.5	1.3	2.4	1.0	0.4	1.1	1.1	2.2	1.0	1.1	1.5	2.0	70.5
要支援2	0.7	1.5	2.3	1.0	0.5	1.0	1.5	2.3	1.0	2.4	1.7	2.3	66.0
要介護1	1.7	2.4	3.0	2.6	3.2	1.9	3.2	3.0	1.9	5.6	1.9	2.1	58.2
要介護2	3.1	2.1	4.6	3.3	2.5	1.7	2.1	1.7	1.3	6.3	2.7	3.4	60.8
要介護3	3.4	1.5	5.6	4.5	5.6	1.5	4.5	1.5	1.9	12.7	1.9	3.7	47.6
要介護4	4.7	7.4	4.2	3.7	2.1	1.1	3.7	4.2	1.6	10.0	4.7	4.7	49.5
要介護5	5.8	6.5	5.8	5.0	2.9	2.9	2.2	5.0	3.6	8.6	4.3	7.9	58.3
わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77.8

Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

③-2 要支援認定者の介護保険外の生活支援サービスに対するニーズ

介護保険外の生活支援サービスの利用（図表6）については、無回答が多くみられたことから利用実態は少ないと考えられるものの、「家事の手伝い」が要支援1で22.7%、要支援2で26.9%、また今後の利用意向（図表7）では「家事の手伝い」が要支援1で18.8%、要支援2で18.6%となっています。

また、「外出の付き添い」については、現在の利用は要支援1で2.3%、要支援2で4.1%（図表6）と低いものの、今後の利用意向は要支援1で8.1%、要支援2で11.3%と増えています（図表7）

こうしたことから、要支援認定者の生活支援サービスに対する一定のニーズがあることがうかがえます。

図表6 利用しているサービス〔複数回答〕

（サービス利用者調査）

単位：％

要介護度 \ 利用しているサービス	有効回答数（件）	家事の手伝い	外出の付き添い	配食サービス	その他	無回答
要支援1	1135	22.7	2.3	3.3	1.2	73.9
要支援2	886	26.9	4.1	5.5	1.1	68.8
要介護1	466	17.2	6.9	8.6	3.0	73.8
要介護2	523	22.9	8.8	7.6	1.0	70.7
要介護3	267	10.9	4.9	3.4	1.5	83.5
要介護4	190	11.6	6.3	5.3	2.6	81.1
要介護5	139	15.8	7.9	5.8	2.9	77.7
わからない	27	25.9	—	11.1	3.7	66.7

図表7 利用したいサービス〔複数回答〕

（サービス利用者調査）

単位：％

要介護度 \ 利用したいサービス	有効回答数（件）	家事の手伝い	外出の付き添い	配食サービス	その他	無回答
要支援1	1135	18.8	8.1	8.6	1.1	73.0
要支援2	886	18.6	11.3	10.0	1.5	72.1
要介護1	466	12.4	14.2	12.7	1.9	74.0
要介護2	523	11.5	11.5	8.2	1.9	78.2
要介護3	267	11.2	11.6	9.7	1.5	77.2
要介護4	190	10.5	11.6	8.9	1.6	77.9
要介護5	139	7.9	7.2	6.5	3.6	83.5
わからない	27	11.1	—	—	3.7	85.2

③-3 生活支援サービスの担い手としての高齢者

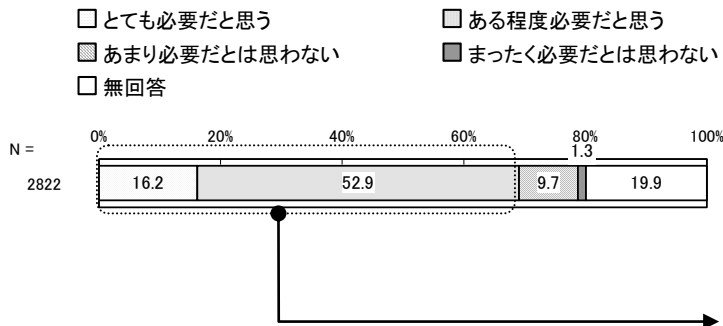
こうしたニーズの一方で、一般高齢者の意識をみると、住民相互の自主的な支えあいや助けあいの必要性について、「ある程度必要だと思う」が 52.9%、「とても必要だと思う」が 16.2%となっており、必要性を感じている人は約 7 割を占めています（図表 8）。

また、必要と感じている人に対して、どのような活動であれば参加したいかについてたずねたところ（図表 9）、「ひとり暮らしや閉じこもり高齢者の見守りや声かけ、話し相手」が 55.8%、「高齢者の通院の付き添いや、ごみ出しや買い物などの日常生活の援助」が 26.1%となっていることから、見守りや声かけといったゆるやかな活動への参加意向が高いことがうかがえます。

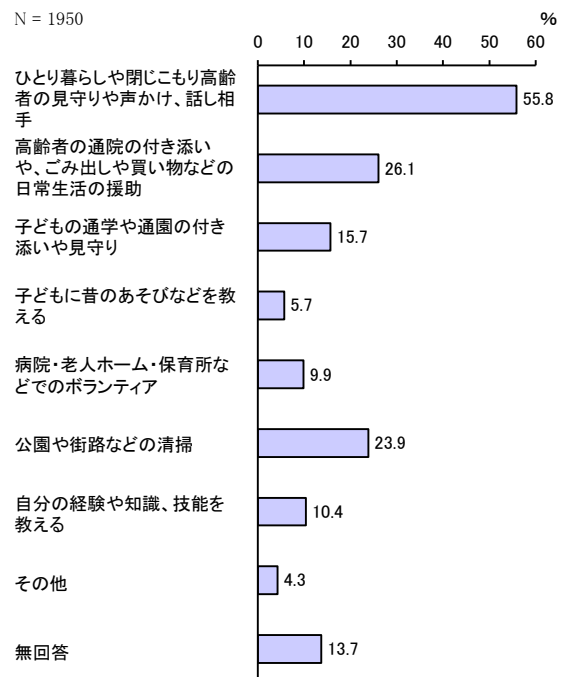
しかし、助けあいの必要性を感じると答えた人の 4 人に 1 人が、日常生活により踏み込んだ支援に対して参加意向を示していることから、こうした人々が生活支援の担い手となる可能性が期待できます。

住民相互の支えあいを促すためには、こうした担い手となりうる人と支援を必要としている人とを結びつける仕組みづくりが課題になると考えられます。

図表 8 住民相互の自主的な支えあいや助けあいの必要性〔単数回答〕（一般高齢者調査）



図表 9 どのような活動であれば参加したいか〔複数回答〕（一般高齢者調査）



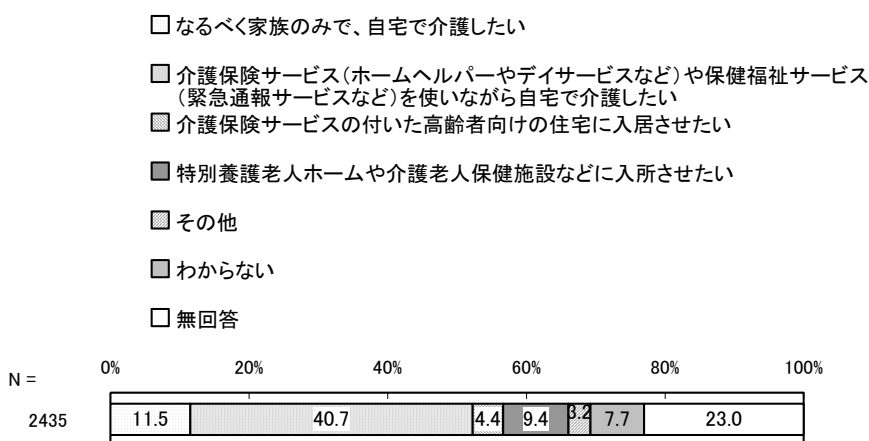
Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

(2) 家族介護者のケアの充実

①在宅での介護に対するニーズと在宅介護の負担

介護者の今後の介護意向（図表 10）をみると、「介護保険サービスや保健福祉サービスを使いながら自宅で介護したい」が 40.7%、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が 11.5%となっており、合わせて介護者の半数以上が今後も在宅での介護を希望しています。

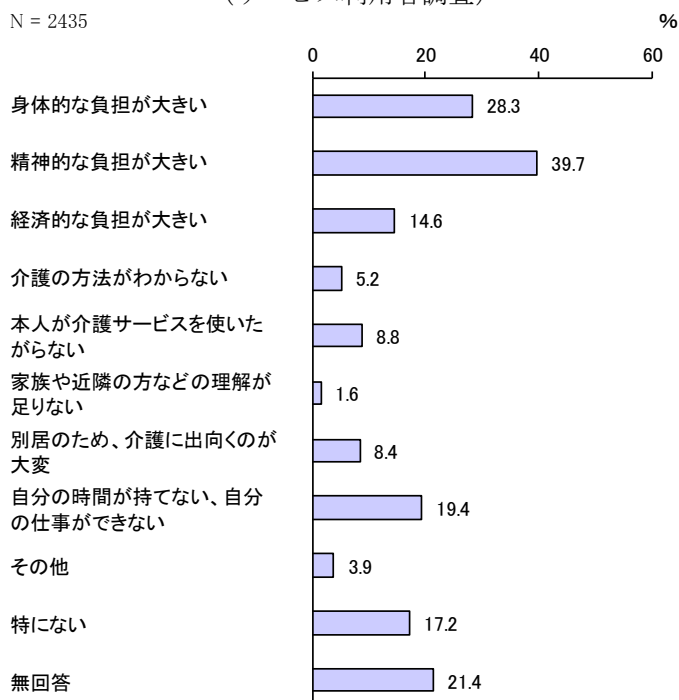
図表 10 今後の介護意向 [単数回答] (サービス利用者調査)



在宅での介護に対するニーズが高い一方、介護を行う上で困っていること（図表 11）としては、「精神的な負担が大きい」が 39.7%と最も高く、次いで「身体的な負担が大きい」が 28.3%となっています。また、介護者の年齢が上がるほど身体的な負担が大きいと感じる割合は高くなっていますが、精神的な負担感には年齢に関係なく高い割合を示しています。（図表 12）

在宅での介護を維持していくためには、こうした介護者の負担感の軽減が必要であることがうかがえます。

図表 11 介護するうえで困っていること [複数回答] (サービス利用者調査)



図表 12 介護するうえで困っていること〔複数回答〕（介護者の年齢別）

単位：％

介護者の年齢 \ 困っていること	有効回答数（件）	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを使いたがらない	家族や近隣の方などの理解が足りない	別居のため、介護に向くのが大変	自分の時間が持てない、自分の仕事ができない	その他	特にない	無回答
40 歳未満	75	14.7	18.7	14.7	—	2.7	1.3	4.0	9.3	5.3	50.7	9.3
40 歳代	235	25.1	43.8	17.9	7.2	9.4	2.6	10.6	21.7	4.7	21.3	10.2
50 歳代	547	25.0	43.0	19.4	5.1	11.7	1.8	14.1	23.6	3.3	19.0	12.1
60 歳代	559	29.7	49.0	15.2	5.4	11.4	1.8	9.8	26.1	5.7	18.6	8.4
70 歳代	326	42.6	49.4	16.9	7.1	7.7	0.6	4.3	22.1	4.3	15.0	15.0
80 歳以上	349	45.0	43.3	14.0	6.9	10.0	2.0	5.7	18.3	2.3	12.0	19.2

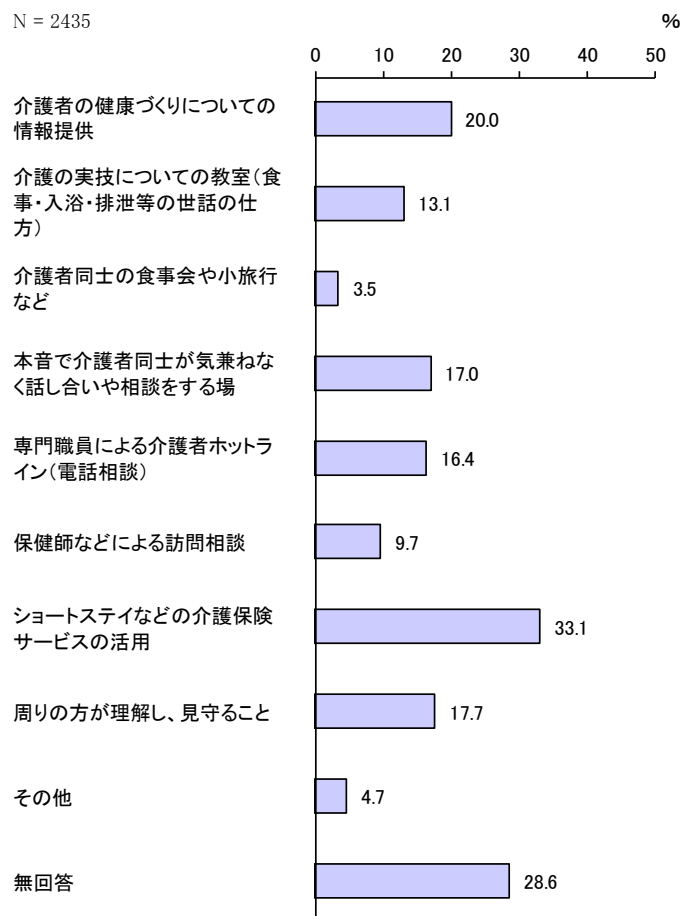
②介護者のケアに必要なこと

介護者にとって、家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするために必要なこと（図表 13）としては、「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」が 33.1％と最も高く、介護保険サービスのニーズが高いことがうかがえます。また、「介護者の健康づくりについての情報提供」が 20％と高いことから、介護者自身も高齢化している中で、健康に対する不安を抱えていることがうかがえます。

また、無回答についても 28.6％と多くみられ、介護者のケアの難しさがうかがえる結果となっています。

図表 13 家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするために必要なこと〔複数回答〕（サービス利用者調査）

N = 2435

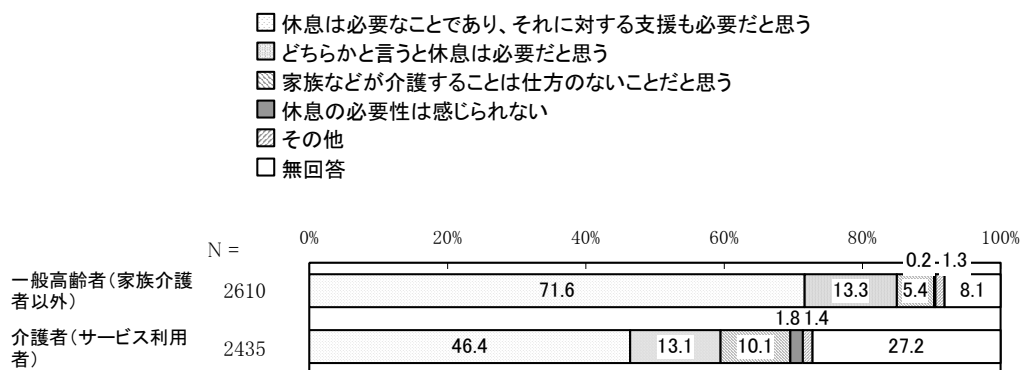


Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

③家族介護者の休息（レスパイト）への理解

介護者にとって、家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするために必要なこと（図表 13）の中には、「周りの方が理解し、見守ること」も 17.7%と高くみられます。一方で、在宅介護をしている家族などが一時的に介護を離れリフレッシュすること（レスパイト）に対する認識についてたずねたところ（図表 14）、「休息は必要なことであり、それに対する支援も必要だと思う」が家族介護者を除いた一般高齢者は 71.6%であるのに対し、介護者は 46.4%と低くなっています。引き続き、家族を介護する人への理解に関する普及啓発とともに、介護者自身に対してもレスパイトの重要性を啓発する必要があることがうかがえます。

図表 14 在宅介護をしている家族などが一時的に介護を離れ、リフレッシュすること（レスパイト）についてどう思うか [単数回答]

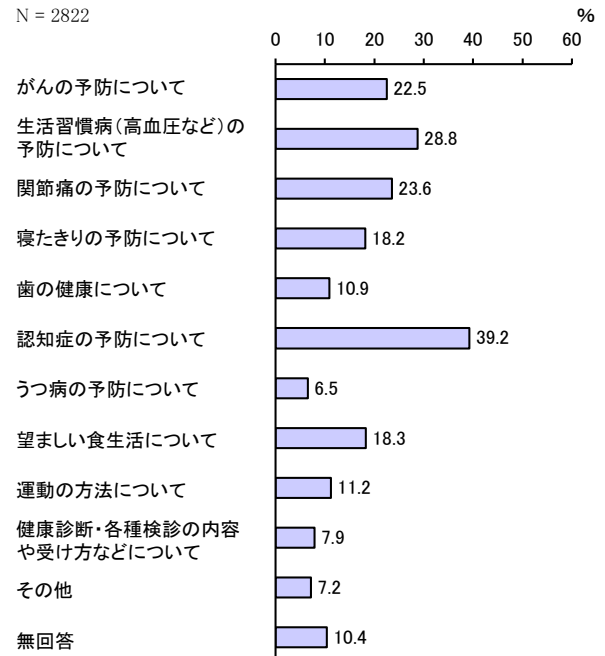


(3) 認知症施策の推進

①一般高齢者の認知症に対する関心の高まり

今後、認知症高齢者が増加することが予測される中、一般高齢者が健康について知りたいこと（図表 15）として、「認知症の予防について」が 39.2%と最も高くなっており、高齢者の認知症に対する関心の高さがうかがえます。

図表 15 健康について知りたいこと〔複数回答〕
（一般高齢者調査）

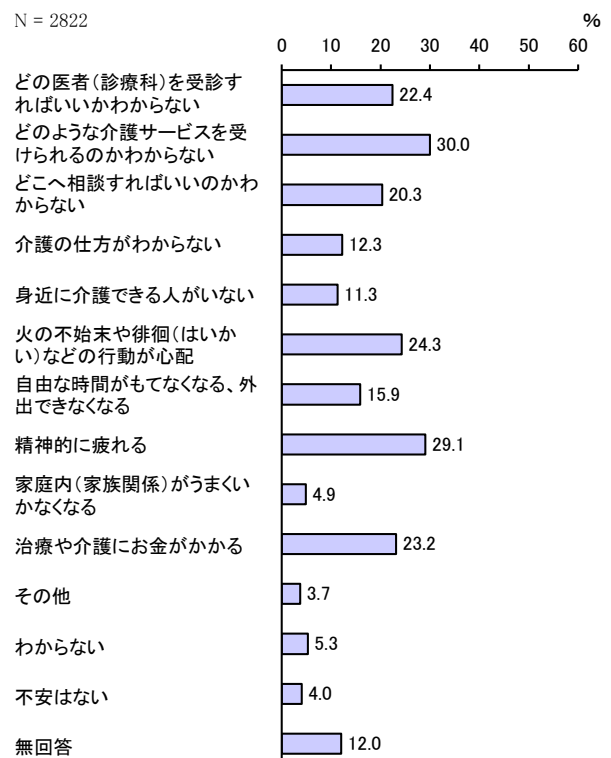


②認知症ケアパスの整備と認知症に対する理解の普及啓発

その一方で、もし家族が認知症になった場合、不安に思うことについてたずねたところ（図表 16）、「どのような介護サービスを受けられるのかわからない」が 30.0%、「どの医者（診療科）を受診すればいいかわからない」が 22.4%となっています。こうしたことから、状況に応じた適切な医療や介護保険サービスなどの提供の流れ（認知症ケアパス）の整備が必要であることがうかがえます。

また、不安に思うこととして、「精神的に疲れる」が 29.1%、「火の不始末や徘徊などの行動が心配」が 24.3%となっていることから、認知症に対する理解不足やネガティブなイメージも一部あることがうかがえます。こうしたことから、認知症に対する正しい理解のための普及啓発についても必要であると考えられます。

図表 16 もし家族が認知症になった場合、不安に思うこと〔複数回答〕（一般高齢者調査）



Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

③認知症高齢者を介護する人の負担と今後の介護意向

認知症が主な原因の要介護者を介護している人が、介護するうえで困っていることは、介護者全体と比較して、「精神的な負担が大きい」「身体的な負担が大きい」「自分の時間が持てない、自分の仕事ができない」の割合が特に高くなっています（図表 17）。

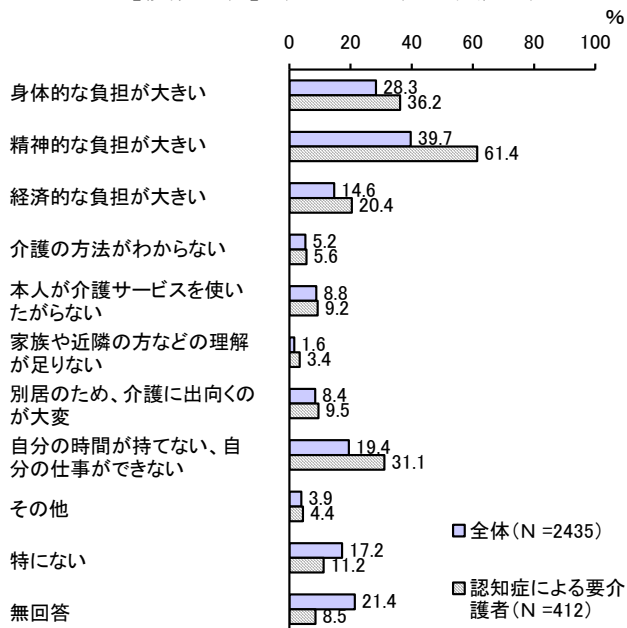
その中でも「精神的な負担が大きい」が 61.4%と突出した結果となっており、認知症の要介護者を介護する人における負担の特徴が表れています。

こうした中で、認知症が原因の要介護者を介護する人の今後の介護意向

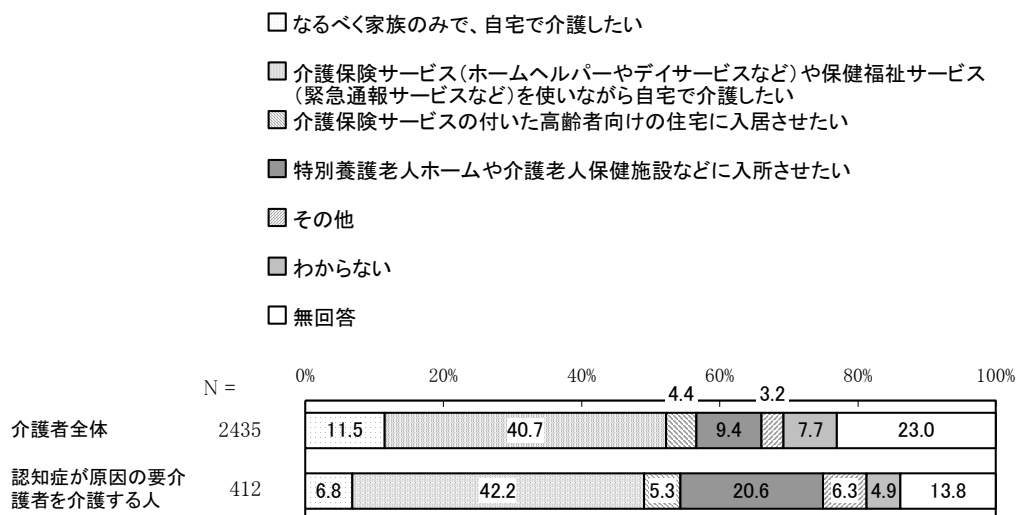
（図表 18）をみると、「介護保険サービスや保健福祉サービスを使いながら自宅で介護したい」が 42.2%と最も高く、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」と合わせて約半数となっていることから、介護する負担が大きいに関わらず、それでも在宅で介護したいと考えている人が多いことがうかがえます。

しかし一方で、認知症が原因の要介護者を介護する人においては、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所させたい」も 20.6%と介護者全体と比較して高くなっています。認知症の要介護者を介護する困難さや負担の重さが表れていると考えられます。

図表 17 介護するうえで困っていること
〔複数回答〕（サービス利用者調査）



図表 18 認知症が原因となった要介護者を介護している人の今後の介護意向〔単数回答〕
（サービス利用者調査）



(4) 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進

①一般高齢者の日頃の生きがいと社会参加についての今後の意向

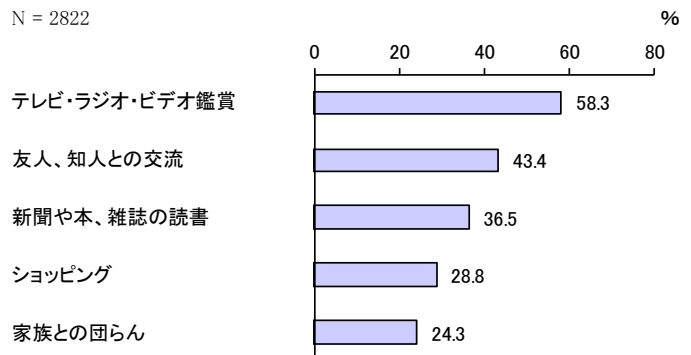
一般高齢者が日頃生きがいを感じていること（図表 19）としては、「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」が 58.3%、「新聞や本、雑誌の読書」が 36.5%となっており、自宅で過ごす楽しみが多くみられます。

また「友人、知人との交流」も 43.4%と高い結果となっており、身近な人との交流も高齢者にとって生きがいとなっている様子もうかがえます。

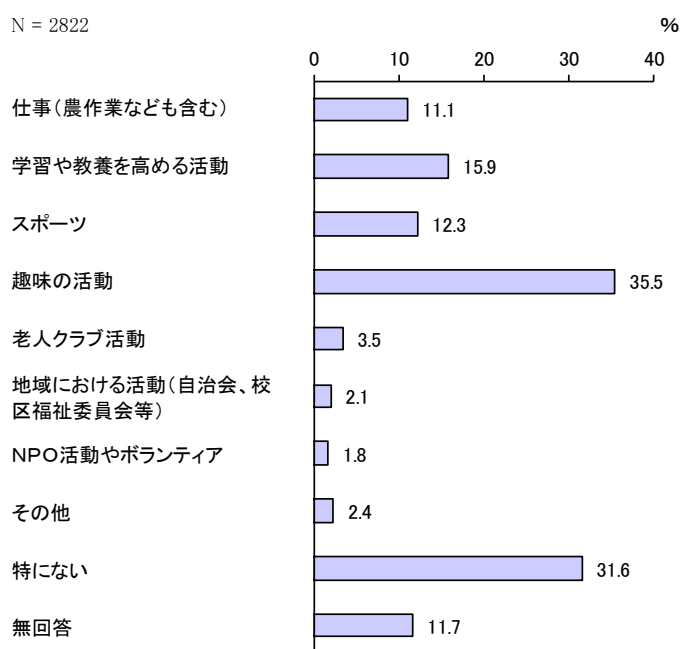
一般高齢者が今後やってみたい活動（図表 20）としては、「趣味の活動」が 35.5%と最も高い一方で、「特にない」との回答が 31.6%もみられます。

高齢者の社会参加は生きがいや健康づくりにもつながることから、高齢者の社会参加に対する意欲の向上が求められていることがうかがえます。

図表 19 日頃生きがいを感じていること（上位 5 位）
[複数回答]（一般高齢者調査）



図表 20 今後やってみたい活動 [複数回答]
（一般高齢者調査）



Ⅱ 調査結果からの総括と課題のポイント

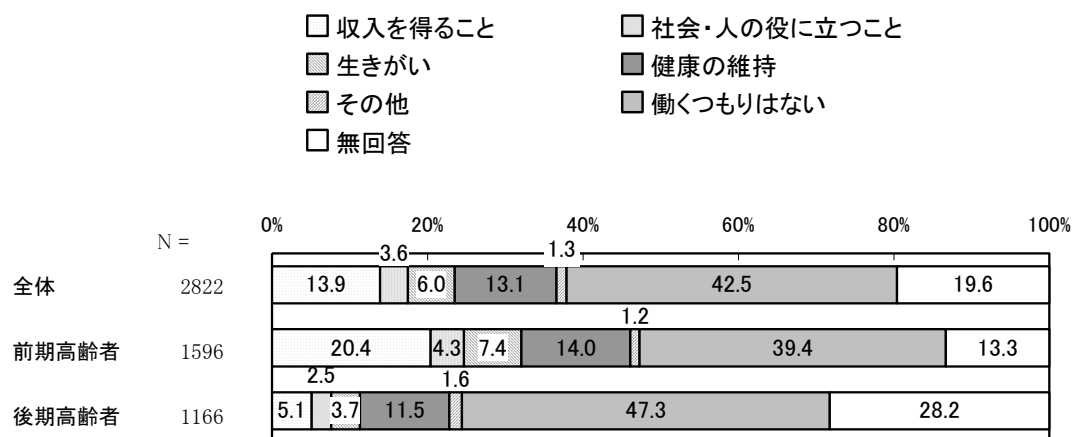
②一般高齢者の仕事に対する関心

一般高齢者の仕事に対する意向に着目した場合、これから働き始めようとする場合に仕事に求めるもの（図表 21）として、前期高齢者と後期高齢者を分けてみていくと、後期高齢者の 75.5%が「働くつもりはない」あるいは無回答となっているのに対し、前期高齢者ではその割合が 52.7%と低くなっていることから、前期高齢者においては半数近くが働くことについて無関心ではないことがうかがえます。

また、前期高齢者が仕事に求める要素としては「収入を得ること」が 20.4%、「健康の維持」が 14.0%となっている一方で、仕事に「生きがい」や「社会・人の役に立つこと」を求める回答も 11.7%みられます。

こうした意向を持つ高齢者を生活支援サービスの担い手としての社会参加へとつなげていく仕組みづくりが課題であると考えられます。

図表 21 仕事に求めるもの〔単数回答〕（一般高齢者調査）



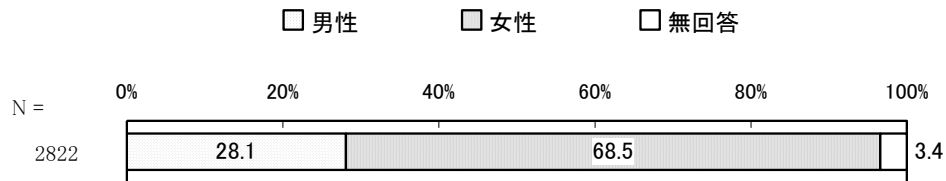
Ⅲ 調査結果

1 一般高齢者調査

(1) 本人について

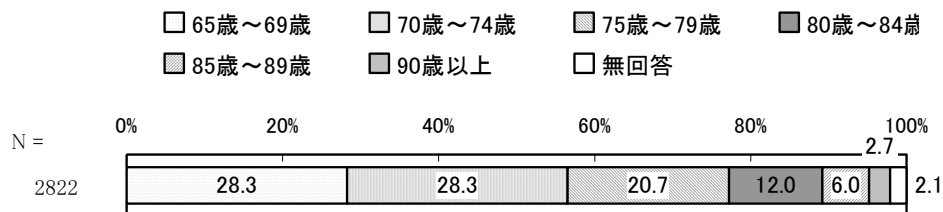
問1 あなたの性別について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「女性」が68.5%、「男性」が28.1%となっています。



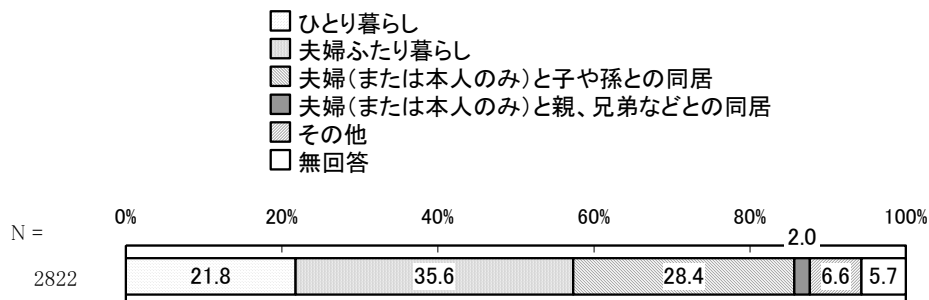
問2 あなたの年齢について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「65歳～69歳」、「70歳～74歳」がそれぞれ28.3%と最も高く、次いで、「75歳～79歳」が20.7%となっています。



問3 あなたの世帯状況について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

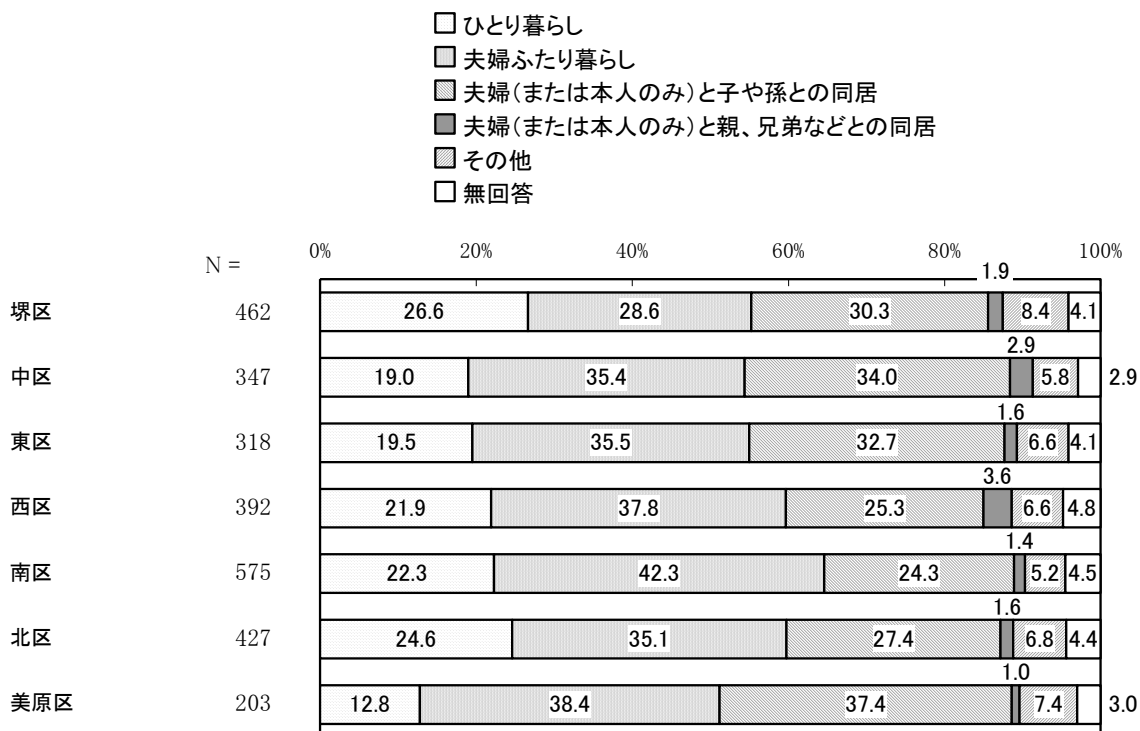
「夫婦ふたり暮らし」が35.6%と最も高く、次いで「夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居」が28.4%、「ひとり暮らし」が21.8%となっています。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

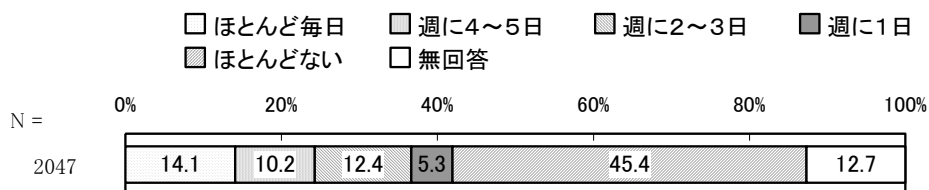
【区域別】

堺区や北区で「ひとり暮らし」の割合が高く、美原区で低くなっています。



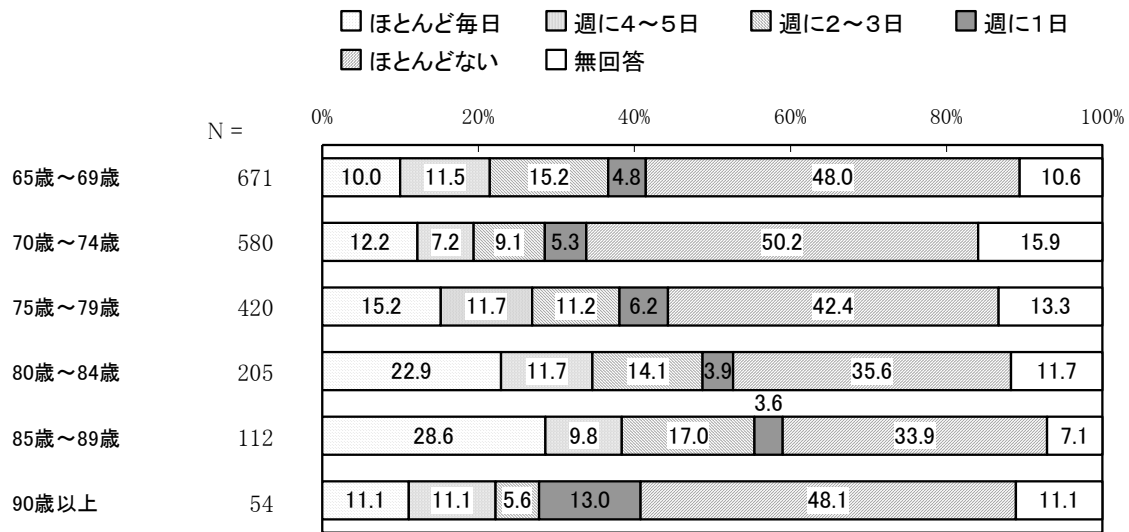
問3-1 問3で「2.~5.」と回答した方(ご家族などと同居されている方)にお伺いします。日中、一人になることがありますか。(○はひとつ)

「ほとんどない」が45.4%と最も高く、「ほとんど毎日」が14.1%、「週に2~3日」が12.4%となっており、週の半分以上の日において日中一人になることがある人は約25%となっています。



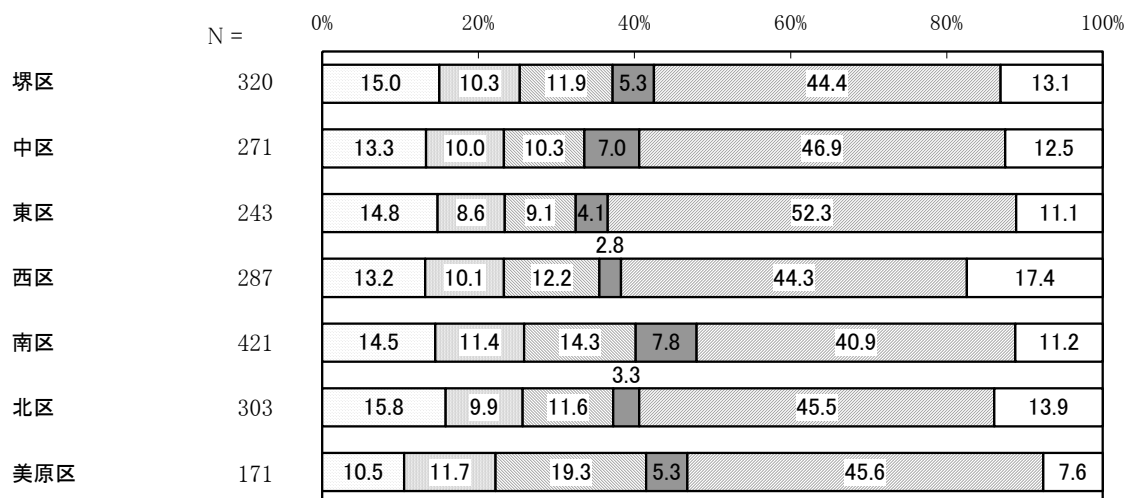
【年齢別】

90歳未満では、年齢が上がるほど「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



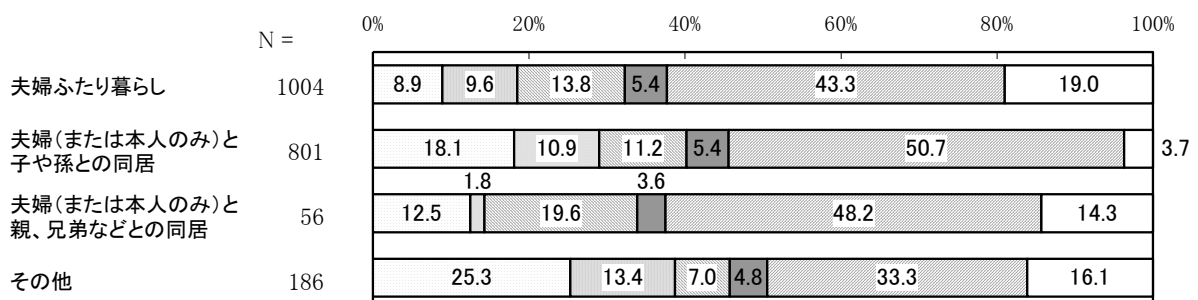
【区域別】

「ほとんど毎日」や「週に4～5日」の割合は区による差はそれほどみられません。また、東区では、「ほとんどない」の割合がやや高くなっています。



【世帯状況別】

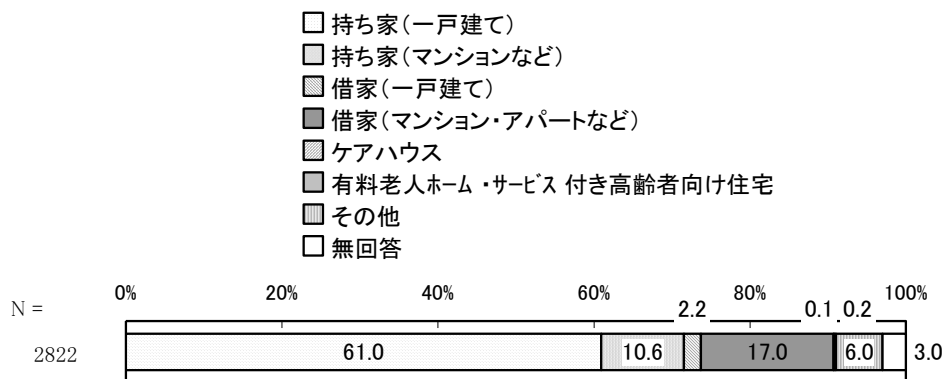
夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

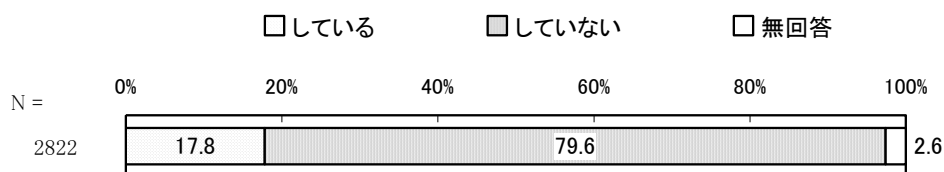
問4 お住まいの状況について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「持ち家（一戸建て）」が61.0%と最も高く、「借家（マンション・アパートなど）」が17.0%、「持ち家（マンションなど）」が10.6%となっています。



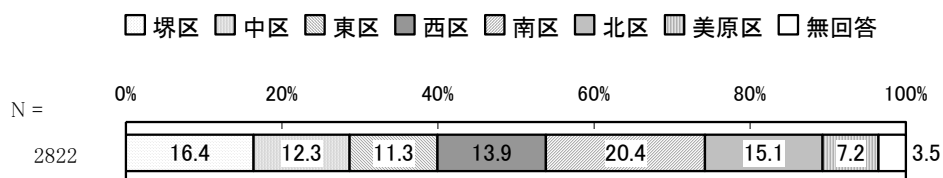
問5 あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。(○はひとつ)

「していない」が79.6%、「している」が17.8%となっています。



問6 お住まいの区と小学校区域について、それぞれ○をつけてください。小学校区が分からない方は、区のみ○をつけてください。

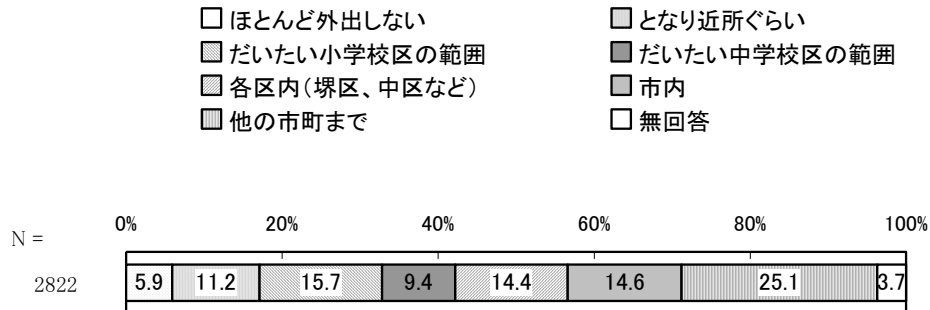
「南区」が20.4%と最も高く、次いで「堺区」が16.4%、「北区」が15.1%となっています。



(2) 生活状況や健康について

問7 あなたにとって、普段の行動する範囲はどのくらいですか。(○はひとつ)

「他の市町まで」が25.1%と最も高く、「だいたい小学校区の範囲」が15.7%、「市内」が14.6%となっています。



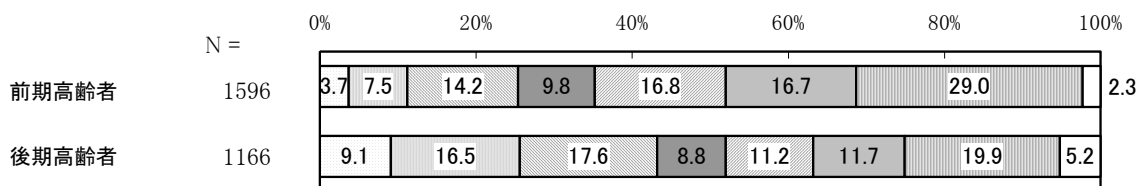
【性別】

女性に比べ、男性で「だいたい中学校区の範囲」「市内」「他の市町村まで」の割合が高く、男性のほうが、行動範囲が広い傾向にあります。



【前期高齢者・後期高齢者別】

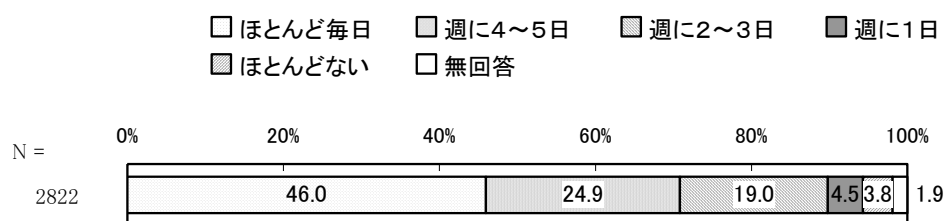
前期高齢者に比べ、後期高齢者で「ほとんど外出しない」「となり近所ぐらい」の割合が高く、後期高齢者になると、行動範囲が狭くなる傾向にあります。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

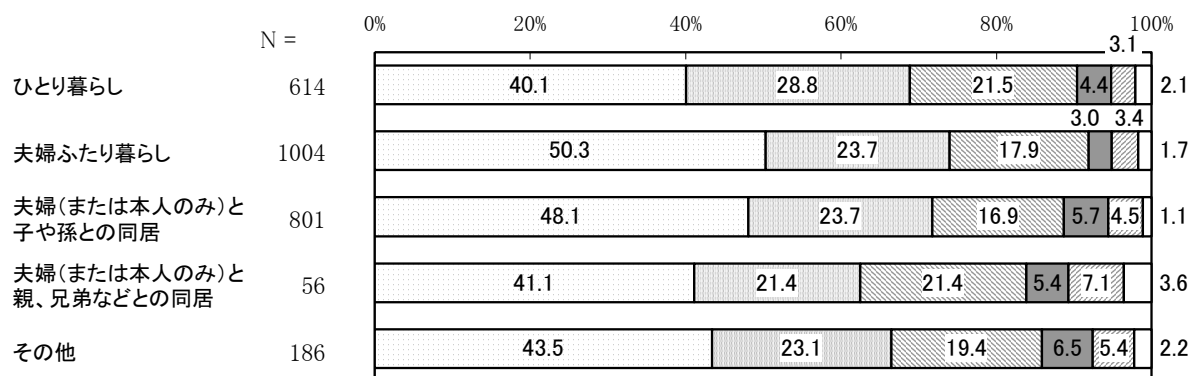
問8 あなたは週に何日くらい外出（散歩なども含めます）しますか。（○はひとつ）

「ほとんど毎日」が46.0%と最も高く、「週に4～5日」が24.9%、「週に2～3日」が19.0%となっています。



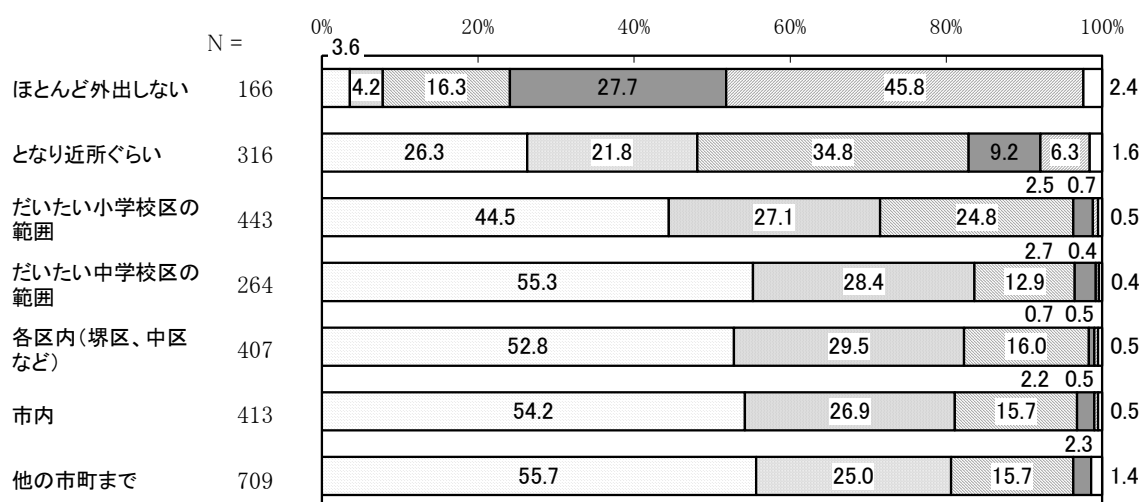
【世帯状況別】

夫婦ふたり暮らしや、夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



【普段の行動する範囲別】

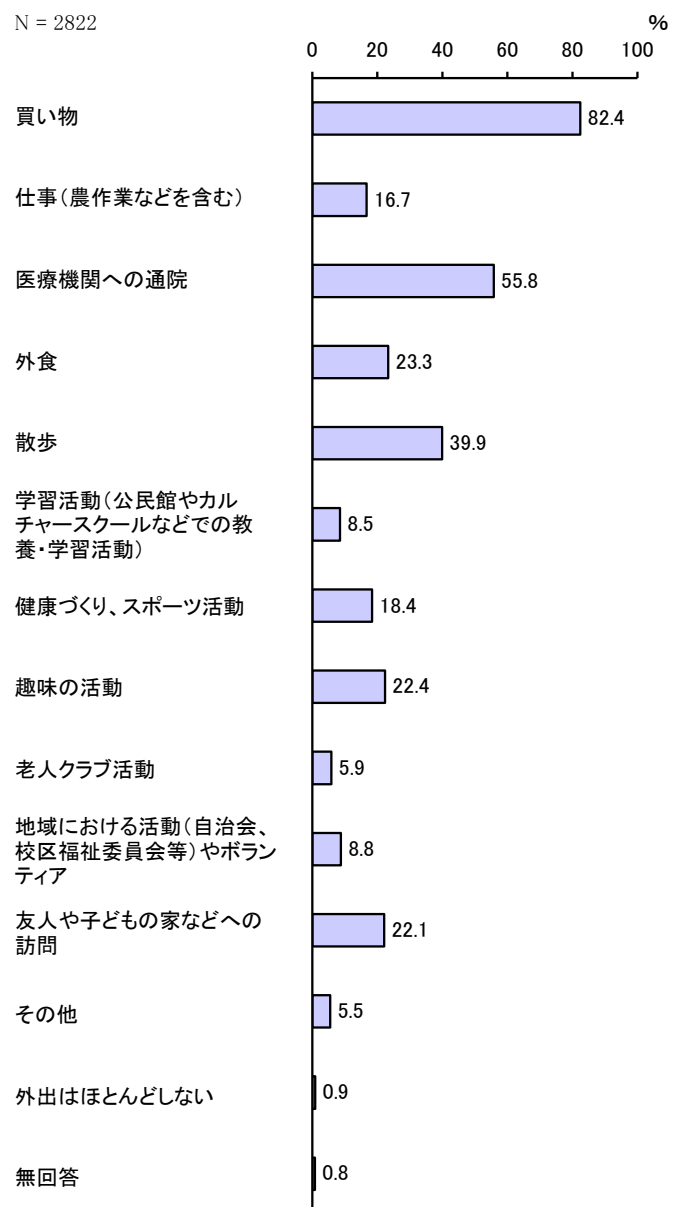
中学校の範囲までは、行動範囲が広くなるにつれ「ほとんど毎日」の割合が高くなっていますが、中学校区より広い範囲になるとそれほど違いがみられません。



問9 あなたは普段何のために外出しますか。(〇はいくつでも)

「買い物」が82.4%と最も高く、「医療機関への通院」が55.8%、「散歩」が39.9%となっています。

N = 2822



Ⅲ 1 一般高齢者調査

【性別】

女性に比べ、男性で「仕事」「散歩」の割合が高く、女性では「買い物」「医療機関への通院」「友人や子どもの家などへの訪問」の割合が高くなっています。

単位：％

性別 \ 外出目的	有効回答数 (件)	買い物	仕事（農作業などを 含む）	医療機関への通院	外食	散歩	学習活動（公民館やカ ルチャースクールなど での教養・学習活動）	健康づくり、スポー ツ活動
男性	794	67.6	31.7	47.0	26.2	45.7	3.4	18.5
女性	1933	88.6	10.5	59.7	22.3	37.7	10.8	18.4

性別 \ 外出目的	趣味の活動	老人クラブ活動	地域における活動（自 治会、校区福祉委員会 等）やボランティア	友人や子どもの家など への訪問	その他	外出はほとんどしない	無回答
男性	21.0	4.4	8.9	13.5	6.5	0.8	1.0
女性	23.5	6.6	8.8	25.8	5.1	1.0	0.5

【前期高齢者・後期高齢者別】

前期高齢者に比べ、後期高齢者で「仕事」「外食」「散歩」などの割合が低く、「医療機関への通院」の割合が高くなっています。

単位：％

区分 \ 外出目的	有効回答数 (件)	買い物	仕事（農作業などを 含む）	医療機関への通院	外食	散歩	学習活動（公民館やカ ルチャースクールなど での教養・学習活動）	健康づくり、スポー ツ活動
前期高齢者	1596	84.1	25.1	48.8	27.3	44.0	9.3	21.3
後期高齢者	1166	80.2	5.2	65.6	17.9	34.4	7.5	14.3

区分 \ 外出目的	趣味の活動	老人クラブ活動	地域における活動（自 治会、校区福祉委員会等） やボランティア	友人や子どもの家 などへの訪問	その他	外出はほとんどし ない	無回答
前期高齢者	23.9	4.3	10.0	25.3	5.0	0.3	0.4
後期高齢者	20.8	8.1	7.0	17.5	6.1	1.8	1.0

【世帯状況別】

ひとり暮らしで「買い物」の割合が高くなっています。

単位：％

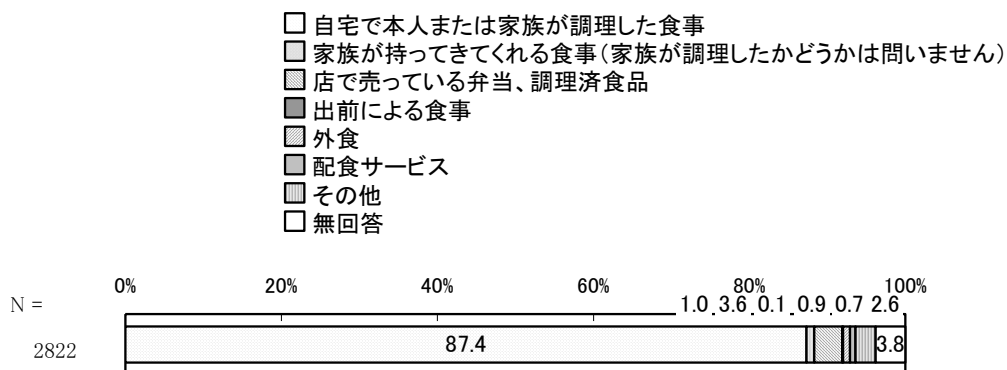
外出目的 世帯状況	有効回答数 (件)	買い物	仕事（農作業などを含む）	医療機関への通院	外食	散歩	学習活動（公民館やカルチャースクールなどでの教養・学習活動）	健康づくり、スポーツ活動
ひとり暮らし	614	88.4	8.8	60.7	23.3	40.2	7.8	17.8
夫婦ふたり暮らし	1004	82.2	21.1	52.0	25.5	42.8	10.2	19.4
夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居	801	79.7	19.0	56.6	22.2	39.3	8.2	18.2
夫婦（または本人のみ）と親、兄弟などとの同居	56	75.0	19.6	46.4	23.2	39.3	—	14.3
その他	186	80.6	12.4	59.1	21.0	32.8	6.5	18.3

外出目的 世帯状況	趣味の活動	老人クラブ活動	地域における活動（自治会、校区福祉委員会等）やボランティア	友人や子どもの家などへの訪問	その他	外出はほとんどしない	無回答
ひとり暮らし	20.4	6.4	7.5	24.6	7.2	0.7	0.5
夫婦ふたり暮らし	25.6	5.8	9.6	25.6	5.1	0.6	0.7
夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居	20.6	5.7	9.4	17.2	4.6	1.5	0.4
夫婦（または本人のみ）と親、兄弟などとの同居	21.4	1.8	3.6	23.2	8.9	—	1.8
その他	21.5	7.0	8.6	15.6	5.4	1.1	0.5

Ⅲ 1 一般高齢者調査

問 10 あなたは主にどのような食事をとっていますか。(○はひとつ)

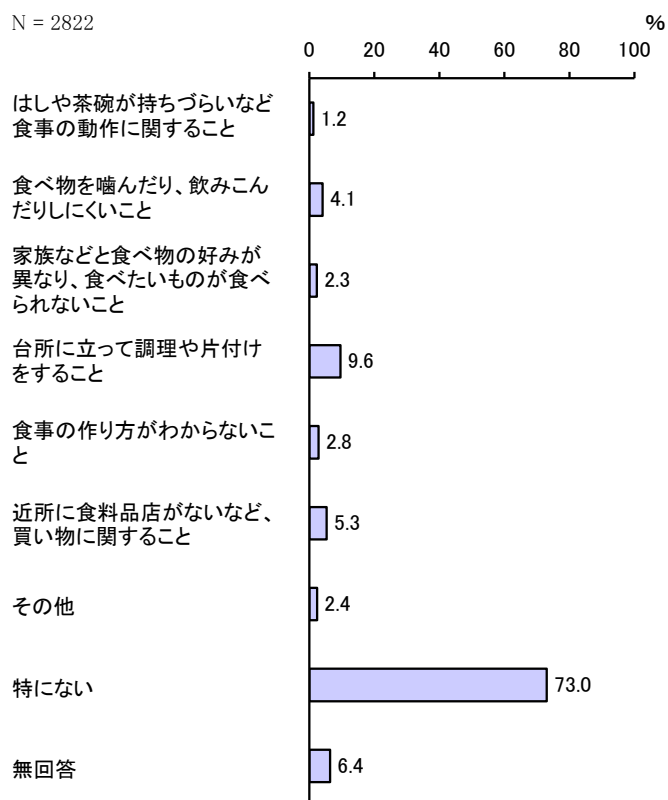
「自宅で本人または家族が調理した食事」が 87.4%と最も高くなっています。



問 11 あなたは食事に関して何か困っていることがありますか。(○は3つまで)

「特にない」が 73.0%と最も高くなっています。

N = 2822



【世帯状況別】

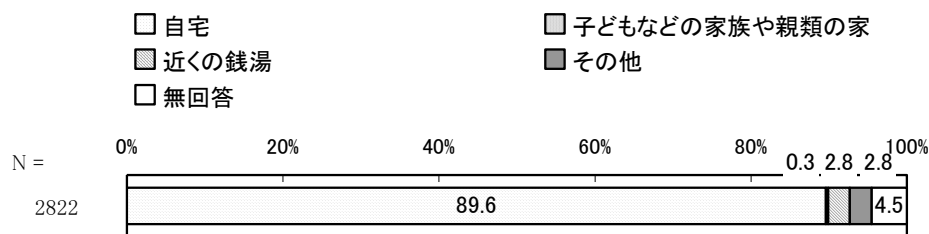
ひとり暮らしで「台所に立って調理や片付けをすること」、「近所に食料品店がないなど、買い物に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

世帯状況 \ 食事に関する困りごと	有効回答数(件)	はしや茶碗が持ちづらいなど食事の動作に関すること	食べ物や飲み物を噛んだり、飲みこんだりしにくいこと	家族などと食べ物の好みや食べられないこと	台所に立って調理や片付けをすること	食事の作り方がわからないこと	近所に食料品店がないなど、買い物に関すること	その他	特にない	無回答
ひとり暮らし	614	1.5	4.7	0.5	12.7	4.7	8.5	2.9	67.1	5.9
夫婦ふたり暮らし	1004	0.5	3.3	2.2	7.6	2.1	4.6	1.8	76.8	6.1
夫婦(または本人のみ)と子や孫との同居	801	1.7	4.2	3.4	9.2	2.0	4.0	2.1	75.0	5.7
夫婦(または本人のみ)と親、兄弟などとの同居	56	1.8	1.8	3.6	8.9	3.6	1.8	—	73.2	8.9
その他	186	1.6	4.8	3.8	9.1	3.2	4.3	7.0	69.4	7.5

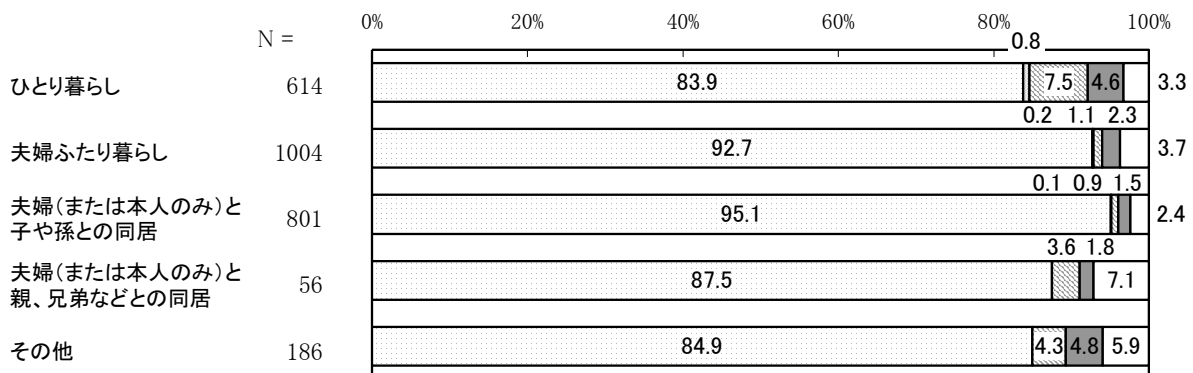
問 12 あなたは主にどこで入浴していますか。(○はひとつ)

「自宅」が 89.6%と最も高くなっています。



【世帯状況別】

ひとり暮らしで「自宅」の割合が低く、「銭湯」の割合が高くなっています。

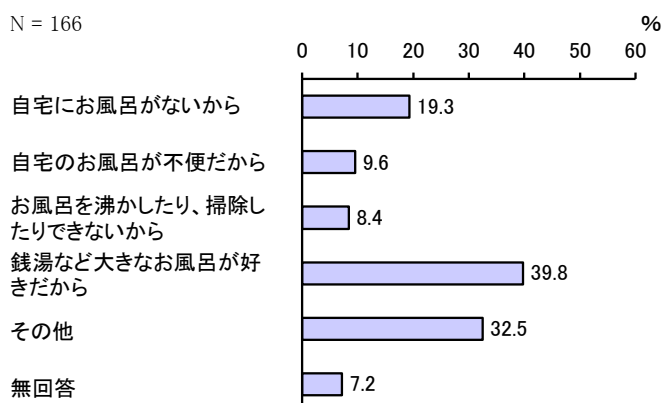


Ⅲ 1 一般高齢者調査

問12-1 問12で「2.～4.」と回答した方（自宅以外で入浴されている方）にお伺いします。あなたが自宅以外で入浴している理由は何ですか。（○はいくつでも）

「銭湯など大きなお風呂が好きだから」が39.8%と最も高い一方で、「自宅にお風呂がないから」が19.3%となっています。

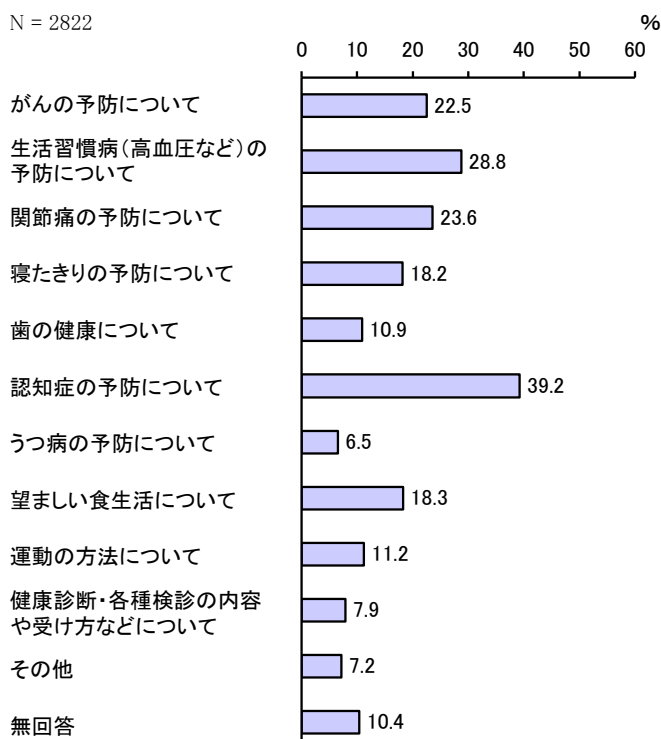
N = 166



問13 あなたは健康についてどのようなことが知りたいですか。（○は3つまで）

「認知症の予防について」が39.2%と最も高く、「生活習慣病（高血圧など）の予防について」が28.8%、「関節痛の予防について」が23.6%となっています。

N = 2822



【年齢別】

「認知症予防について」はどの年齢でも割合が高いですが、80歳未満は「がんの予防について」や「生活習慣病の予防について」の割合が高く、80歳以上は「寝たきりの予防について」の割合が高くなっています。

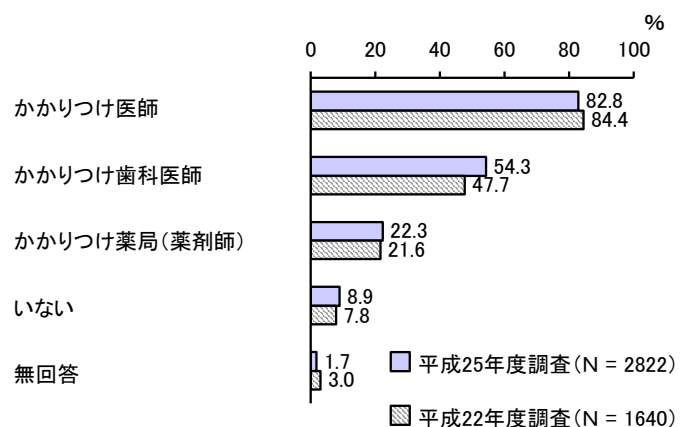
単位：％

健康について 知りたいこと 年齢	有効 回答数 (件)	がんの 予防に ついて	生活習慣病 (高血圧な ど)の 予防に ついて	関節痛の 予防に ついて	寝たきりの 予防に ついて	歯の健康に ついて	認知症の 予防に ついて	うつ病の 予防に ついて	望ましい食生活に ついて	運動の方法に ついて	健康診断・各種 検査の内容や受け 方などにつ いて	その他	無回 答
65歳～69歳	798	26.4	33.7	21.8	14.9	11.2	38.2	6.3	18.3	13.4	9.8	8.0	6.6
70歳～74歳	798	24.3	29.6	23.4	17.7	10.5	41.1	7.0	17.3	11.0	6.1	7.1	10.8
75歳～79歳	583	22.3	27.1	26.1	15.6	12.7	40.7	7.9	19.6	11.3	8.4	6.0	9.3
80歳～84歳	338	16.6	23.4	26.3	25.4	8.3	39.6	5.0	19.2	8.6	8.0	6.5	13.9
85歳～89歳	168	14.3	22.6	22.0	26.8	13.1	32.1	5.4	16.1	7.7	6.5	7.7	17.3
90歳以上	77	7.8	19.5	14.3	29.9	7.8	29.9	2.6	16.9	6.5	5.2	11.7	18.2

問 14 あなたには、日頃から診療や相談ができるかかりつけの医師・歯科医師・薬剤師はいますか。(〇はいくつでも)

「かかりつけ医師」が 82.8%と最も高く、「かかりつけ歯科医師」が 54.3%、「かかりつけ薬局(薬剤師)」が 22.3%となっています。

前回調査と比べると、「かかりつけ歯科医師」の割合が上昇しています。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

【区域別】

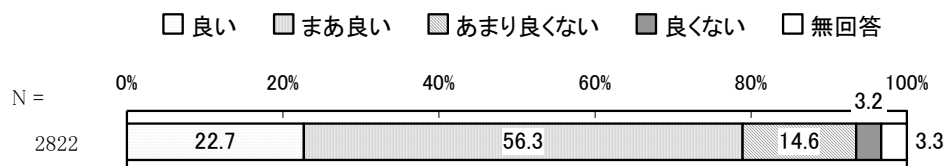
美原区で「かかりつけ歯科医師」の割合が低くなっています。

単位：％

区域	日頃診療や相談 ができる医師	有効 回答数 (件)	か かり つ け 医 師	師 か かり つ け 歯 科 医 生	か かり つ け 薬 局 (薬 剤 師)	い な い	無 回 答
堺区		462	81.8	55.4	26.8	10.2	1.1
中区		347	82.1	53.3	21.6	8.9	2.0
東区		318	86.2	56.0	16.0	5.0	1.3
西区		392	86.5	54.1	26.0	7.7	0.3
南区		575	79.5	56.0	17.4	10.4	2.6
北区		427	82.9	53.6	27.9	9.8	1.4
美原区		203	84.7	<u>48.8</u>	20.7	9.9	2.0

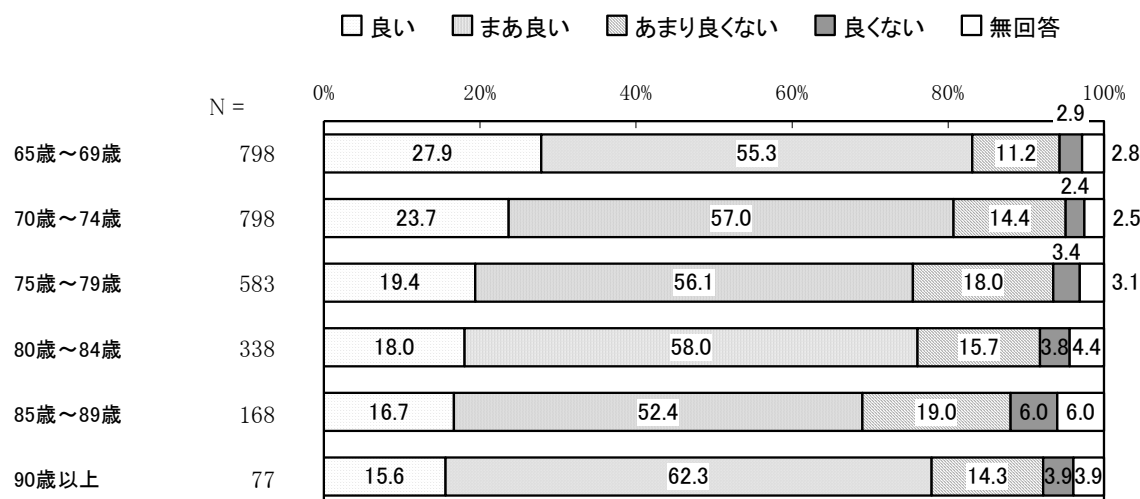
問 15 あなたの現在の健康状態について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「まあ良い」が 56.3%と最も高く、「良い」が 22.7%となっており、合わせて約 8 割の人が健康状態が良いと回答しています。



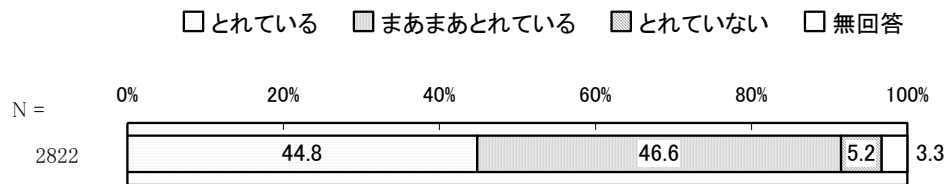
【年齢別】

年齢が上がるにつれ「良い」の割合が低くなっています。



問 16 あなたは睡眠などの休養を十分とれていますか。(○はひとつ)

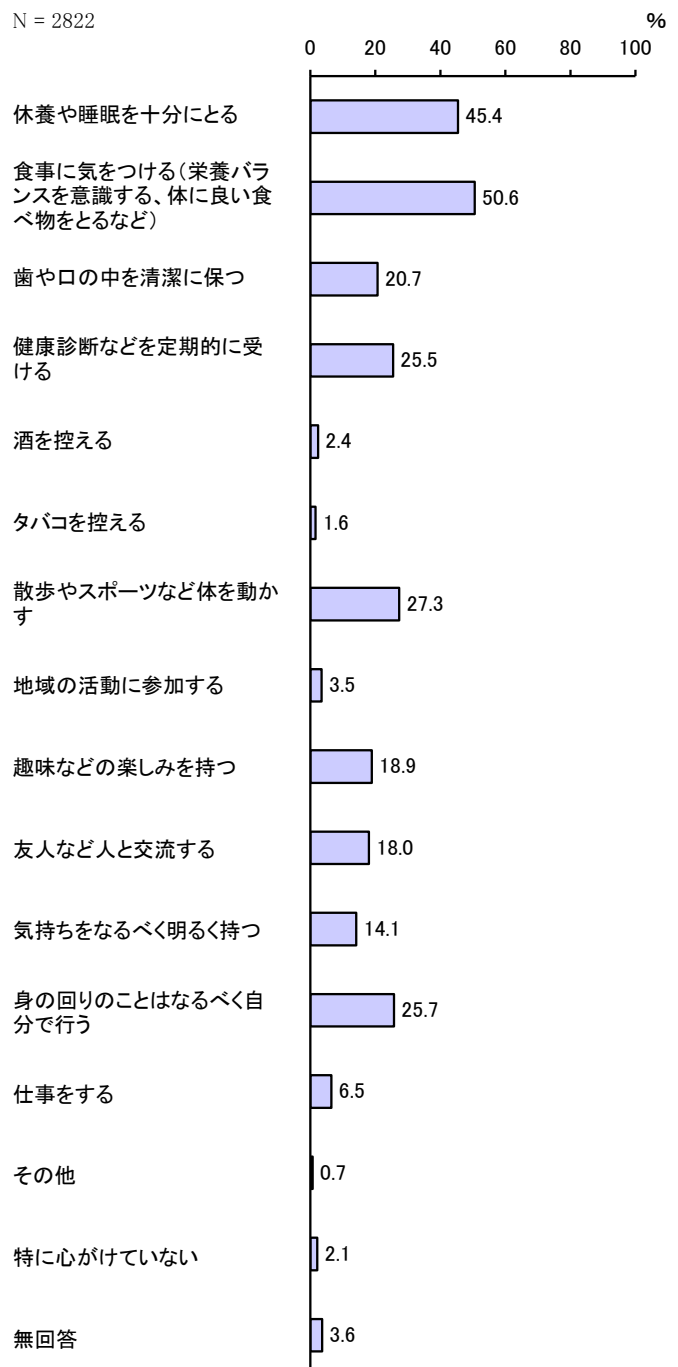
「まあまあとれている」が 46.6%、「とれている」が 44.8%となっており、9 割以上の人が睡眠をとれています。



問 17 あなたはご自分の健康のため、どんなことに心がけていますか。(○は3つまで)

「食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)」が 50.6%と最も高く、次いで「休養や睡眠を十分にとる」が 45.4%、「散歩やスポーツなど体を動かす」が 27.3%、「身の回りのことはなるべく自分で行う」が 25.7%となっています。

N = 2822



Ⅲ 1 一般高齢者調査

【健康状態別】

健康状態の良い人ほど、「休養や睡眠を十分にとる」「食事に気をつける」「散歩やスポーツなど体を動かす」「趣味などの楽しみを持つ」「友人など人と交流する」の割合が高くなっています。また、健康状態の悪い人ほど、「身の回りのことはなるべく自分で行う」の割合が高くなっています。

単位：％

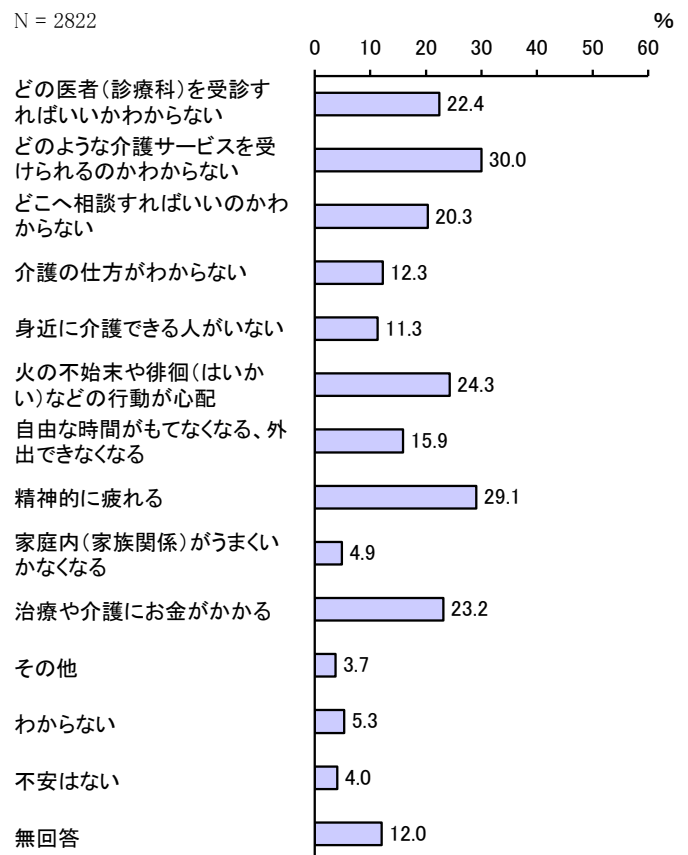
健康状態 健康のため の心がけ	有効 回答数 (件)	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける(栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど)	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒を控える	タバコを控える	散歩やスポーツなど体を動かす	地域の活動に参加する
良い	640	54.2	54.5	18.4	25.0	1.6	0.6	36.3	4.8
まあ良い	1588	45.3	52.8	20.7	26.1	2.6	1.5	29.0	3.1
あまり良くない	411	41.8	46.0	26.3	31.1	2.7	2.9	15.1	4.9
良くない	89	33.7	46.1	24.7	14.6	5.6	4.5	12.4	—

健康状態 健康のため の心がけ	趣味などの楽しみを持つ	友人など人と交流する	気持ちになるべく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
良い	24.2	17.2	9.4	16.3	11.1	0.6	1.3	1.4
まあ良い	20.5	20.8	14.6	25.6	5.7	0.6	2.2	1.0
あまり良くない	10.2	11.7	20.7	40.1	4.1	0.5	2.9	0.7
良くない	10.1	14.6	18.0	47.2	4.5	4.5	3.4	—

問 18 もし、あなたの家族が認知症になった場合、不安に思うことはありますか。(〇は3つまで)

「どのような介護サービスを受けられるのかわからない」が 30.0%と最も高く、次いで「精神的に疲れる」が 29.1%、「火の不始末や徘徊(はいかい)などの行動が心配」が 24.3%となっています。

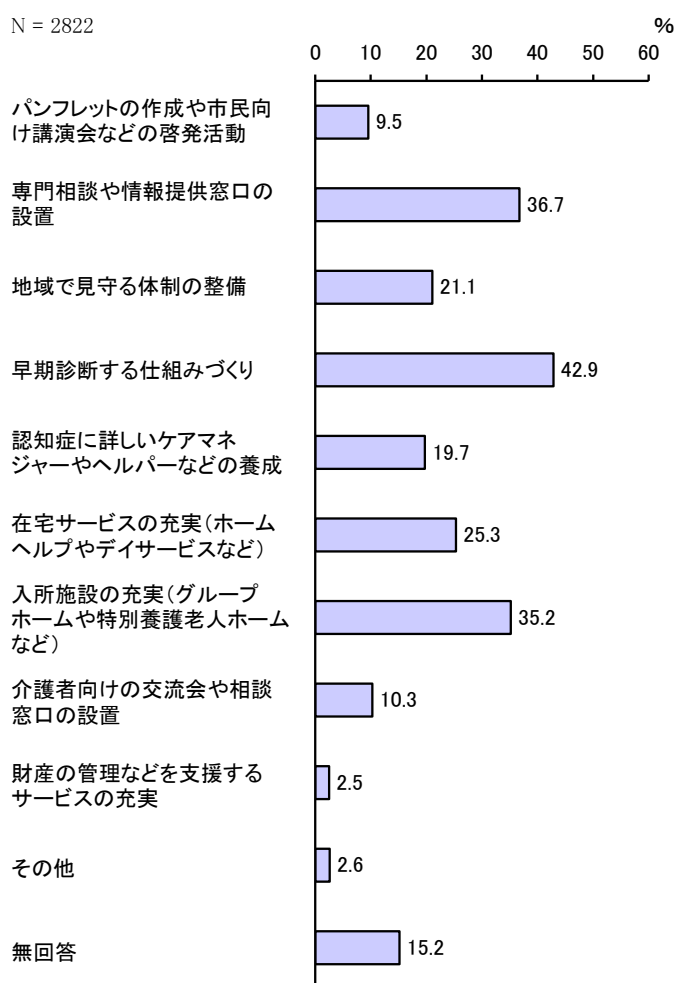
N = 2822



問 19 認知症対策について、取り組んでほしいと思うことはありますか。(〇は3つまで)

「早期診断する仕組みづくり」が42.9%と最も高く、次いで「専門相談や情報提供窓口の設置」が36.7%、「入所施設の充実（グループホームや特別養護老人ホームなど）」が35.2%となっています。

N = 2822



【家族が認知症になった場合、不安に思うこと別】

「どの医者（診療科）を受診すればいいかわからない」、「どのような介護サービスを受けられるのかわからない」、「どこへ相談すればいいのかわからない」ことを不安に思う人において、「専門相談や情報提供窓口の設置」の割合が高くなっています。また「身近に介護できる人がいない」ことを不安に思う人において「地域で見守る体制の整備」の割合が高くなっています。

単位：％

取り組んでほしいこと 不安に思うこと	有効回答数 (件)	パンフレットの作成や市民向け講演会などの啓発活動	専門相談や情報提供窓口の設置	地域で見守る体制の整備	早期診断する仕組みづくり	認知症に詳しいケアマネジャーやヘルパーなどの養成	在宅サービスの充実（ホームヘルプやデイサービスなど）
どの医者（診療科）を受診すればいいかわからない	632	15.7	<u>53.3</u>	22.5	53.3	21.4	27.1
どのような介護サービスを受けられるのかわからない	848	12.4	<u>51.7</u>	22.1	51.3	22.4	29.1
どこへ相談すればいいのかわからない	572	13.5	<u>53.0</u>	22.2	51.4	22.0	29.0
介護の仕方がわからない	347	9.5	44.4	26.2	52.2	28.8	30.8
身近に介護できる人がいない	318	7.2	36.5	<u>33.0</u>	45.9	23.3	33.3
火の不始末や徘徊（はいかい）などの行動が心配	686	9.0	40.8	24.6	49.9	24.2	33.4
自由な時間がもてなくなる、外出できなくなる	448	12.1	45.3	22.3	52.0	23.2	31.9
精神的に疲れる	822	9.4	39.7	25.1	49.0	24.5	34.8
家庭内（家族関係）がうまくいなくなる	138	6.5	42.0	18.8	54.3	23.2	29.7
治療や介護にお金がかかる	655	8.7	42.3	23.5	46.4	24.0	31.0
その他	105	8.6	26.7	20.0	30.5	18.1	24.8
わからない	150	7.3	18.7	14.0	30.0	9.3	14.7
不安はない	112	6.3	22.3	19.6	30.4	17.0	16.1

Ⅲ 1 一般高齢者調査

単位：％

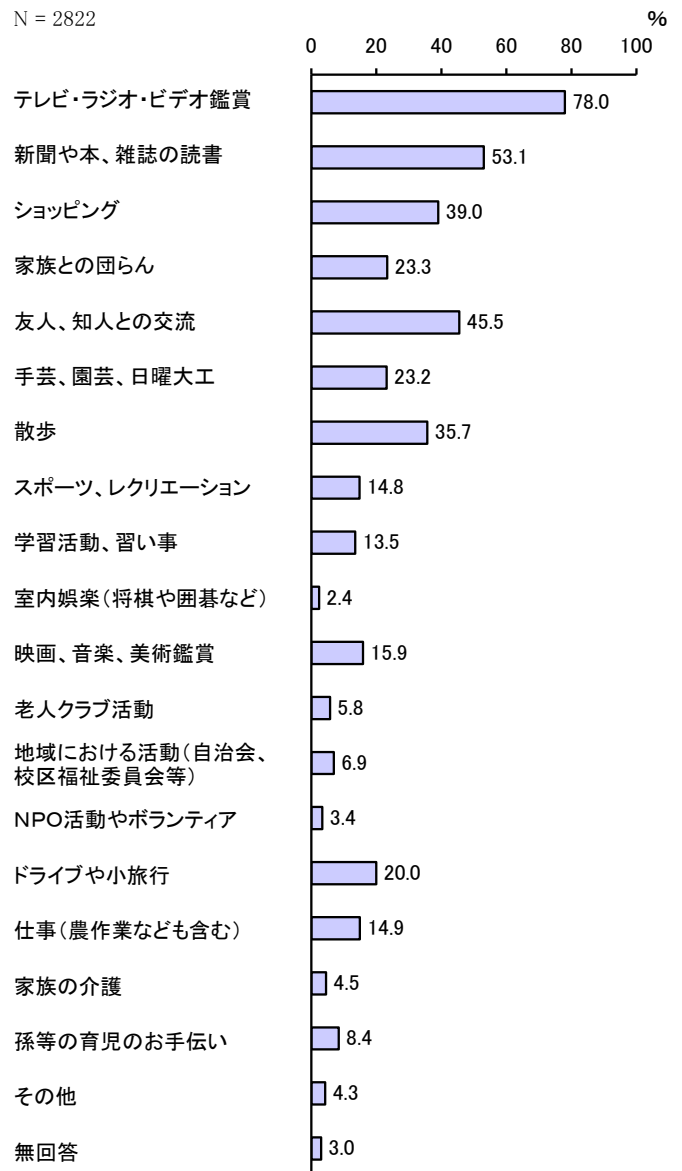
取り組んでほしいこと 不安に思うこと	有効回答数 (件)	入所施設の充実 (グループホームや特別養護老人ホームなど)	介護者向けの交流会や相談窓口の設置	財産の管理などを支援するサービスの充実	その他	無回答
どの医者(診療科)を受診すればいいかわからない	632	32.6	12.3	2.4	0.8	5.5
どのような介護サービスを受けられるのかわからない	848	39.2	10.8	1.7	0.7	5.7
どこへ相談すればいいのかわからない	572	32.3	13.1	1.6	1.4	4.9
介護の仕方がわからない	347	44.4	12.1	2.3	1.2	4.0
身近に介護できる人がいない	318	47.2	13.8	2.8	0.9	6.3
火の不始末や徘徊(はいかい)などの行動が心配	686	45.3	12.7	2.9	1.2	6.0
自由な時間がもてなくなる、外出できなくなる	448	45.5	15.8	2.7	0.7	5.4
精神的に疲れる	822	45.9	15.0	2.8	0.7	5.4
家庭内(家族関係)がうまくいなくなる	138	47.1	18.1	—	2.2	5.8
治療や介護にお金がかかる	655	44.4	14.5	2.1	1.4	7.2
その他	105	29.5	8.6	5.7	21.9	9.5
わからない	150	22.7	1.3	3.3	9.3	25.3
不安はない	112	27.7	3.6	0.9	9.8	22.3

(3) 日中活動や生きがいづくりについて

問 20 あなたは日頃どのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」が78.0%と最も高く、「新聞や本、雑誌の読書」が53.1%、「友人、知人との交流」が45.5%となっています。

N = 2822



Ⅲ 1 一般高齢者調査

【日頃の過ごし方（世帯状況別）】

夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「家族との団らん」の割合が高くなっています。

単位：％

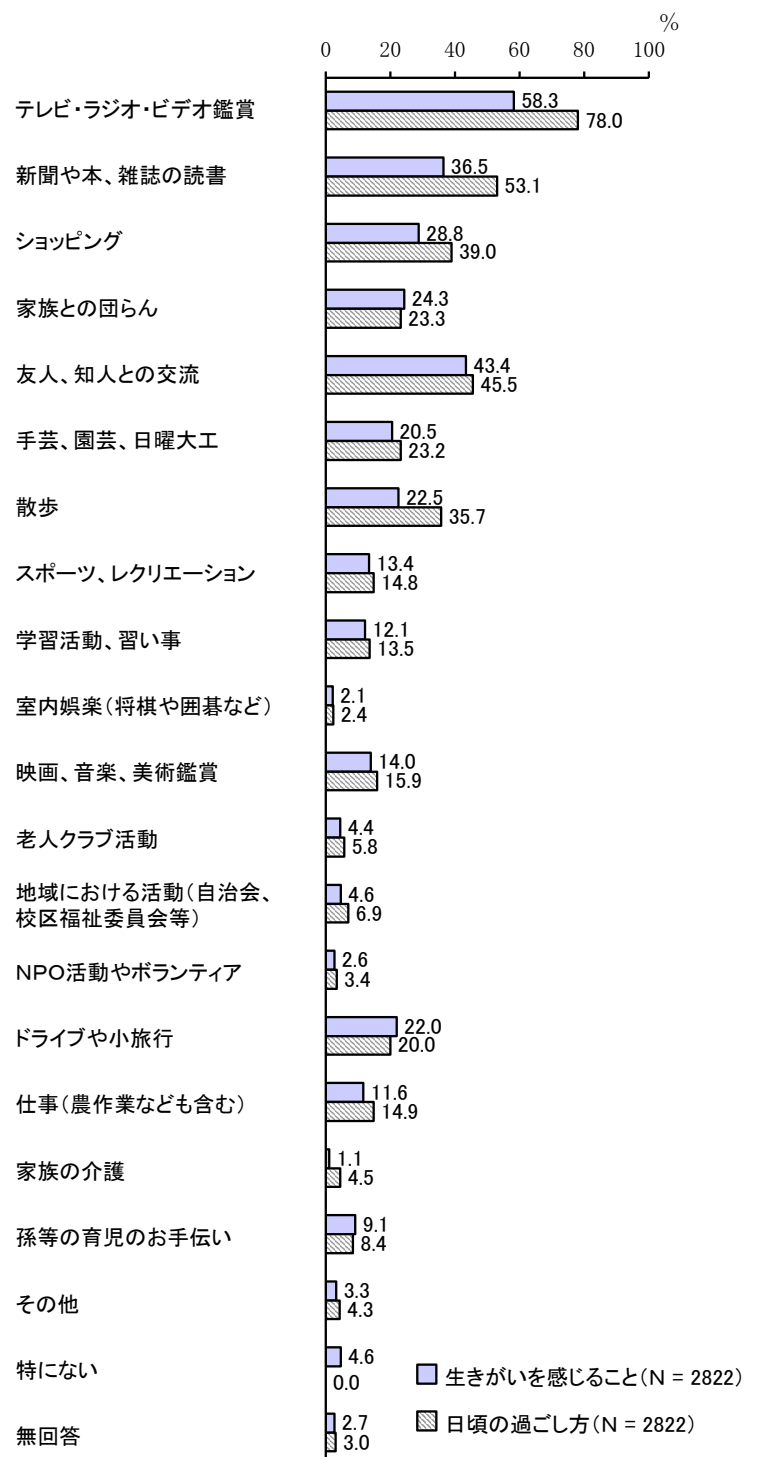
日頃の過ごし方 世帯状況	有効回答数 (件)	テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞	新聞や本、雑誌の読書	ショッピング	家族との団らん	友人、知人との交流	手芸、園芸、日曜大工	散歩	スポーツ、レクリエーション	学習活動、習い事	室内娯楽（将棋や囲碁など）
ひとり暮らし	614	80.0	51.8	37.3	5.5	50.3	21.3	38.6	12.5	11.4	2.6
夫婦ふたり暮らし	1004	76.1	54.0	40.8	27.3	47.3	25.9	37.6	17.3	14.8	2.7
夫婦（または本人のみ）と 子や孫との同居	801	80.3	54.6	38.3	<u>34.3</u>	41.3	23.7	33.2	14.0	13.2	2.2
夫婦（または本人のみ）と 親、兄弟などとの同居	56	75.0	55.4	26.8	21.4	37.5	12.5	39.3	12.5	10.7	3.6
その他	186	78.5	52.2	42.5	21.5	40.9	20.4	29.0	14.5	14.0	1.1

日頃の過ごし方 世帯状況	映画、音楽、美術鑑賞	老人クラブ活動	地域における活動（自治会、 校区福祉委員会等）	NPO活動やボランティア	ドライブや小旅行	仕事（農作業なども含む）	家族の介護	孫等の育児のお手伝い	その他	無回答
ひとり暮らし	18.1	5.9	5.7	3.6	15.6	7.2	1.1	4.2	4.4	3.4
夫婦ふたり暮らし	17.2	5.3	7.8	3.7	25.1	18.9	5.2	12.2	4.2	2.9
夫婦（または本人のみ）と 子や孫との同居	14.1	6.1	7.1	2.5	18.5	17.0	5.5	8.0	4.0	2.5
夫婦（または本人のみ）と 親、兄弟などとの同居	14.3	3.6	3.6	1.8	21.4	23.2	19.6	12.5	3.6	5.4
その他	10.2	7.0	5.4	4.8	20.4	11.3	4.3	4.3	6.5	3.8

問 21 そのうち（問 20 日頃の過ごし方のうち）で、あなたが生きがい（喜びや楽しみ）を感じているのは何ですか。（〇はいくつでも）

「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」が 58.3%と最も高く、次いで「友人、知人との交流」が 43.4%、「新聞や本、雑誌の読書」が 36.5%となっています。

「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」「新聞や本、雑誌の読書」「ショッピング」「散歩」で、日頃の過ごし方に比べ喜びや楽しみの感じ方が 10 ポイント以上低くなっています。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

【生きがいを感じる事（前期高齢者・後期高齢者別）】

後期高齢者で「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」「新聞や本、雑誌の読書」の割合が高く、自宅で過ごす楽しみが多い傾向にあります。また前期高齢者で「仕事」「孫等の育児のお手伝い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	生きがいを感じる事	有効回答数（件）	テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞	新聞や本、雑誌の読書	ショッピング	家族との団らん	友人、知人との交流	手芸、園芸、日曜大工	散歩	スポーツ、レクリエーション	学習活動、習い事	室内娯楽（将棋や囲碁など）
前期高齢者		1596	54.3	32.7	28.4	23.8	43.5	22.1	22.2	15.9	11.9	1.9
後期高齢者		1166	<u>63.8</u>	<u>41.8</u>	29.2	25.3	42.8	18.5	22.8	10.0	12.3	2.5

区分	生きがいを感じる事	映画、音楽、美術鑑賞	老人クラブ活動	地域における活動（自治会、校区福祉委員会等）	NPO活動やボランティア	ドライブや小旅行	仕事（農作業なども含む）	家族の介護	孫等の育児のお手伝い	その他	特にない	無回答
前期高齢者		14.3	2.9	4.3	3.3	25.3	<u>15.6</u>	1.1	<u>13.1</u>	4.1	4.1	1.9
後期高齢者		13.6	6.1	5.0	1.7	17.8	5.9	1.2	3.6	2.2	5.1	3.9

【生きがいを感じる事（世帯状況別）】

ひとり暮らしで「テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞」、夫婦ふたり暮らしで「ドライブや小旅行」、夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「家族との団らん」の割合が高くなっています。

単位：％

生きがいを感じる事 世帯状況	有効回答数（件）	テレビ・ラジオ・ビデオ鑑賞	新聞や本、雑誌の読書	ショッピング	家族との団らん	友人、知人との交流	手芸、園芸、日曜大工	散歩	スポーツ、レクリエーション	学習活動、習い事	室内娯楽（将棋や囲碁など）
ひとり暮らし	614	<u>64.5</u>	37.9	29.3	10.1	46.3	17.8	25.2	10.6	10.4	2.1
夫婦ふたり暮らし	1004	54.5	36.0	30.0	28.1	45.1	22.5	22.7	15.8	14.8	2.4
夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居	801	59.2	36.0	28.0	<u>32.8</u>	38.7	22.1	20.2	12.9	9.7	1.9
夫婦（または本人のみ）と親、兄弟などとの同居	56	41.1	39.3	12.5	17.9	32.1	12.5	25.0	16.1	7.1	1.8
その他	186	58.6	36.6	30.1	25.3	44.1	16.1	19.4	14.0	10.8	1.1

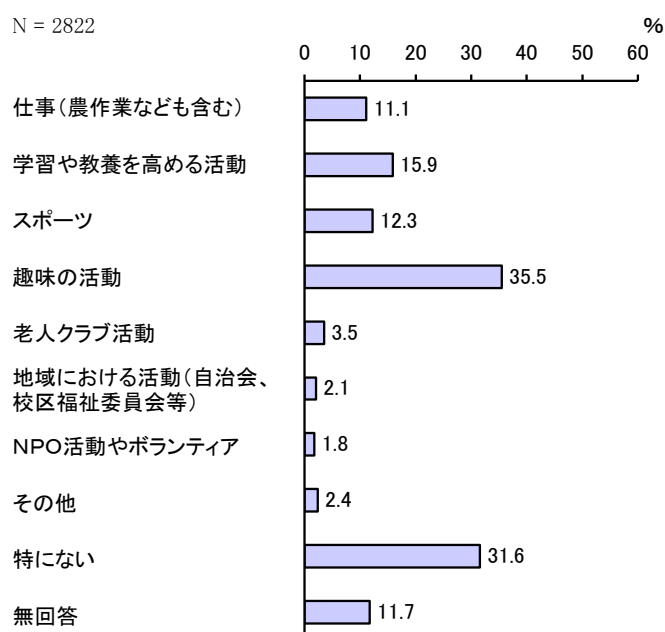
生きがいを感じる事 世帯状況	映画、音楽、美術鑑賞	老人クラブ活動	地域における活動（自治会、校区福祉委員会等）	NPO活動やボランティア	ドライブや小旅行	仕事（農作業なども含む）	家族の介護	孫等の育児のお手伝い	その他	特にない	無回答
ひとり暮らし	16.0	4.2	4.6	2.6	17.1	6.0	1.0	4.7	3.6	6.4	3.9
夫婦ふたり暮らし	14.2	4.3	4.7	3.3	<u>27.4</u>	14.3	1.2	12.9	3.3	3.1	1.9
夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居	12.1	4.5	5.1	1.6	20.5	12.7	1.1	9.0	2.9	4.7	2.6
夫婦（または本人のみ）と親、兄弟などとの同居	12.5	1.8	—	1.8	19.6	21.4	—	14.3	1.8	8.9	5.4
その他	11.8	4.8	4.3	3.8	19.9	9.1	2.2	4.8	5.9	5.9	2.7

Ⅲ 1 一般高齢者調査

問 22 あなたが今後やってみたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

「趣味の活動」が 35.5%と最も高く、次いで「特にない」が 31.6%となっています。

N = 2822



【性別】

「仕事（農作業なども含む）」「スポーツ」で男女の差が大きくなっています。

単位：%

性別 \ 今後やってみたいこと	有効回答数(件)	仕事(農作業なども含む)	学習や教養を高める活動	スポーツ	趣味の活動	老人クラブ活動	地域における活動(自治会、校区福祉委員会等)	NPO活動やボランティア	その他	特にない	無回答
男性	794	18.9	13.1	18.8	38.3	3.0	2.0	2.5	2.0	28.6	7.8
女性	1933	7.8	16.9	9.6	34.6	3.5	2.0	1.6	2.6	33.0	13.0

【区域別】

西区、南区で「趣味の活動」の割合が高くなっています。一方、東区、北区、美原区で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

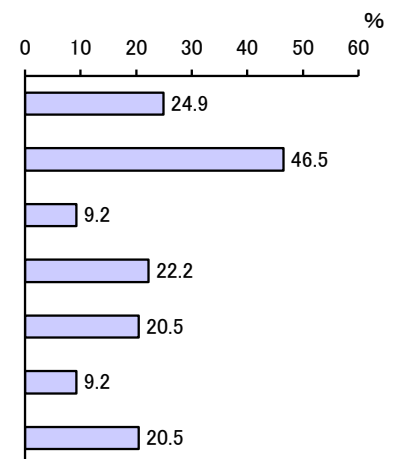
区域	今後や ってみたいこ と	有効回 答数 (件)	仕事 (農作業なども含む)	学習や教養を高める活動	スポーツ	趣味の活動	老人クラブ活動	地域における活動(自治会、 校区福祉委員会等)	NPO活動やボランティア	その他	特にない	無回答
堺区		462	13.0	13.2	13.6	36.4	3.7	2.6	1.1	2.4	29.9	11.5
中区		347	15.0	14.7	12.1	34.6	4.6	1.7	2.0	3.2	29.7	13.0
東区		318	10.4	17.0	11.3	31.4	2.8	2.8	1.3	1.9	35.8	12.6
西区		392	10.5	17.9	12.5	38.0	3.6	1.5	1.5	3.6	29.8	10.2
南区		575	9.2	19.0	13.0	38.4	3.7	2.4	3.7	2.1	28.9	10.3
北区		427	8.9	15.2	12.4	35.6	1.2	0.9	1.2	2.3	34.4	12.9
美原区		203	10.8	11.8	11.8	31.0	4.4	1.5	1.5	1.5	34.5	12.8

問 22－1 問 22 で「5. 老人クラブ活動」「6. 地域における活動」「7. NPO活動やボランティア」と回答した方にお伺いします。あなたがこれまでこれらの活動に参加されていなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

「活動を始めのきっかけがない」が46.5%と最も高く、「活動をする時間がない」が24.9%、「活動と一緒にする仲間がない」が22.2%となっています。

N = 185

活動をする時間がない
活動を始めのきっかけがない
活動資金がない
活動と一緒にする仲間がない
情報や助言などがどこで得られるのかわからない
その他
無回答

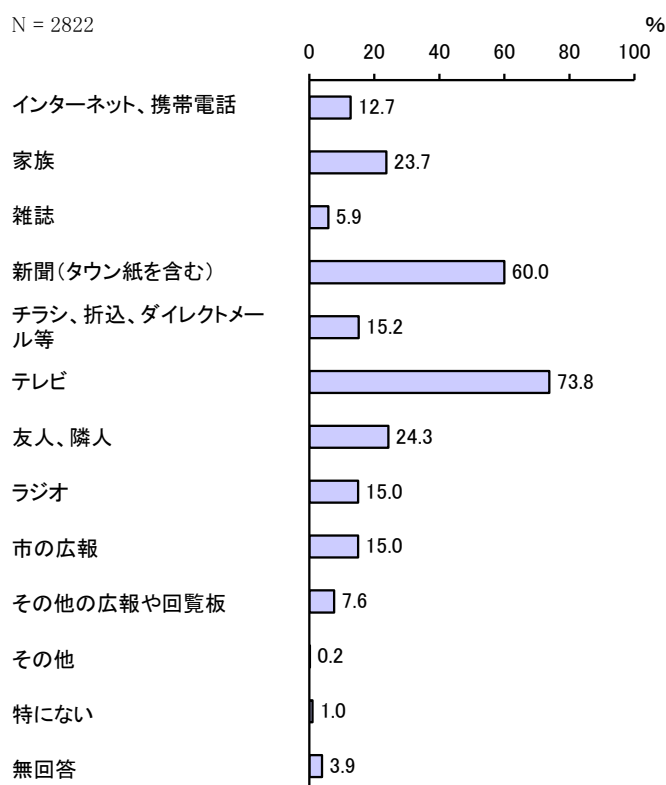


Ⅲ 1 一般高齢者調査

問 23 あなたは日常生活に関する情報をどこから得ていますか。(〇は3つまで)

「テレビ」が 73.8%と最も高く、次いで「新聞(タウン紙を含む)」が 60.0%、「友人、隣人」が 24.3%、「家族」が 23.7%となっています。

N = 2822



【年齢別】

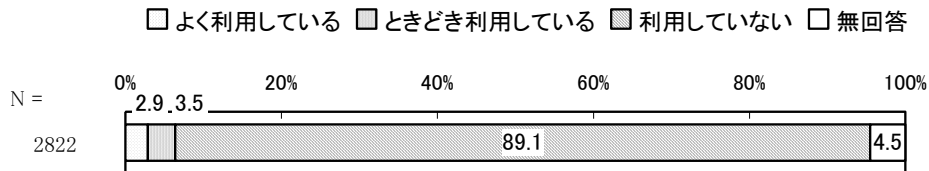
65歳～69歳、70歳～74歳の前期高齢者では、「インターネット、携帯電話」の割合が高くなっています。

単位：%

情報入手手段 年齢	有効回答数 (件)	インターネット、 携帯電話	家族	雑誌	新聞(タウン紙を 含む)	チラシ、折込、 ダイレクトメール等	テレビ	友人、 隣人	ラジオ	市の広報	その他の広報や 回覧板	その他	特にない	無回答
65歳～69歳	798	<u>21.9</u>	22.6	6.9	67.0	13.3	74.7	23.2	13.9	14.4	5.9	0.1	0.6	3.3
70歳～74歳	798	<u>15.4</u>	21.4	6.0	60.4	16.9	74.1	26.6	16.5	14.9	7.8	0.1	0.9	2.5
75歳～79歳	583	5.5	22.3	5.5	58.1	17.7	71.4	27.4	18.0	16.5	6.9	0.2	0.9	5.3
80歳～84歳	338	5.0	25.7	4.7	57.7	15.1	71.3	21.0	11.5	15.4	11.5	—	1.5	5.0
85歳～89歳	168	2.4	31.0	8.3	50.0	11.3	78.0	17.9	10.7	14.3	8.9	0.6	1.8	4.8
90歳以上	77	2.6	37.7	1.3	46.8	10.4	77.9	13.0	11.7	13.0	5.2	—	1.3	7.8

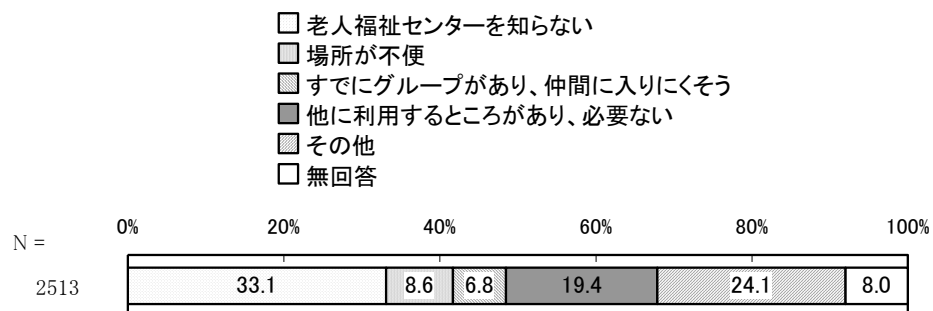
問 24 老人福祉センターは、高齢者の健康の増進、生きがいづくり、レクリエーション活動等に利用できる施設です。あなたは、老人福祉センターを利用していますか。(○はひとつ)

「よく利用している」「ときどき利用している」が合わせて 6.4%となっている一方で、「利用していない」が 89.1%となっています。



問 24-1 問 24 で「3. 利用していない」と回答した方にお伺いします。老人福祉センターを利用していない理由はなぜですか。(○はひとつ)

「老人福祉センターを知らない」が 33.1%と最も高く、「他に利用するところがあり、必要ない」が 19.4%などとなっています。



【年齢別】

65 歳～69 歳、85 歳～89 歳では、「老人福祉センターを知らない」の割合が高くなっています。



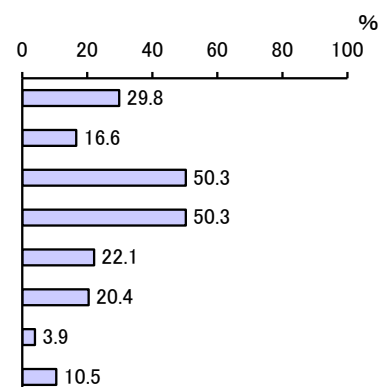
Ⅲ 1 一般高齢者調査

問 24-2 問 24 で「1. よく利用している」「2. ときどき利用している」と回答した方にお伺いします。あなたは、老人福祉センターを利用するにあたって何を重視しますか。(〇はいくつでも)

「趣味の活動ができる」、「仲間で集まれる場がある」がともに 50.3%と最も高く、「運動ができる」が 29.8%などとなっています。

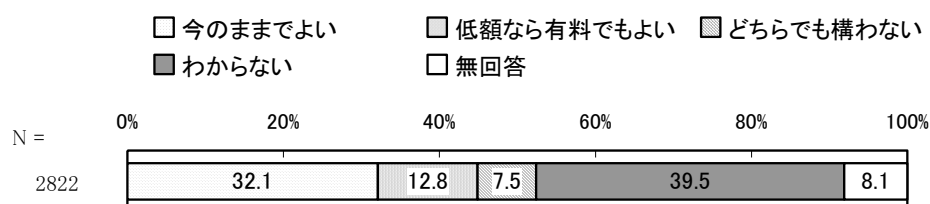
N = 181

運動ができる
教養を身につける場がある
趣味の活動ができる
仲間で集まれる場がある
お風呂がある
自宅の近所にある
その他
無回答



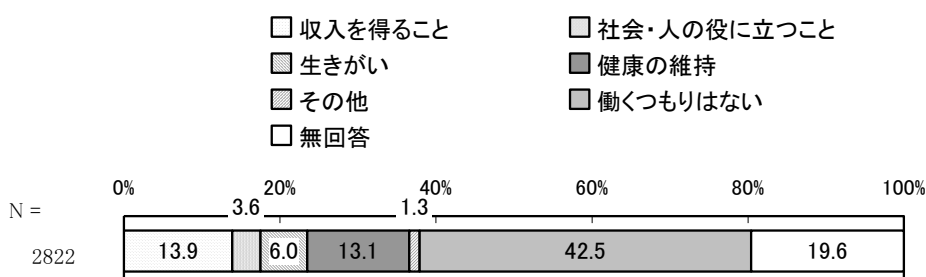
問 25 老人福祉センターは現在無料でご利用いただいています。あなたは、老人福祉センターの利用料についてどう思いますか。(〇はひとつ)

「わからない」が 39.5%と最も高く、「今のままでよい」が 32.1%、「低額なら有料でもよい」が 12.8%となっています。



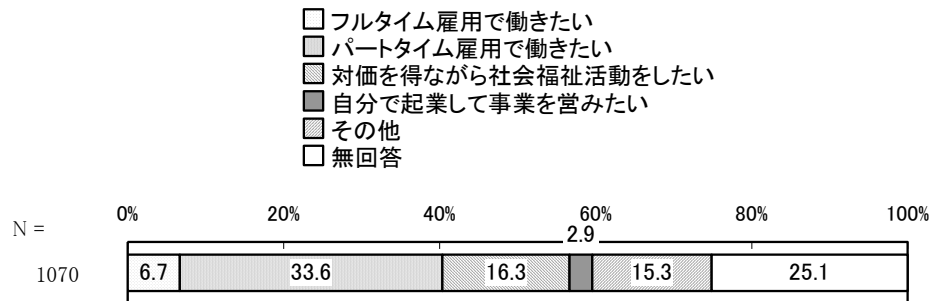
問 26 これから働き始めようとする（または引き続き働き続ける）場合に、あなたが仕事に一番求めるものは何ですか。(〇はひとつ)

「働くつもりはない」が 42.5%、無回答が 19.6%となっている一方で、「収入を得ること」が 13.9%、「健康の維持」が 13.1%となっています。37.9%の人が仕事に対して何らかの関心を持っています。



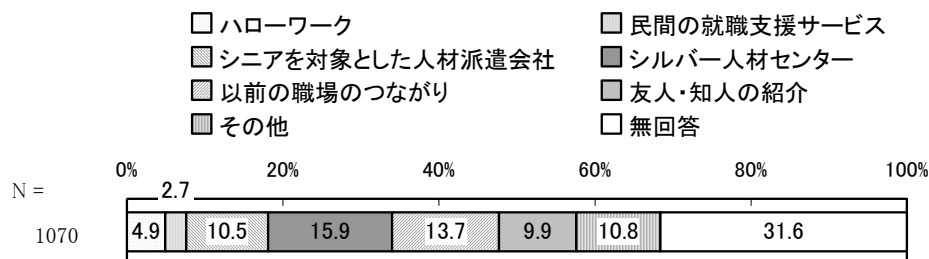
問 26－1 問 26 で「1.」～「5.」と回答した方（仕事に求めるものがある方）にお伺いします。どのように働きたいですか。（○はひとつ）

「パートタイム雇用で働きたい」が 33.6%、「対価を得ながら社会福祉活動をしたい」が 16.3%などとなっています。また無回答も 25.1%と多くみられます。



問 26－2 どのようなところを利用して働きたいですか。（○はひとつ）

無回答が 31.6%を占めている一方で、回答している人の中では「シルバー人材センター」が 15.9%と最も高く、「以前の職場のつながり」が 13.7%、「シニアを対象とした人材派遣会社」が 10.5%となっています。



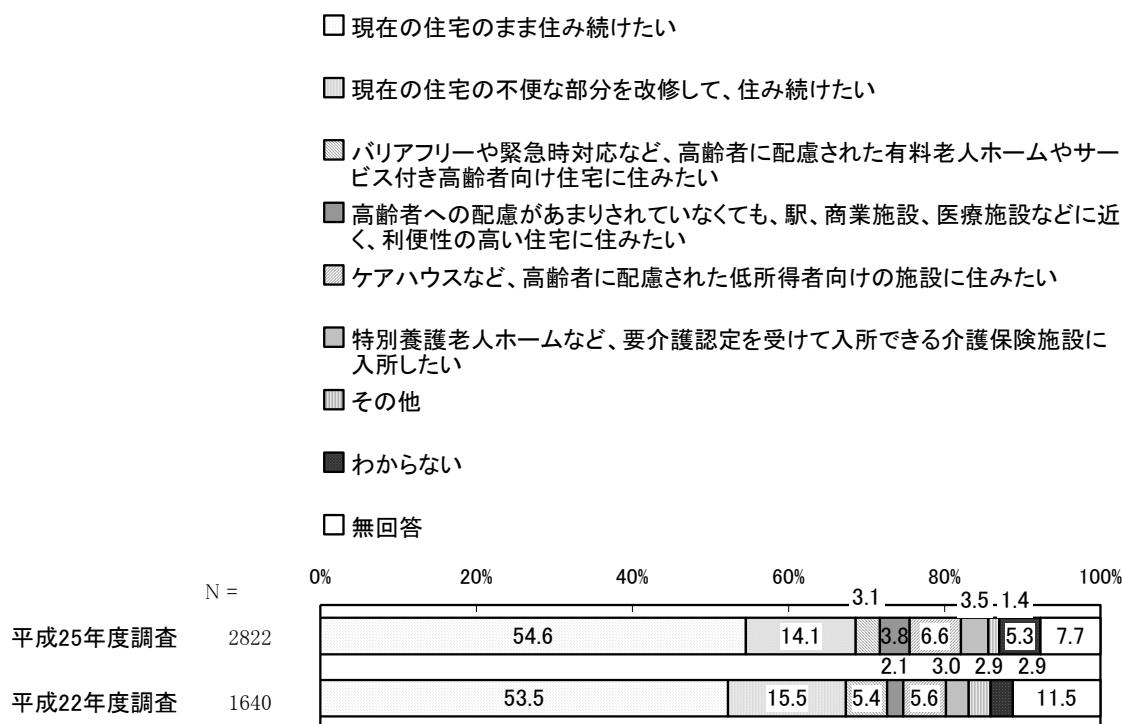
Ⅲ 1 一般高齢者調査

(4) 住まいについて

問 27 あなたは、将来どのような住宅（施設）で暮らしたいですか。（○はひとつ）

「現在の住宅のまま住み続けたい」が 54.6%と最も高く、「現在の住宅の不便な部分を改修して、住み続けたい」が 14.1%となっており、合わせて約 7 割の人が現在の住宅で住み続けることを望んでいます。

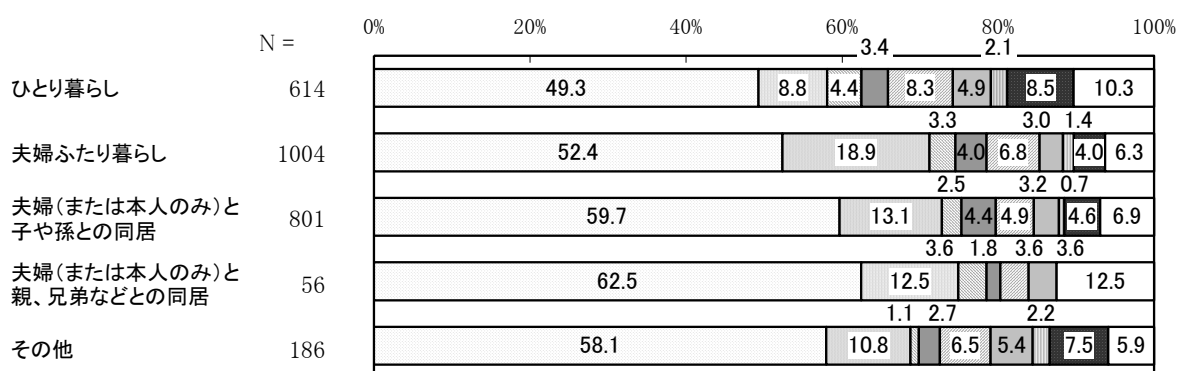
なお、前回調査と比べても、大きな差異はみられません。



※「バリアフリーや緊急時対応など、高齢者に配慮された有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に住みたい」は平成 22 年度調査の「高齢者に配慮された住宅に住み替え」と「有料老人ホームなど」の合計値、「ケアハウスなど、高齢者に配慮された低所得者向けの施設に住みたい」は平成 22 年度調査の「ケアハウス」と「家賃の負担が低い住宅」の合計値と比較しています。

【世帯状況別】

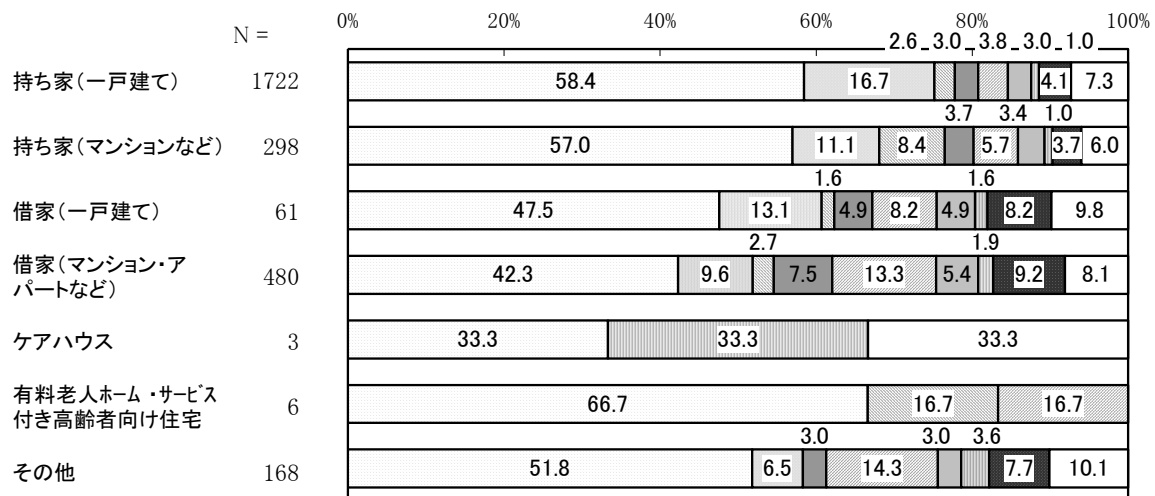
夫婦ふたり暮らしで「現在の住宅の不便な部分を改修して、住み続けたい」の割合が高くなっています。一方、ひとり暮らしでは「現在の住宅のまま住み続けたい」と「現在の住宅の不便な部分を改修して、住み続けたい」を合わせた“現在の住宅で住み続けたい”人の割合が低い傾向にあります。



【住まいの状況別】

持ち家（一戸建て）で「現在の住宅の不便な部分を改修して、住み続けたい」の割合が高くなっています。持ち家では借家と比べて「現在の住宅のまま住み続けたい」と「現在の住宅の不便な部分を改修して、住み続けたい」を合わせた“現在の住宅で住み続けたい”人の割合が高い傾向にあります。

- ☐ 現在の住宅のまま住み続けたい
- ☐ 現在の住宅の不便な部分を改修して、住み続けたい
- ☐ バリアフリーや緊急時対応など、高齢者に配慮された有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に住みたい
- ☐ 高齢者への配慮があまりされていなくても、駅、商業施設、医療施設などに近く、利便性の高い住宅に住みたい
- ☐ ケアハウスなど、高齢者に配慮された低所得者向けの施設に住みたい
- ☐ 特別養護老人ホームなど、要介護認定を受けて入所できる介護保険施設に入所したい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答

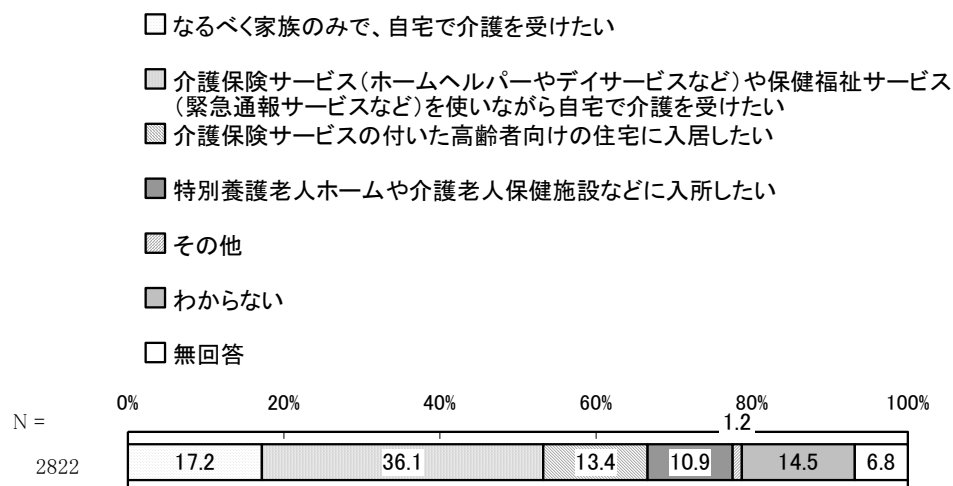


Ⅲ 1 一般高齢者調査

(5) 介護について

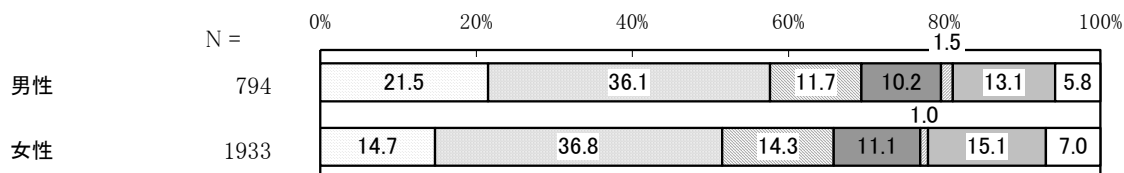
問 28 あなたに介護が必要となった場合、どのような介護を受けたいと思いますか。
(○はひとつ)

「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」が 36.1%と最も高く、「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」が 17.2%、「わからない」が 14.5%となっています。半数以上の人が在宅での介護を望んでいます。



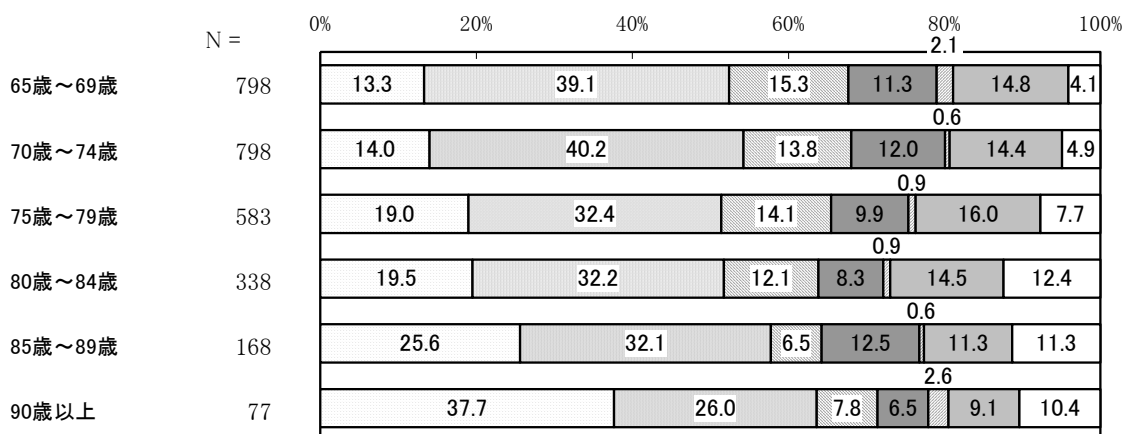
【性別】

女性に比べ、男性で「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」の割合が高くなっています。



【年齢別】

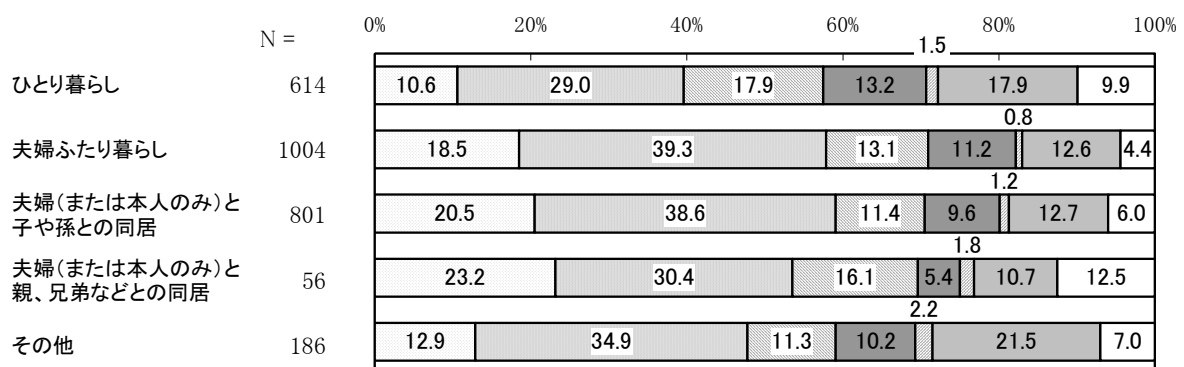
年齢が上がるにつれ「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」の割合が高くなる一方で、無回答も 85 歳未満までは年齢とともに割合が高くなっています。



【世帯状況別】

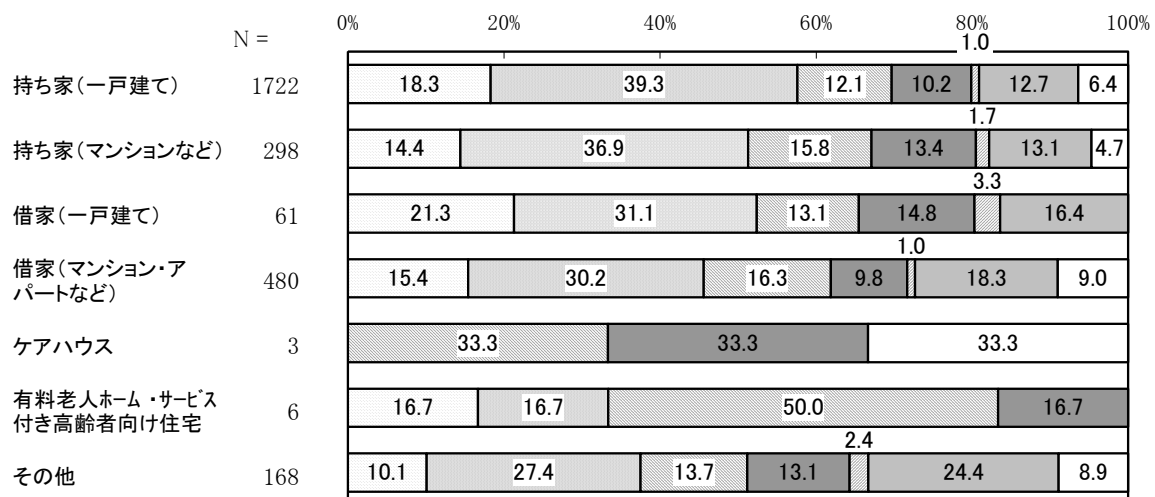
夫婦ふたり暮らし、夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」の割合が高くなっています。

- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービスの付いた高齢者向けの住宅に入居したい
- ☐ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所したい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



【住まいの状況別】

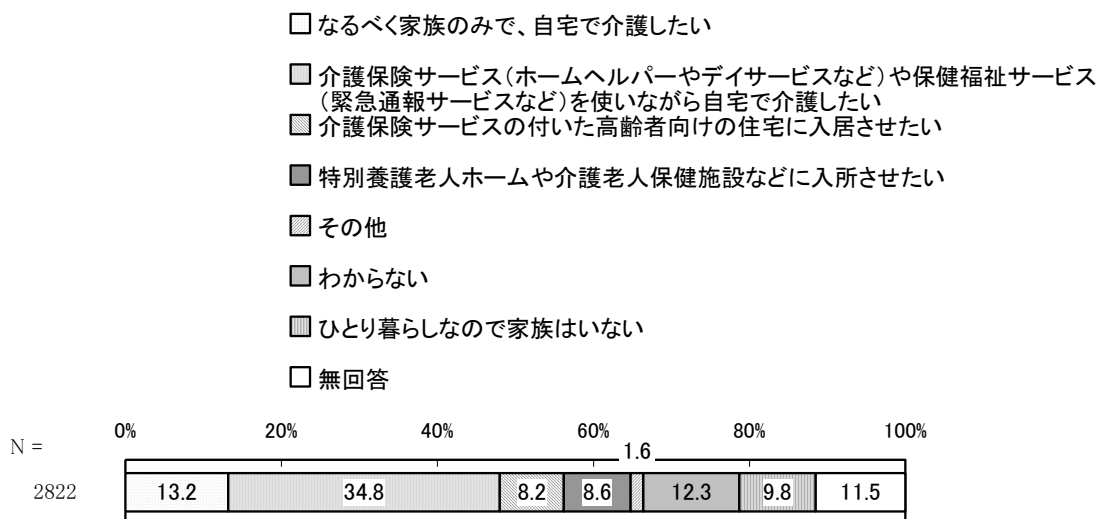
持ち家（一戸建て）、持ち家（マンションなど）で「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」の割合が高くなっています。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

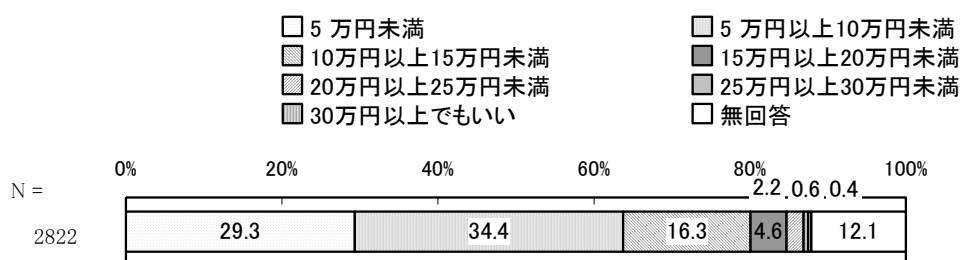
問 29 あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。
(○はひとつ)

「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」が 34.8%と最も高く、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が 13.2%、「わからない」が 12.3%となっています。約半数の人が在宅で介護することを望んでいます。



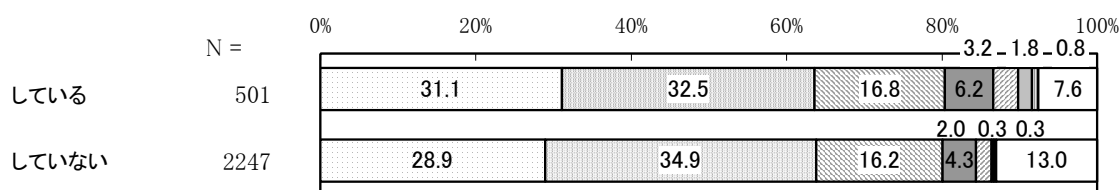
問 30 高齢者向けの住宅などに住み替えたり、介護保険施設に入所する場合、食費、居住費、介護費用も含めて毎月の支払額は、いくらぐらいまでなら負担できますか。(○はひとつ)

「5 万円以上 10 万円未満」が 34.4%と最も高く、次いで「5 万円未満」が 29.3%、「10 万円以上 15 万円未満」が 16.3%となっています。



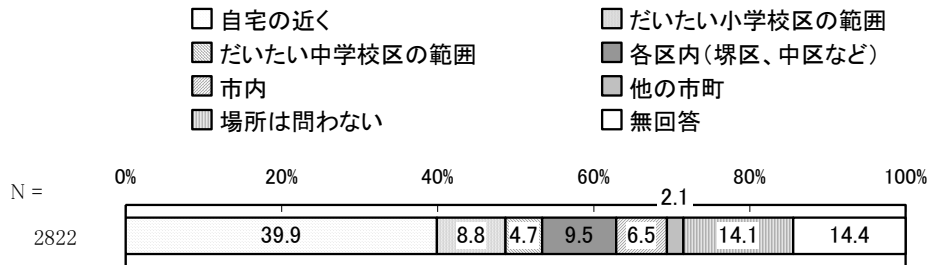
【収入のある仕事の有無別】

収入の有無による大きな差異はみられません。



問 31 高齢者向けの住宅などに住み替えたり、介護保険施設に入所する場合、希望する場所はどこですか。(〇はひとつ)

「自宅の近く」が 39.9%と最も高く、「場所は問わない」が 14.1%などとなっています。



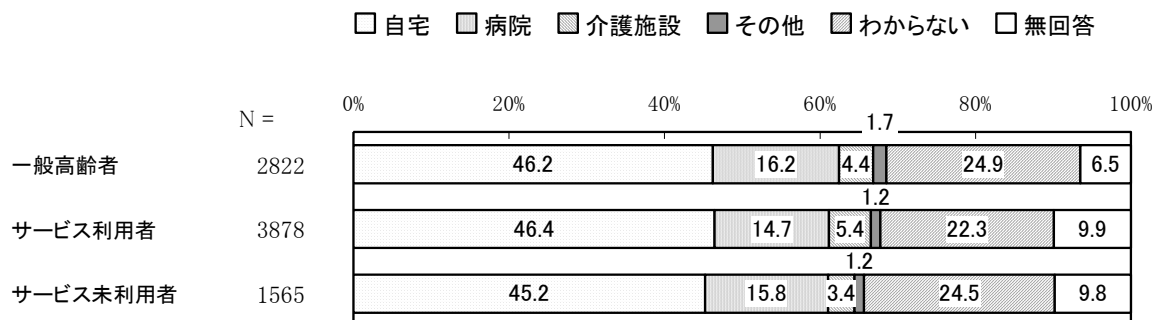
【世帯状況別】

ひとり暮らしで「場所は問わない」、夫婦ふたり暮らしや、夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「自宅近く」の割合が高くなっています。



問 32 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(〇はひとつ)

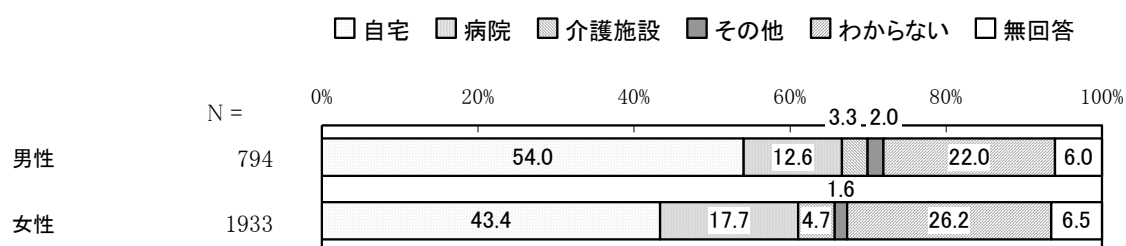
「自宅」が 46.2%と最も高く、「わからない」が 24.9%、「病院」が 16.2%となっています。なおサービス利用者、サービス未利用者においても同じ傾向となっています。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

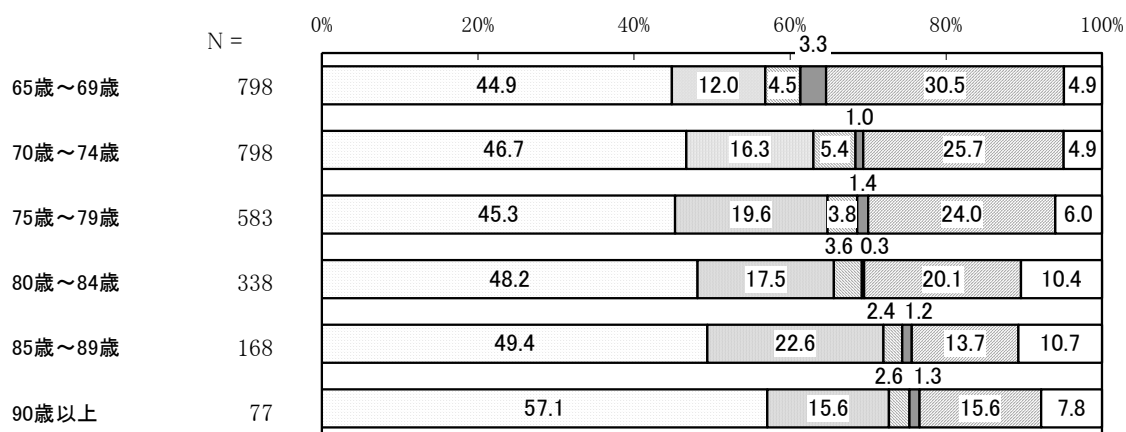
【性別】

男性は女性に比べ、「自宅」の割合が高く、「病院」の割合が低くなっています。



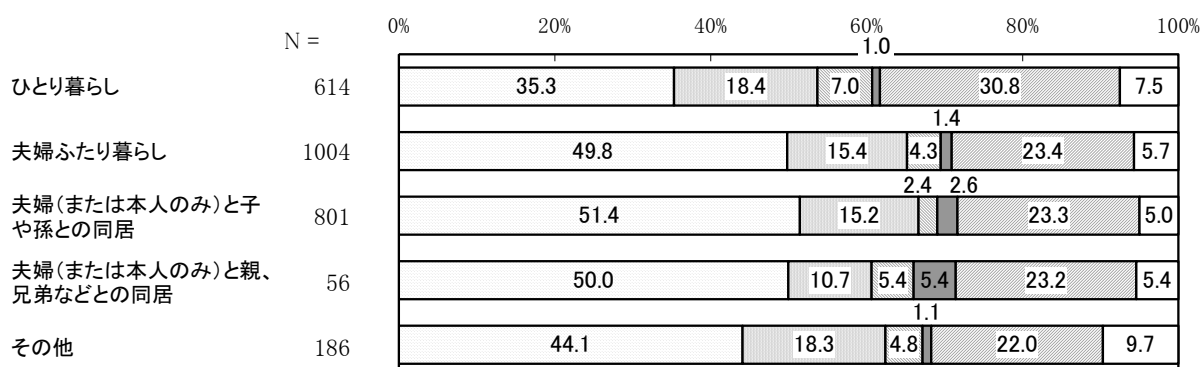
【年齢別】

全体的な傾向として、年齢が上がるにつれ、「自宅」の割合が高くなり、「わからない」の割合が低くなっています。



【世帯状況別】

ひとり暮らしで「自宅」の割合が低く、「わからない」の割合が高くなっています。

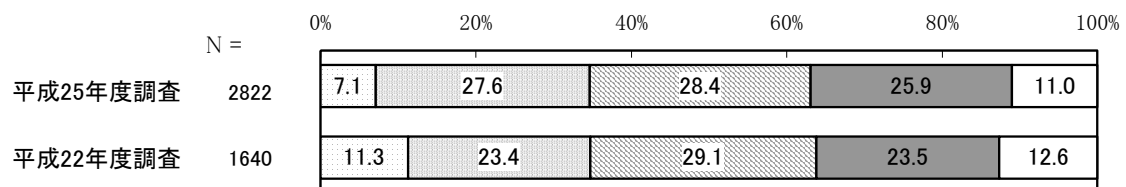


問 33 現行の介護保険制度は、サービスを利用する人が増えたり、一人ひとりの利用するサービスの量が増えることによって介護保険料が上昇する仕組みとなっています。堺市の今後の介護保険料について、あなたのお考えに近いのは次のどれですか。(○はひとつ)

「現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度、介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない」が 28.4%と最も高く、次いで「介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない」が 27.6%、「わからない」が 25.9%となっています。

前回調査と比べると、「高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方ない」が 4.2 ポイント低くなっている一方で、「介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない」が 4.2 ポイント高くなっています。

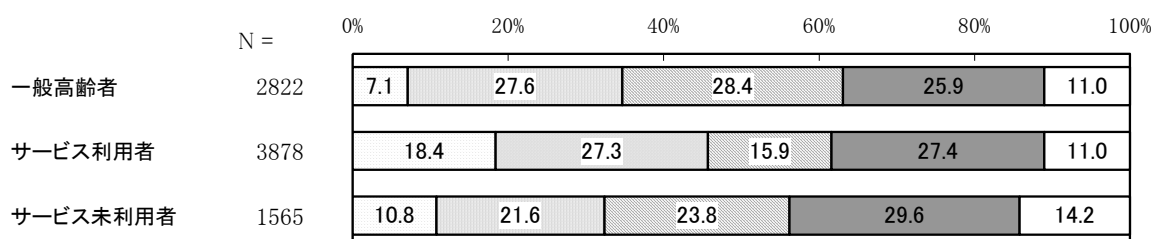
- ☐ 高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方ない
☐ 介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない
☐ 現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度、介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない
☐ わからない
☐ 無回答



【一般高齢者、サービス利用者、サービス未利用者での比較】

一般高齢者においては「介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない」とする意見の割合が最も高くなっており、サービス未利用者においても「わからない」を除けば最も割合が高くなっています。

一方、サービス利用者においては、「わからない」を除けば、「介護予防対策が重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方ない」とする意見の割合が最も高くなっています。



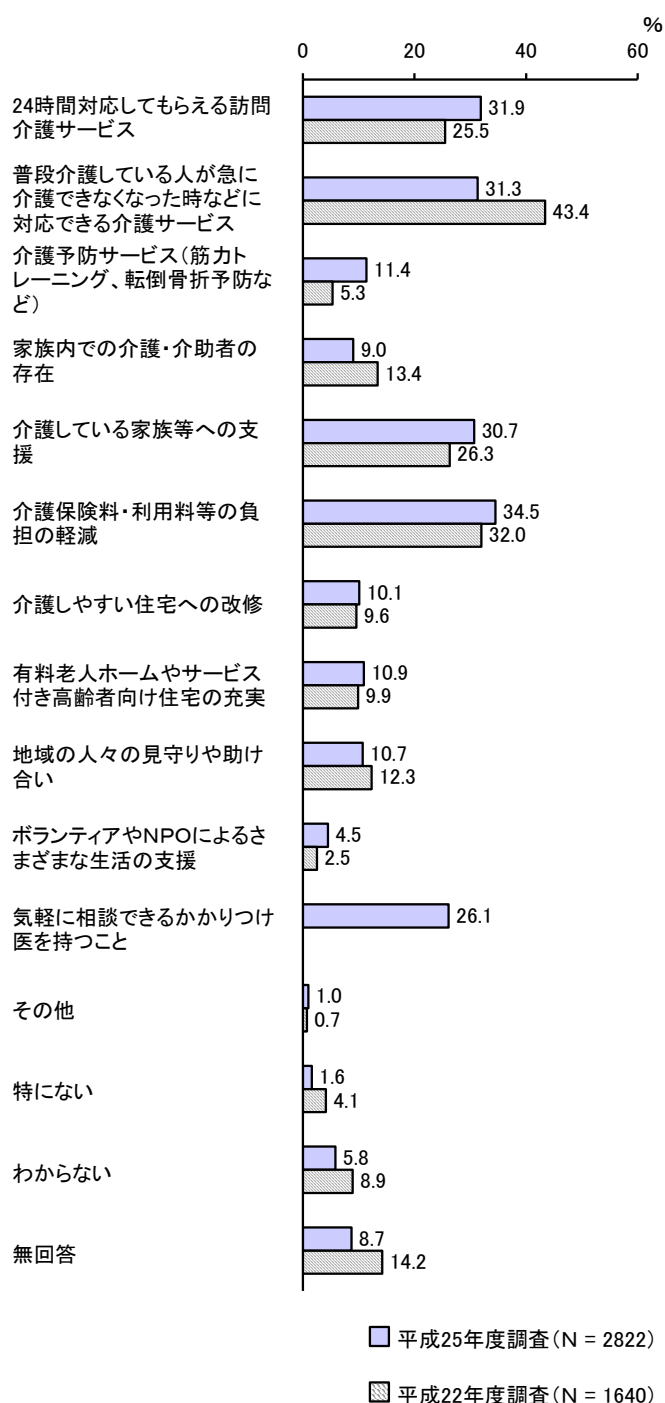
Ⅲ 1 一般高齢者調査

(6) 住み慣れた地域で暮らし続けることについて

問 34 高齢者ができる限り自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、あなたは、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「介護保険料・利用料等の負担の軽減」が 34.5%と最も高く、次いで「24 時間対応してもらえる訪問介護サービス」が 31.9%、「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」が 31.3%となっています。

前回調査と比べると、「24 時間対応してもらえる訪問介護サービス」「介護予防サービス（筋力トレーニング、転倒骨折予防など）」の割合が上昇しています。一方、「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」の割合が低下しています。



※平成 22 年度調査には、「気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと」はありません。

【世帯状況別】

夫婦（または本人のみ）と親、兄弟などとの同居で「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」の割合が高くなっています。

単位：％

世帯状況	有効回答数（件）	24時間対応してもらえる訪問介護サービス	普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス	介護予防サービス（筋力トレーニング、転倒骨折予防など）	家族内での介護・介助者の存在	介護している家族等への支援	介護保険料・利用料等の負担の軽減	介護しやすい住宅への改修
ひとり暮らし	614	35.2	14.8	11.6	3.6	16.1	29.8	8.8
夫婦ふたり暮らし	1004	33.7	39.3	11.3	11.0	36.2	38.8	12.7
夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居	801	28.5	36.2	12.9	11.2	37.7	35.7	9.6
夫婦（または本人のみ）と親、兄弟などとの同居	56	28.6	46.4	8.9	12.5	37.5	26.8	3.6
その他	186	28.0	26.3	8.6	7.5	28.5	32.8	4.8

世帯状況	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の充実	地域の人の見守りや助け合い	ボランティアやNPOによるさまざまな生活の支援	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	その他	特にない	わからない	無回答
ひとり暮らし	14.0	13.7	6.0	29.2	0.8	2.6	8.8	11.6
夫婦ふたり暮らし	11.2	11.1	4.3	24.8	1.1	0.9	4.0	6.1
夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居	9.5	7.4	3.7	25.6	0.9	1.1	5.1	7.2
夫婦（または本人のみ）と親、兄弟などとの同居	7.1	5.4	1.8	23.2	—	1.8	—	12.5
その他	10.8	14.0	5.9	27.4	1.1	3.2	5.4	10.2

Ⅲ 1 一般高齢者調査

【一般高齢者、サービス利用者、サービス未利用者での比較】

いずれも上位5位に入る項目は同じですが、その順に違いがみられます。一般高齢者やサービス未利用者においては、「介護保険料・利用料等の負担の軽減」の割合が最も高い一方、サービス利用者においては「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」の割合が最も高くなっています。

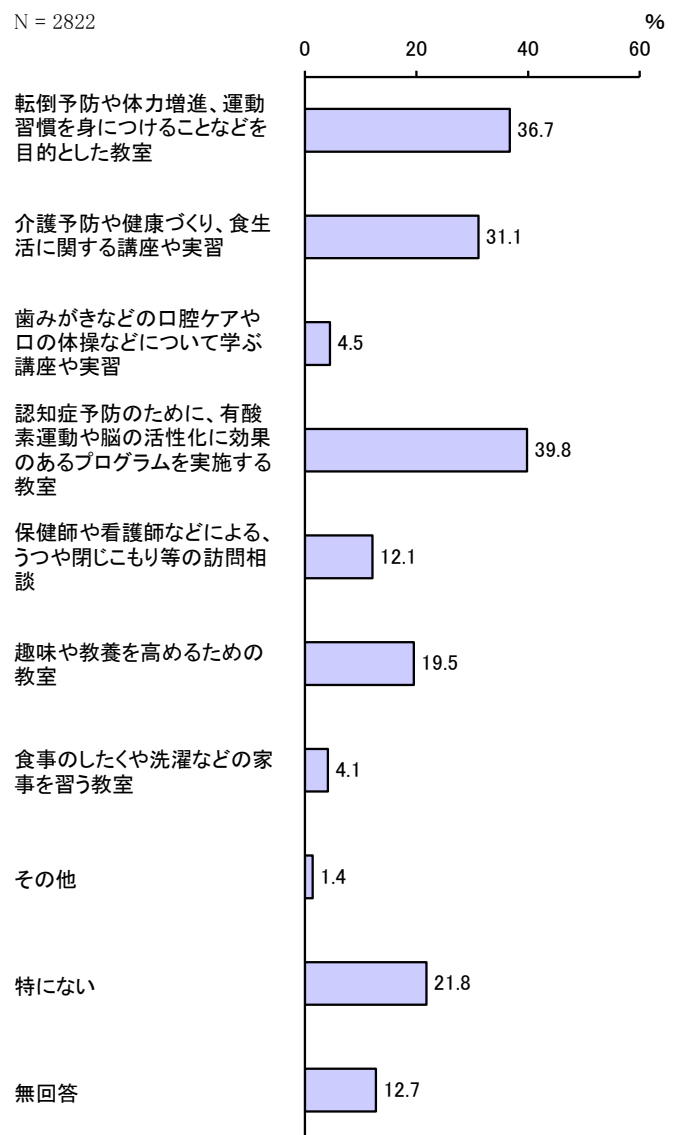
また一般高齢者においては、上位5位のいずれも回答した人が25%以上となっており、介護保険サービス利用者、介護保険サービス未利用者よりも高いポイントを示しています。

	一般高齢者	サービス利用者	サービス未利用者
有効回答数 (件)	2822	3878	1565
1位	介護保険料・利用料等の負担の軽減 34.5%	普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス 30.5%	介護保険料・利用料等の負担の軽減 30.3%
2位	24 時間対応してもらえる訪問介護サービス 31.9%	24 時間対応してもらえる訪問介護サービス 26.8%	普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス 25.5%
3位	普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス 31.3%	介護保険料・利用料等の負担の軽減 24.8%	24 時間対応してもらえる訪問介護サービス 24.7%
4位	介護している家族等への支援 30.7%	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと 20.3%	介護をしている家族等への支援 23.5%
5位	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと 26.1%	介護をしている家族等への支援 19.3%	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと 21.2%

問 35 介護予防を支援するサービスで、民間事業者が提供するものを含めて、どのようなサービスがあれば、利用したいと思いますか（利用しているものも含む）。（○は3つまで）

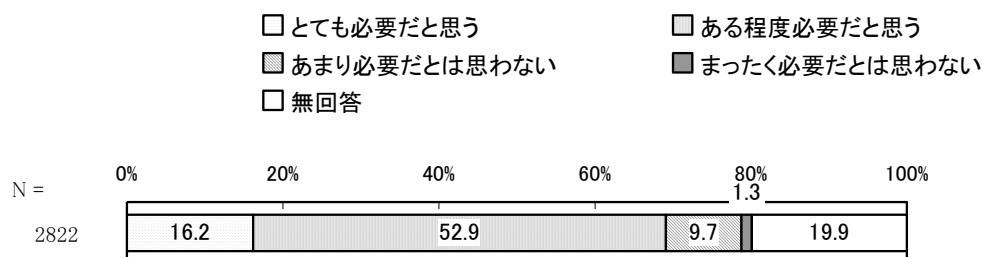
「認知症予防のために、有酸素運動や脳の活性化に効果のあるプログラムを実施する教室」が 39.8%と最も高く、次いで「転倒予防や体力増進、運動習慣を身につけることなどを目的とした教室」が 36.7%、「介護予防や健康づくり、食生活に関する講座や実習」が 31.1%となっています。

N = 2822



問 36 あなたは、住民相互の自主的な支えあいや助けあいが必要だと思いますか。（1つに○）

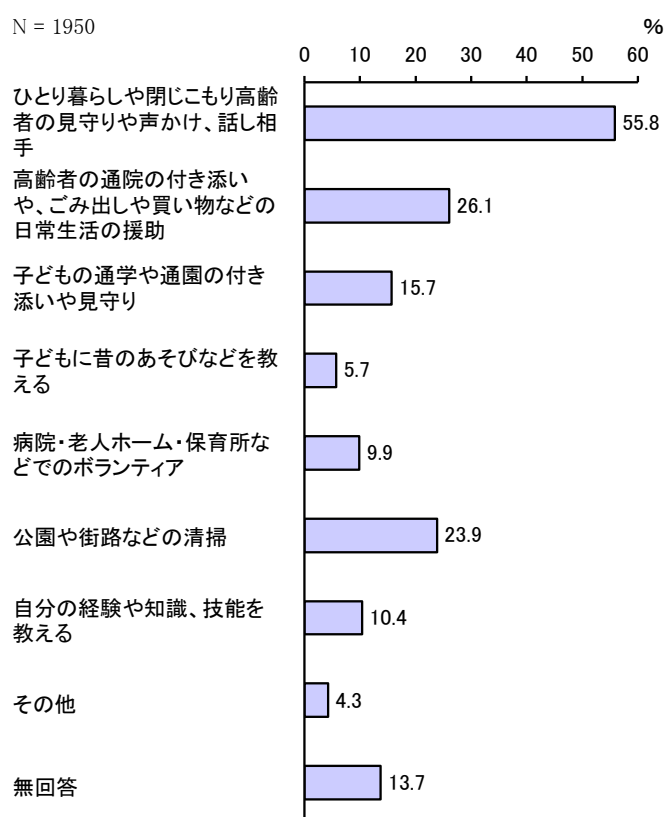
「ある程度必要だと思う」が 52.9%と最も高く、「とても必要だと思う」が 16.2%となっており、合わせて約7割の人が必要性を感じています。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

問 36－1 問 36 で「1.」「2.」（必要だと思う）と回答した方にお伺いします。あなたは、住民相互の支えあいや助け合いについて、どのような活動であれば参加したいですか。（〇はいくつでも）

「ひとり暮らしや閉じこもり高齢者の見守りや声かけ、話し相手」が 55.8% と最も高く、「高齢者の通院の付き添いや、ごみ出しや買い物などの日常生活の援助」が 26.1%、「公園や街路などの清掃」が 23.9%となっています。



【性別】

男性で「子どもの通学や通園の付き添いや見守り」「公園や街路などの清掃」「自分の経験や知識、技能を教える」の割合が高く、女性で「ひとり暮らしや閉じこもり高齢者の見守りや声かけ、話し相手」の割合が高くなっています。

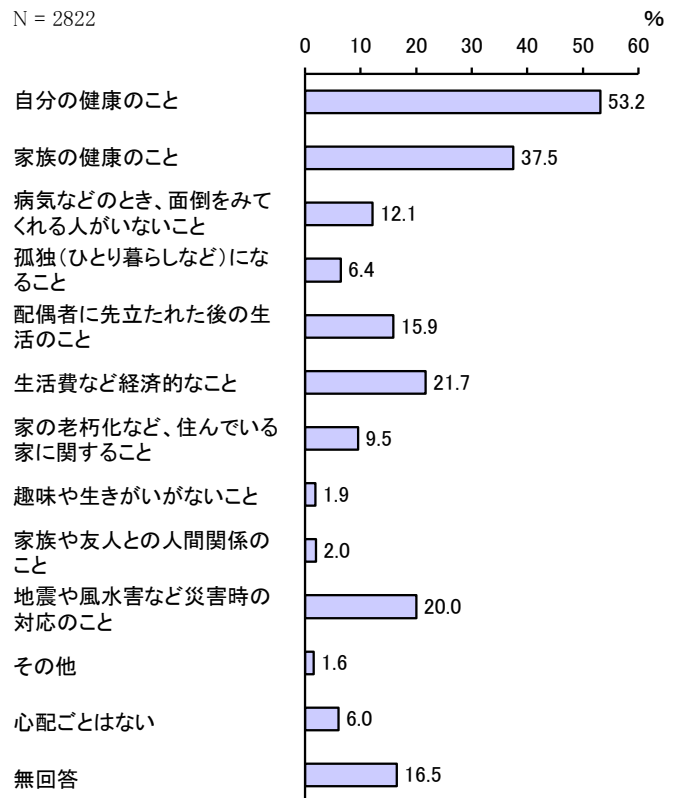
単位：％

性別 \ 参加したい活動	有効回答数（件）	ひとり暮らしや閉じこもり高齢者の見守りや声かけ、話し相手	高齢者の通院の付き添いや、ごみ出しや買い物などの日常生活の援助	子どもの通学や通園の付き添いや見守り	子どもに昔のあそびなどを教える	病院・老人ホーム・保育所などでのボランティア	公園や街路などの清掃	自分の経験や知識、技能を教える	その他	無回答
男性	573	52.0	25.1	26.9	8.2	8.7	31.1	16.6	3.8	8.7
女性	1318	57.2	26.9	11.2	4.6	10.5	20.7	7.5	4.4	15.9

問 37 あなたには心配ごとや悩みごとがありますか。(○は3つまで)

「自分の健康のこと」が 53.2%と最も高く、「家族の健康のこと」が 37.5%、「生活費など経済的なこと」が 21.7%となっています。

N = 2822



【年齢別】

65～69 歳、70～74 歳の前期高齢者で「生活費など経済的なこと」の割合が高くなっています。

単位：%

年齢 \ 心配ごとや悩みごと	有効回答数(件)	自分の健康のこと	家族の健康のこと	病気などのとき、面倒をみってくれる人がいないこと	孤独(ひとり暮らしなど)になること	配偶者に先立たれた後の生活のこと	生活費など経済的なこと	家の老朽化など、住んでいる家に関する	趣味や生きがいがないこと	家族や友人との人間関係のこと	地震や風水害など災害時の対応のこと	その他	心配ごとはない	無回答
65 歳～69 歳	798	45.7	41.1	9.0	5.9	18.5	<u>25.4</u>	10.2	1.8	2.8	16.7	2.0	7.6	15.5
70 歳～74 歳	798	54.0	38.0	12.9	10.2	21.6	<u>26.2</u>	10.8	2.1	2.3	19.0	2.0	4.3	13.5
75 歳～79 歳	583	60.4	39.6	14.1	4.8	13.4	18.7	9.1	2.1	1.9	21.8	1.2	5.0	16.3
80 歳～84 歳	338	57.7	31.1	17.2	5.3	8.9	12.7	4.7	0.3	0.9	25.4	0.9	5.0	21.9
85 歳～89 歳	168	57.7	28.6	10.1	3.0	7.1	14.3	10.7	4.8	1.8	23.2	1.2	7.1	20.8
90 歳以上	77	45.5	24.7	2.6	2.6	—	9.1	6.5	1.3	—	19.5	1.3	16.9	23.4

Ⅲ 1 一般高齢者調査

【世帯状況別】

ひとり暮らしで「病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

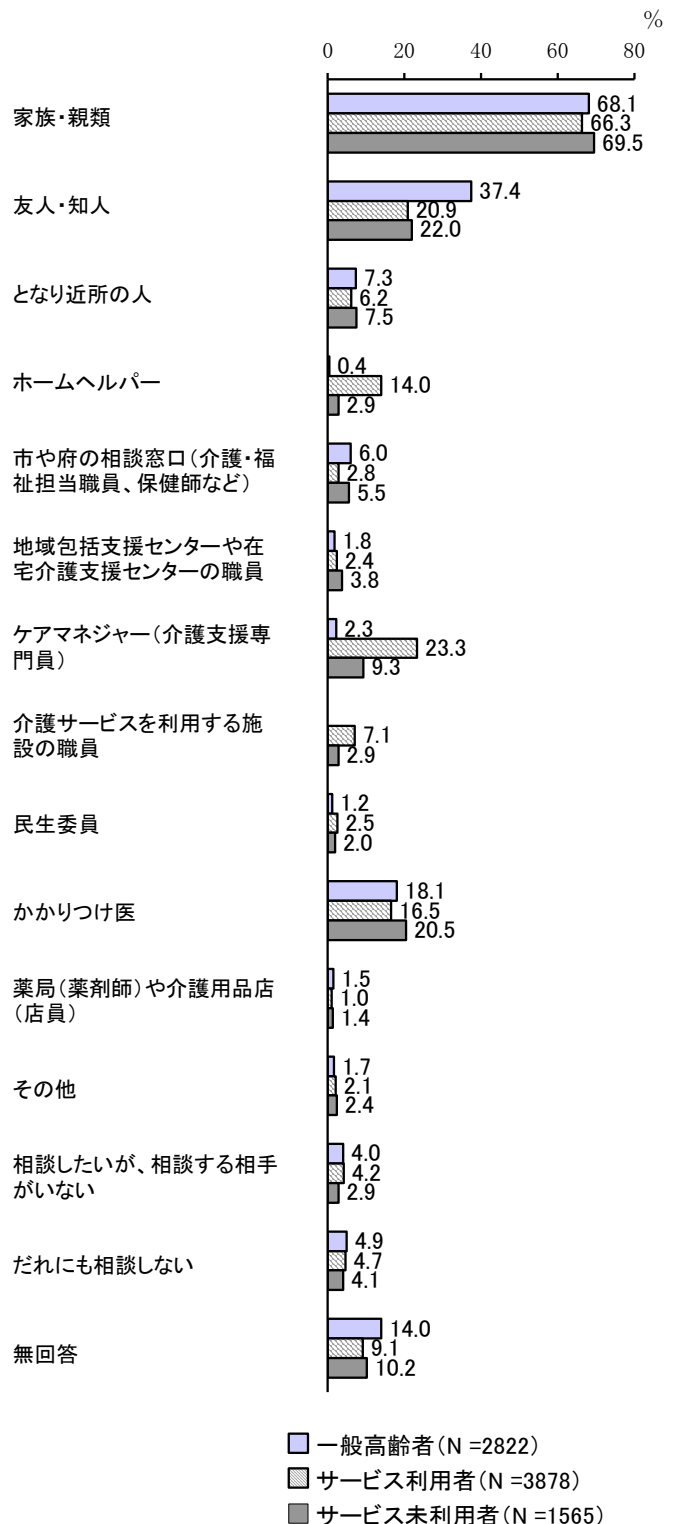
世帯状況 とご ごみ 配 心 やと	有効回答数(件)	自分の健康のこと	家族の健康のこと	病気などのとき、面倒をみ てくれる人がいないこと	孤独(ひとり暮らしなど) になること	配偶者に先立たれた後の 生活のこと	生活費など経済的なこと	家の老朽化など、住んでい る家に関すること	趣味や生きがいがないこ と	家族や友人との人間関係 のこと	地震や風水害など災害時 の対応のこと	その他	心配ことはない	無回答
ひとり暮らし	614	58.0	10.6	28.3	7.8	2.6	26.1	8.6	2.6	2.0	22.0	1.8	5.2	18.6
夫婦ふたり暮らし	1004	51.2	50.1	7.2	9.6	30.4	17.0	8.6	1.8	1.9	18.6	1.4	5.5	15.2
夫婦(または本人のみ)と子や孫との同居	801	52.7	45.1	5.5	2.7	12.7	23.5	11.2	1.6	2.5	19.1	1.7	7.2	14.6
夫婦(または本人のみ)と親、兄弟などとの同居	56	41.1	35.7	12.5	5.4	10.7	14.3	8.9	1.8	1.8	30.4	—	3.6	23.2
その他	186	59.1	34.9	11.8	3.2	3.8	21.0	9.7	1.6	2.2	20.4	2.2	5.4	21.5

問 38 あなたはだれに心配ごとや悩みごとを聞いてもらったり、相談したりしますか。
(○は3つまで)

「家族・親類」が68.1%と最も高く、
「友人・知人」が37.4%、「かかりつけ
医」が18.1%となっています。

【一般高齢者、サービス利用者、サービ ス未利用者での比較】

一般高齢者、サービス利用者、サー
ビス未利用者のいずれも、「家族・親類」
が最も割合が高く、このほか「友人・
知人」「かかりつけ医」が上位となっ
ています。また、サービス利用者では「家
族・親類」に次いで「ケアマネジャー
(介護支援専門員)」の割合が高くなっ
ています。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

【世帯状況別】

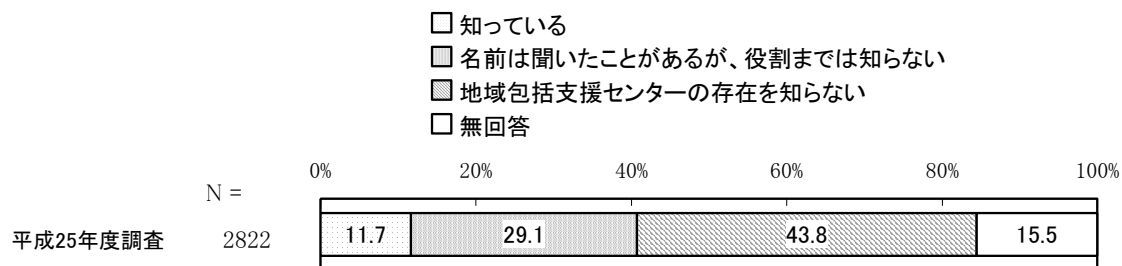
ひとり暮らしで「家族・親類」の割合が低くなっています。

単位：％

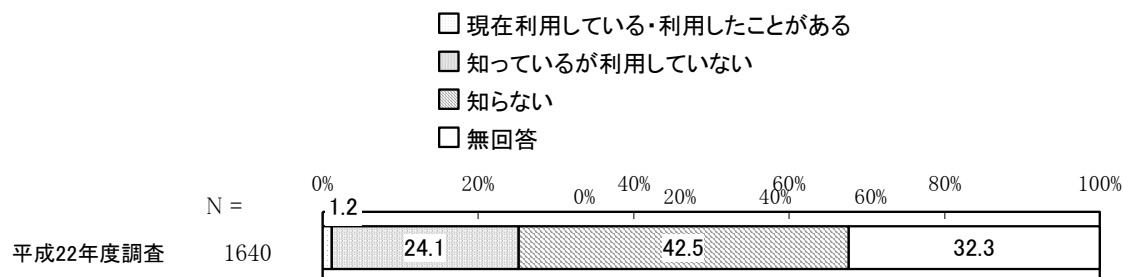
相談相手 世帯状況	有効回答数 (件)	家族・親類	友人・知人	となり近所の人	ホームヘルパー	福祉担当職員、保健師など	市や府の相談窓口（介護・福祉）	地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員	ケアマネジャー（介護支援専門員）	民生委員	かかりつけ医	薬局（薬剤師）や介護用品店（店員）	その他	相談したいが、相談する相手がいない	だれにも相談しない	無回答
ひとり暮らし	614	52.8	36.8	9.8	0.3	4.4	1.1	1.0	2.1	17.1	1.8	2.8	7.0	8.3	16.4	
夫婦ふたり暮らし	1004	75.2	39.3	8.3	0.4	7.9	2.5	2.9	1.0	18.9	1.4	1.2	3.6	3.2	12.7	
夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居	801	74.9	34.5	4.9	0.2	4.7	1.7	1.5	0.5	19.1	1.4	1.4	2.5	4.9	11.1	
夫婦（または本人のみ）と親、兄弟などとの同居	56	71.4	35.7	3.6	—	5.4	—	8.9	1.8	21.4	—	—	1.8	1.8	16.1	
その他	186	60.2	40.3	4.3	0.5	6.5	2.2	4.3	1.1	12.9	2.2	3.2	3.8	2.7	19.9	

問 39 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に相談や支援を行う機関です。地域包括支援センターの役割を知っていますか。（○はひとつ）

「地域包括支援センターの存在を知らない」が 43.8%と最も高く、「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 29.1%、「知っている」が 11.7%となっています。
前回調査では「知らない」が 42.5%となっており、今回も大きな差異はみられません。

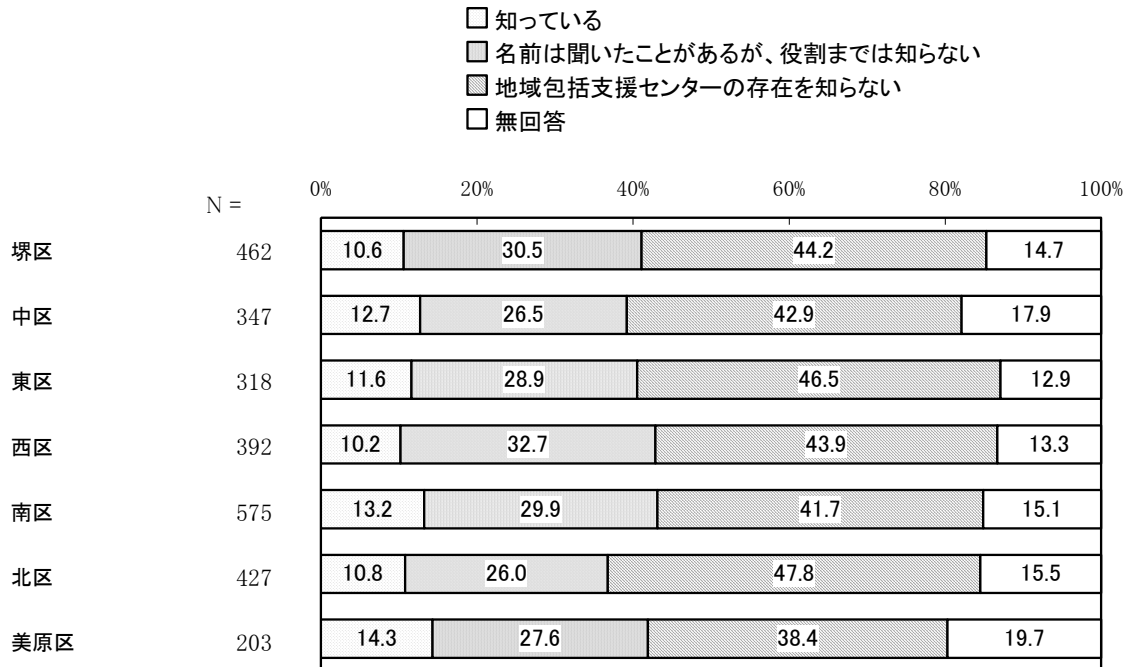


【（参考）平成 22 年度調査】



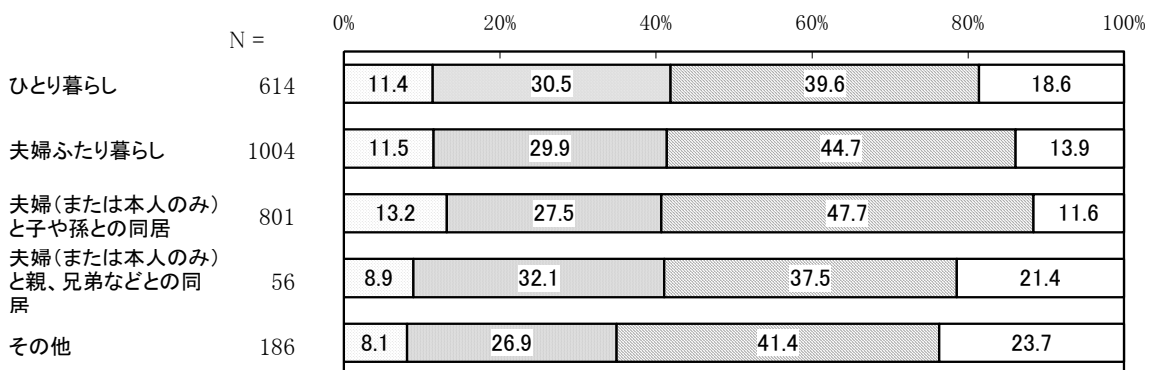
【区域別】

西区で「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の割合が高くなっています。



【世帯状況別】

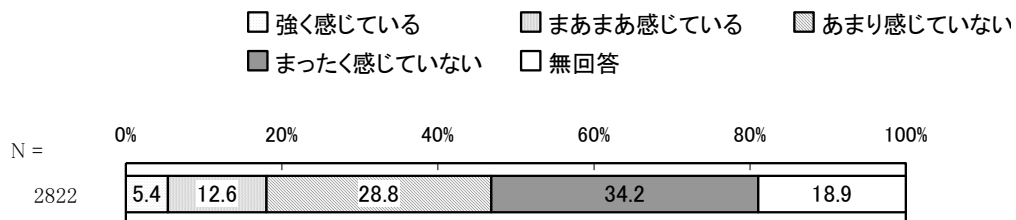
夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「地域包括支援センターの存在を知らない」の割合が高くなっています。



Ⅲ 1 一般高齢者調査

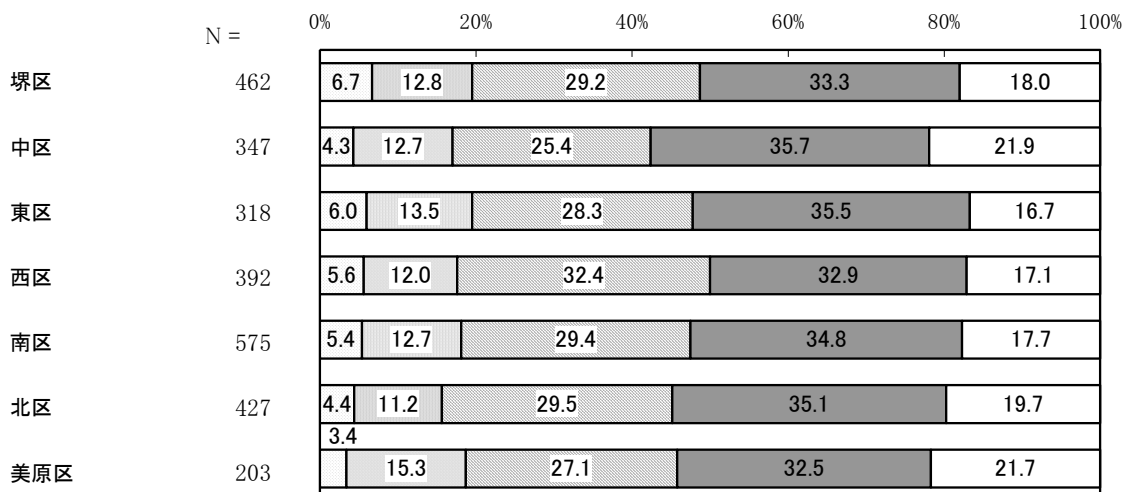
問 40 あなたにとって、地域包括支援センターは身近に感じていますか。(○はひとつ)

「まったく感じていない」が34.2%と最も高く、次いで「あまり感じていない」が28.8%、「まあまあ感じている」が12.6%となっています。



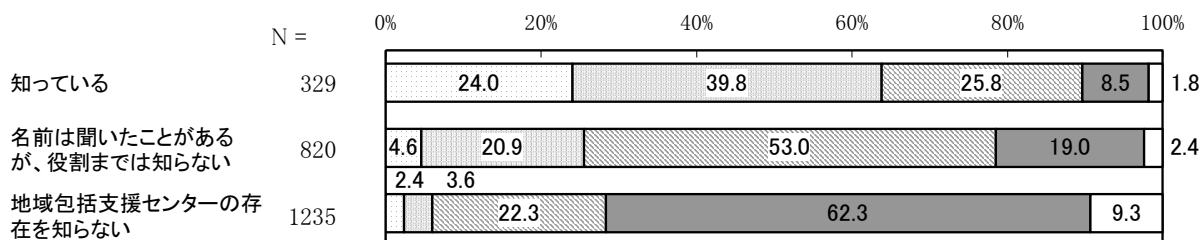
【区域別】

「強く感じている」と「まあまあ感じている」を合わせた地域包括支援センターを“身近に感じている”人の割合は区によってそれほど違いはみられません。



【地域包括支援センターの認知度別】

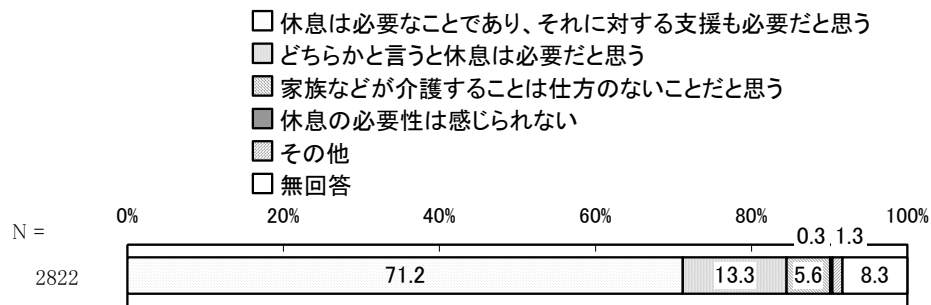
地域包括支援センターの存在を知っている人は、半数以上が「身近に感じている」と回答しています。



(7) その他について

問 41 あなたは、在宅介護をしている家族などが一時的に介護を離れ、リフレッシュすること（レスパイト）についてどう思いますか。（○はひとつ）

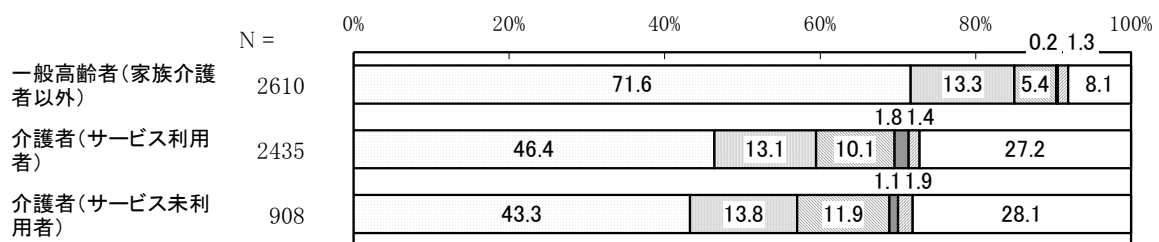
「休息は必要なことであり、それに対する支援も必要だと思う」が 71.2%と最も高く、「どちらかと言うと休息は必要だと思う」が 13.3%などとなっています。



【一般高齢者と介護者との比較】

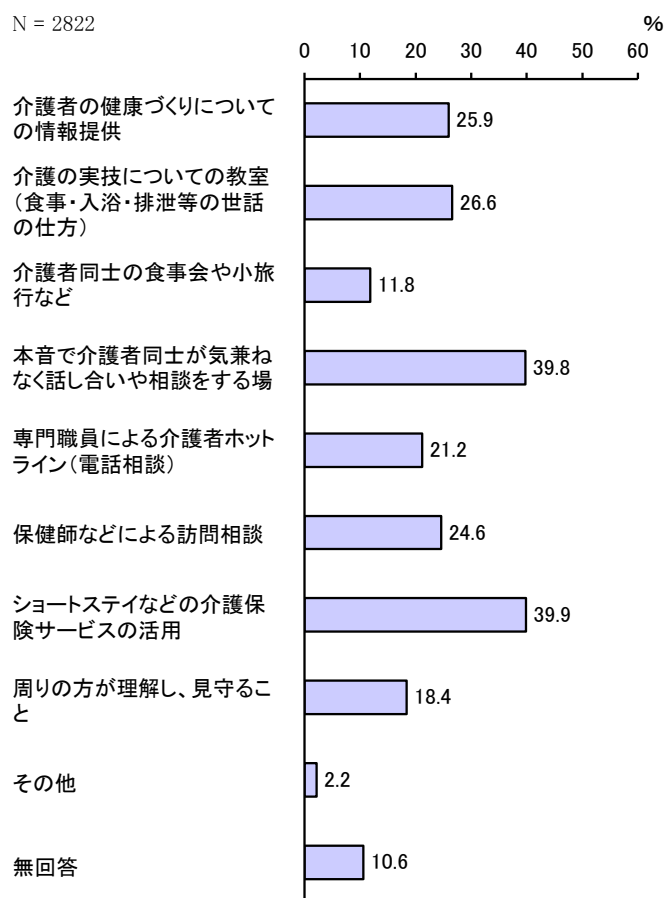
ここでは、問 20（日頃の過ごし方）において「家族の介護」と回答している人を除いた一般高齢者と、サービス利用者調査やサービス未利用者調査における介護者とで、レスパイトに対する考え方について比較しています。

「休息は必要」とする意見は、一般高齢者においては8割以上となっていますが、介護者においては25ポイント以上低く、約6割となっています。一方、一般高齢者においては非常に少ない「家族などが介護するのは仕方ない」とする意見は介護者では約1割みられます。また介護者においては無回答も約3割となっています。



問 42 家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」が 39.9%と最も高く、次いで「本音で介護者同士が気兼ねなく話し合いや相談をする場」が 39.8%、「介護の実技についての教室（食事・入浴・排泄等の世話の仕方）」が 26.6%となっています。

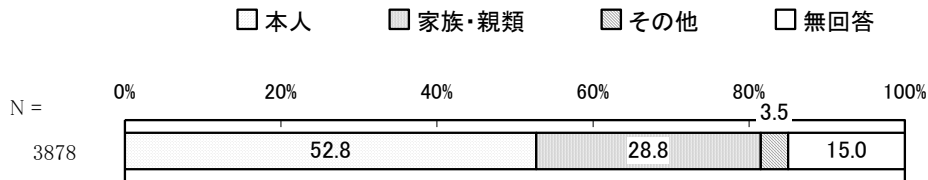


2 介護保険サービス利用者調査

(1) 本人について

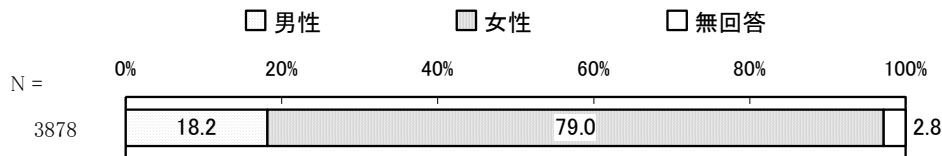
ご記入をいただける方の該当するところに○をつけてください。(○はひとつ)

「本人」が 52.8%、「家族・親類」が 28.8%となっています。



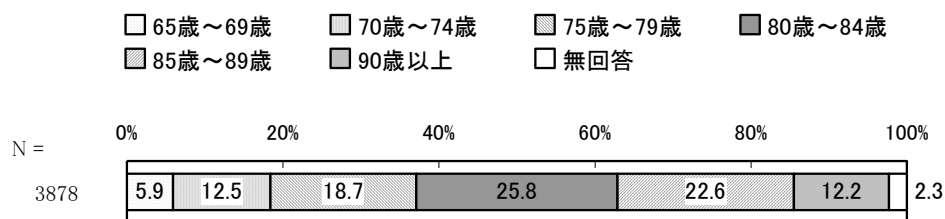
問1 あなたの性別について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「女性」が 79.0%、「男性」が 18.2%となっています。



問2 あなたの年齢について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

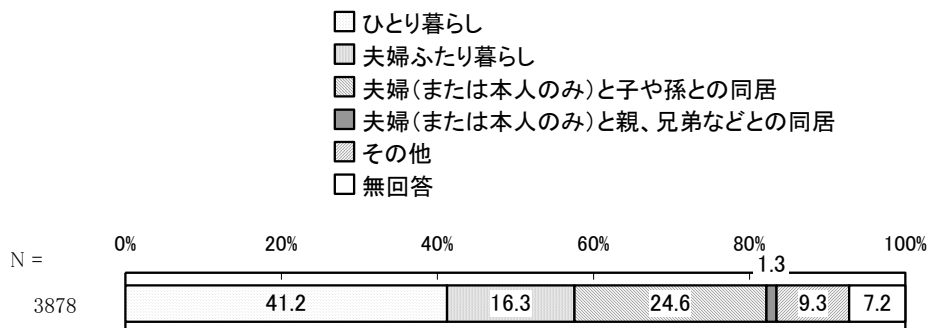
「80歳～84歳」が 25.8%と最も高く、次いで「85歳～89歳」が 22.6%、「75歳～79歳」が 18.7%となっており、後期高齢者が約8割を占めています。



Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

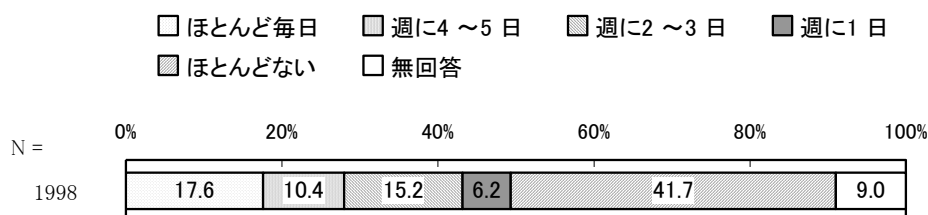
問3 あなたの世帯状況について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「ひとり暮らし」が41.2%と最も高く、「夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居」が24.6%、「夫婦ふたり暮らし」が16.3%となっています。



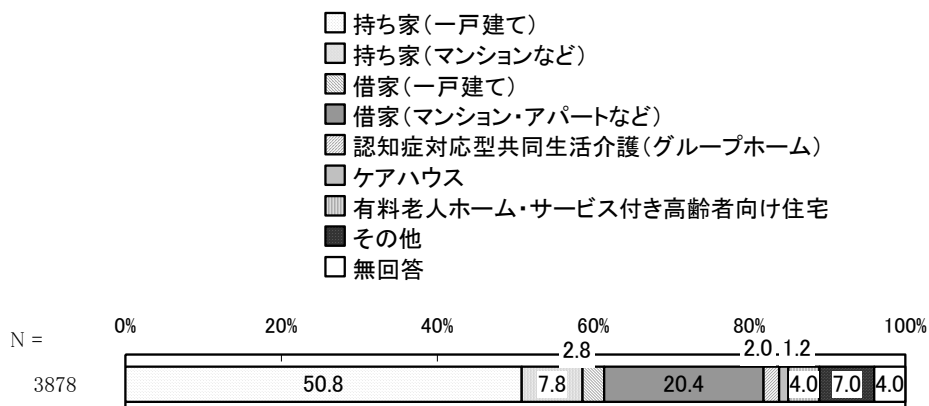
問3-1 問3で「2.～5.」と回答した方（ご家族などと同居されている方）にお伺いします。日中、一人になることがありますか。(○はひとつ)

「ほとんどない」が41.7%と最も高く、「ほとんど毎日」が17.6%、「週に2～3日」が15.2%となっています。



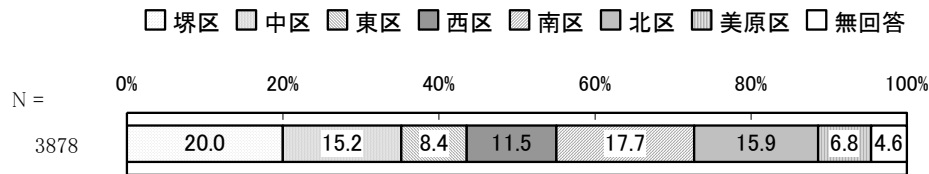
問4 お住まいの状況について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「持ち家（一戸建て）」が50.8%と最も高く、「借家（マンション・アパートなど）」が20.4%などとなっています。



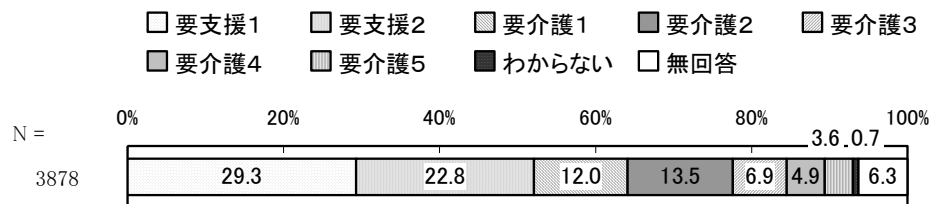
問5 お住まいの区と小学校区域について、それぞれ○をつけてください。小学校区が分らない方は、区のみ○をつけてください。

「堺区」が20.0%と最も高く、次いで「南区」が17.7%、「北区」が15.9%となっています。



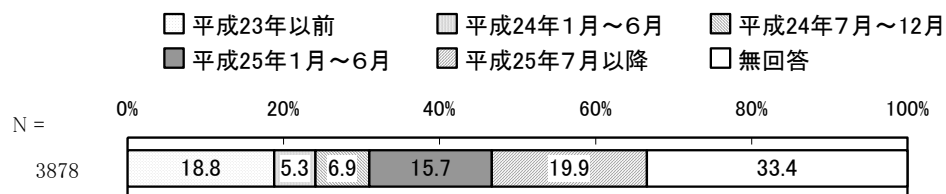
問6 現在の要介護認定の状況（要介護度）について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。また、認定を受けた時期をお答えください。（○はひとつ）

「要支援1」が29.3%と最も高く、次いで「要支援2」が22.8%、「要介護2」が13.5%となっています。要支援者が52.1%、要介護者が40.9%と軽度者が半数以上を占めています。



（1）現在の認定を受けた時期

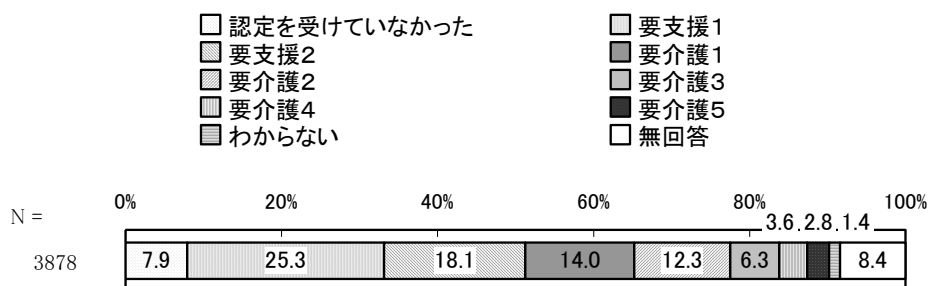
無回答が33.4%を占めている一方で、回答している人の中では「平成25年7月以降」が19.9%と最も高く、次いで「平成23年以前」が18.8%、「平成25年1月～6月」が15.7%となっています。



Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

問7 1年前の要介護認定の状況（要介護度）について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

「要支援1」が25.3%と最も高く、次いで「要支援2」が18.1%、「要介護1」が14.0%となっています。



【現在と1年前の要介護度の比較】

要介護度に関わらず、1年前の要介護度を維持している人の割合が高い傾向にあります。特に要支援1において、変化していない人の割合が高い一方、1年前には「認定を受けていなかった」人の割合についても高くなっています。

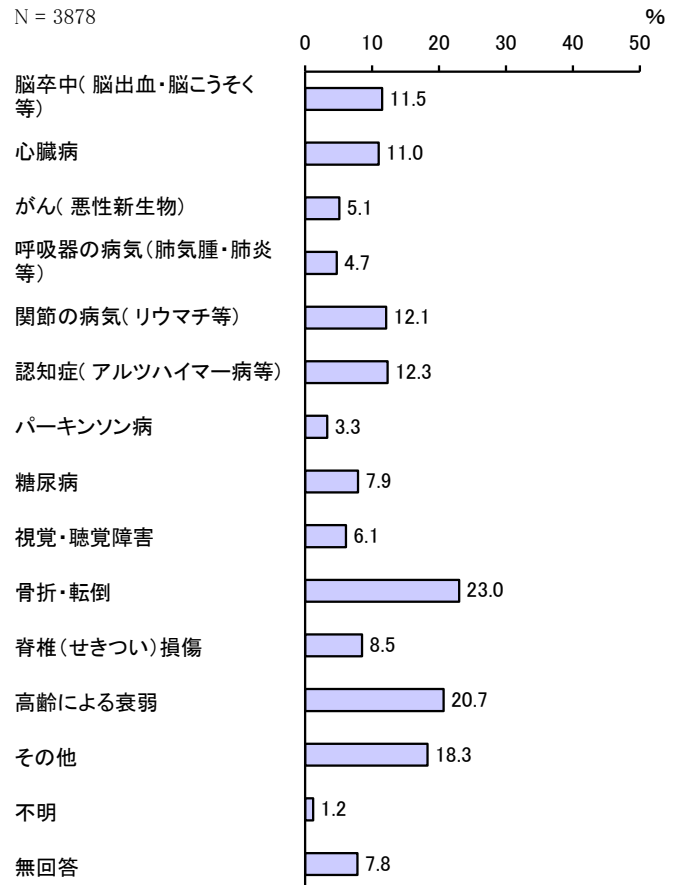
また、現在の要介護度が上がるほど1年前から軽度化している人の割合が低く、重度化している人の割合が高い傾向にあります。

単位：％

1年前の 要介護度 現在の 要介護度	有効 回答数 (件)	認定を 受けてい なかつた	要支 援1	要支 援2	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5	わ か ら な い	無 回 答
要支援1	1135	13.5	62.6	8.7	4.9	1.2	0.3	0.1	0.1	1.1	7.6
要支援2	886	6.3	20.1	49.1	7.2	6.9	0.7	0.3	0.1	1.0	8.2
要介護1	466	6.2	6.7	12.7	59.2	7.5	2.4	1.7	—	0.4	3.2
要介護2	523	4.8	4.2	10.9	17.4	49.1	4.8	1.9	0.6	1.5	4.8
要介護3	267	5.6	0.4	4.1	7.1	20.2	54.7	4.1	0.7	0.7	2.2
要介護4	190	5.3	2.1	4.2	4.2	15.3	20.0	41.6	4.7	0.5	2.1
要介護5	139	0.7	0.7	2.9	1.4	6.5	5.8	14.4	62.6	1.4	3.6
わからない	27	18.5	—	7.4	—	—	3.7	—	—	55.6	14.8

問8 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

「骨折・転倒」が23.0%と最も高く、
次いで「高齢による衰弱」が20.7%、
「認知症(アルツハイマー病等)」が
12.3%となっています。



【要介護度別】

要介護3、5で「認知症(アルツハイマー病等)」が高くなっています。また、要介護5で脳卒中の割合が高くなっています。

単位：%

原因 要介護度	有効回答数(件)	脳卒中(脳出血・脳こうそく等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎(せきつい)損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
要支援1	1135	5.9	12.4	5.0	4.0	14.6	1.7	1.2	7.1	5.7	21.1	10.0	18.7	22.3	1.3	11.2
要支援2	886	8.5	11.9	6.3	4.7	15.1	1.7	2.4	7.6	5.6	25.2	10.6	20.5	21.9	1.1	8.5
要介護1	466	15.2	9.7	6.0	4.1	12.4	21.7	4.1	7.1	8.4	20.8	6.7	24.0	14.6	1.5	1.1
要介護2	523	15.3	9.9	5.7	5.9	7.6	22.2	4.2	10.3	5.9	21.8	6.7	24.5	16.1	1.1	3.6
要介護3	267	19.1	12.0	2.6	6.4	6.4	35.2	6.0	9.0	7.9	28.5	7.5	22.1	12.0	1.1	0.7
要介護4	190	15.8	11.6	6.8	3.7	10.5	28.4	6.8	9.5	5.3	33.2	6.3	20.0	14.7	—	1.1
要介護5	139	31.7	5.8	0.7	5.8	7.2	40.3	12.2	5.0	7.2	19.4	6.5	16.5	12.9	—	1.4
わからない	27	11.1	—	3.7	11.1	3.7	11.1	—	—	—	18.5	—	37.0	7.4	11.1	7.4

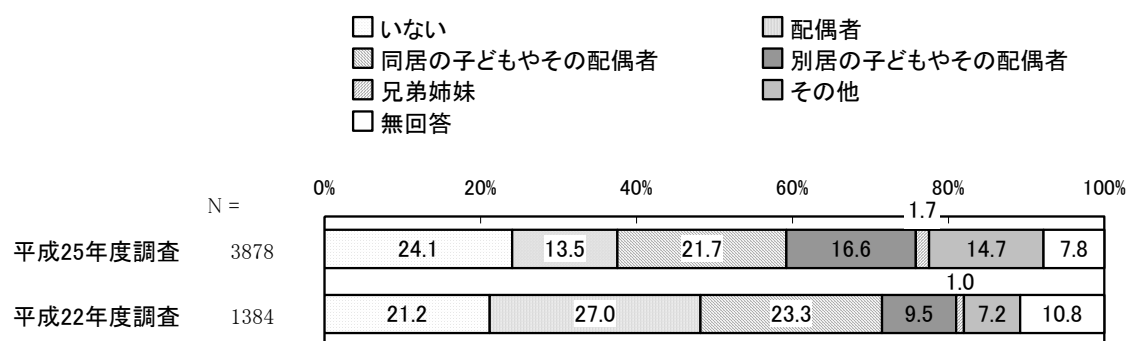
Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

問9 あなたの世話や介護をされている方はどなたですか。(〇はひとつ)

「いない」が24.1%と最も高く、次いで「同居の子どもやその配偶者」が21.7%、「別居の子どもやその配偶者」が16.6%となっています。

前回調査と比べると、「いない」「別居の子どもやその配偶者」「その他」の割合が上昇しています。一方、「配偶者」「同居の子どもやその配偶者」の割合が低下しています。

※サービス未利用者との比較は122ページ参照

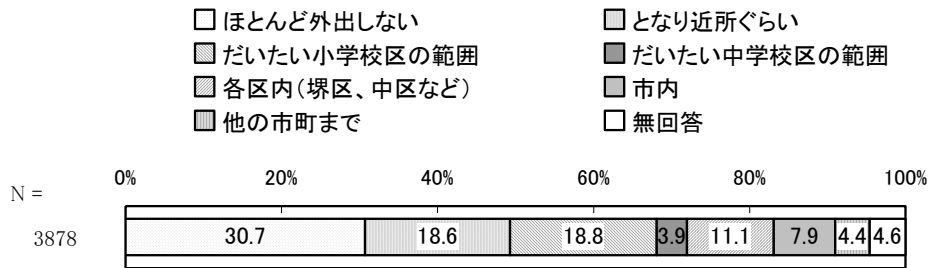


(2) 生活状況や健康について

問 10 あなたにとって、日常の買い物や通院などで外出する範囲はどれくらいですか。(○はひとつ)

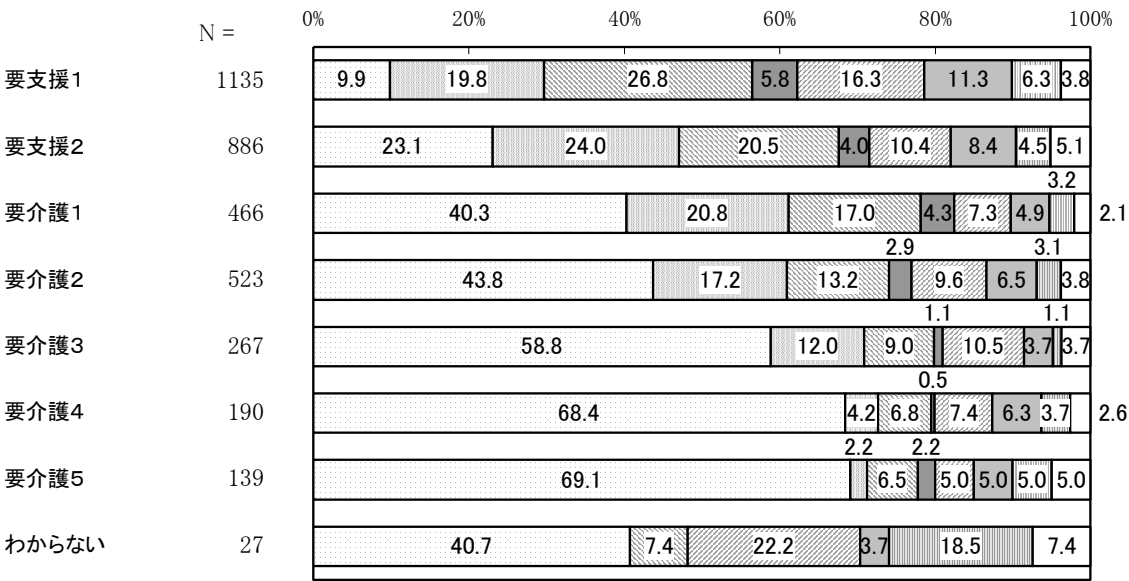
「ほとんど外出しない」が 30.7%と最も高く、「だいたい小学校区の範囲」が 18.8%、「となり近所ぐらい」が 18.6%となっています。

※サービス未利用者との比較は 123 ページ参照



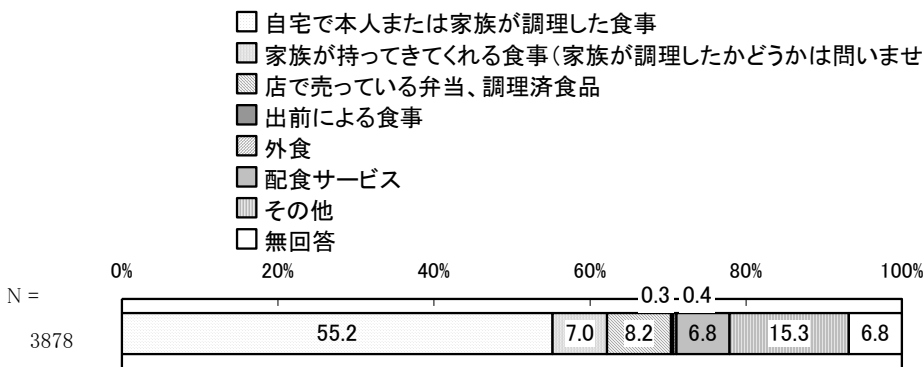
【要介護度別】

要介護度が上がるほど「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



問 11 あなたは主にどのような食事をとっていますか。(○はひとつ)

「自宅で本人または家族が調理した食事」が 55.2%と最も高くなっています。

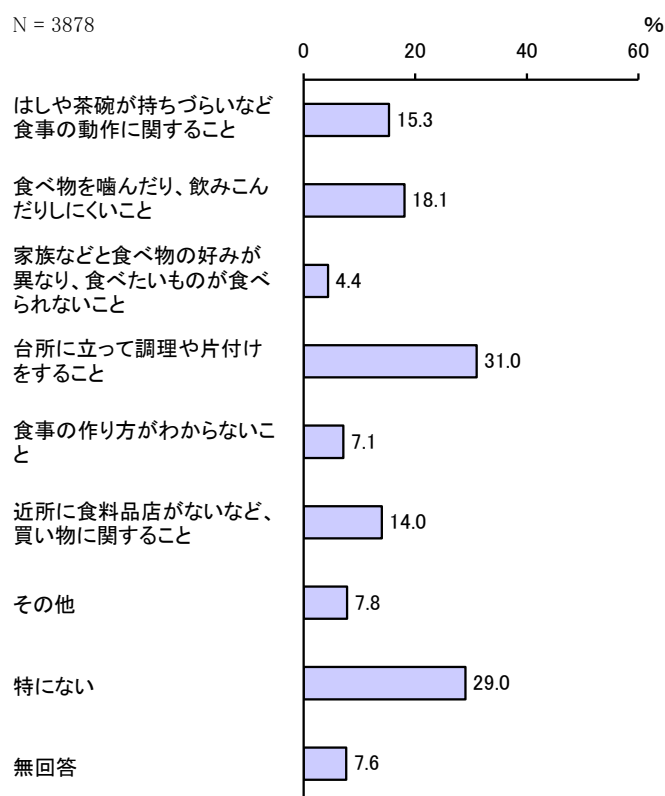


Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

問 12 あなたは食事に関して何か困っていることがありますか。(○は3つまで)

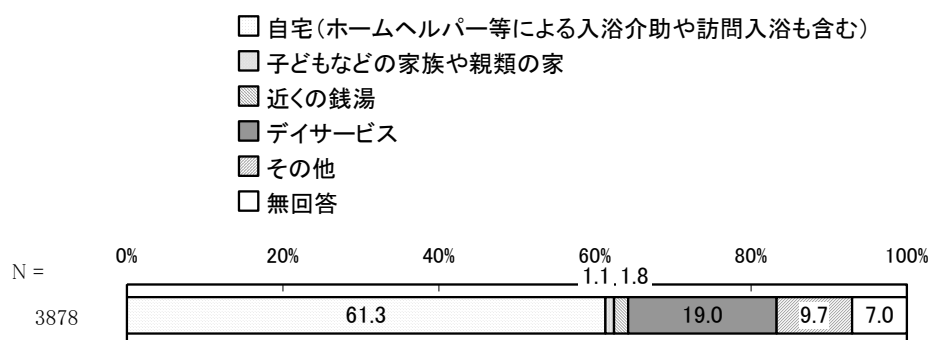
「台所に立って調理や片付けをすること」が 31.0%と最も高く、次いで「特にない」が 29.0%、「食べ物を噛んだり、飲みこんだりしにくいこと」が 18.1%となっています。

※サービス未利用者との比較は 124 ページ参照



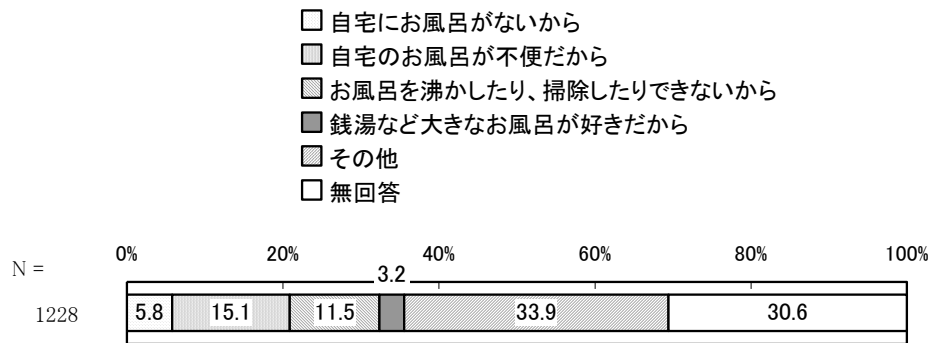
問 13 あなたは主にどこで入浴していますか。(○はひとつ)

「自宅（ホームヘルパー等による入浴介助や訪問入浴も含む）」が 61.3%と最も高く、「デイサービス」が 19.0%などとなっています。



問 13－1 問 13 で「2.～5.」と回答した方（自宅以外で入浴されている方）にお伺いします。あなたが自宅以外で入浴している理由は何ですか。（○はひとつ）

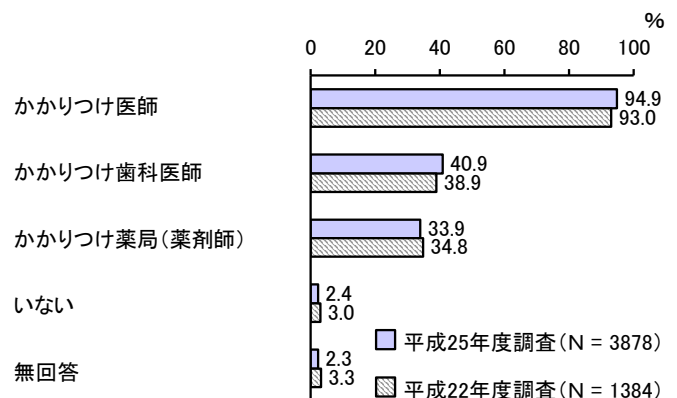
「その他」や無回答の割合が高い結果となっています。また、「自宅のお風呂が不便だから」が 15.1%、「お風呂を沸かしたり、掃除したりできないから」が 11.5%となっています。なお、「その他」では「施設やグループホームに入所しているから」「デイサービスで入浴している」「自力で入浴できない」という回答が多くみられます。



問 14 あなたには、日頃から診療や相談ができるかかりつけの医師・歯科医師・薬剤師はいますか。（○はいくつでも）

「かかりつけ医師」が 94.9%と最も高く、「かかりつけ歯科医師」が 40.9%、「かかりつけ薬局（薬剤師）」が 33.9%となっています。

前回調査と比べても、大きな差異はみられません。



Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

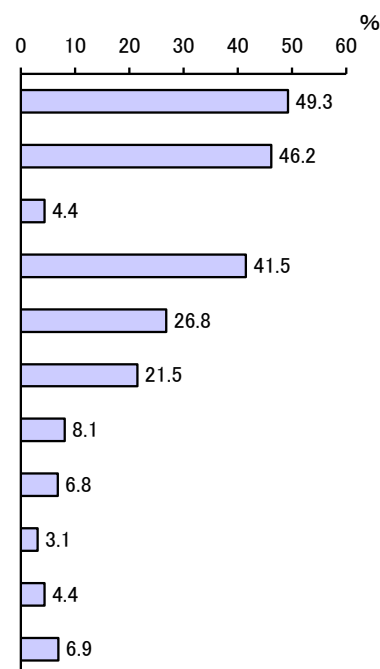
(3) 介護保険制度について

問 16 あなたは介護保険サービスの事業者を選ぶ際に何を重視しますか。(○は3つまで)

「きめ細かな介護をしてもらえるなど、サービスの質が良いこと」が49.3%と最も高く、次いで「サービス内容が自分にあっていること」が46.2%、「職員の元気が良いなど、雰囲気が明るいこと」が41.5%となっています。

N = 3878

きめ細かな介護をしてもらえるなど、サービスの質が良いこと
サービス内容が自分にあっていること
事業者の知名度が高いこと
職員の元気が良いなど、雰囲気が明るいこと
地元(近所)にあること
ケアマネジャーがすすめたこと
いろいろなサービスを提供していること
知人や友人が利用していること
その他
特にな
無回答



問 17 現行の介護保険制度は、サービスを利用する人が増えたり、一人ひとりの利用するサービスの量が増えることによって介護保険料が上昇する仕組みとなっています。堺市の今後の介護保険料について、あなたのお考えに近いのは次のどれですか。(○はひとつ)

「わからない」が27.4%と最も高く、次いで「介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない」が27.3%、「高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない」が18.4%となっています。

介護保険料の上昇について、「仕方がない」と、一定の前提条件のもとでは「仕方がない」は合わせて45.7%となっており、前回調査と比べ5.1ポイント上昇しています。

※一般高齢者、サービス未利用者との比較は63ページ参照

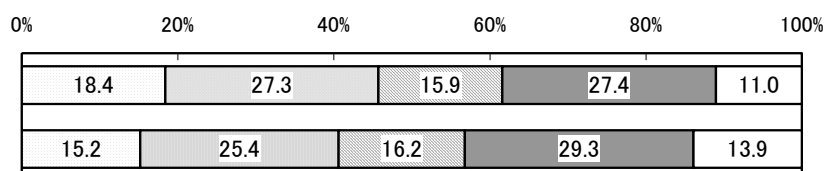
- ☐ 高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない
- ☐ 介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない
- ☐ 現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度、介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない
- ☐ わからない

☐ 無回答

N =

平成25年度調査 3878

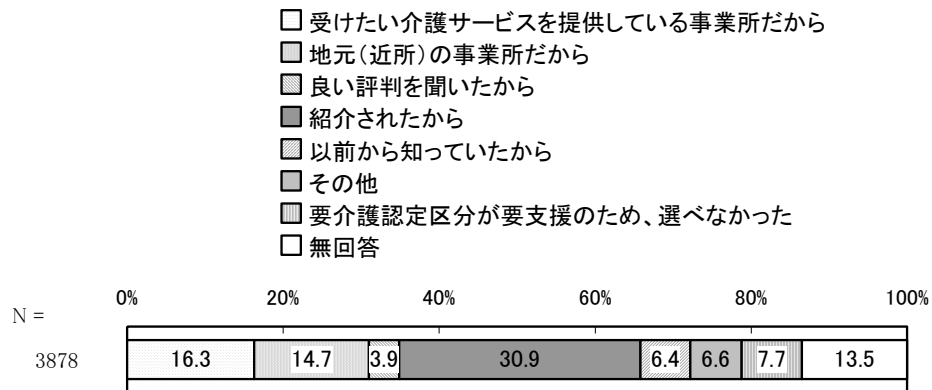
平成22年度調査 1384



(4) ケアマネジャーについて

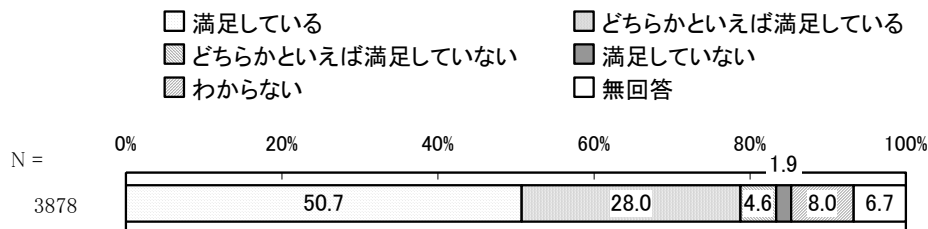
問 18 要介護認定を受けた方にお伺いします。あなたは担当のケアマネジャーをどのように選びましたか。(〇はひとつ)

「紹介されたから」が 30.9%と最も高く、「受けたい介護サービスを提供している事業所だから」が 16.3%、「地元（近所）の事業所だから」が 14.7%となっています。



問 19 あなたは担当のケアマネジャーに満足していますか。(〇はひとつ)

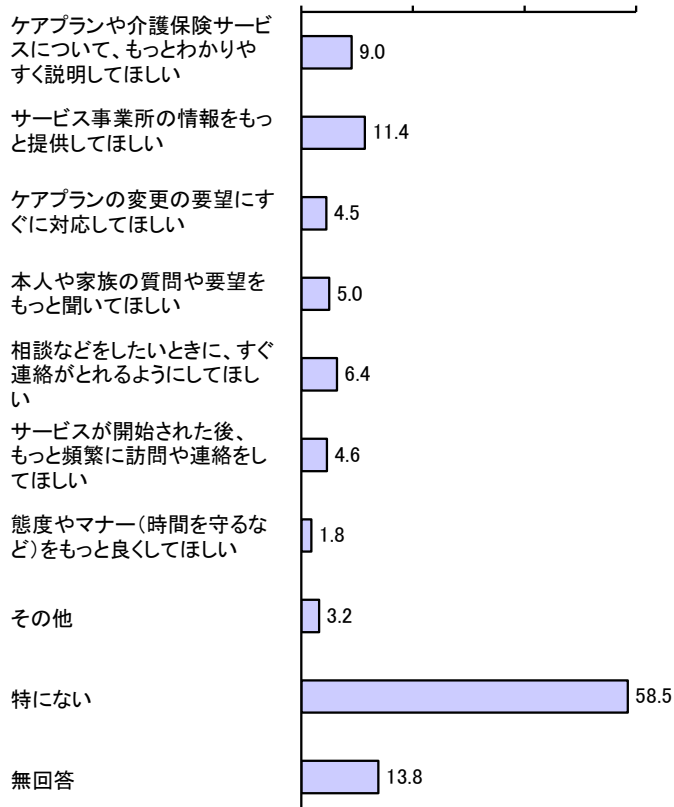
「満足している」が 50.7%、「どちらかといえば満足している」が 28.0%となっており、合わせると一定満足している人は約 8 割となっています。一方で「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を合わせると 6.5%にとどまっています。



問 20 あなたは担当のケアマネジャーに対して要望がありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」が 58.5%と最も高い一方、「サービス事業所の情報をもっと提供してほしい」が 11.4%、「ケアプランや介護保険サービスについてもっとわかりやすく説明してほしい」が 9.0%となっています。

N = 3878



【ケアマネジャーへの満足度別】

ケアマネジャーに満足していない人において「ケアプランや介護保険サービスについて、もっとわかりやすく説明してほしい」の割合が高くなっています。また、どちらかといえば満足している人においては、「特にない」が半数を占めている一方で、「サービス事業所の情報をもっと提供してほしい」という要望が約 2 割あります。

単位：%

要望 満足度	有効回答数(件)	ケアプランや介護保険サービスについて、もっとわかりやすく説明してほしい	サービス事業所の情報をもっと提供してほしい	ケアプランの変更の要望にすぐに対応してほしい	本人や家族の質問や要望をもっと聞いてほしい	相談などをしたいときに、すぐ連絡がとれるようにしてほしい	サービスが開始された後、もっと頻繁に訪問や連絡をしてほしい	態度やマナー(時間を守るなど)をもっと良くしてほしい	その他	特にない	無回答
満足している	1967	4.3	5.5	1.7	1.7	3.5	1.8	0.5	2.2	75.2	9.4
どちらかといえば満足している	1086	12.2	20.2	6.6	6.2	8.8	5.9	1.7	2.1	51.9	8.3
どちらかといえば満足していない	179	29.6	28.5	16.2	21.2	19.0	18.4	9.5	10.6	14.5	6.7
満足していない	74	40.5	33.8	24.3	33.8	27.0	25.7	21.6	16.2	8.1	5.4
わからない	312	12.5	9.9	5.8	9.0	8.7	7.7	2.2	7.1	52.9	10.3

(5) サービスの利用状況について

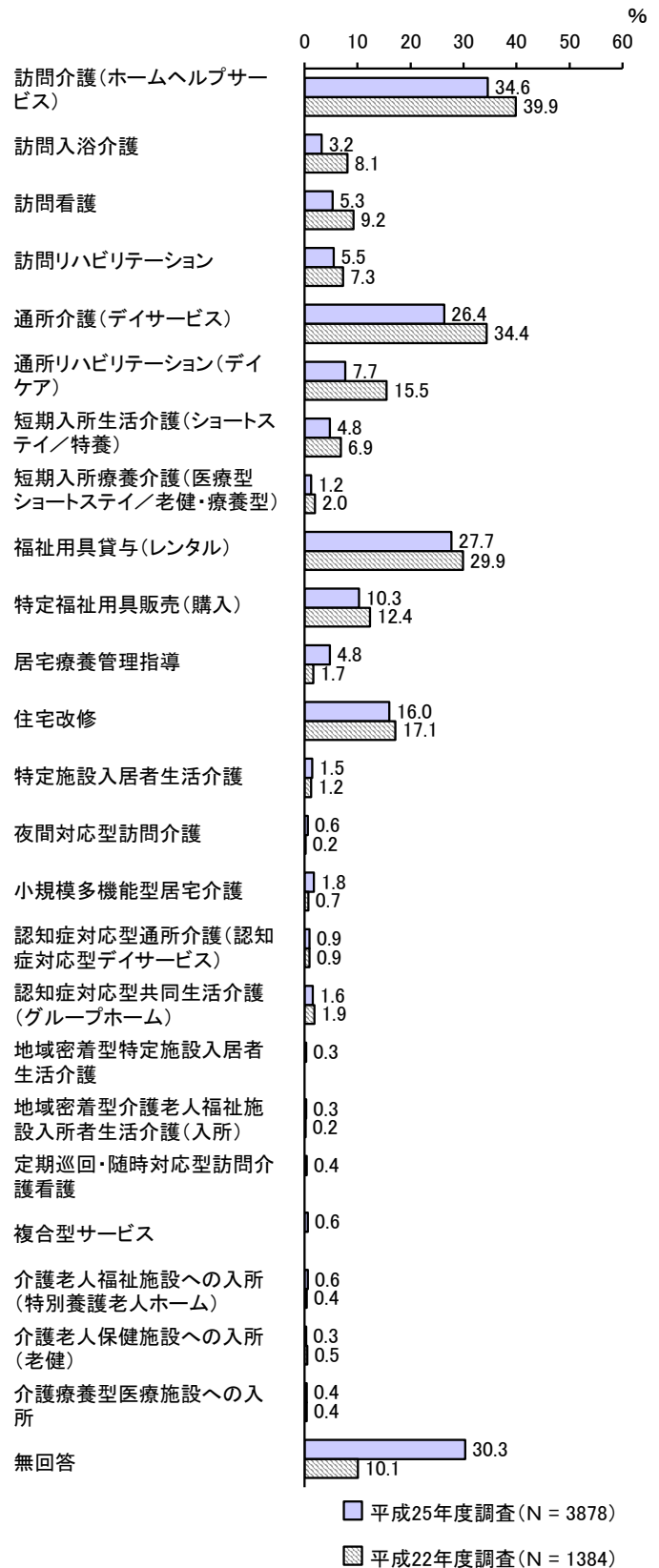
問 21 あなたが、現在利用されている介護保険サービス（介護予防サービスを含む）は何ですか。また、今後も継続的に、あるいは新たに利用したいサービスは何ですか。次の中からあてはまるものにそれぞれ○をつけてください。（○はいくつでも）

(1) 現在利用しているサービス

「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が34.6%と最も高く、次いで「福祉用具貸与（レンタル）」が27.7%、「通所介護（デイサービス）」が26.4%となっています。

前回調査と比べると、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「通所介護（デイサービス）」「通所リハビリテーション（デイケア）」が低下しています。

※平成22年度調査には、「地域密着型特定施設入居者生活介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「複合型サービス」はありません。



Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

【現在利用しているサービス（要介護度別）】

要介護度が上がるほど「福祉用具貸与（レンタル）」「訪問看護」「居宅療養管理指導」といったサービスを利用している人の割合が高くなる傾向にあります。

単位：％

利用しているサービス 要介護度	有効回答数（件）	訪問介護（ホームヘルプサービス）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所生活介護（ショートステイ／特養）	短期入所療養介護（医療型ショートステイ／老健・療養型）	福祉用具貸与（レンタル）	特定福祉用具販売（購入）	居宅療養管理指導	住宅改修
要支援1	1135	32.1	0.6	<u>1.3</u>	1.6	17.4	5.6	0.4	0.4	<u>12.6</u>	6.0	<u>1.0</u>	11.1
要支援2	886	35.6	1.5	<u>2.5</u>	3.4	22.5	6.7	1.6	0.8	<u>23.5</u>	9.1	<u>1.8</u>	15.5
要介護1	466	40.6	3.4	<u>5.2</u>	6.4	40.1	10.9	6.2	1.1	<u>30.7</u>	11.6	<u>4.5</u>	23.2
要介護2	523	37.9	5.0	<u>8.4</u>	8.2	33.7	9.6	6.3	1.5	<u>43.2</u>	13.2	<u>6.9</u>	17.4
要介護3	267	28.8	7.9	<u>8.6</u>	10.5	40.8	8.6	14.2	3.4	<u>46.8</u>	15.7	<u>13.5</u>	20.6
要介護4	190	35.3	6.8	<u>17.9</u>	17.4	35.8	14.2	22.6	2.1	<u>56.3</u>	24.2	<u>15.3</u>	25.8
要介護5	139	41.7	13.7	<u>25.9</u>	14.4	34.5	8.6	13.7	3.6	<u>58.3</u>	19.4	<u>23.0</u>	20.1
わからない	27	18.5	—	3.7	—	11.1	3.7	—	—	3.7	—	—	7.4

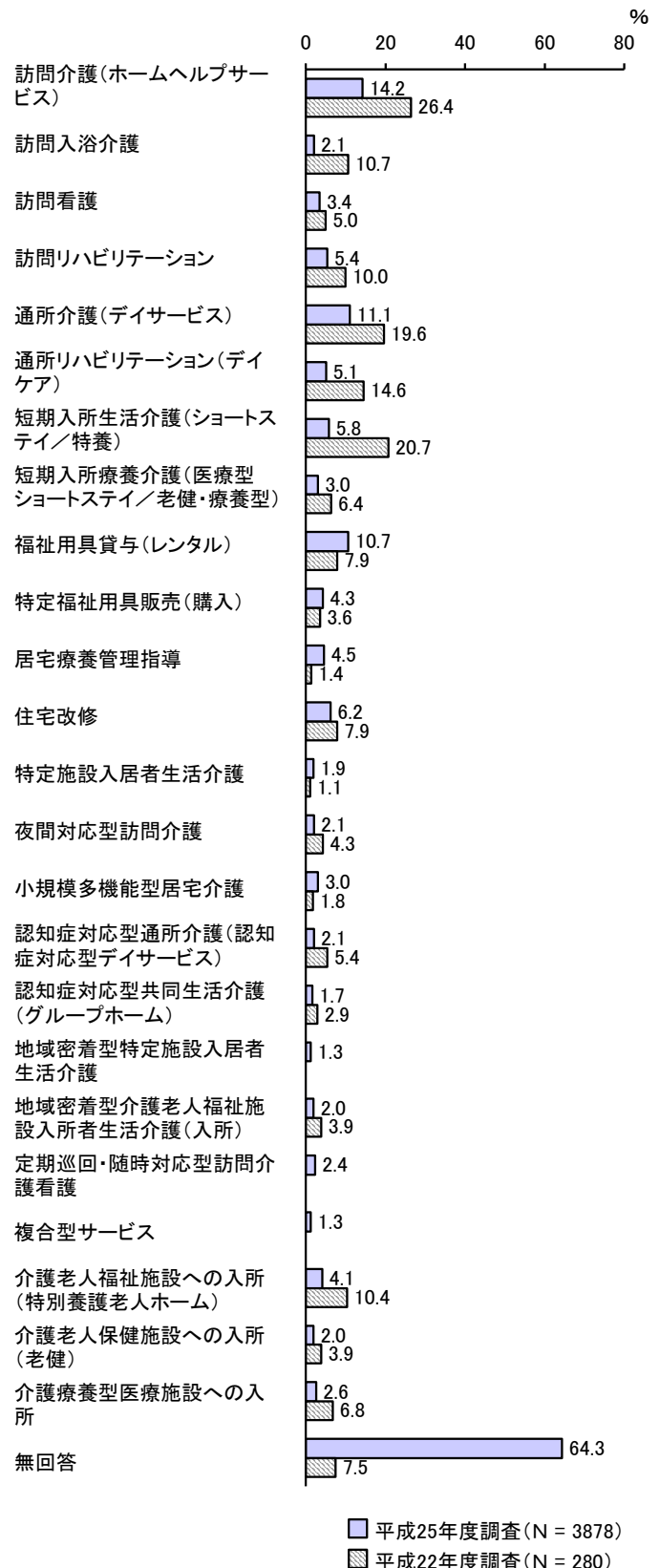
利用しているサービス 要介護度	特定施設入居者生活介護	夜間対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型通所介護（認知症対応型デイサービス）	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（入所）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	複合型サービス	介護老人福祉施設への入所（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設への入所（老健）	介護療養型医療施設への入所	無回答
要支援1	0.7	0.4	0.6	—	—	0.2	0.2	—	0.4	0.3	0.2	0.6	40.0
要支援2	0.7	0.1	0.9	0.6	0.5	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.1	0.5	33.1
要介護1	0.6	0.2	1.1	1.3	3.0	0.2	—	—	0.9	—	0.2	—	17.6
要介護2	2.1	1.0	2.1	1.9	2.1	—	0.2	0.8	0.2	0.8	—	0.4	22.9
要介護3	4.9	1.1	7.1	1.9	5.2	1.5	1.1	0.4	0.4	0.7	0.7	0.4	16.1
要介護4	4.2	2.6	5.8	1.1	5.8	0.5	0.5	2.1	2.1	3.2	1.1	0.5	15.8
要介護5	4.3	2.9	4.3	2.2	3.6	0.7	—	2.2	0.7	2.9	1.4	1.4	12.9
わからない	—	—	—	—	3.7	—	—	—	—	3.7	—	—	63.0

(2) 継続的に、あるいは新たに利用したいサービス

無回答が 64.3%を占めている一方で、回答している人の中では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が 14.2%と最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」が 11.1%、「福祉用具貸与（レンタル）」が 10.7%となっています。

前回調査と比べると、特に「訪問介護（ホームヘルプサービス）」「短期入所生活介護（ショートステイ／特養）」が低下しています。

※平成 22 年度調査には、「地域密着型特定施設入居者生活介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「複合型サービス」はありません。また、利用するサービスを増やしたい人限定でたずねています。



Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

【継続的に／新たに利用したいサービス（要介護度別）】

要介護度が上がるほど「福祉用具貸与（レンタル）」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「通所リハビリテーション（デイケア）」「居宅療養管理指導」といったサービスに対する利用意向を持つ人の割合が高くなる傾向にあります。

単位：％

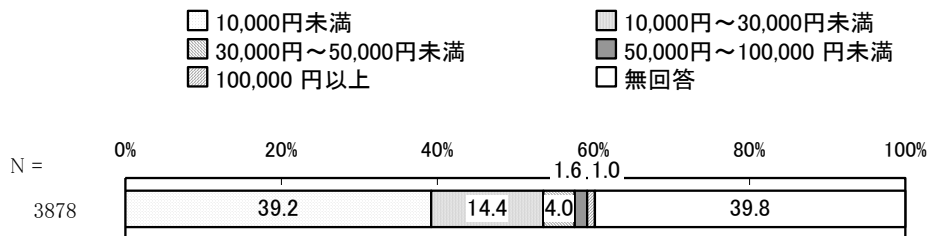
利用したいサービス 要介護度	有効回答数（件）	訪問介護（ホームヘルプサービス）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所生活介護（ショートステイ／特養）	短期入所療養介護（医療型ショートステイ／老健・療養型）	福祉用具貸与（レンタル）	特定福祉用具販売（購入）	居宅療養管理指導	住宅改修
要支援1	1135	12.8	0.4	1.5	3.2	8.7	4.5	1.9	1.5	5.4	2.7	1.6	4.6
要支援2	886	14.9	1.6	2.0	5.4	8.5	4.2	3.2	2.1	9.0	4.0	3.3	8.1
要介護1	466	18.9	2.8	3.6	5.8	18.2	6.0	8.6	3.2	14.4	5.4	3.9	6.7
要介護2	523	14.7	3.6	5.0	5.5	14.1	6.5	9.4	4.4	16.6	5.7	7.8	7.8
要介護3	267	13.5	4.5	6.0	7.5	18.4	7.1	14.6	7.5	17.2	5.6	9.0	4.1
要介護4	190	16.8	3.7	11.1	11.6	12.1	10.5	11.6	5.8	21.1	7.9	11.6	8.9
要介護5	139	12.9	7.2	9.4	12.2	11.5	5.0	11.5	5.8	15.8	7.2	12.2	5.8
わからない	27	3.7	—	—	7.4	3.7	—	—	—	3.7	3.7	3.7	—

利用したいサービス 要介護度	特定施設入居者生活介護	夜間対応型訪問介護	小規模多機能型居宅介護	認知症対応型通所介護（認知症対応型デイサービス）	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域密着型特定施設入居者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（入所）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	複合型サービス	介護老人福祉施設への入所（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設への入所（老健）	介護療養型医療施設への入所	無回答
要支援1	1.5	1.3	2.4	1.0	0.4	1.1	1.1	2.2	1.0	1.1	1.5	2.0	70.5
要支援2	0.7	1.5	2.3	1.0	0.5	1.0	1.5	2.3	1.0	2.4	1.7	2.3	66.0
要介護1	1.7	2.4	3.0	2.6	3.2	1.9	3.2	3.0	1.9	5.6	1.9	2.1	58.2
要介護2	3.1	2.1	4.6	3.3	2.5	1.7	2.1	1.7	1.3	6.3	2.7	3.4	60.8
要介護3	3.4	1.5	5.6	4.5	5.6	1.5	4.5	1.5	1.9	12.7	1.9	3.7	47.6
要介護4	4.7	7.4	4.2	3.7	2.1	1.1	3.7	4.2	1.6	10.0	4.7	4.7	49.5
要介護5	5.8	6.5	5.8	5.0	2.9	2.9	2.2	5.0	3.6	8.6	4.3	7.9	58.3
わからない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77.8

問 22 介護保険サービス利用に伴う 1 割の利用料負担額はいくらですか。住宅改修と福祉用具購入にかかる自己負担額を除いた金額を記入してください。

月額平均

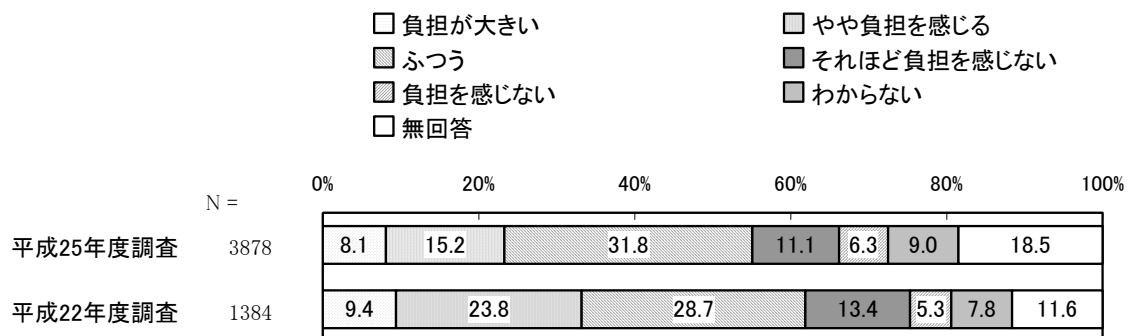
「10,000 円未満」が 39.2%と最も高く、「10,000 円～30,000 円未満」が 14.4%などとなっています。



問 23 1 割の利用料負担感について、どのようにお考えですか。(○はひとつ)

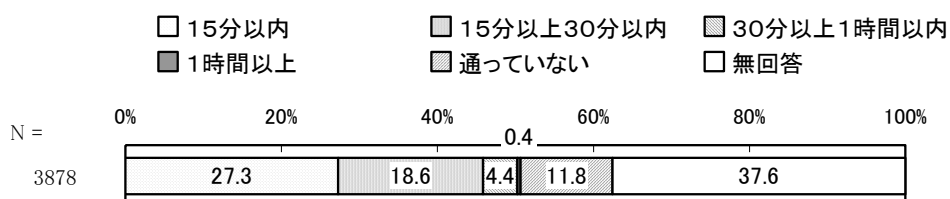
「ふつう」が 31.8%と最も高く、「やや負担を感じる」が 15.2%、「それほど負担を感じない」が 11.1%となっています。

前回調査と比べると、「負担が大きい」、「やや負担を感じる」の割合が 9.9 ポイント低下しています。



問 24 通所型のサービスを利用している方で、自宅から現在利用しているサービス事業所までの所要時間(車での移動)は片道どれぐらいですか。(○はひとつ)

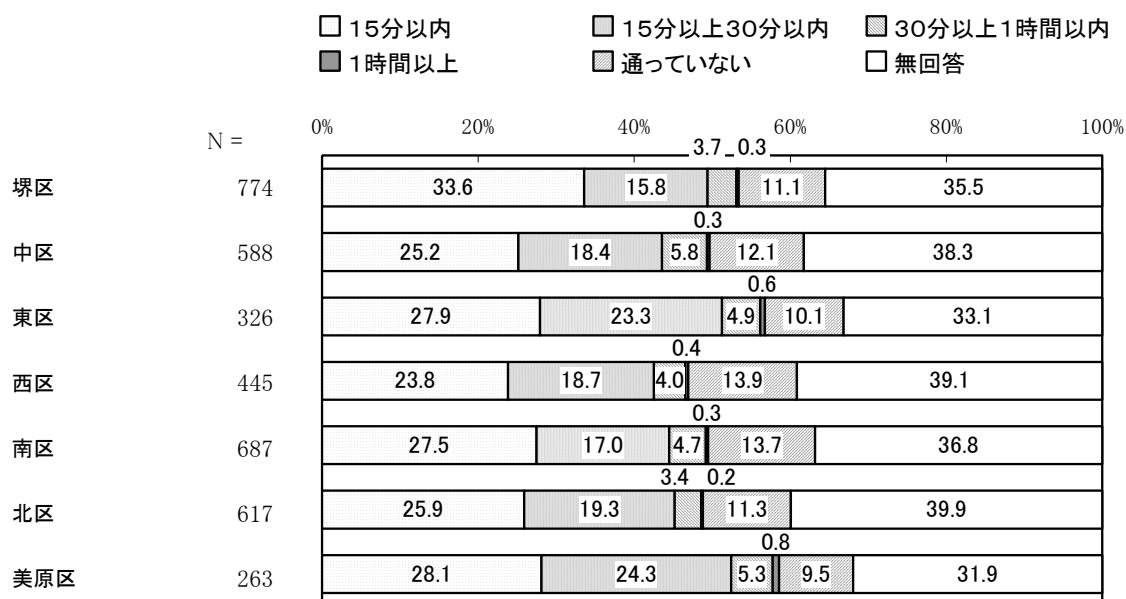
「15分以内」が 27.3%と最も高く、「15分以上30分以内」が 18.6%、「通っていない」が 11.8%となっています。



Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

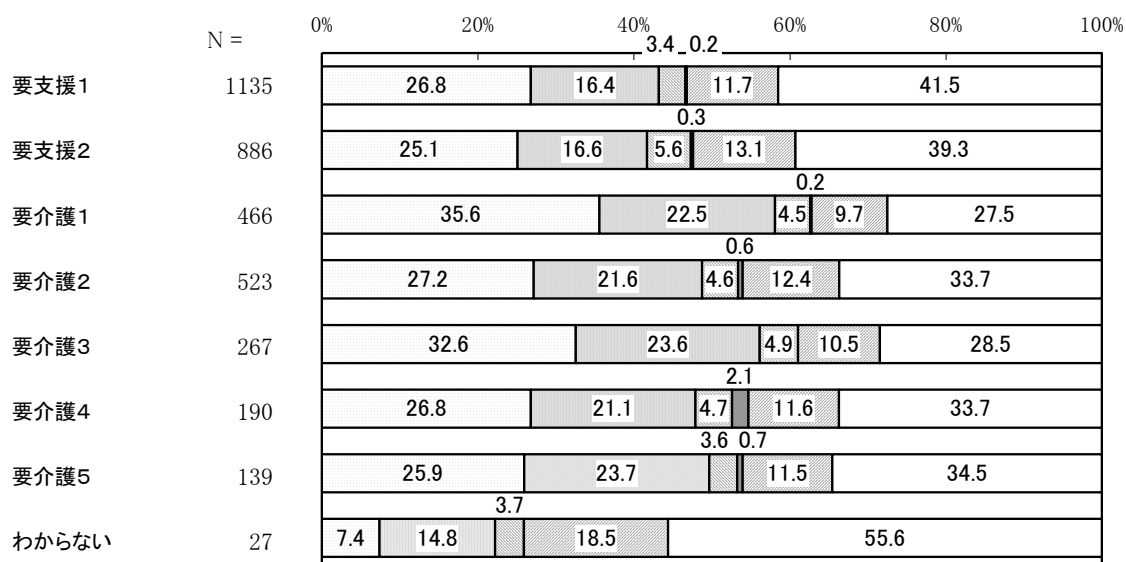
【区域別】

堺区で「15 分以内」の割合が高くなっています。一方、西区、南区で「通っていない」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

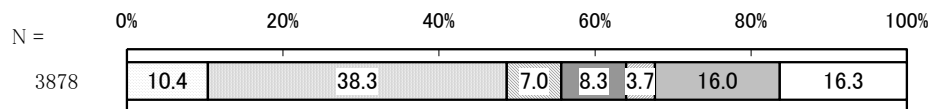
要介護1、3で「15 分以内」の割合が高くなっています。



問 25 今後、どのような介護を望んでいますか。(○はひとつ)

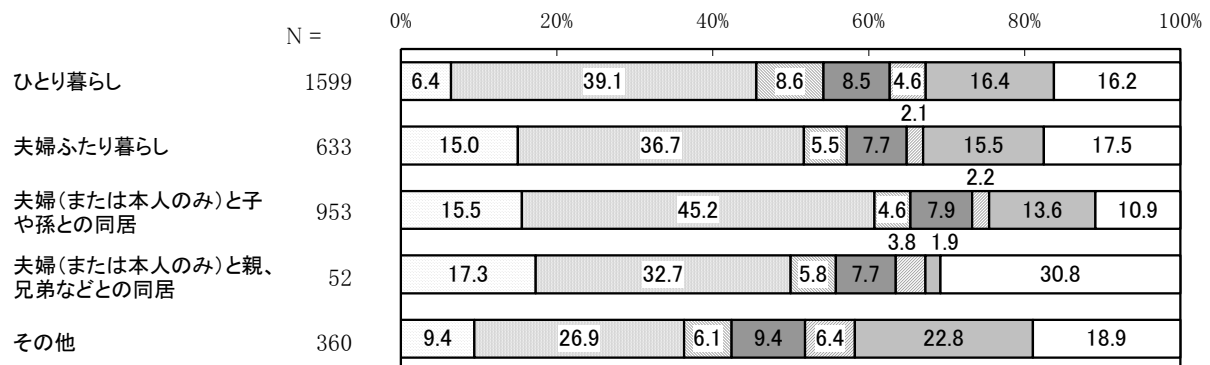
「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」が 38.3%と最も高く、「わからない」が 16.0%、「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」が 10.4%となっています。約半数の人が自宅での介護を望んでおり、サービス未利用者と同じ傾向となっています。

- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービス(ホームヘルパーやデイサービスなど)や保健福祉サービス(緊急通報サービスなど)を使いながら自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービスの付いた高齢者向けの住宅に入居したい
- ☐ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所したい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



【世帯状況別】

夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」が高くなっています。

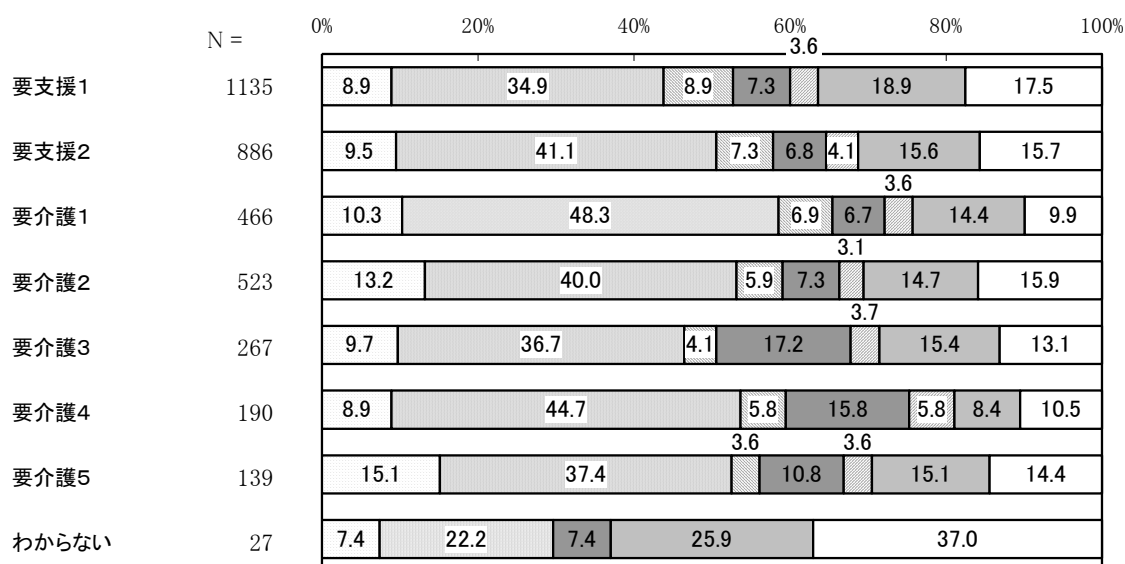


Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

【要介護度別】

要介護3以上では要介護2以下に比べ「特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所したい」の割合が高くなっています。

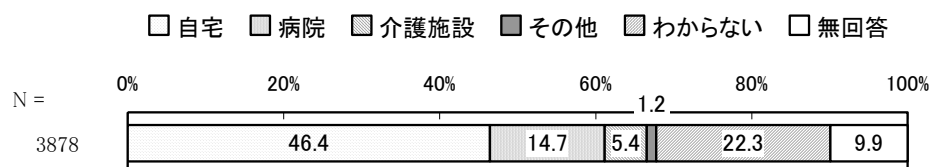
- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービス(ホームヘルパーやデイサービスなど)や保健福祉サービス(緊急通報サービスなど)を使いながら自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービスの付いた高齢者向けの住宅に入居したい
- ☐ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所したい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



問 26 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○はひとつ)

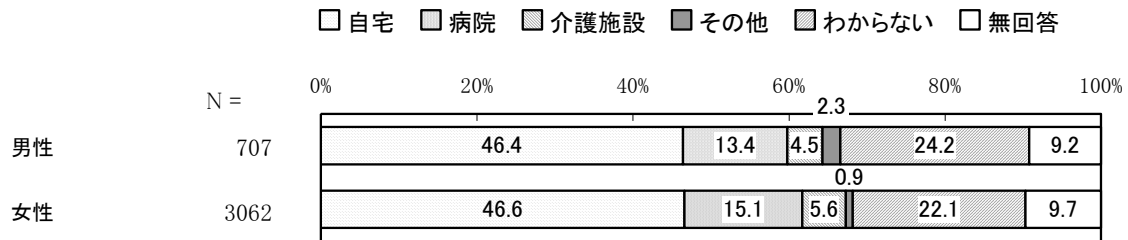
「自宅」が46.4%と最も高く、「わからない」が22.3%、「病院」が14.7%となっています。

※一般高齢者、サービス未利用者との比較は61 ページ参照



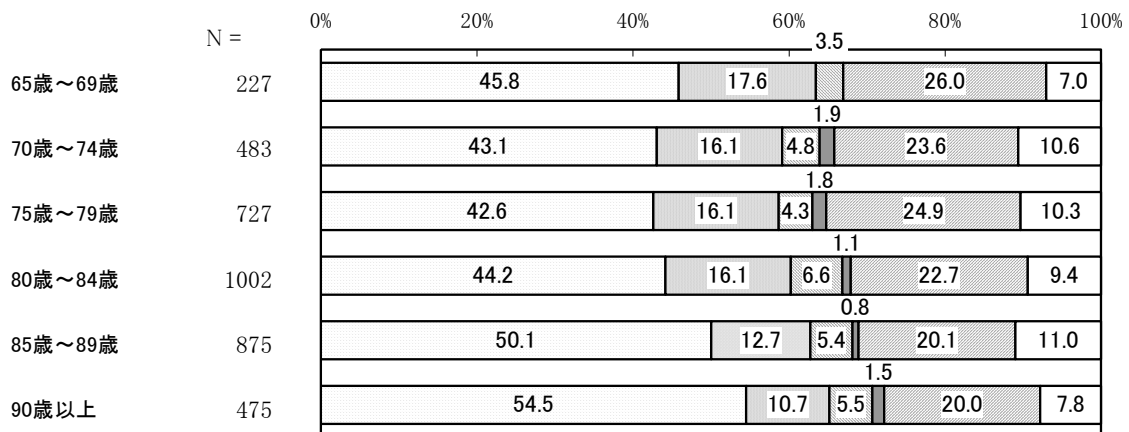
【性別】

女性に比べ、男性で「わからない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

85 歳以上で「自宅」の割合が高くなっています。



【世帯状況別】

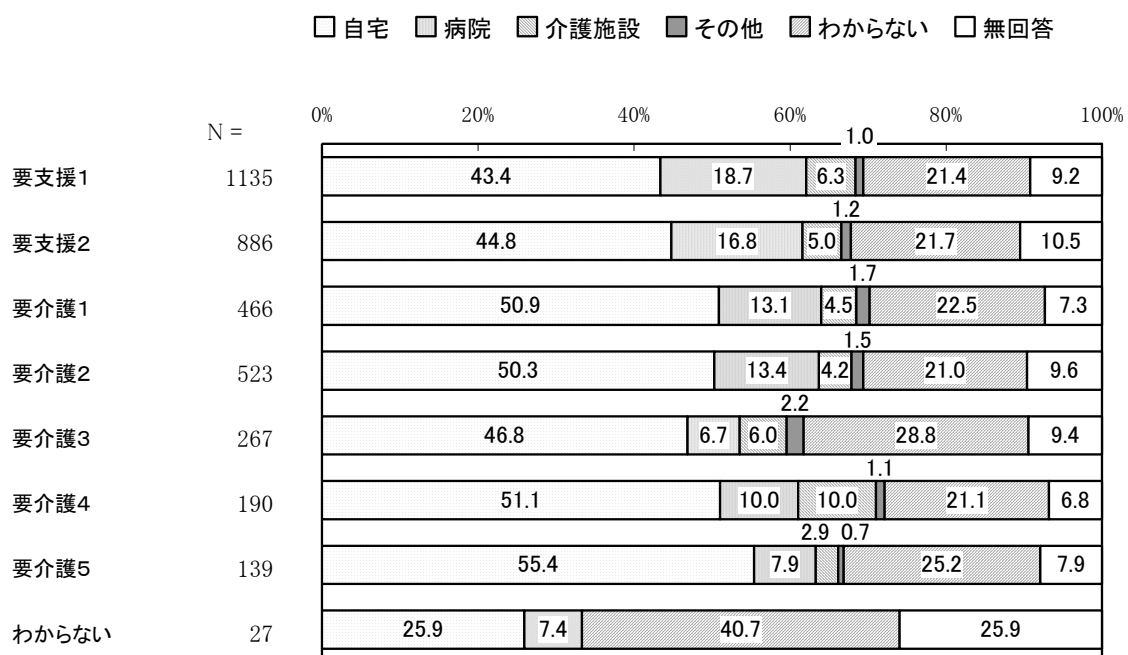
夫婦ふたり暮らし、夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「自宅」の割合が高くなっています。



Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

【要介護度別】

要支援1、2で「病院」の割合が高くなっています。また要介護度が上がるほど「病院」の割合が低くなる傾向にあります。



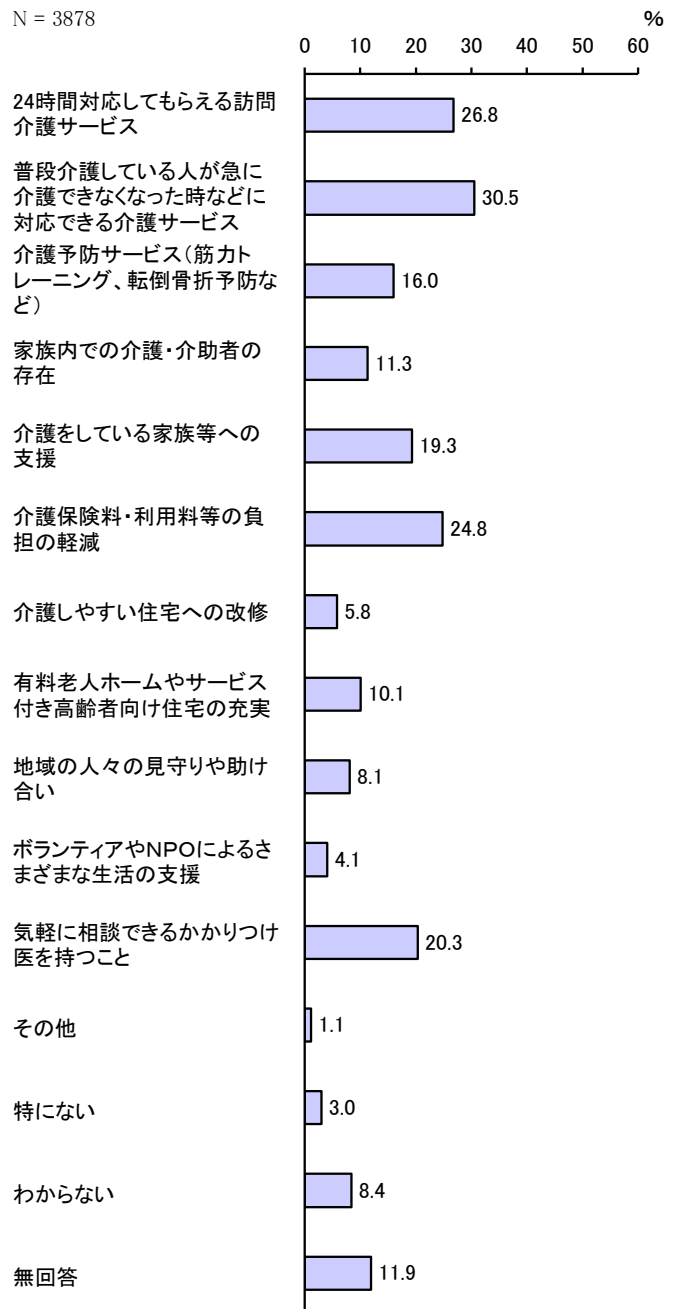
(6) 住み慣れた地域で暮らし続けることについて

問 27 高齢者ができる限りご自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、あなたは、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」が 30.5%と最も高く、次いで「24 時間対応してもらえる訪問介護サービス」が 26.8%、「介護保険料・利用料等の負担の軽減」が 24.8%となっています。

※一般高齢者、サービス未利用者との比較は 66 ページ参照

N = 3878



Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

【要介護度別】

要介護4、5で「24時間対応してもらえる訪問介護サービス」が高くなっています。また、要介護度が下がるほど「地域の人々の見守りや助け合い」の割合が高くなっています。

単位：％

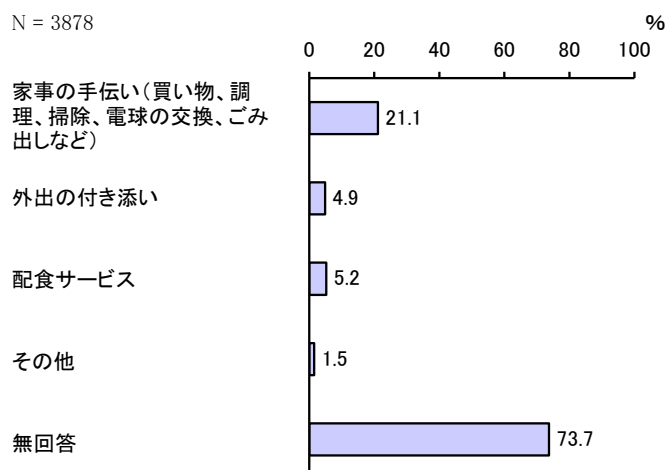
要介護度	住れた暮らしに必要な地域での必要を自み地にすること	有効回答数（件）	24時間対応してもらえらる訪問介護サービス	普段介護している人が急に介護できなくなつた時などに対応できる介護サービス	介護予防サービス（筋力トレーニング、転倒骨折予防など）	家族内での介護・介助者の存在	介護をしている家族等への支援	介護保険料・利用料等の負担の軽減	介護しやすい住宅への改修	住宅の充実	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	地域の人々の見守りや助け合い	ボランティアやNPOによるさまざまな生活の支援	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	その他	特にない	わからない	無回答	
			要支援1	1135	26.6	21.9	20.8	8.8	14.2	22.5	4.4	11.9	12.1	5.1	25.5	1.3	2.6	9.2	12.2
			要支援2	886	25.4	28.9	19.0	10.0	14.8	25.1	5.5	8.6	7.9	5.3	21.4	0.9	2.8	8.9	12.2
			要介護1	466	29.4	40.3	14.6	14.6	24.7	27.7	6.0	10.7	7.1	2.6	15.0	1.3	2.6	7.9	8.6
			要介護2	523	26.4	34.4	12.4	14.9	23.7	25.2	7.5	9.2	6.3	2.7	16.3	0.6	3.6	8.0	10.5
			要介護3	267	28.5	40.8	10.5	15.4	31.8	31.1	7.5	13.9	6.0	3.0	11.2	0.4	2.6	7.5	7.5
			要介護4	190	33.7	46.8	12.1	12.6	31.1	28.9	6.8	14.2	6.3	2.6	18.9	2.1	—	4.7	7.9
			要介護5	139	30.9	45.3	10.8	16.5	32.4	27.3	7.2	4.3	2.2	4.3	20.9	0.7	2.2	10.1	7.9
			わからない	27	7.4	7.4	11.1	7.4	7.4	11.1	—	—	7.4	—	11.1	—	11.1	14.8	37.0

問 28 あなたは、介護保険サービス以外に、日頃の生活を支援する下記のサービスを現在利用されていますか。また、今後利用したいと思いますか（一定の費用がかかります）。次の中からあてはまるものにそれぞれ○をつけてください。（○はいくつでも）

（１）現在利用しているサービス

無回答が 73.7%を占めている一方で、回答している人の中では、「家事の手伝い（買い物、調理、掃除、電球の交換、ごみ出しなど）」が 21.1%と最も高くなっています。

N = 3878



【現在利用しているサービス（要介護度別）】

要支援1、要支援2、要介護2で「家事の手伝い（買い物、調理、掃除、電球の交換、ごみ出しなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

利用しているサービス 要介護度	有効回答数 (件)	家事の手伝い(買い物、調理、掃除、電球の交換、ごみ出しなど)	外出の付き添い	配食サービス	その他	無回答
要支援1	1135	22.7	2.3	3.3	1.2	73.9
要支援2	886	26.9	4.1	5.5	1.1	68.8
要介護1	466	17.2	6.9	8.6	3.0	73.8
要介護2	523	22.9	8.8	7.6	1.0	70.7
要介護3	267	10.9	4.9	3.4	1.5	83.5
要介護4	190	11.6	6.3	5.3	2.6	81.1
要介護5	139	15.8	7.9	5.8	2.9	77.7
わからない	27	25.9	—	11.1	3.7	66.7

(2) 今後利用したいサービス

無回答が 75.3%を占めている一方で、回答している人の中では「家事の手伝い（買い物、調理、掃除、電球の交換、ごみ出しなど）」が 14.9%と最も高く、次いで「外出の付き添い」が 10.1%となっています。

N = 3878

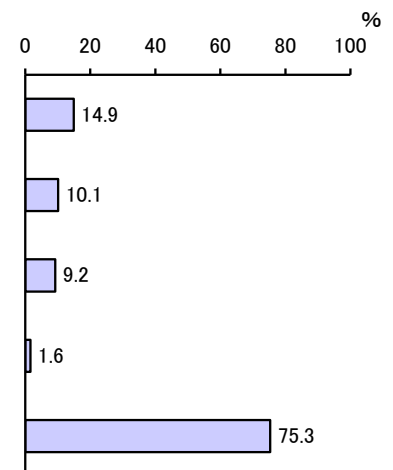
家事の手伝い(買い物、調理、掃除、電球の交換、ごみ出しなど)

外出の付き添い

配食サービス

その他

無回答



Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

【今後利用したいサービス（要介護度別）】

要支援1、2で「家事の手伝い（買い物、調理、掃除、電球の交換、ごみ出しなど）」の割合が高くなっています。

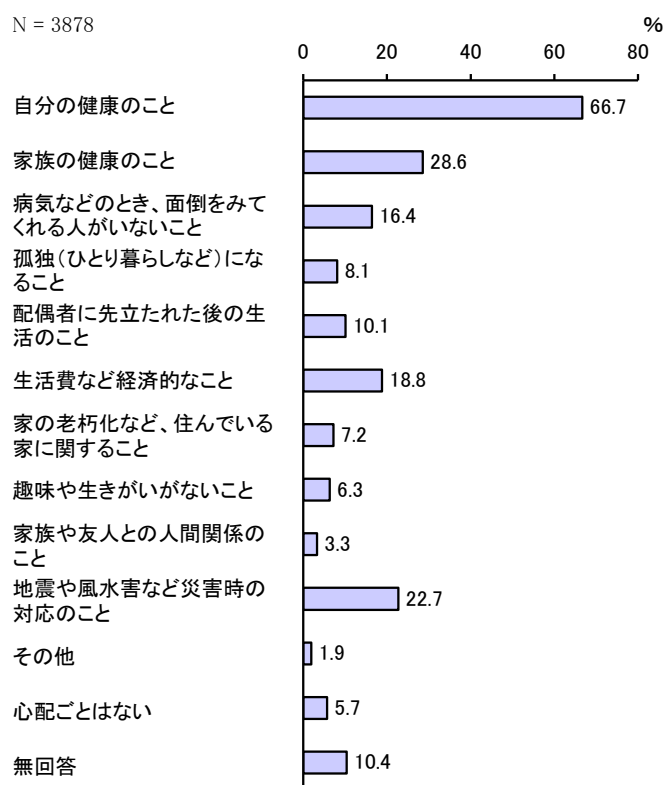
単位：％

利用したいサービス 要介護度	有効回答数 (件)	家事の手伝い（買い物、調理、掃除、電球の交換、ごみ出しなど）	外出の付き添い	配食サービス	その他	無回答
要支援1	1135	18.8	8.1	8.6	1.1	73.0
要支援2	886	18.6	11.3	10.0	1.5	72.1
要介護1	466	12.4	14.2	12.7	1.9	74.0
要介護2	523	11.5	11.5	8.2	1.9	78.2
要介護3	267	11.2	11.6	9.7	1.5	77.2
要介護4	190	10.5	11.6	8.9	1.6	77.9
要介護5	139	7.9	7.2	6.5	3.6	83.5
わからない	27	11.1	—	—	3.7	85.2

問 29 あなたには心配ごとや悩みごとがありますか。（○は3つまで）

「自分の健康のこと」が 66.7%と最も高く、「家族の健康のこと」が 28.6%、「地震や風水害など災害時の対応のこと」が 22.7%となっています。

N = 3878



【要介護度別】

要支援1、2で「地震や風水害など災害時の対応のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

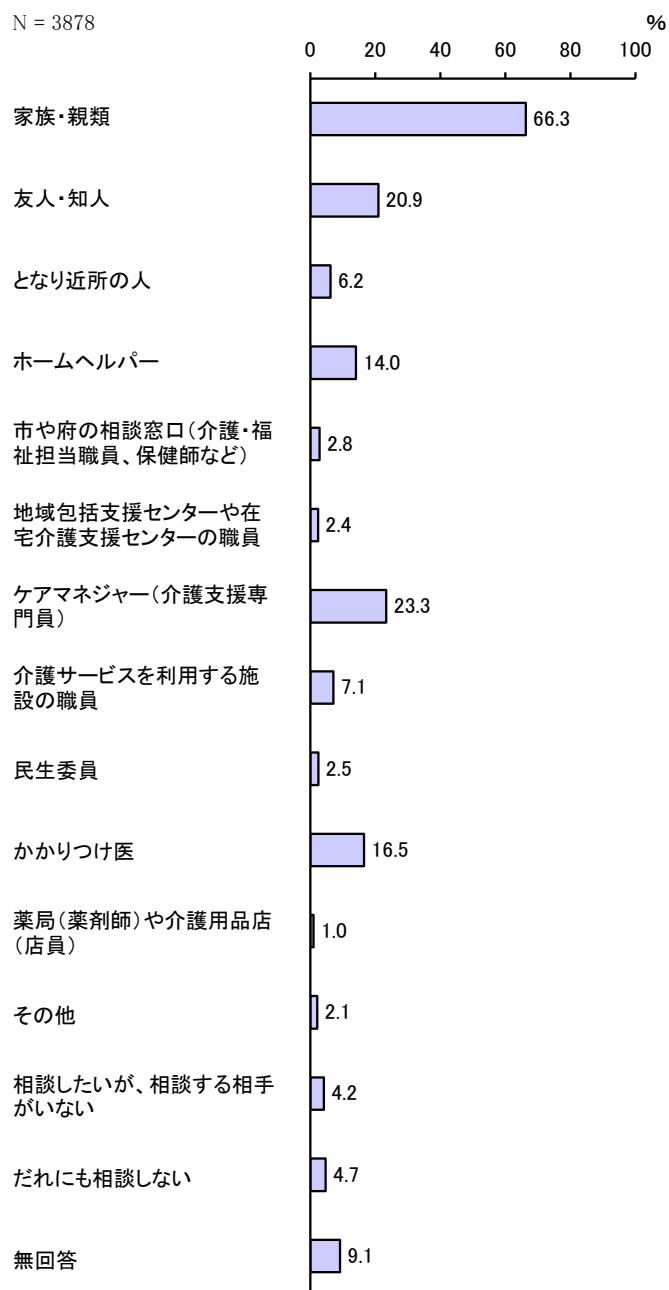
要介護度	有効回答数(件)	自分の健康のこと	家族の健康のこと	病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと	孤独(ひとり暮らしなど)になること	配偶者に先立たれた後の生活のこと	生活費など経済的なこと	家の老朽化など、住んでいる家に関すること	趣味や生きがいがないこと	家族や友人との人間関係のこと	地震や風水害など災害時の対応のこと	その他	心配ごとはない	無回答
要支援1	1135	70.9	27.8	22.5	8.5	9.5	16.7	7.6	4.4	3.3	<u>26.0</u>	2.6	4.8	8.3
要支援2	886	71.9	28.2	20.3	7.3	9.0	19.6	10.4	6.3	3.0	<u>28.2</u>	1.0	3.6	9.1
要介護1	466	67.4	30.3	12.2	7.9	11.4	16.5	6.7	8.4	3.2	19.7	1.5	7.1	9.0
要介護2	523	66.0	26.8	12.6	8.6	11.5	19.3	6.5	6.7	3.8	19.3	1.9	6.5	10.7
要介護3	267	58.4	34.1	5.6	8.2	11.6	21.0	3.4	10.1	3.7	16.9	2.2	9.0	9.7
要介護4	190	69.5	37.9	7.4	7.9	15.8	26.8	5.3	7.4	3.2	15.3	1.6	3.7	7.9
要介護5	139	42.4	31.7	7.2	8.6	10.1	22.3	4.3	6.5	2.2	14.4	2.9	10.1	20.1
わからない	27	29.6	18.5	11.1	18.5	3.7	18.5	3.7	—	7.4	14.8	—	11.1	33.3

Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

問 30 あなたは、だれに心配ごとや悩みごとを聞いてもらったり、相談したりしますか。
(○は3つまで)

「家族・親類」が 66.3%と最も高く、
「ケアマネジャー（介護支援専門員）」
が 23.3%、「友人・知人」が 20.9%と
なっています。

※一般高齢者、サービス未利用者との
比較は 71 ページ参照

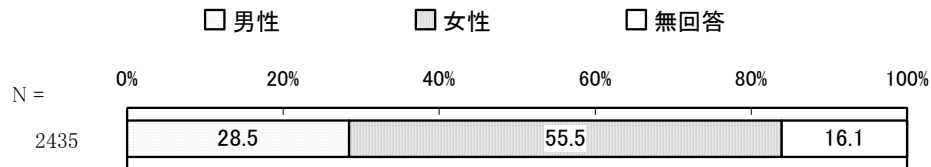


(7) 主に介護をしている方について

問 31 あなた（主に介護している方）について、次の中であてはまるものに○をつけてください。（①～⑤についてそれぞれ○はひとつ）

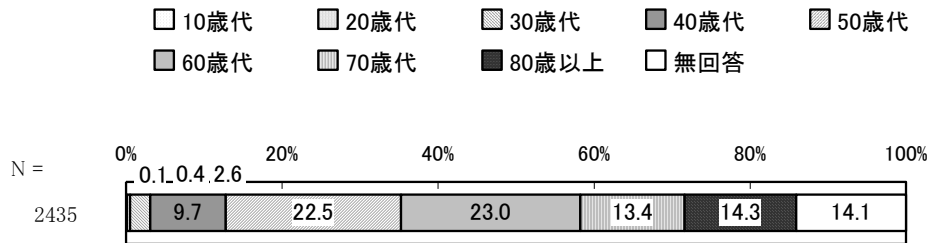
(1) 性別

「女性」が 55.5%、「男性」が 28.5%となっています。



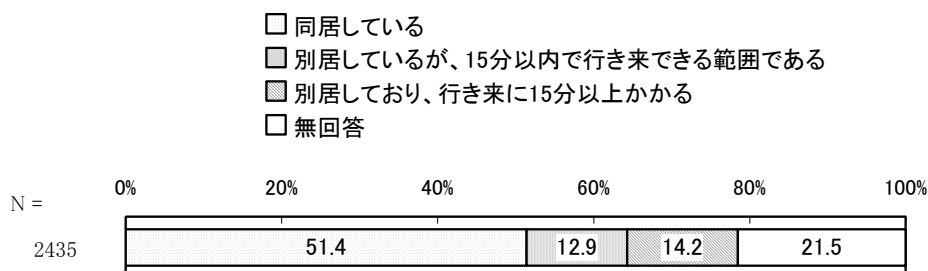
(2) 年齢

「60 歳代」が 23.0%と最も高く、次いで「50 歳代」が 22.5%、「80 歳以上」が 14.3%となっています。



(3) 要介護者との同居状況

「同居している」が 51.4%と最も高く、「別居しており、行き来に 15 分以上かかる」が 14.2%、「別居しているが、15 分以内で行き来できる範囲である」が 12.9%となっています。

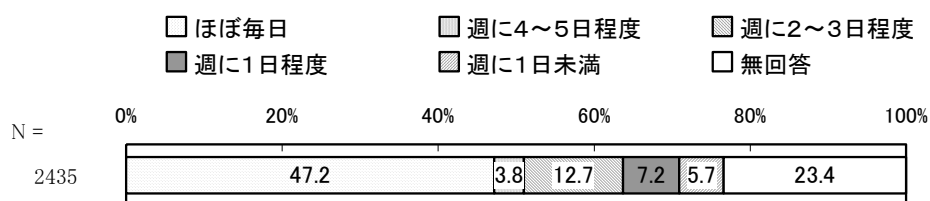


Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

(4) 介護に要する時間

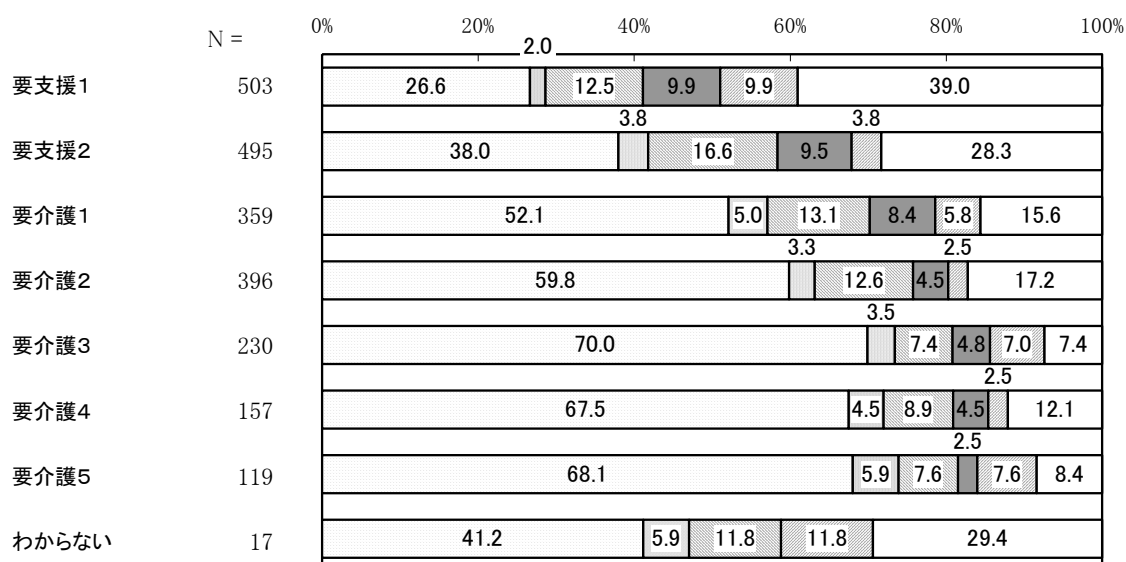
①介護の日数

「ほぼ毎日」が 47.2%と最も高く、「週に2～3日程度」が 12.7%などとなっています。



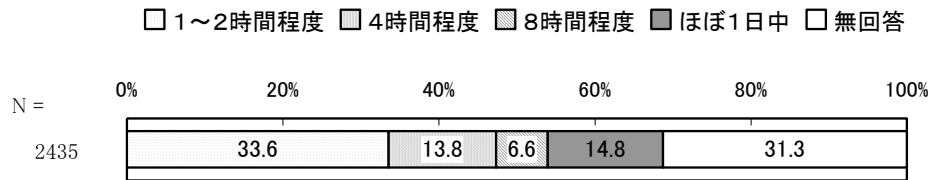
【本人の要介護度別】

要介護度が上がるほど「ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向にあり、要介護3以上では約7割の人が「ほぼ毎日」介護しています。



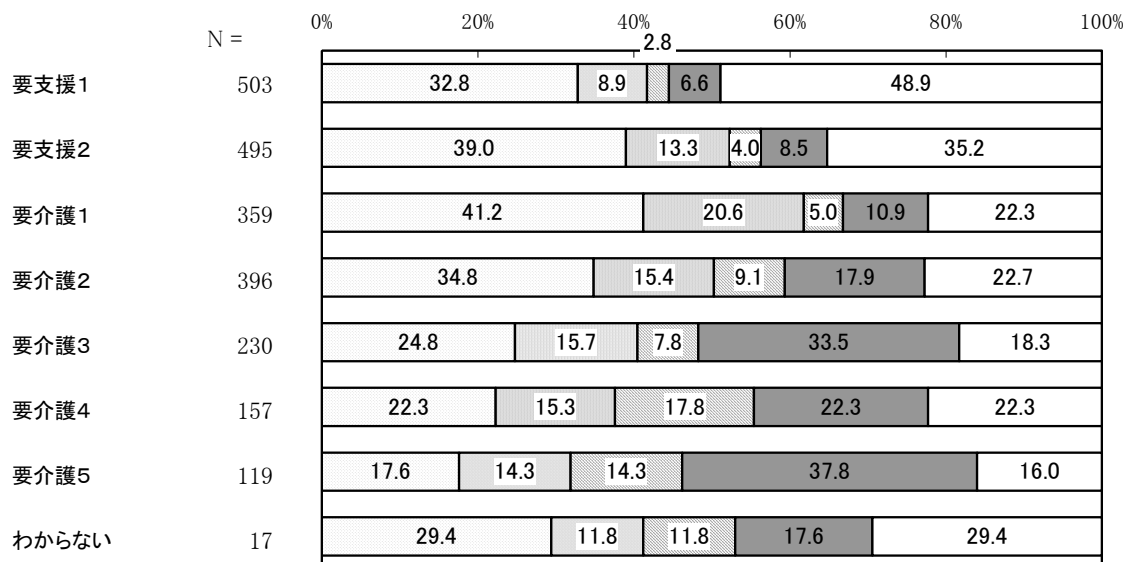
② 1日あたりの介護の時間

「1～2時間程度」が33.6%と最も高く、「ほぼ1日中」が14.8%、「4時間程度」が13.8%となっています。



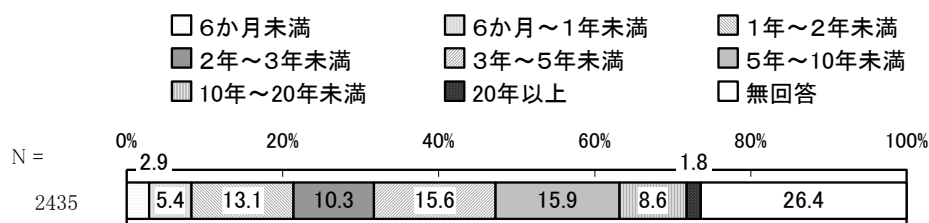
【本人の要介護度別】

要介護度が上がるほど、「ほぼ1日中」の割合が高くなる傾向にあり、要介護5では約4割の人が「ほぼ1日中」介護しています。



(5) 介護期間

「5年～10年未満」が15.9%と最も高く、次いで「3年～5年未満」が15.6%、「1年～2年未満」が13.1%となっています。

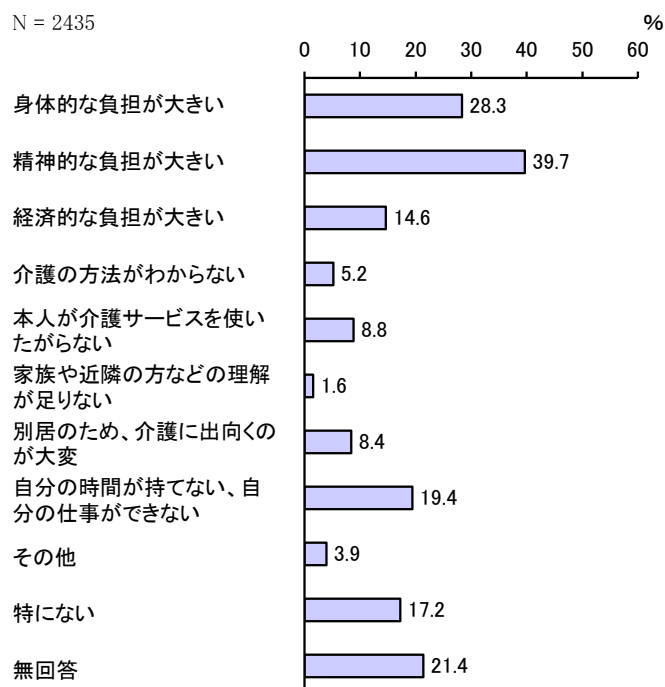


Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

問 32 あなた（主に介護している方）が介護する上で困っていることは何ですか。
（○は3つまで）

「精神的な負担が大きい」が 39.7%と最も高く、次いで「身体的な負担が大きい」が 28.3%、「自分の時間が持てない、自分の仕事ができない」が 19.4%となっています。

N = 2435



【本人の要介護度別】

要介護度が上がるほど、「身体的な負担が大きい」の割合が高くなる傾向にあります。一方で精神的な負担感については、要介護3以上の中重度者ではその割合はほぼ変わらず、半数以上の人負担が大きいと感じています。

単位：％

困っていること 要介護度	有効回答数 (件)	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを使いたがらない	家族や近隣の方などの理解が足りない	別居のため、介護に出向くのが大変	自分の時間が持てない、自分の仕事ができない	その他	特にない	無回答
要支援1	503	<u>17.1</u>	22.7	7.8	4.0	8.7	1.0	7.0	9.7	3.0	20.5	35.8
要支援2	495	<u>21.2</u>	31.1	10.7	6.1	10.1	1.8	8.5	14.3	4.6	22.2	24.8
要介護1	359	<u>26.7</u>	46.2	11.4	5.3	12.0	0.8	11.1	22.0	4.5	17.3	14.5
要介護2	396	<u>32.6</u>	49.0	15.9	4.0	9.8	1.5	7.8	22.2	3.0	15.9	15.9
要介護3	230	<u>40.9</u>	<u>56.5</u>	22.6	7.8	6.1	2.2	11.3	34.3	4.3	10.4	7.0
要介護4	157	<u>52.9</u>	<u>56.1</u>	31.2	7.0	6.4	0.6	8.3	35.0	3.8	9.6	7.6
要介護5	119	<u>50.4</u>	<u>56.3</u>	30.3	3.4	5.0	5.9	5.9	29.4	5.9	9.2	9.2
わからない	17	11.8	29.4	17.6	—	11.8	17.6	5.9	<u>35.3</u>	—	11.8	35.3

【介護者の年齢別】

「身体的な負担が大きい」と感じる割合は年齢が上がるほど高くなっていますが「精神的な負担が大きい」と感じる割合は年齢に関係なく高くなっています。

単位：％

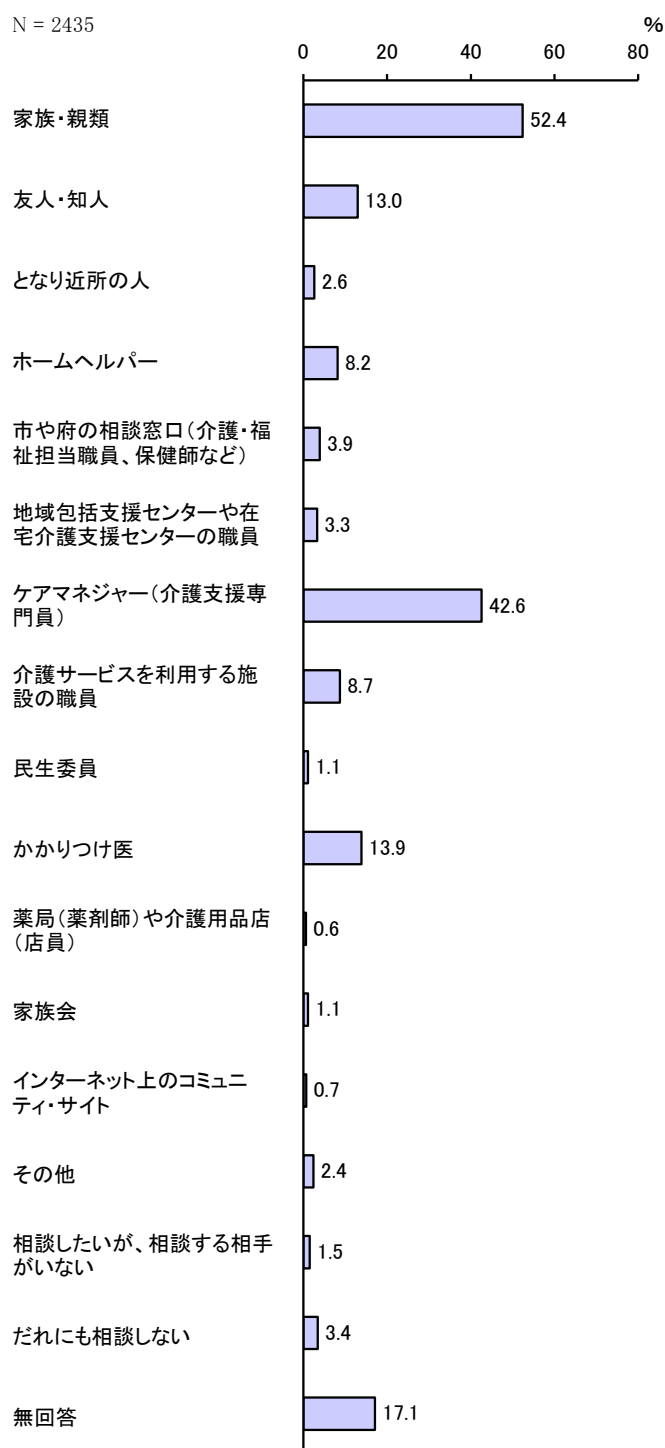
困っていること 介護者の年齢	有効回答数（件）	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを使いたがらない	家族や近隣の方などの理解が足りない	別居のため、介護に向くのが大変	自分の時間が持てない、自分の仕事ができない	その他	特にない	無回答
10 歳代	3	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3	—	33.3	—
20 歳代	9	11.1	33.3	11.1	—	—	—	—	—	—	44.4	22.2
30 歳代	63	14.3	17.5	15.9	—	3.2	1.6	4.8	9.5	6.3	52.4	7.9
40 歳代	235	25.1	43.8	17.9	7.2	9.4	2.6	10.6	21.7	4.7	21.3	10.2
50 歳代	547	25.0	43.0	19.4	5.1	11.7	1.8	14.1	23.6	3.3	19.0	12.1
60 歳代	559	29.7	49.0	15.2	5.4	11.4	1.8	9.8	26.1	5.7	18.6	8.4
70 歳代	326	42.6	49.4	16.9	7.1	7.7	0.6	4.3	22.1	4.3	15.0	15.0
80 歳以上	349	45.0	43.3	14.0	6.9	10.0	2.0	5.7	18.3	2.3	12.0	19.2

Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

問 33 あなた（主に介護している方）は介護に困ったときだれに相談していますか。（〇は3つまで）

「家族・親類」が 52.4%と最も高く、次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が 42.6%、「かかりつけ医」が 13.9%となっています。

※サービス未利用者との比較は 145 ページ参照



【本人の要介護度別】

要介護度が上がるほど、「ケアマネジャー」、「かかりつけ医」の割合が高くなる傾向にあります。要介護度5では「ホームヘルパー」の割合が高くなっています。

単位：％

相談先 要介護度	有効回答数 (件)	家族・親類	友人・知人	となり近所の人	ホームヘルパー	市や府の相談窓口（介護・福祉担当職員、保健師など）	地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員	ケアマネジャー（介護支援専門員）	介護サービスを利用する施設の職員
要支援1	503	47.5	9.7	3.8	7.2	4.2	5.8	<u>28.0</u>	5.6
要支援2	495	53.3	18.0	3.0	8.3	5.3	3.2	<u>38.2</u>	3.6
要介護1	359	58.5	13.4	1.9	7.0	2.8	1.9	<u>49.0</u>	7.0
要介護2	396	54.3	13.9	3.5	6.6	3.3	3.0	<u>47.2</u>	8.1
要介護3	230	57.4	11.7	0.4	9.1	4.3	0.9	<u>55.2</u>	20.4
要介護4	157	57.3	15.9	0.6	3.8	3.8	1.3	<u>64.3</u>	19.1
要介護5	119	46.2	5.9	1.7	<u>18.5</u>	3.4	1.7	<u>53.8</u>	16.8
わからない	17	29.4	5.9	—	5.9	—	17.6	17.6	—

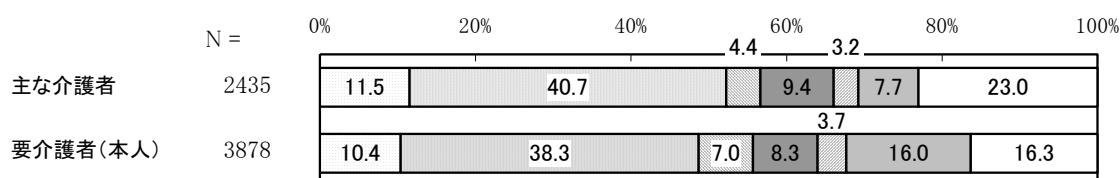
相談先 要介護度	民生委員	かかりつけ医	薬局（薬剤師）や介護用品店（店員）	家族会	インターネット上のコミュニティ・サイト	その他	相談したいが、相談する相手がいない	だれにも相談しない	無回答
要支援1	2.2	<u>11.9</u>	0.8	1.0	0.6	1.4	1.0	4.0	24.7
要支援2	1.2	<u>12.7</u>	1.0	1.2	1.2	2.4	0.8	4.4	19.6
要介護1	0.3	<u>13.4</u>	0.3	0.8	0.6	2.8	0.8	3.9	12.0
要介護2	1.0	<u>17.4</u>	0.3	0.8	0.8	2.0	2.0	2.3	14.9
要介護3	0.4	<u>12.6</u>	0.9	0.4	0.4	2.2	3.5	2.2	8.7
要介護4	0.6	<u>18.5</u>	0.6	1.3	1.3	3.2	0.6	0.6	9.6
要介護5	0.8	<u>18.5</u>	—	1.7	—	6.7	0.8	4.2	8.4
わからない	—	11.8	—	—	—	—	11.8	5.9	23.5

Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

問 34 あなた（主に介護している方）は、今後ご本人に対してどのように介護したいと思いますか。（○はひとつ）

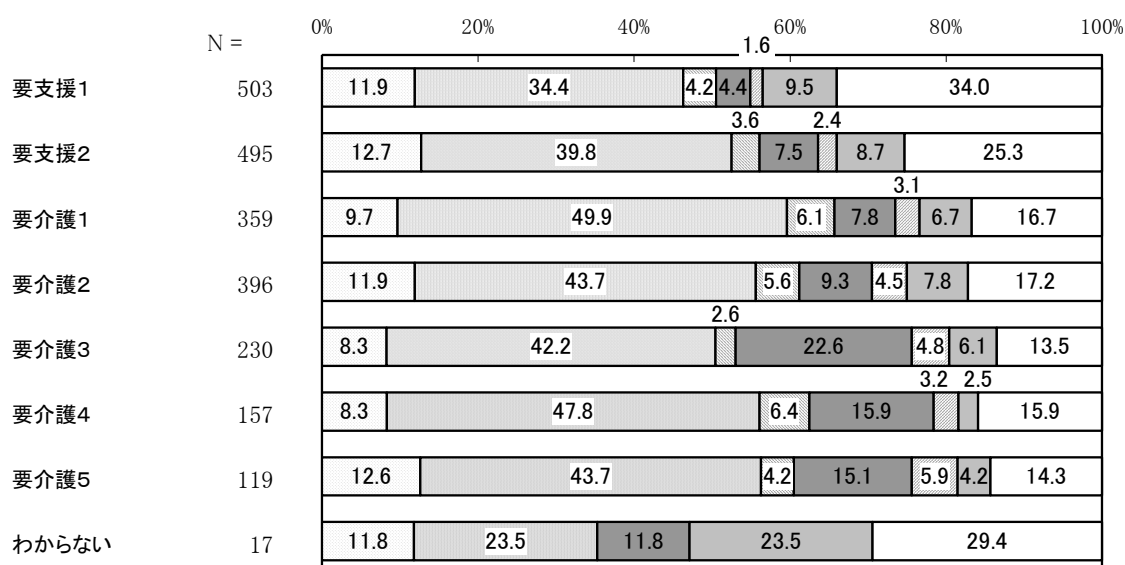
「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」が40.7%と最も高く、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が11.5%などとなっています。半数以上が自宅での介護を望んでおり、本人の意向よりも割合がやや高くなっています。

- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護したい
- ☐ 介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい
- ☐ 介護保険サービスの付いた高齢者向けの住宅に入居させたい
- ☐ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所させたい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



【本人の要介護度別】

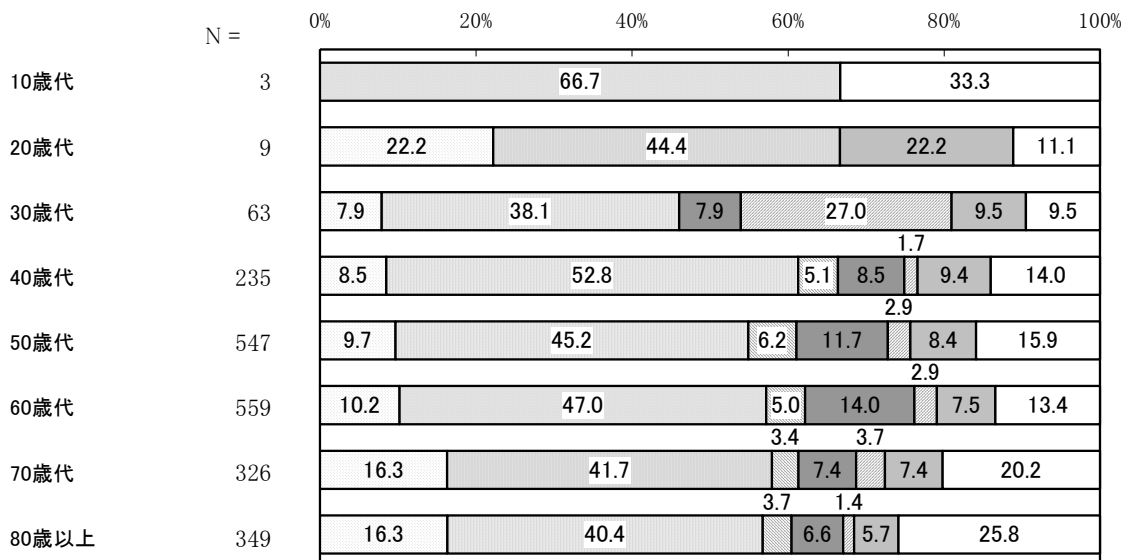
要介護3以上で「特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所させたい」の割合が高くなっています。



【介護者の年齢別】

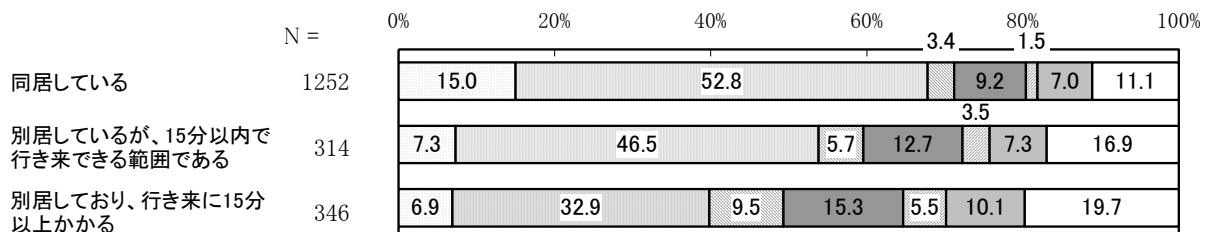
年齢が上がるにつれ「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」の割合が高くなる傾向にあります。

- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護したい
- ☐ 介護保険サービス(ホームヘルパーやデイサービスなど)や保健福祉サービス(緊急通報サービスなど)を使いながら自宅で介護したい
- ☐ 介護保険サービスの付いた高齢者向けの住宅に入居させたい
- ☐ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所させたい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



【要介護者との同居状況別】

同居しているで自宅での介護を望む割合が高く、施設入所を望む割合が低くなっています。

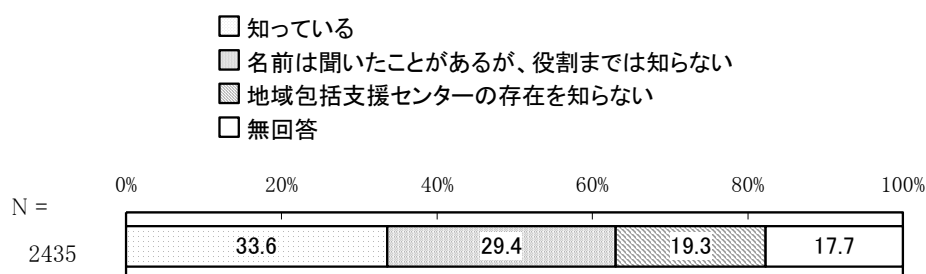


Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

問 35 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康など、さまざまな面から総合的に相談や支援を行う機関です。あなた（主に介護している方）は地域包括支援センターの役割を知っていますか。（○はひとつ）

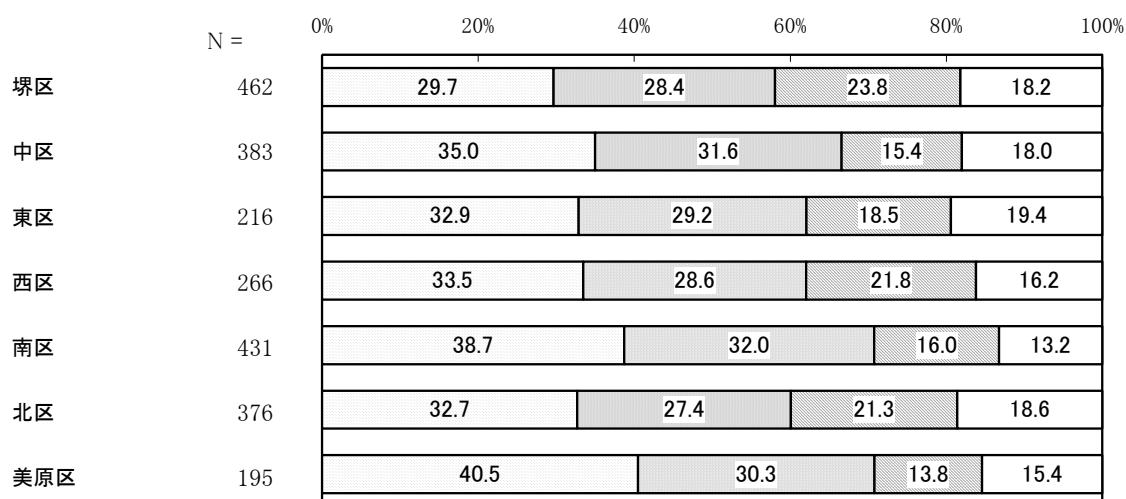
「知っている」が 33.6%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 29.4%、「地域包括支援センターの存在を知らない」が 19.3%となっています。

※サービス未利用者との比較は 149 ページ参照



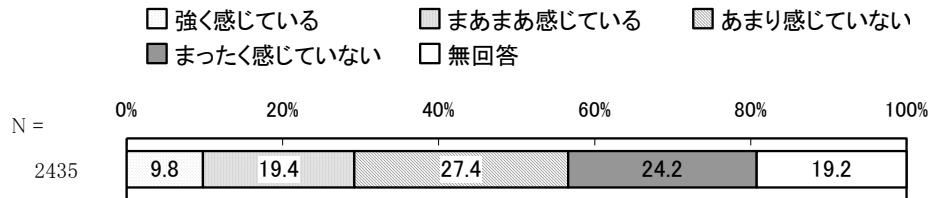
【区域別】

堺区、西区、北区で「地域包括支援センターの存在を知らない」の割合が高くなっています。



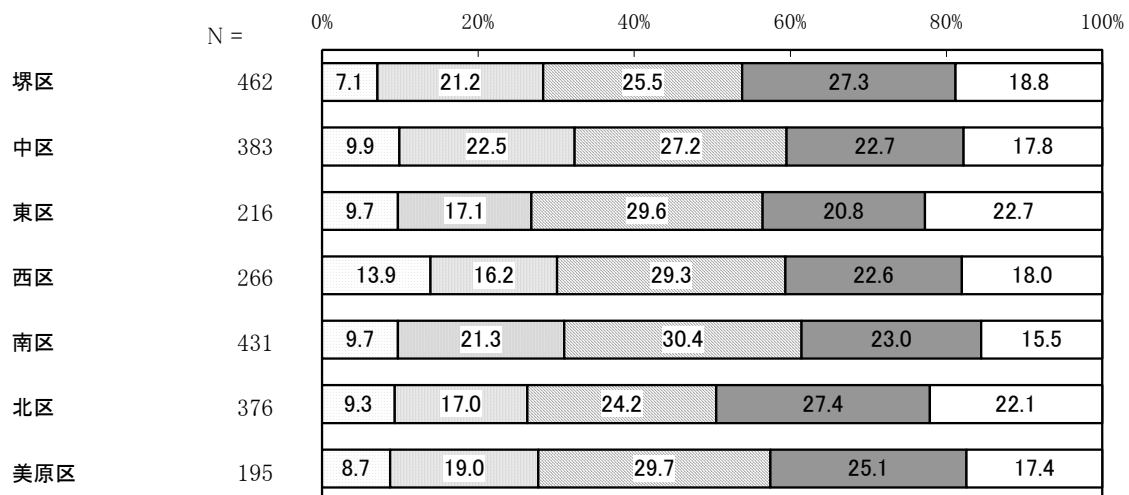
問 36 あなた（主に介護している方）にとって、地域包括支援センターは身近に感じていますか。（○はひとつ）

「あまり感じていない」が27.4%と最も高く、次いで「まったく感じていない」が24.2%、「まあまあ感じている」が19.4%となっています。



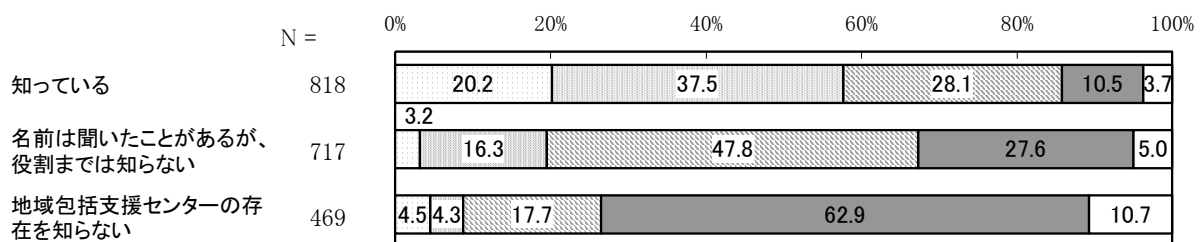
【区域別】

「強く感じている」と「まあまあ感じている」を合わせた地域包括支援センターを“身近に感じている”人の割合は中区、南区、西区で高く、北区、東区で低くなっています。



【地域包括支援センターの認知度別】

地域包括支援センターの存在を知っている人は、半数以上が「身近に感じている」と回答しています。

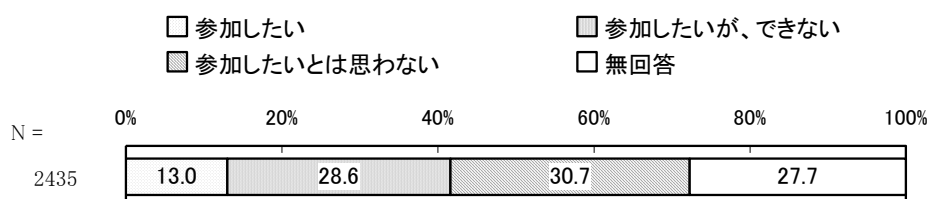


Ⅲ 2 介護保険サービス利用者調査

問 37 家族を介護する人が集まって、日頃感じていることを話しあったり、疲れをとるような教室を開催した場合、あなた（主に介護している方）は参加されますか。（○はひとつ）

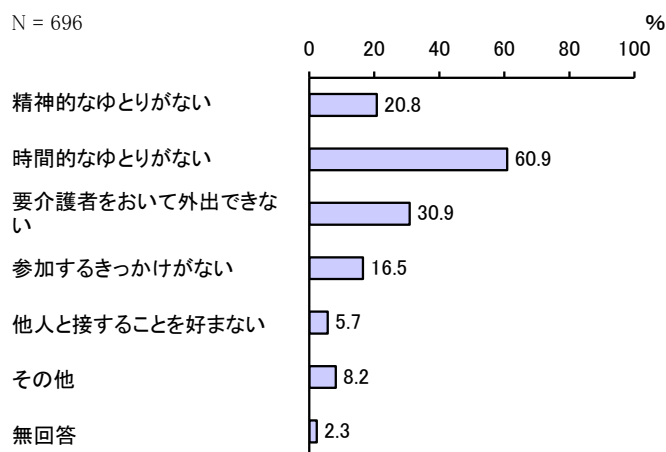
「参加したいとは思わない」が 30.7%と最も高い一方で、「参加したいが、できない」が 28.6%、「参加したい」が 13.0%となっており、参加意向のある人は合わせて約 4 割となっています。

※サービス未利用者との比較は 151 ページ参照



問 37-1 問 37 で「2. 参加したいが、できない」と回答した方にお伺いします。参加できない理由は何ですか。（○はいくつでも）

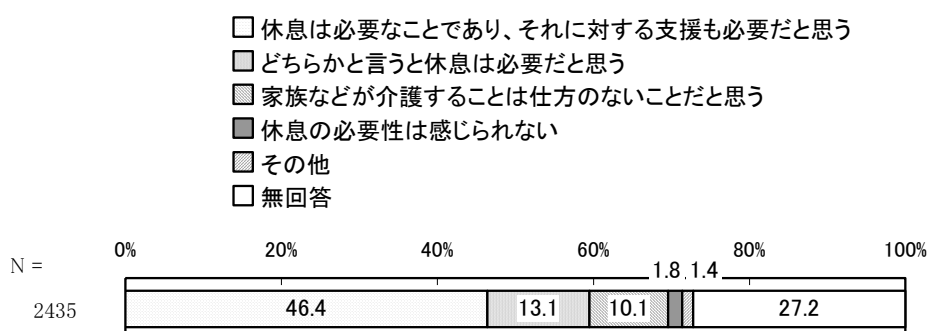
「時間的なゆとりがない」が 60.9%と最も高く、「要介護者をおいて外出できない」が 30.9%、「精神的なゆとりがない」が 20.8%となっています。一方で介護とは直接関係がない「参加するきっかけがない」も 16.5%と、介護とは直接関係がないものの、参加できない要因のひとつとなっています。



問 38 あなた（主に介護している方）は、在宅介護をしている家族などが一時的に介護を離れ、リフレッシュすること（レスパイト）についてどう思いますか。（○はひとつ）

「休息は必要なことであり、それに対する支援も必要だと思う」が 46.4%と最も高く、「どちらかと言うと休息は必要だと思う」が 13.1%、「家族などが介護することは仕方のないことだと思う」が 10.1%となっています。

※一般高齢者との比較は 75 ページ参照

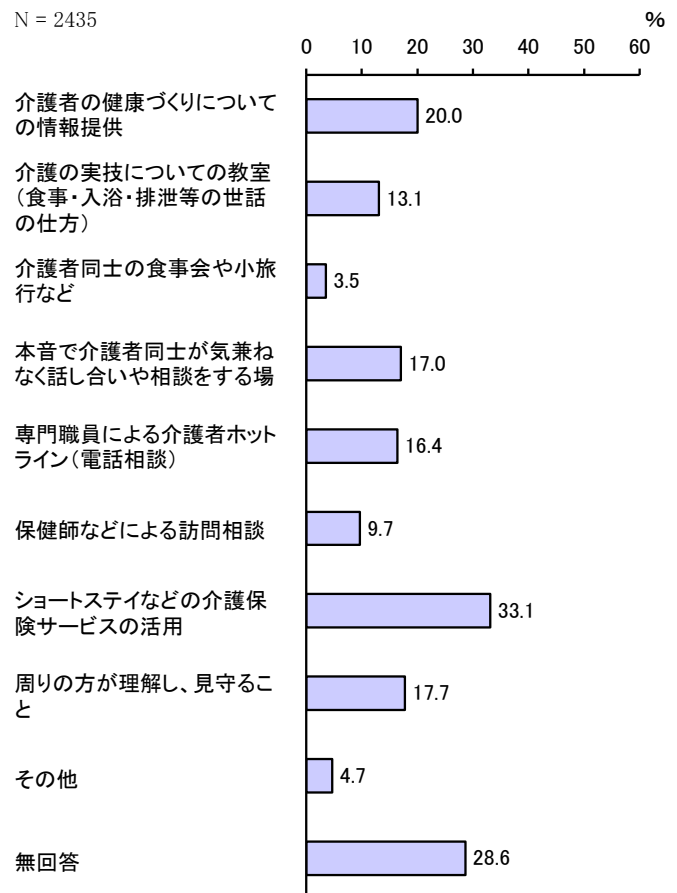


問 39 あなた（主に介護している方）は、家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」が 33.1%と最も高く、次いで「介護者の健康づくりについての情報提供」が 20.0%、「周りの方が理解し、見守ること」が 17.7%となっています。

※サービス未利用者との比較は 152 ページ参照

N = 2435



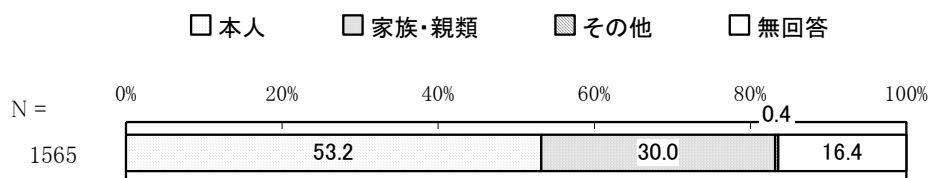
Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

3 介護保険サービス未利用者調査

(1) 本人について

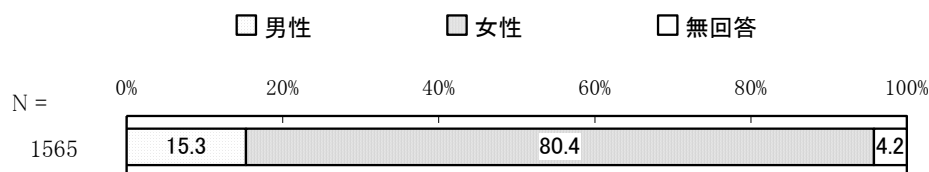
ご記入いただける方の該当するところに○をつけてください。(○はひとつ)

「本人」が 53.2%、「家族・親類」が 30.0%となっています。



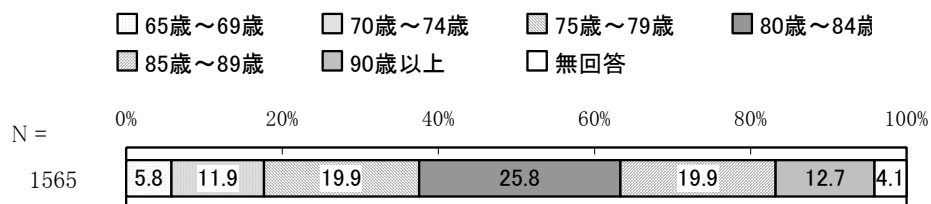
問1 あなたの性別について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「女性」が 80.4%、「男性」が 15.3%となっています。



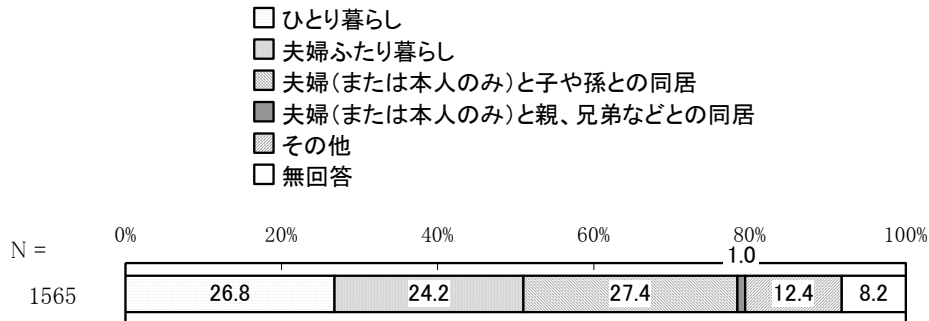
問2 あなたの年齢について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「80歳～84歳」が 25.8%と最も高く、次いで「75歳～79歳」、「85歳～89歳」がそれぞれ 19.9%となっており、後期高齢者が約8割を占めています。



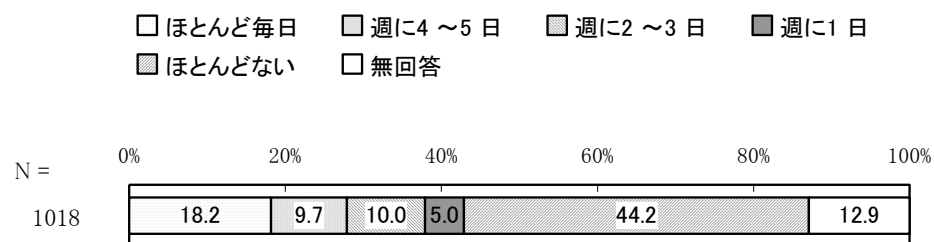
問3 あなたの世帯状況について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居」が27.4%と最も高く、次いで「ひとり暮らし」が26.8%、「夫婦ふたり暮らし」が24.2%となっています。



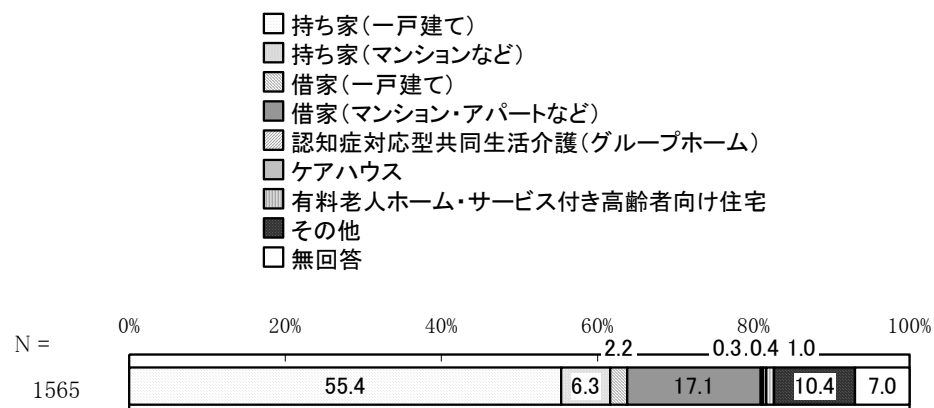
問3-1 問3で「2.～5.」と回答した方（ご家族などと同居されている方）にお伺いします。日中、一人になることがありますか。(○はひとつ)

「ほとんどない」が44.2%と最も高く、「ほとんど毎日」が18.2%、「週に2～3日」が10.0%となっています。



問4 お住まいの状況について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

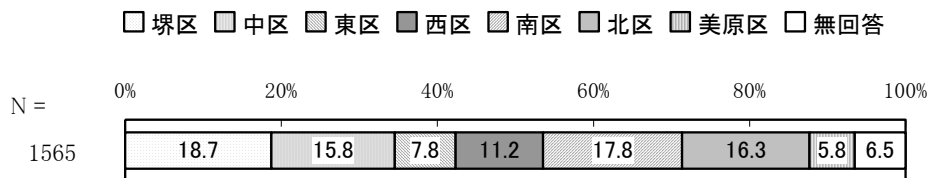
「持ち家（一戸建て）」が55.4%と最も高く、「借家（マンション・アパートなど）」が17.1%などとなっています。



Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

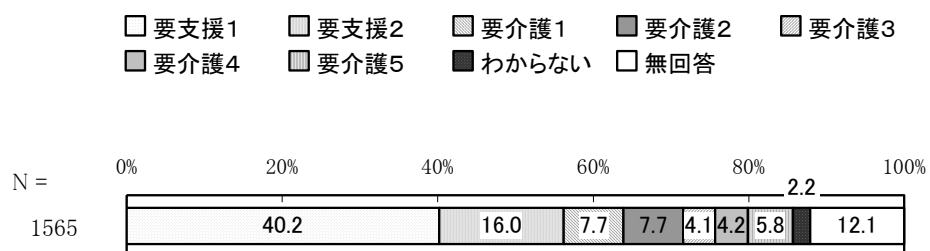
問5 お住まいの区と小学校区域について、それぞれ○をつけてください。小学校区が分からない方は、区のみ○をつけてください。

「堺区」が18.7%と最も高く、次いで「南区」が17.8%、「北区」が16.3%となっています。



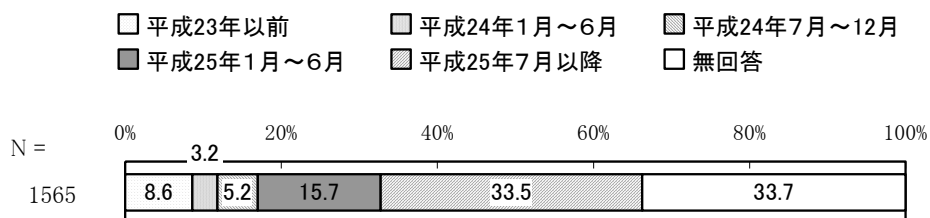
問6 現在の要介護認定の状況（要介護度）について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。また、認定を受けた時期をお答えください。（○はひとつ）

「要支援1」が40.2%と最も高く、「要支援2」が16.0%、「要介護1」「要介護2」がそれぞれ7.7%となっています。要支援者が56.2%、要介護者が29.5%と軽度者が半数以上を占めています。



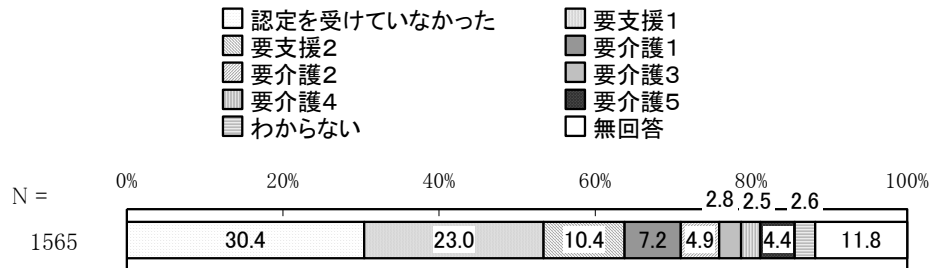
（1）現在の認定を受けた時期

無回答が33.7%を占めている一方で、回答している人の中では「平成25年7月以降」が33.5%と最も高く、「平成25年1月～6月」が15.7%などとなっています。



問7 1年前の要介護認定の状況（要介護度）について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。（○はひとつ）

「認定を受けていなかった」が30.4%と最も高く、次いで「要支援1」が23.0%、「要支援2」が10.4%となっています。



【現在と1年前の要介護度の比較】

要介護度に関わらず、1年前の要介護度を維持している人の割合が高い傾向にあります。特に要支援1において変化していない人の割合が高く、サービス利用者と同一傾向にあります。

また要支援1、要介護1において、1年前は「認定を受けていなかった」人の割合が高くなっています。

単位：％

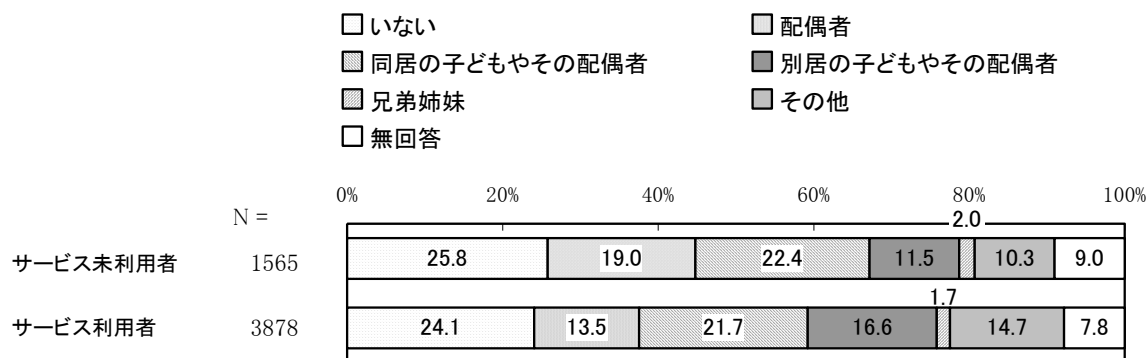
1年前の 要介護度 現在の 要介護度	有効 回答数 (件)	認定 を受けて いない かった	要 支援 1	要 支援 2	要 介護 1	要 介護 2	要 介護 3	要 介護 4	要 介護 5	わ か ら な い	無 回 答
要支援1	629	37.0	43.7	5.6	4.8	1.3	0.2	0.6	—	0.3	6.5
要支援2	250	33.6	13.6	31.6	4.0	5.2	0.8	0.4	1.2	2.0	7.6
要介護1	121	37.2	7.4	12.4	32.2	4.1	—	—	—	3.3	3.3
要介護2	120	31.7	5.8	14.2	12.5	27.5	0.8	0.8	—	1.7	5.0
要介護3	64	20.3	4.7	4.7	14.1	7.8	37.5	4.7	—	—	6.3
要介護4	66	18.2	4.5	3.0	4.5	13.6	9.1	33.3	9.1	1.5	3.0
要介護5	91	13.2	—	—	1.1	2.2	8.8	6.6	62.6	—	5.5
わからない	35	14.3	8.6	2.9	—	—	—	—	5.7	60.0	8.6

Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

問8 あなたの世話や介護をされている方はどなたですか。(○はひとつ)

「いない」が25.8%と最も高く、次いで「同居の子どもやその配偶者」が22.4%、「配偶者」が19.0%となっています。

サービス利用者と比べて「同居の子どもやその配偶者」の割合が低くなっています。

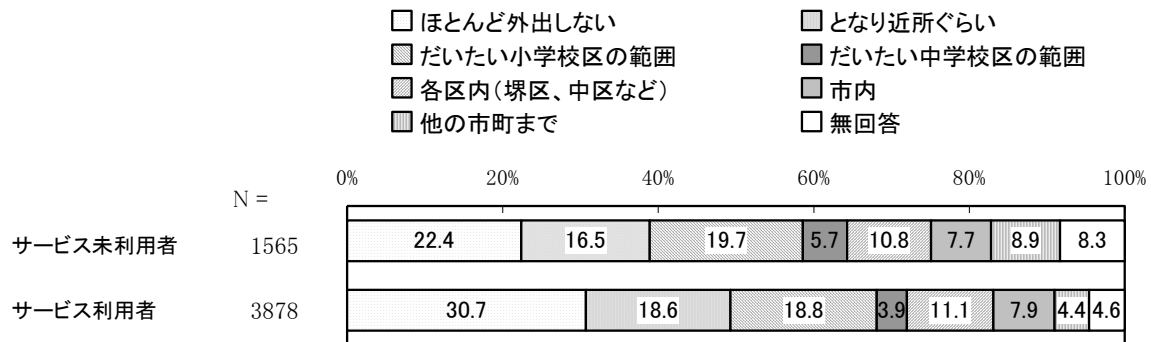


(2) 生活状況や健康について

問9 あなたにとって、日常の買い物や通院などで外出する範囲はどれくらいですか。(○はひとつ)

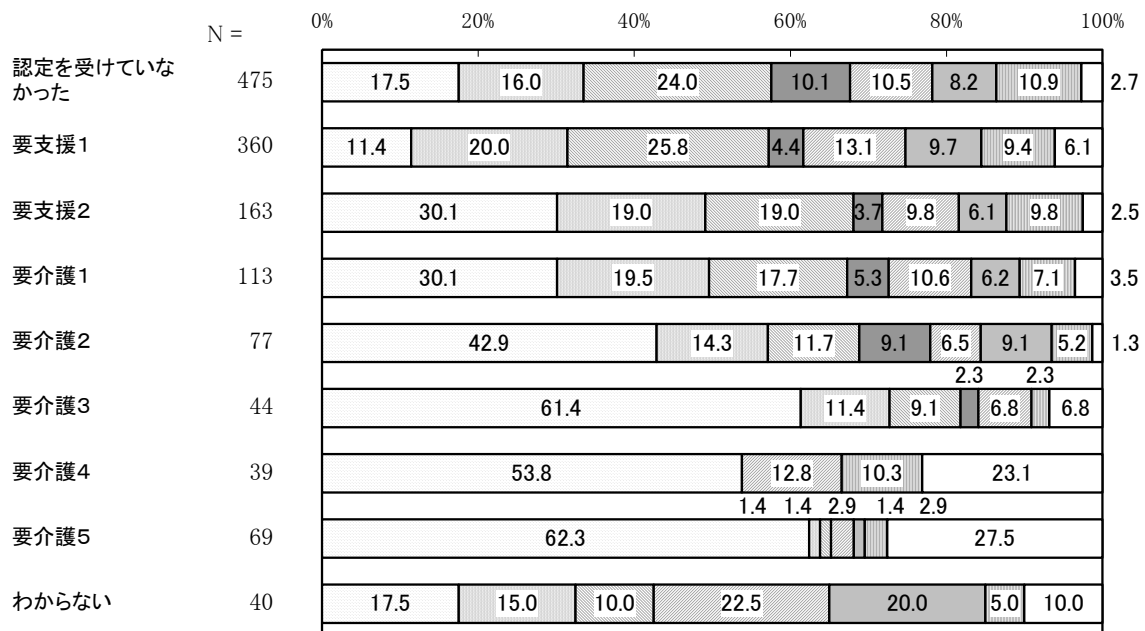
「ほとんど外出しない」が22.4%と最も高く、次いで「だいたい小学校区の範囲」が19.7%、「となり近所ぐらい」が16.5%となっています。

サービス利用者と比べて「ほとんど外出しない」の割合が低くなっています。



【要介護度別】

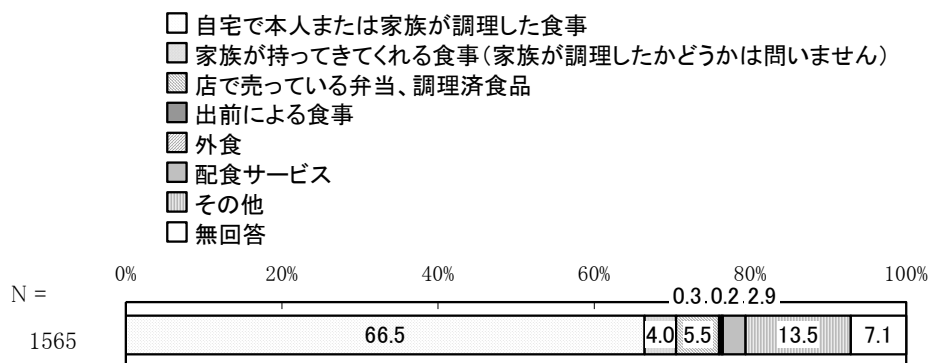
要介護度が上がるほど「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

問 10 あなたは主にどのような食事をとっていますか。(○はひとつ)

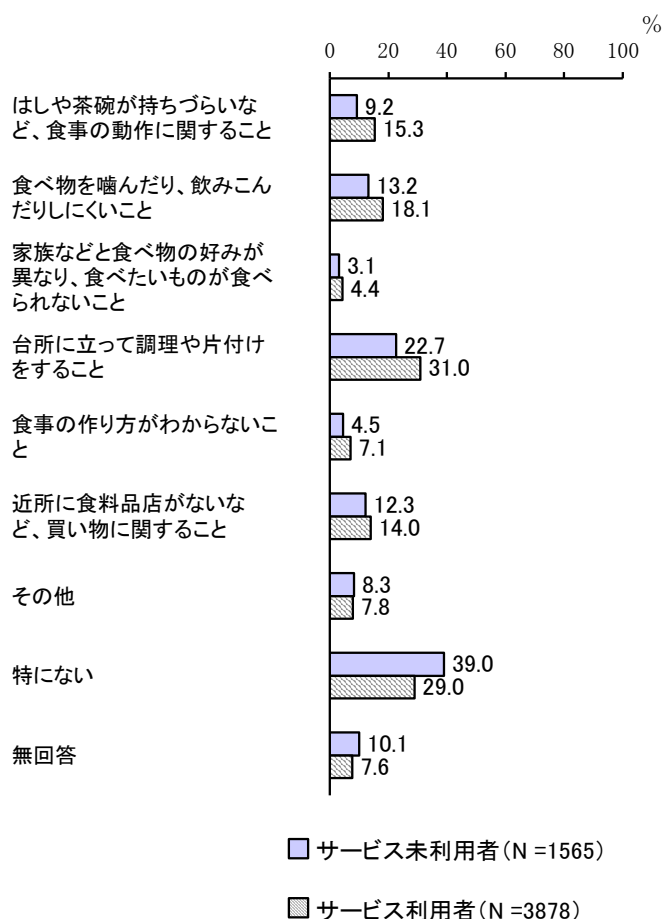
「自宅で本人または家族が調理した食事」が 66.5%と最も高くなっています。



問 11 あなたは食事に関して何か困っていることがありますか。(○は3つまで)

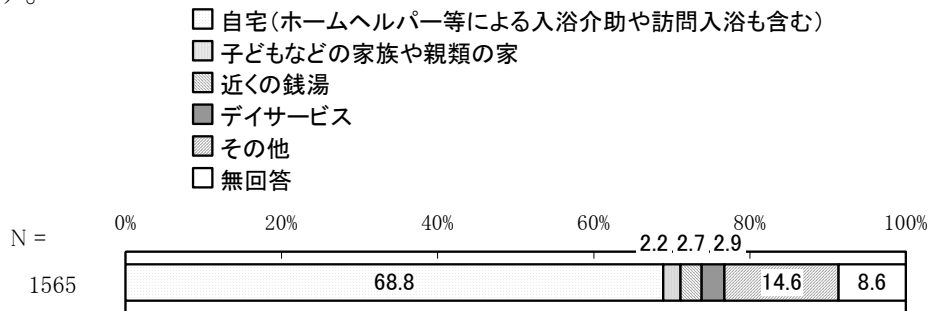
「特にない」が 39.0%と最も高い一方、「台所に立って調理や片付けをすること」が 22.7%、「食べ物を噛んだり、飲みこんだりしにくいこと」が 13.2%となっています。

サービス利用者と比べて「特にない」の割合が高くなっています。



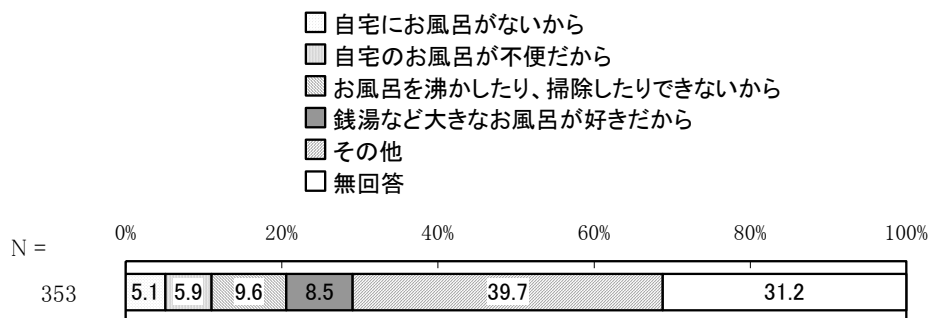
問 12 あなたは主にどこで入浴していますか。(○はひとつ)

「自宅(ホームヘルパー等による入浴介助や訪問入浴も含む)」が 68.8%と最も高くなっています。



問 12-1 問 12 で「2.～5.」(自宅以外で入浴している)と回答した方にお伺いします。あなたが自宅以外で入浴している理由は何ですか。(○はひとつ)

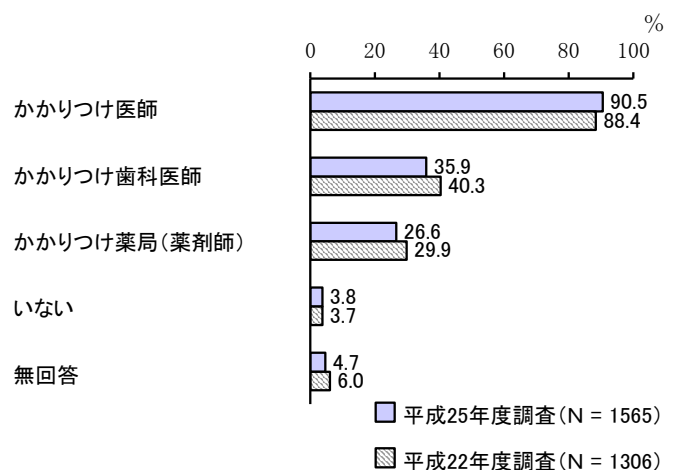
「その他」や無回答の割合が高い結果となっています。「その他」では「入院中のため」「浴槽に入るのが困難で介護が必要なため」という回答が多くみられます。



問 13 あなたには、日頃から診療や相談ができるかかりつけの医師・歯科医師・薬剤師はいますか。(○はいくつでも)

「かかりつけ医師」が 90.5%と最も高く、「かかりつけ歯科医師」が 35.9%、「かかりつけ薬局(薬剤師)」が 26.6%となっています。

前回調査と比べても、大きな差異はみられません。



Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

(3) 介護保険制度について

問 15 現行の介護保険制度は、サービスを利用する人が増えたり、一人ひとりの利用するサービスの量が増えることによって介護保険料が上昇する仕組みとなっています。堺市の今後の介護保険料について、あなたのお考えに近いのは次のどれですか。(〇はひとつ)

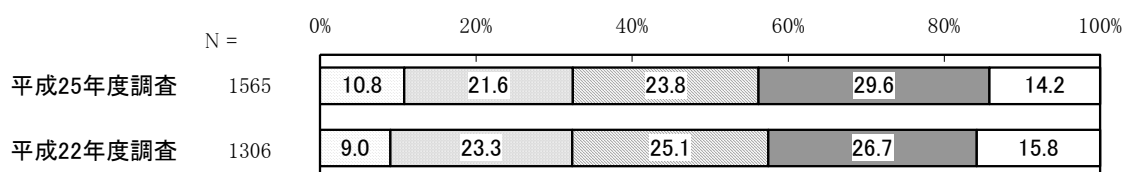
「わからない」が 29.6%と最も高く、次いで「現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度、介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない」が 23.8%、「介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない」が 21.6%となっています。

介護保険料の上昇について、「仕方がない」と、一定の前提条件のもとでは「仕方がない」は合わせて 32.4%となっており、前回調査と比べても大きな差異はみられません。

※一般高齢者、サービス利用者との比較は 63 ページ参照

- ☐ 高齢化が進み、介護保険サービスを利用する人や利用量は増えていくだろうから、介護保険料が上昇するのは仕方がない
- ☐ 介護予防対策に力を入れ、介護保険サービスを必要とする人の増加を抑制することが重要であるが、それでも利用量等が増え、介護保険料が上昇するのならば仕方がない
- ☐ 現状以上に介護保険料が上昇するのは避けるべきであり、そのためには介護保険サービスが必要な人であっても、ある程度、介護保険サービスの利用が制限されても仕方がない
- ☐ わからない

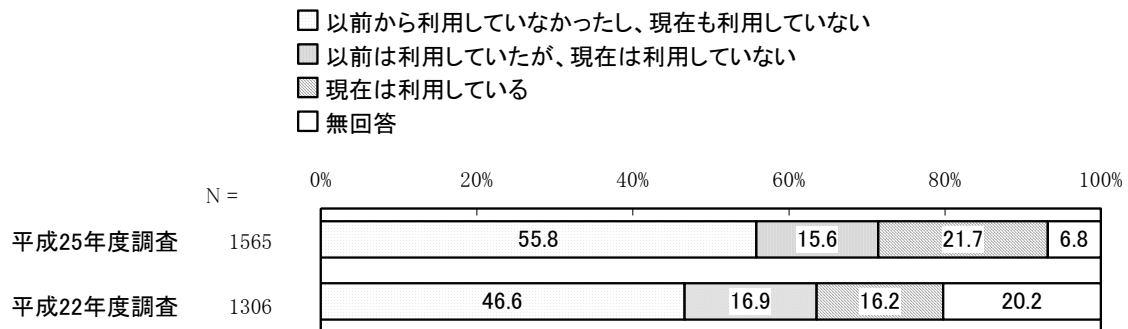
☐ 無回答



問 16 あなたの介護保険サービスの利用状況について、次の中からあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

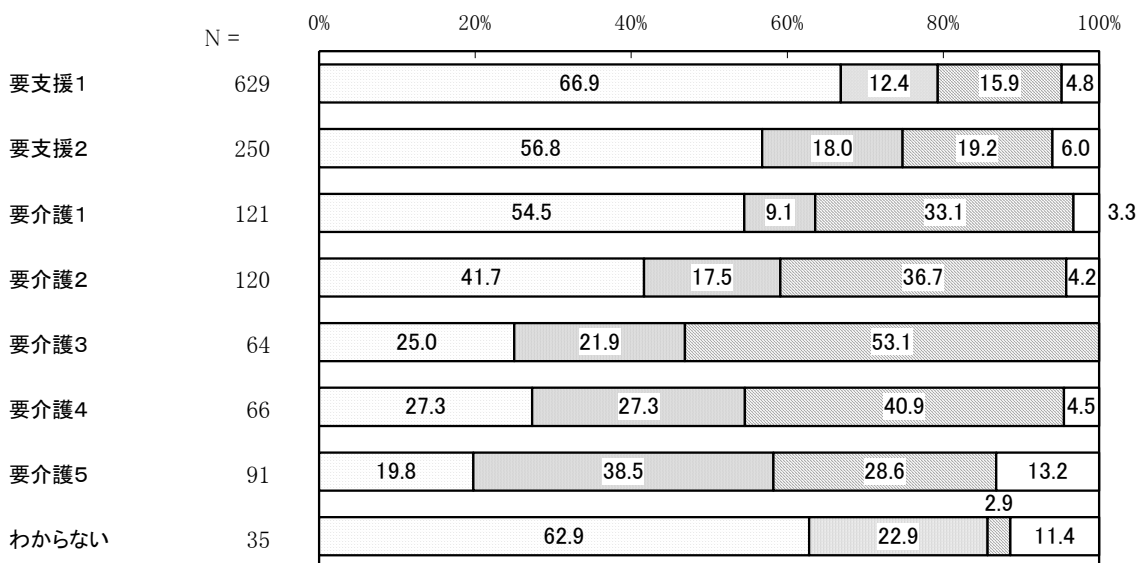
「以前から利用していなかったし、現在も利用していない」が 55.8%と最も高く、「現在は利用している」が 21.7%、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が 15.6%となっています。

前回調査と比べると、「以前から利用していなかったし、現在も利用していない」「現在は利用している」の割合が上昇しています。



【要介護度別】

要介護 3、4 で「現在は利用している」の割合が高くなっています。要介護度が上がるほど「以前から利用していなかったし、現在も利用していない」の割合が低くなり、逆に「以前は利用していたが、現在は利用していない」の割合が高くなる傾向にあります。要介護 4・5 については、後述するように「入院」が利用していない最も大きな理由となっています。

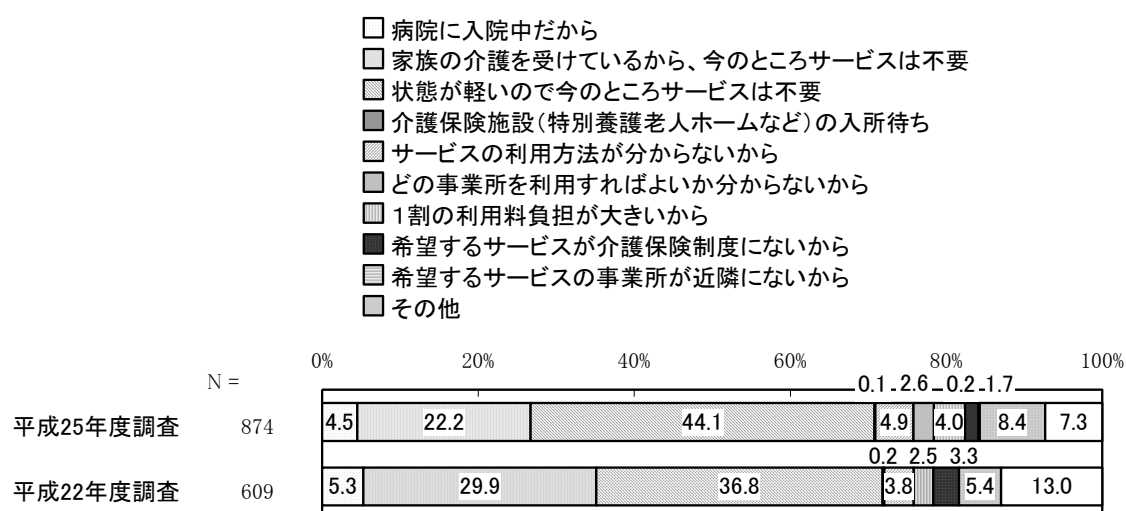


Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

問 16－1 問 16 で「1. 以前から利用していなかったし、現在も利用していない」と回答した方にお伺いします。あなたが、現在まで介護保険サービスを利用していない最も大きい理由は何ですか。(○はひとつ)

「状態が軽いので今のところサービスは不要」が 44.1%と最も高く、「家族の介護を受けているから、今のところサービスは不要」が 22.2%などとなっています。

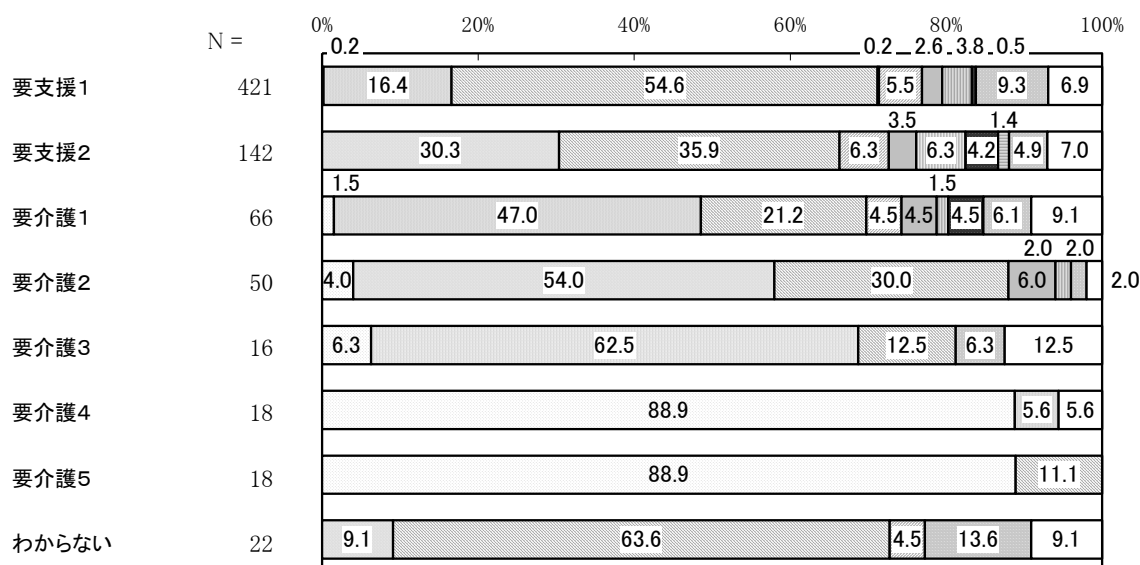
前回調査と比べると、「状態が軽いので今のところサービスは不要」の割合が上昇し、「家族の介護を受けているから、今のところサービスは不要」が低下しています。



※平成 22 年度調査には、「どの事業所を利用すればよいかわからないから」「希望するサービスの事業所が近隣にないから」はありません。

【要介護度別】

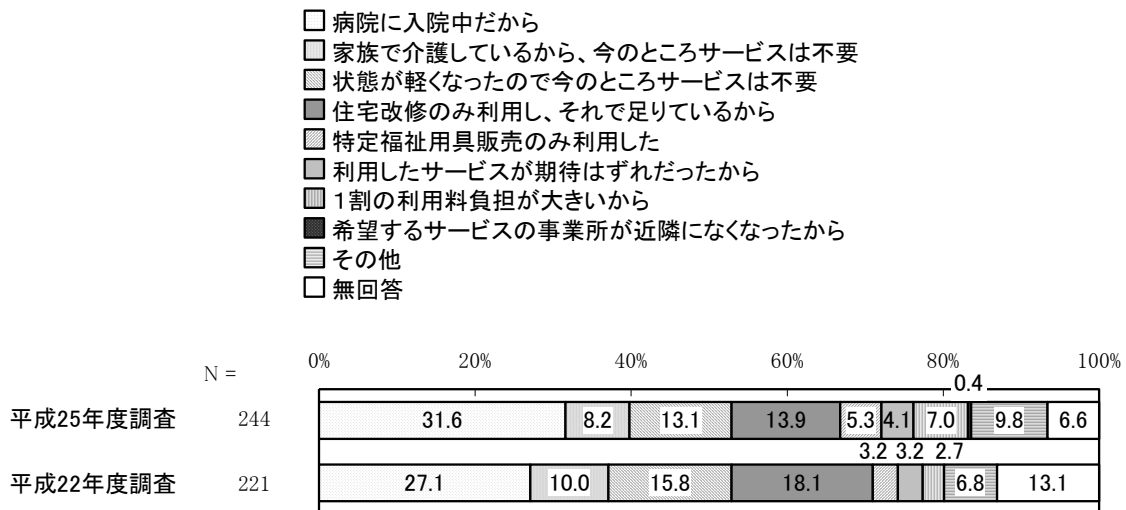
要支援 1 から要介護 3 で要介護度が上がるほど「家族の介護を受けているから、今のところサービスは不要」の割合が高くなっています。要介護 4・5 の重度の人は「入院」の割合が最も高くなっています。



問 16－2 問 16 で「2. 以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答した方にお伺いします。あなたが、以前は介護サービスを利用していたが現在は利用していない最も大きい理由は何ですか。（○はひとつ）

「病院に入院中だから」が 31.6%と最も高く、「住宅改修のみ利用し、それで足りているから」が 13.9%、「状態が軽くなったので今のところサービスは不要」が 13.1%となっています。

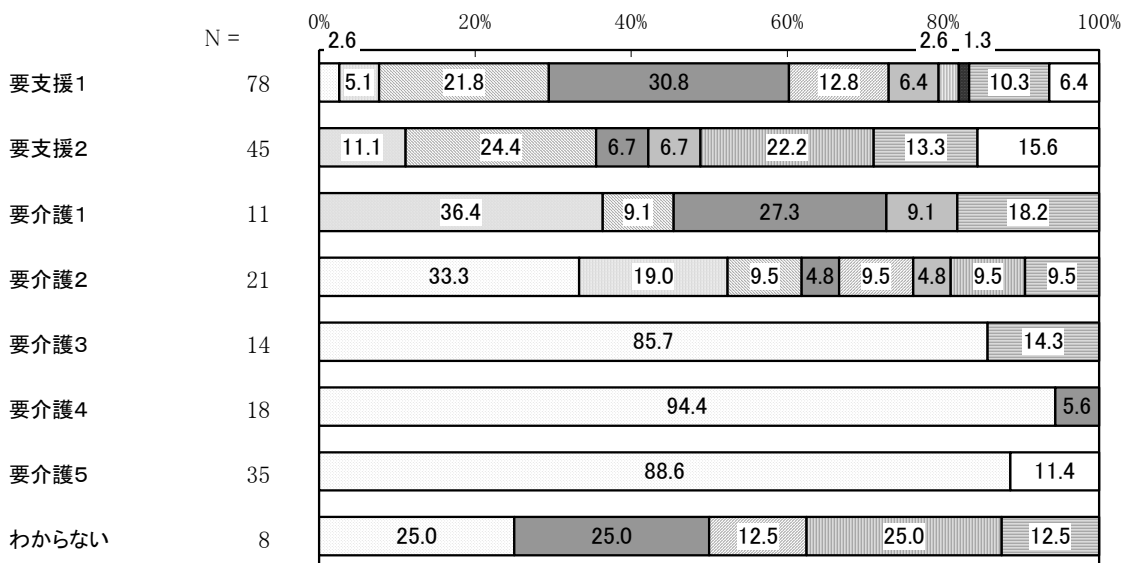
前回調査と比べても、大きな差異はみられません。



※平成 22 年度調査には、「希望するサービスの事業所が近隣になくなったから」はありません。

【要介護度別】

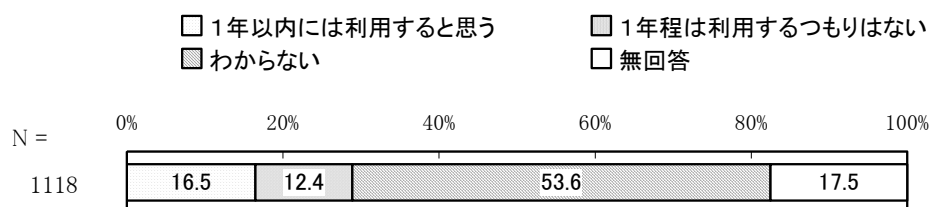
要支援 1、2 で「状態が軽くなったので今のところサービスは不要」の割合が高くなっています。一方、要介護 2 以上では「入院」の割合が高くなっています。



Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

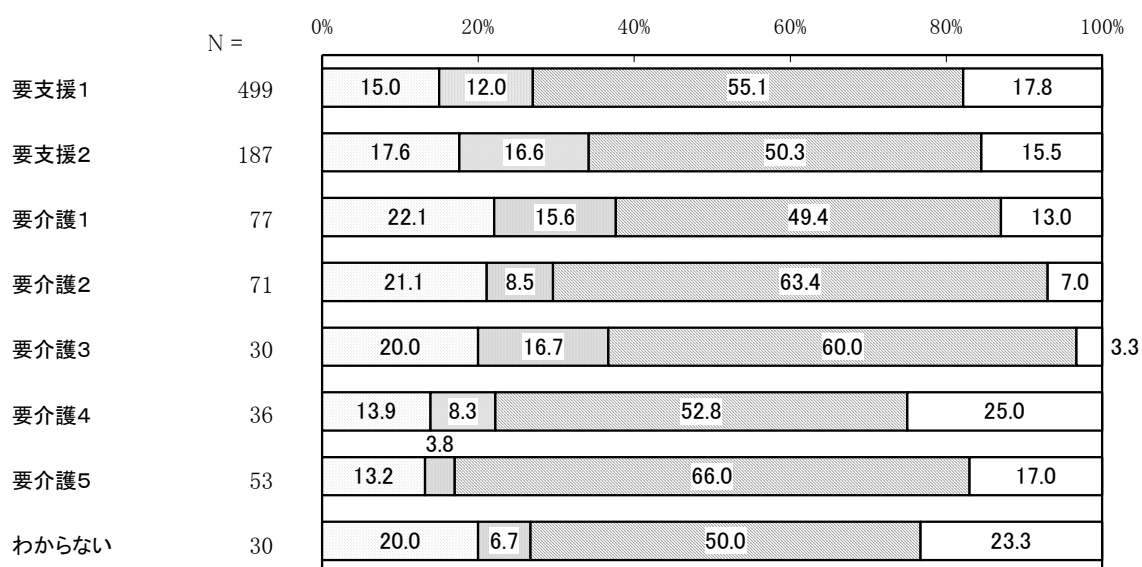
問 16－3 問 16 で「1.」「2.」と回答した方（サービスを利用していない方）にお伺いします。あなたは、今後介護保険サービスを利用されるお考えはありますか。（○はひとつ）

「わからない」が 53.6%と最も高く、「1 年以内には利用すると思う」が 16.5%、「1 年程は利用するつもりはない」が 12.4%となっています。



【要介護度別】

要介護 1、2、3 で「1 年以内には利用すると思う」の割合が高くなっています。

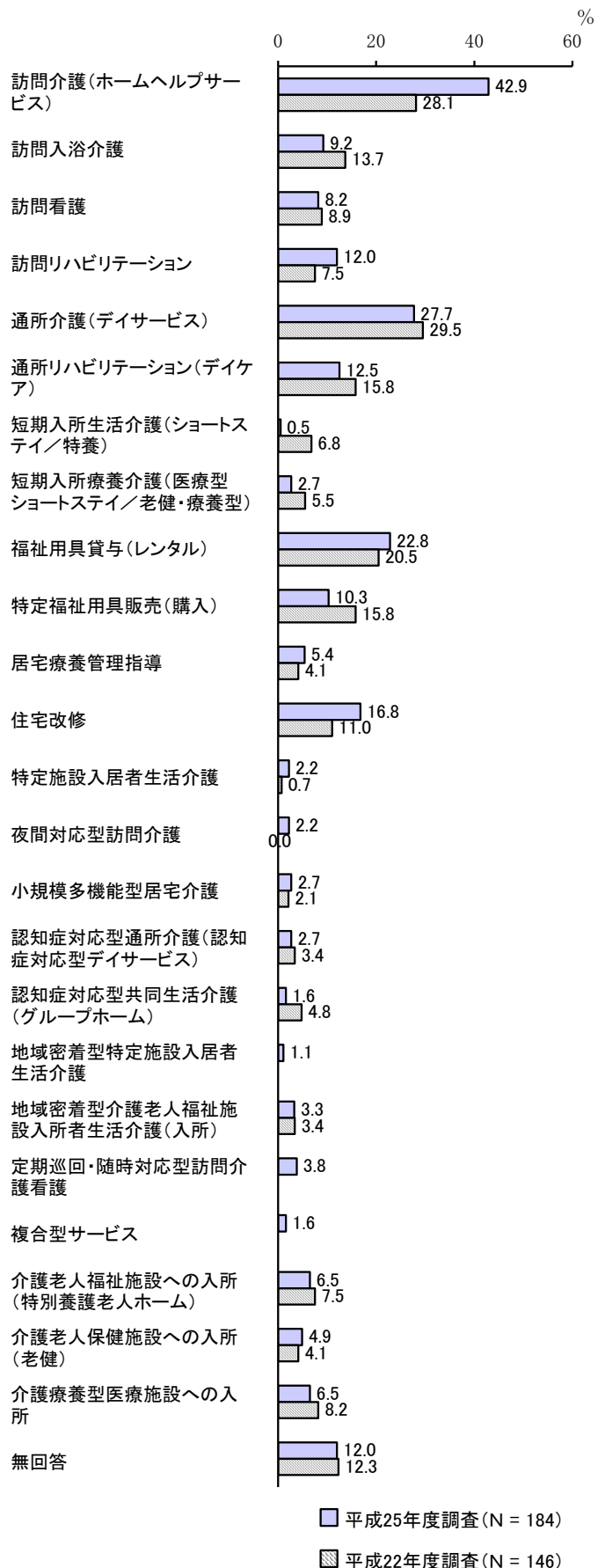


問16-4 問16-3で「1. 1年以内には利用すると思う」と回答した方にお伺いします。利用する予定の介護保険サービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が42.9%と最も高く、「通所介護(デイサービス)」が27.7%、「福祉用具貸与(レンタル)」が22.8%となっています。

前回調査と比べると、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」「住宅改修」の割合が上昇している一方で、「短期入所生活介護(ショートステイ/特養)」「特定福祉用具販売(購入)」の割合が低下しています。

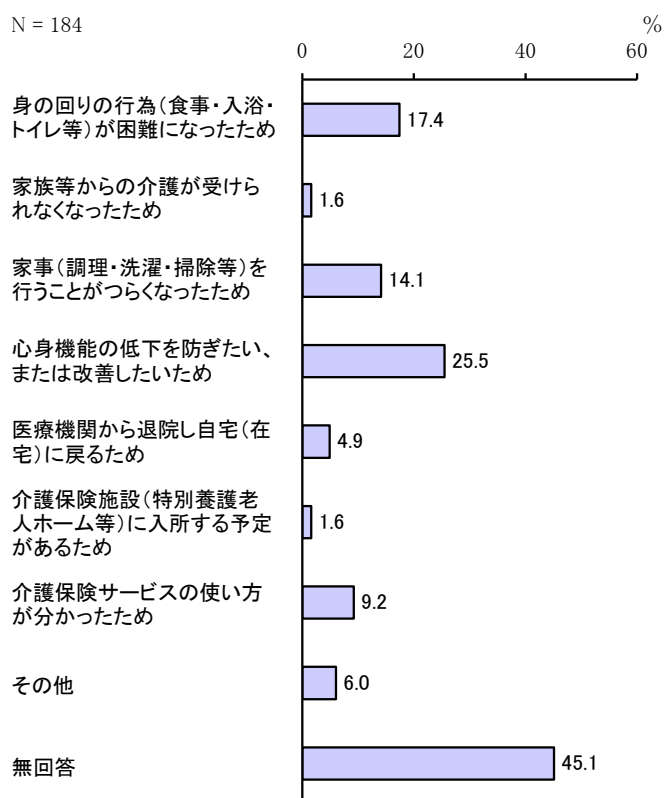
※平成22年度調査には、「地域密着型特定施設入居者生活介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「複合型サービス」はありません。



Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

問 16－5 問 16－3 で「1. 1 年以内には利用すると思う」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用することになった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

無回答が 45.1%を占めている一方で、回答している人の中では「心身機能の低下を防ぎたい、または改善したいため」が 25.5%と最も高く、次いで「身の回りの行為（食事・入浴・トイレ等）が困難になったため」が 17.4%、「家事（調理・洗濯・掃除等）を行うことがつらくなったため」が 14.1%となっています。

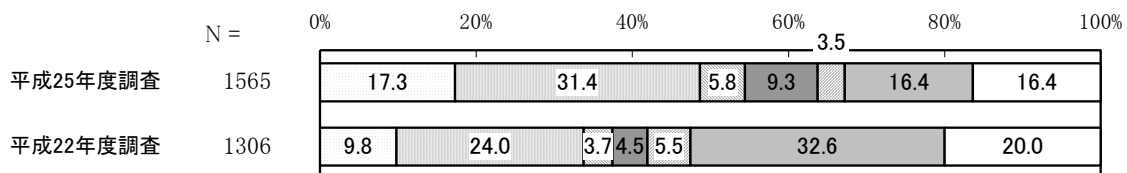


問 17 今後、どのような介護を望んでいますか。(○はひとつ)

「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」が 31.4%と最も高く、「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」が 17.3%、「わからない」が 16.4%となっています。約半数の人が自宅での介護を望んでおり、サービス利用者と同じ傾向となっています。

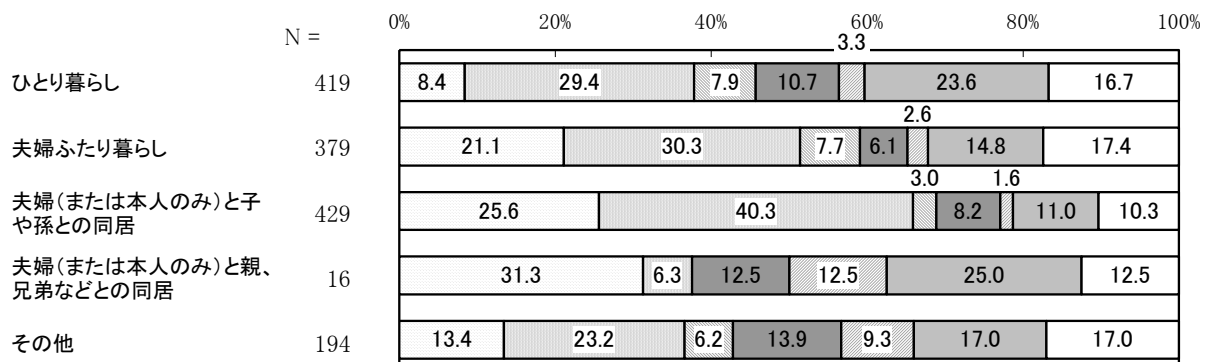
前回調査と比べると、「なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい」「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」の割合が高くなっています。

- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービス(ホームヘルパーやデイサービスなど)や保健福祉サービス(緊急通報サービスなど)を使いながら自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービスの付いた高齢者向けの住宅に入居したい
- ☐ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所したい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



【世帯状況別】

夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」の割合が高くなっています。

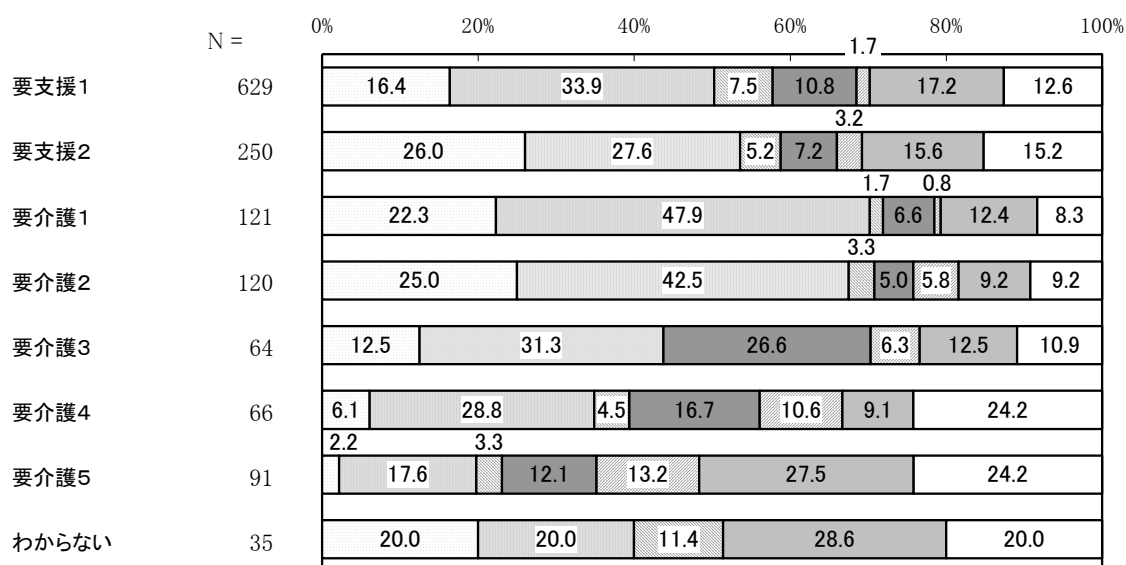


Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

【要介護度別】

要介護1、2で「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい」が高くなっています。要介護3以上では、要介護2以下に比べ自宅での介護を望む割合が低く、要介護度が上がるほどその割合も低下しています。また、要介護3以上では要介護2以下に比べ施設入所を望む割合が高くなっています。

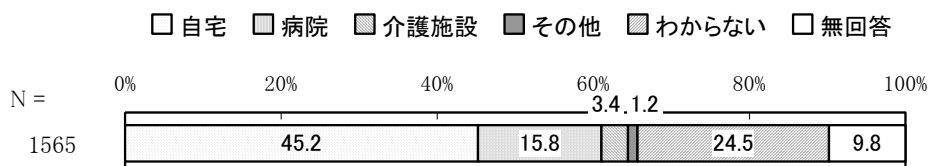
- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護を受けたい
- ☐ 介護保険サービスの付いた高齢者向けの住宅に入居したい
- ☐ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所したい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



問 18 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。（○はひとつ）

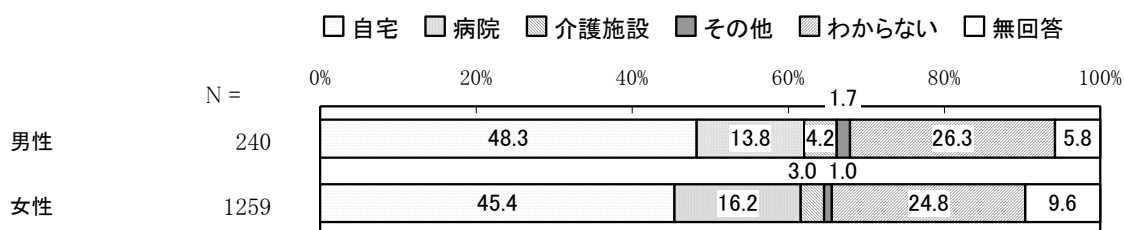
「自宅」が45.2%と最も高く、「わからない」が24.5%、「病院」が15.8%となっています。

※一般高齢者、サービス利用者との比較は 61 ページ参照



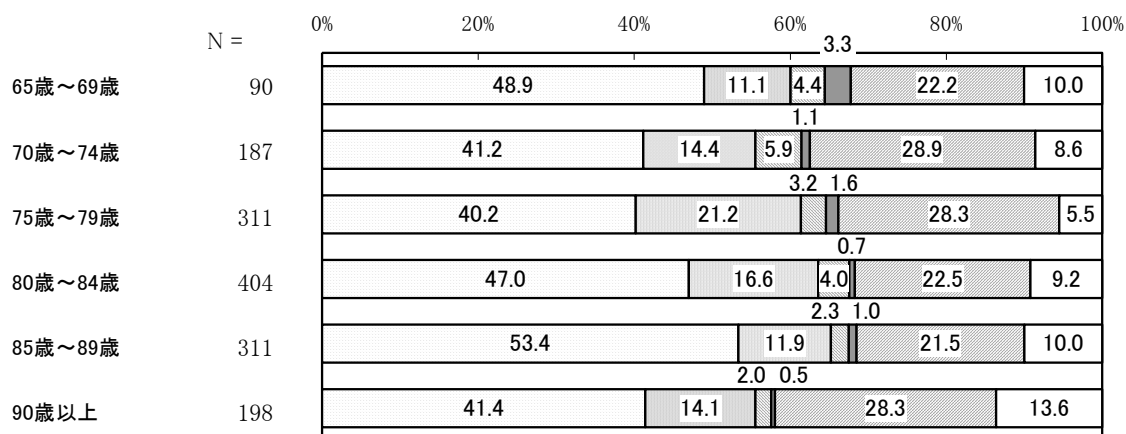
【性別】

男性は女性に比べ、「自宅」の割合が高く、「病院」の割合が低くなっています。



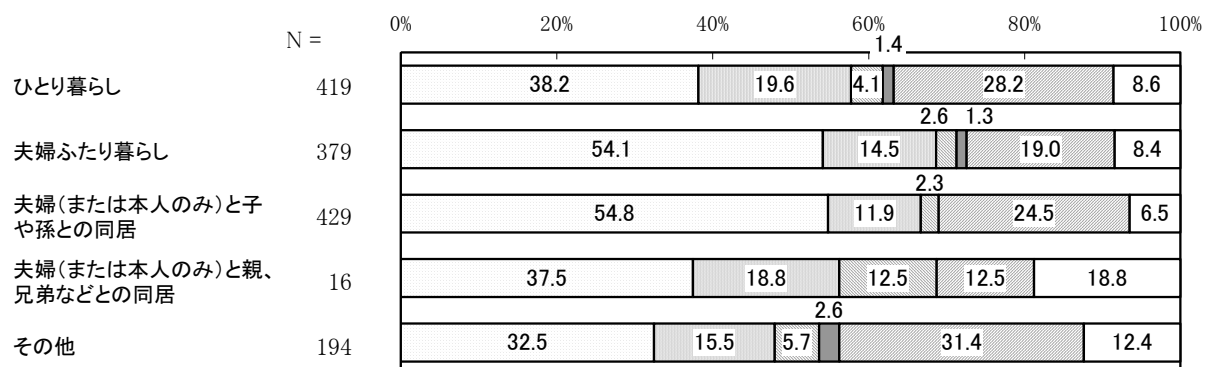
【年齢別】

85 歳～89 歳で「自宅」の割合が高くなっています。



【世帯状況別】

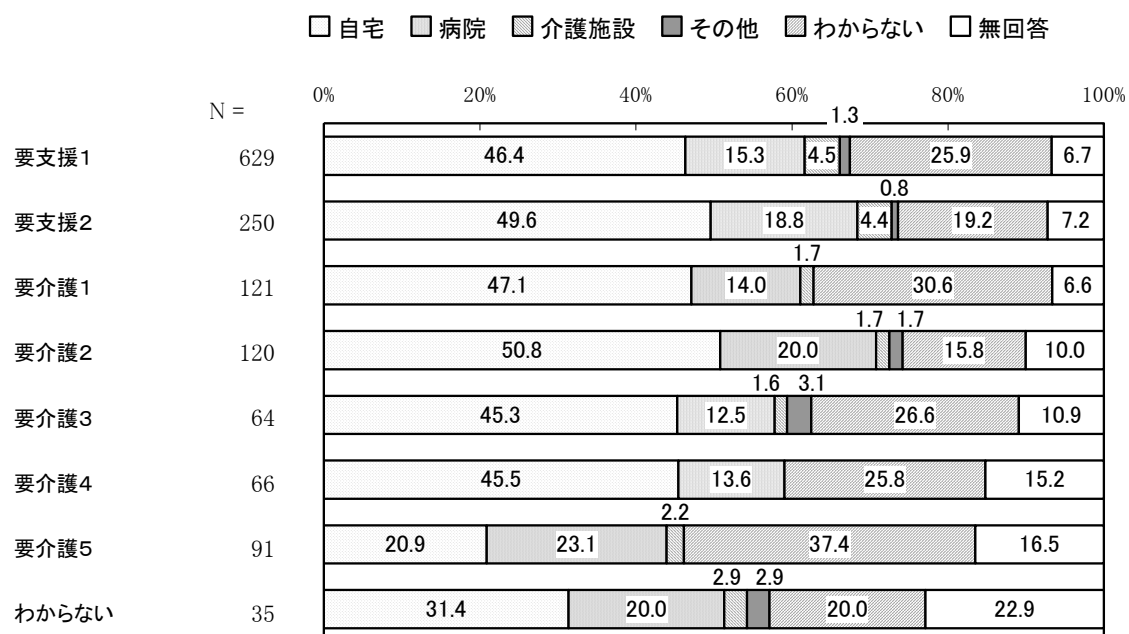
夫婦ふたり暮らし、夫婦（または本人のみ）と子や孫との同居で「自宅」の割合が高くなっています。



Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

【要介護度別】

要介護5で「自宅」の割合が低く、「病院」の割合が高くなっています。



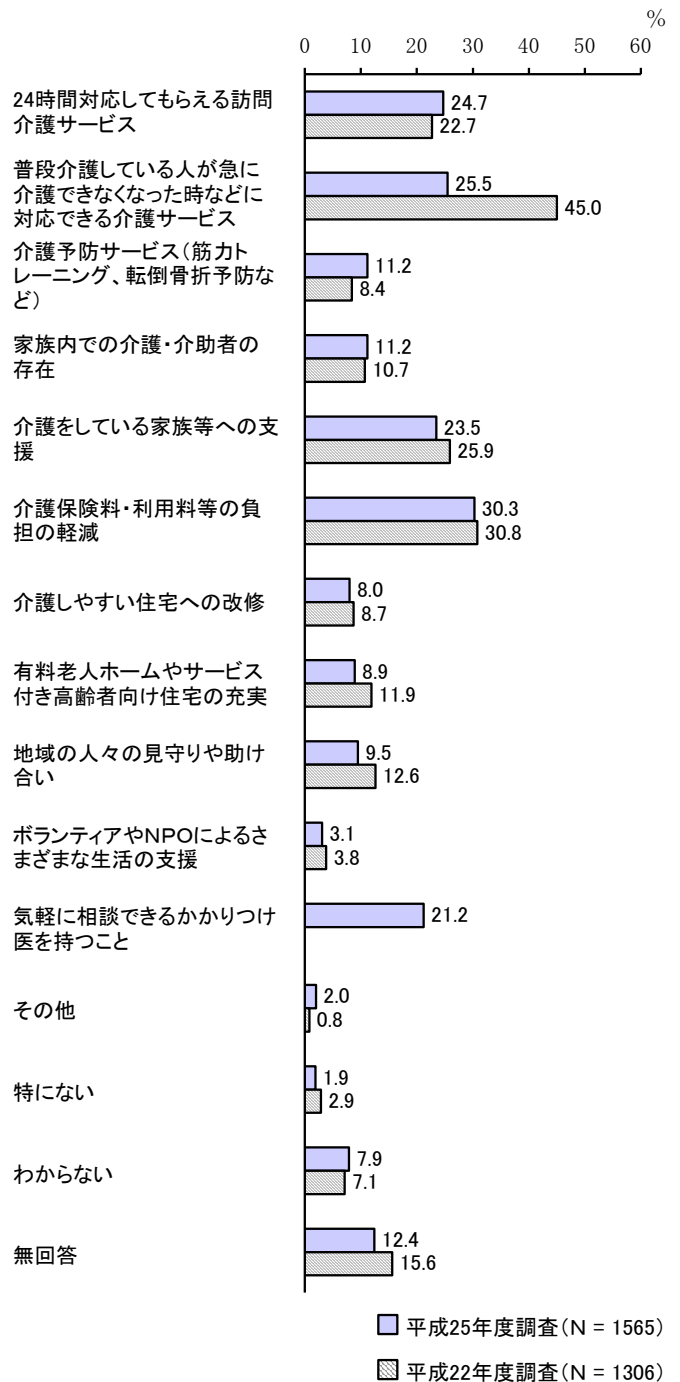
(4) 住み慣れた地域で暮らし続けることについて

問 19 高齢者ができる限りご自宅や住み慣れた地域で暮らし続けるために、あなたは、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「介護保険料・利用料等の負担の軽減」が 30.3%と最も高く、次いで「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」が 25.5%、「24 時間対応してもらえる訪問介護サービス」が 24.7%となっています。

前回調査と比べると、「普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス」の割合が低下しています。

※一般高齢者、サービス利用者との比較は 66 ページ参照



Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

【要介護度別】

要介護3以上の中重度で「24 時間対応してもらえる訪問介護サービス」の割合が高くなっています。

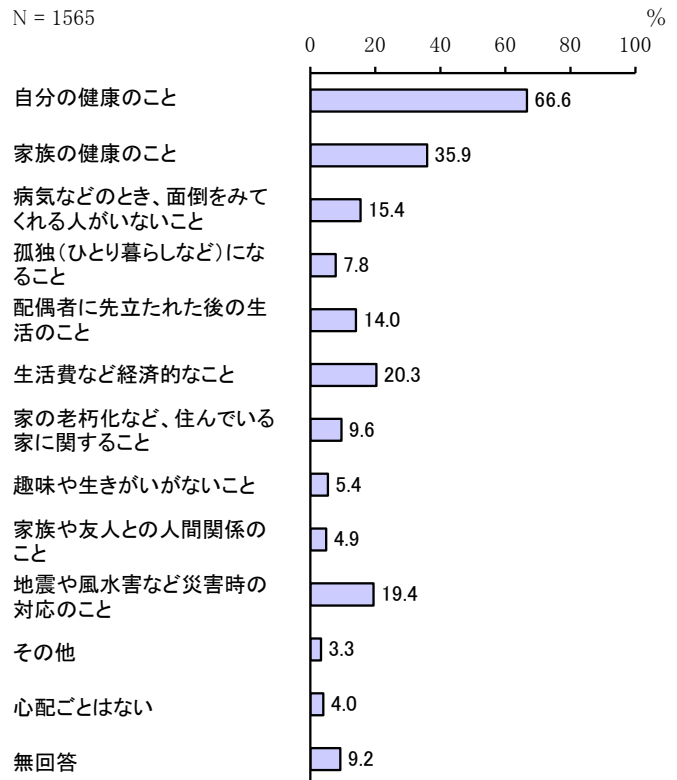
単位：％

要介護度	有効回答数（件）	24 時間対応してもらえる訪問介護サービス	普段介護している人が急に介護できなくなった時などに対応できる介護サービス	介護予防サービス（筋力トレーニング、転倒骨折予防など）	家族内での介護・介助者の存在	介護をしている家族等への支援	介護保険料・利用料等の負担の軽減	介護しやすい住宅への改修	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の充実	地域の人々の見守りや助け合い	ボランティアや NPO によるさまざまな生活の支援	気軽に相談できるかかりつけ医を持つこと	その他	特になし	わからない	無回答
要支援1	629	27.5	23.1	14.1	9.7	17.6	34.0	9.5	11.6	10.0	3.3	26.6	2.1	1.6	7.0	9.2
要支援2	250	20.4	30.4	10.0	12.0	25.6	29.6	10.8	6.0	10.0	3.6	22.0	2.0	2.0	8.0	8.8
要介護1	121	23.1	35.5	10.7	20.7	38.8	42.1	3.3	10.7	17.4	1.7	15.7	2.5	—	4.1	5.0
要介護2	120	17.5	31.7	15.0	20.0	28.3	30.8	7.5	12.5	9.2	2.5	16.7	—	1.7	5.0	7.5
要介護3	64	43.8	29.7	9.4	3.1	35.9	23.4	4.7	7.8	7.8	4.7	25.0	—	—	14.1	9.4
要介護4	66	40.9	34.8	3.0	10.6	36.4	18.2	7.6	13.6	9.1	1.5	12.1	4.5	1.5	9.1	12.1
要介護5	91	34.1	27.5	7.7	7.7	35.2	35.2	6.6	6.6	—	1.1	15.4	3.3	—	7.7	18.7
わからない	35	14.3	17.1	14.3	14.3	25.7	17.1	2.9	5.7	5.7	—	17.1	2.9	2.9	20.0	17.1

問 20 あなたには心配ごとや悩みごとがありますか。(○は3つまで)

「自分の健康のこと」が 66.6%と最も高く、「家族の健康のこと」が 35.9%、「生活費など経済的なこと」が 20.3%となっています。

N = 1565



【要介護度別】

要介護度が上がるほど「自分の健康のこと」の割合が低くなる傾向にあります。

単位：%

要介護度 \ 心配ごとや悩みごと	有効回答数(件)	自分の健康のこと	家族の健康のこと	病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと	孤独(ひとり暮らしなど)になること	配偶者に先立たれた後の生活のこと	生活費など経済的なこと	家の老朽化など、住んでいる家に関すること	趣味や生きがいがないこと	家族や友人との人間関係のこと	地震や風水害など災害時の対応のこと	その他	心配ごとはない	無回答
要支援1	629	<u>75.8</u>	36.7	22.9	7.9	14.3	19.2	13.4	4.5	5.2	24.3	2.1	2.2	4.6
要支援2	250	<u>71.2</u>	43.2	10.0	6.0	14.8	17.6	9.6	6.0	4.8	22.0	1.6	6.0	7.2
要介護1	121	<u>71.1</u>	39.7	13.2	9.1	19.8	29.8	4.1	8.3	6.6	14.9	5.0	2.5	5.8
要介護2	120	<u>70.8</u>	45.0	10.8	6.7	19.2	22.5	10.0	10.8	7.5	14.2	2.5	3.3	4.2
要介護3	64	<u>56.3</u>	39.1	—	10.9	10.9	25.0	6.3	4.7	—	12.5	7.8	4.7	20.3
要介護4	66	<u>57.6</u>	31.8	3.0	10.6	10.6	28.8	4.5	10.6	4.5	4.5	3.0	4.5	15.2
要介護5	91	<u>20.9</u>	22.0	6.6	5.5	8.8	20.9	6.6	2.2	3.3	11.0	7.7	9.9	23.1
わからない	35	54.3	25.7	11.4	17.1	11.4	20.0	5.7	2.9	5.7	20.0	2.9	8.6	17.1

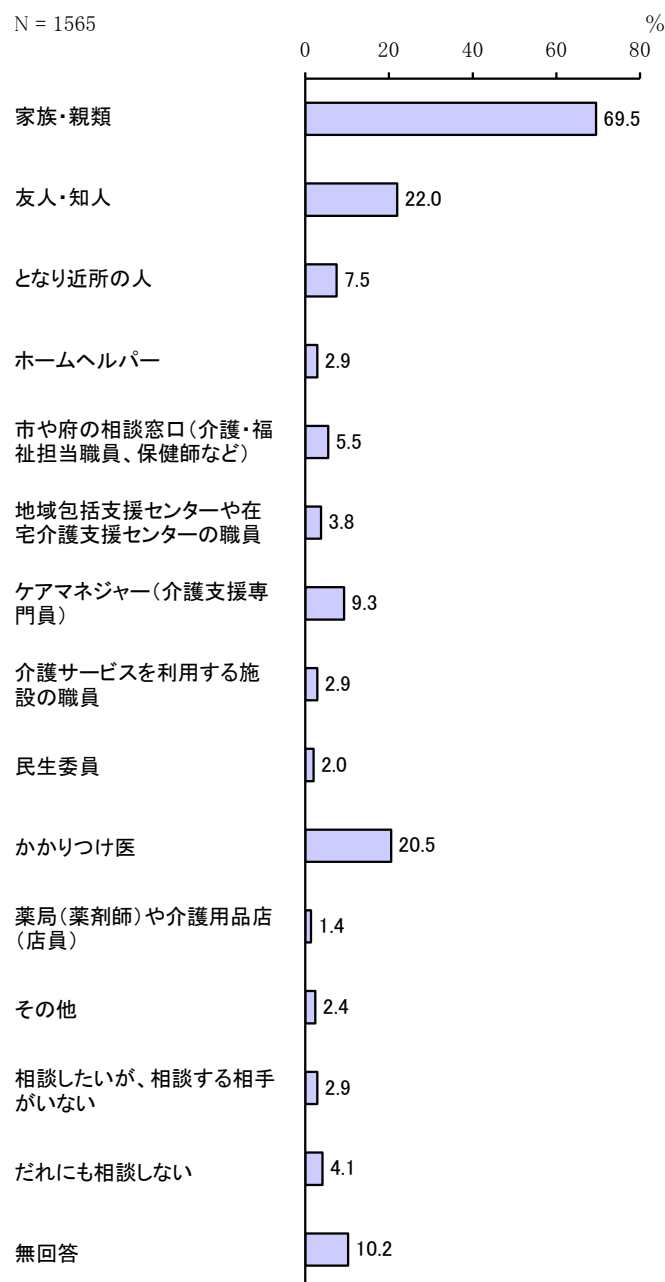
Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

問 21 あなたは、だれに心配ごとや悩みごとを聞いてもらったり、相談したりしますか。
(○は3つまで)

「家族・親類」が 69.5%と最も高く、「友人・知人」が 22.0%、「かかりつけ医」が 20.5%となっています。

介護サービス利用者と比べて「ホームヘルパー」「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。

※一般高齢者、サービス利用者との比較は 71 ページ参照

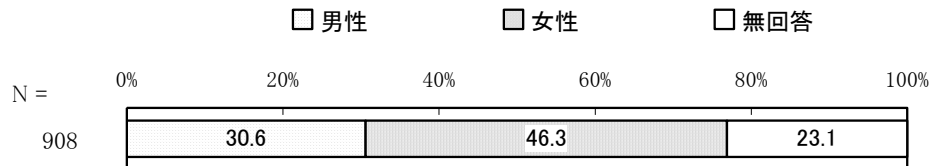


(5) 主に介護をしている方について

問 22 あなた（主に介護している方）について、次の中であてはまるものに○をつけてください。（①～⑤についてそれぞれ○はひとつ）

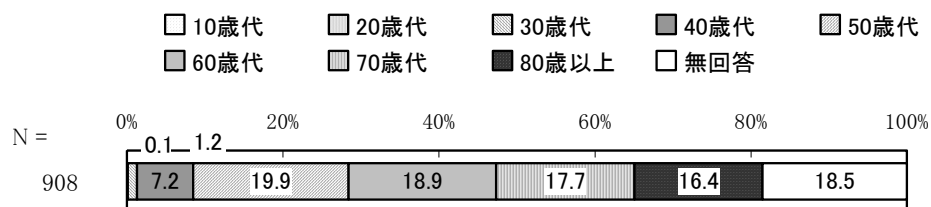
(1) 性別

「女性」が 46.3%、「男性」が 30.6%となっています。



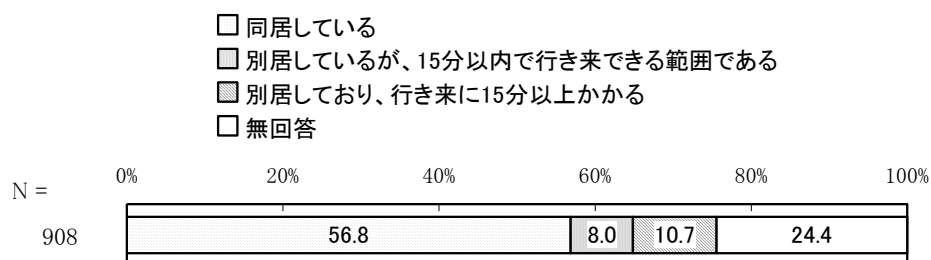
(2) 年齢

「50 歳代」が 19.9%と最も高く、次いで「60 歳代」が 18.9%、「70 歳代」が 17.7%となっています。



(3) 要介護者との同居状況

「同居している」が 56.8%と最も高く、「別居しており、行き来に 15 分以上かかる」が 10.7%などとなっています。

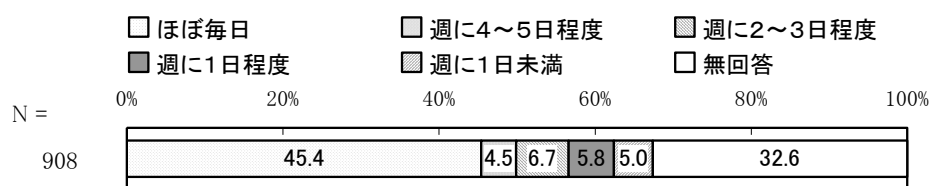


Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

(4) 介護に要する時間

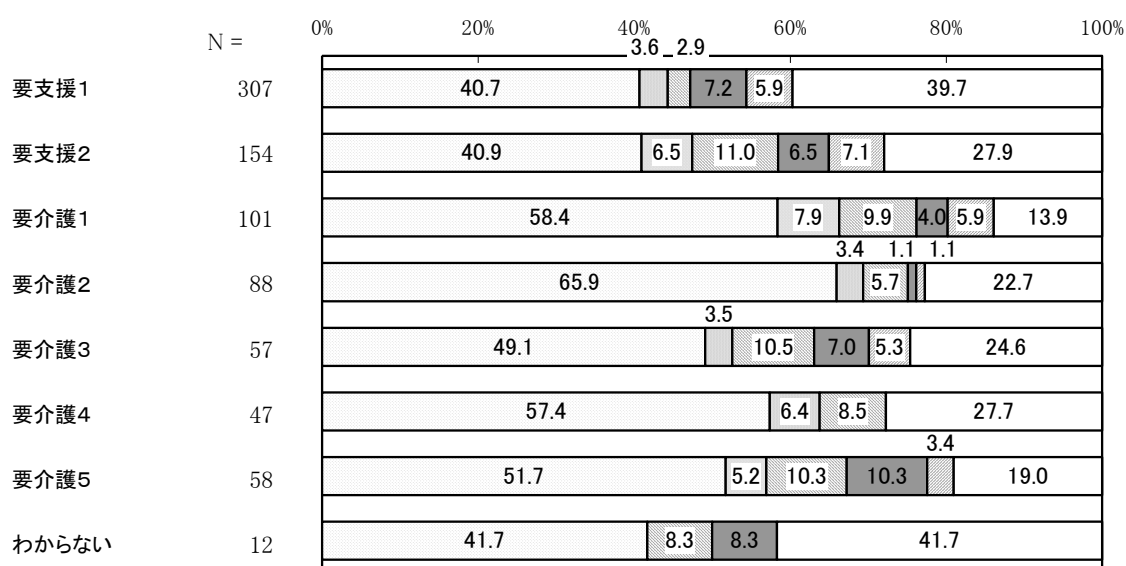
①介護の日数

「ほぼ毎日」が45.4%と最も高くなっています。



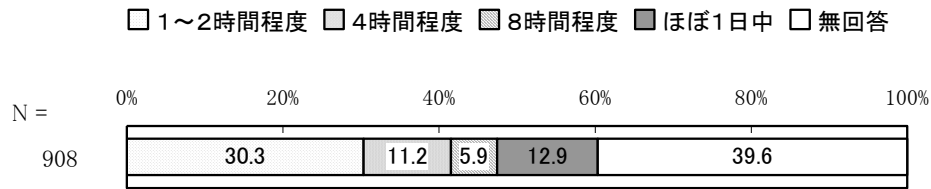
【本人の要介護度別】

要介護2で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



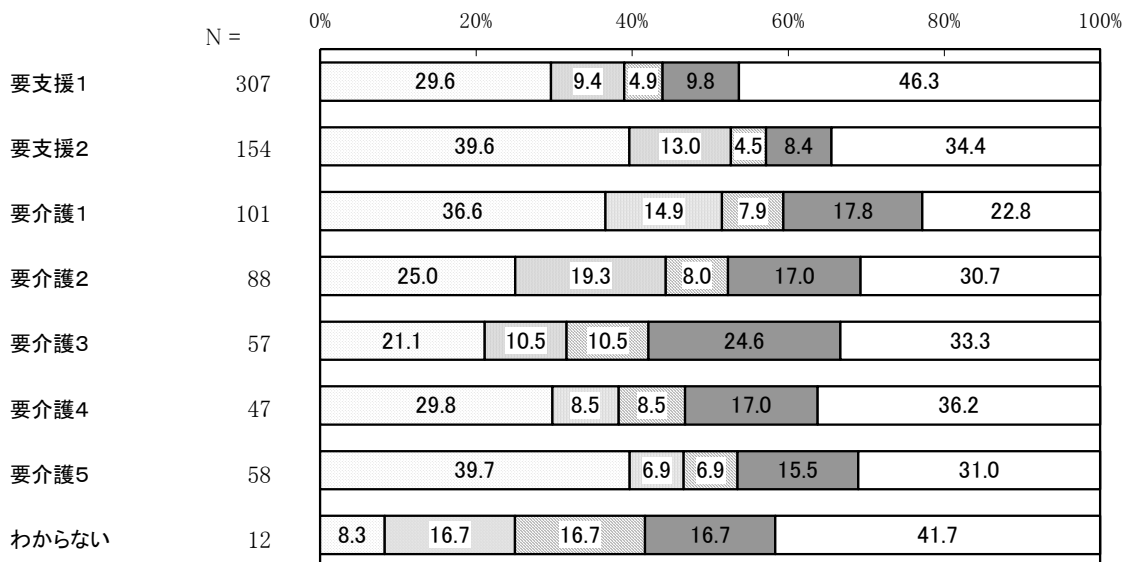
② 1日あたりの介護の時間

「1～2時間程度」が30.3%と最も高く、「ほぼ1日中」が12.9%、「4時間程度」が11.2%となっています。



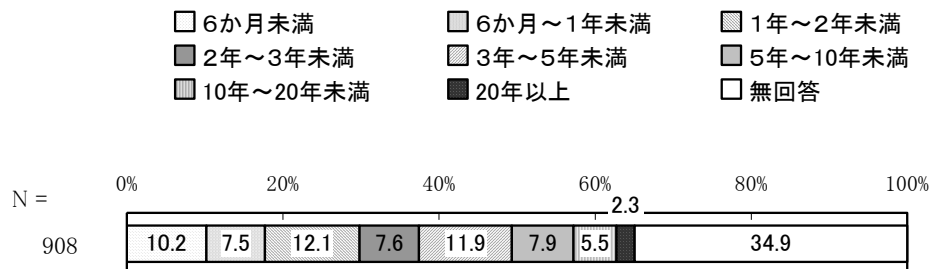
【本人の要介護度別】

要介護3で「ほぼ1日中」の割合が高くなっています。



(5) 介護期間

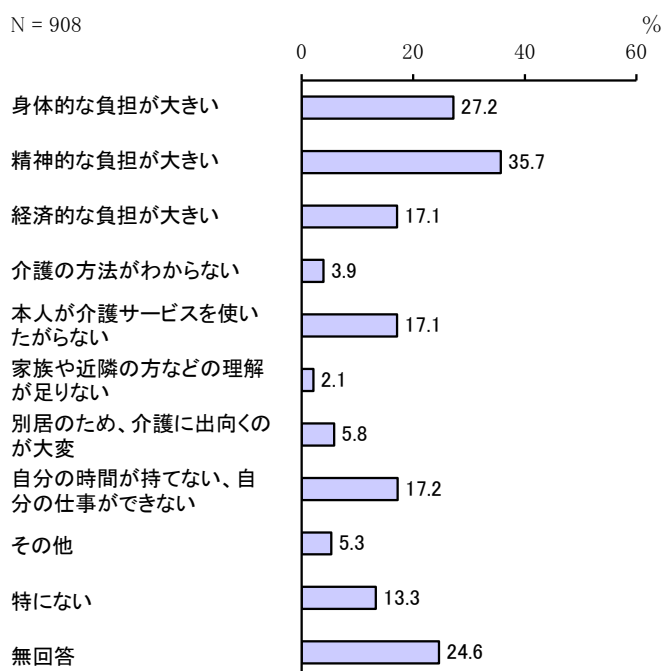
「1年～2年未満」が12.1%と最も高く、次いで「3年～5年未満」が11.9%、「6か月未満」が10.2%となっています。



Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

問 23 あなた（主に介護している方）が、介護を行う上で困っていることは何ですか。（〇は3つまで）

「精神的な負担が大きい」が 35.7%と最も高く、次いで「身体的な負担が大きい」が 27.2%、「自分の時間が持てない、自分の仕事ができない」が 17.2%となっています。



【本人の要介護度別】

要介護度が上がるほど「自分の時間が持てない、自分の仕事ができない」の割合が高くなる傾向にあります。

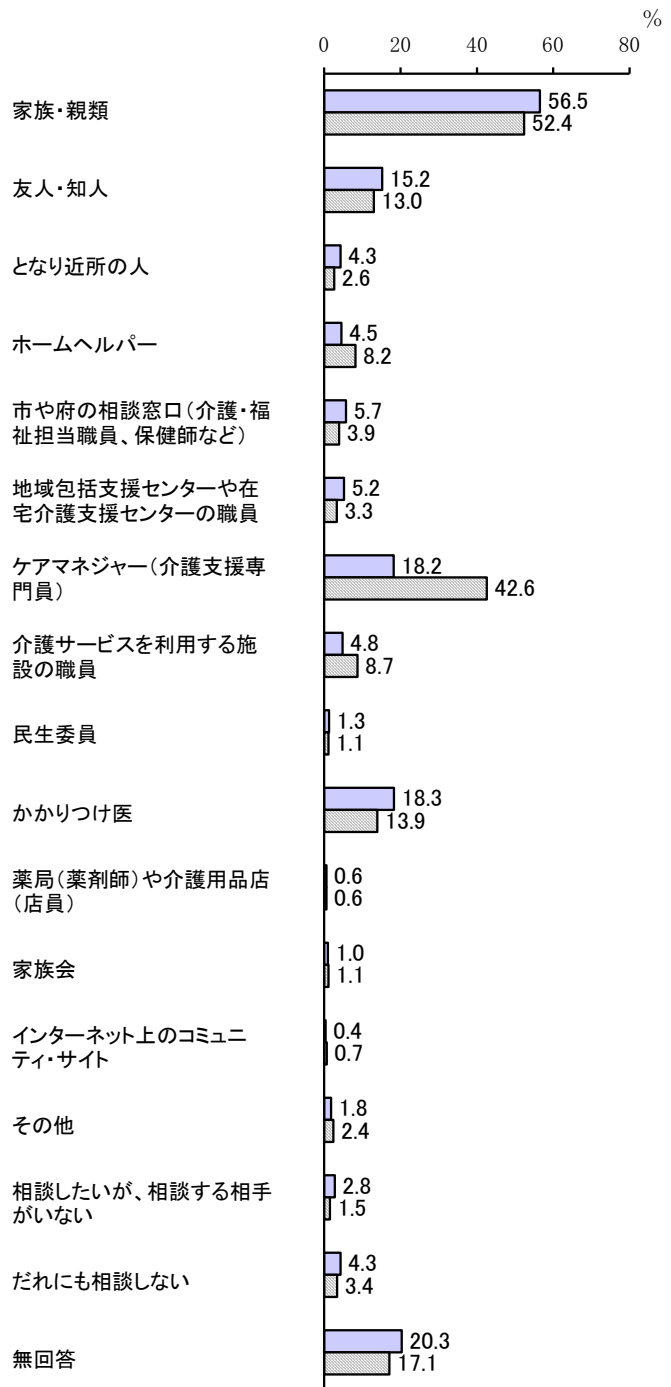
単位：%

困っていること 要介護度	有効回答数 (件)	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	介護の方法がわからない	本人が介護サービスを使いたがらない	家族や近隣の方などの理解が足りない	別居のため、介護に出向くのが大変	自分の時間が持てない、自分の仕事ができない	その他	特にない	無回答
要支援1	307	26.4	28.7	10.1	4.2	14.3	3.6	5.2	<u>8.1</u>	7.2	17.3	29.0
要支援2	154	20.8	27.3	17.5	5.2	19.5	1.3	5.2	<u>11.0</u>	3.9	20.1	21.4
要介護1	101	26.7	54.5	17.8	5.9	33.7	1.0	6.9	<u>24.8</u>	4.0	9.9	11.9
要介護2	88	30.7	40.9	15.9	1.1	25.0	4.5	2.3	<u>25.0</u>	3.4	11.4	22.7
要介護3	57	50.9	45.6	36.8	5.3	17.5	—	8.8	<u>31.6</u>	—	3.5	15.8
要介護4	47	36.2	40.4	31.9	2.1	4.3	—	6.4	<u>42.6</u>	6.4	6.4	17.0
要介護5	58	36.2	56.9	17.2	3.4	1.7	—	5.2	<u>37.9</u>	6.9	6.9	13.8
わからない	12	16.7	58.3	33.3	—	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	25.0

問 24 あなた（主に介護している方）は介護に困ったときだれに相談していますか。（〇は3つまで）

「家族・親類」が56.5%と最も高く、「かかりつけ医」が18.3%、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が18.2%となっています。

サービス利用者と比べて「ケアマネジャー」の割合が低くなっています。



■ サービス未利用者 (N=908)

■ サービス利用者 (N=2435)

Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

【本人の要介護度別】

要介護1で「地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員」の割合が高くなっています。

単位：％

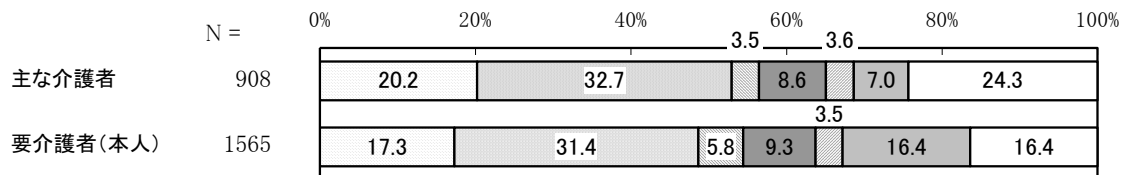
相談先 要介護度	有効回答数 (件)	家族・親類	友人・知人	となり近所の人	ホームヘルパー	市や府の相談窓口（介護・福祉担当職員、保健師など）	地域包括支援センターや在宅介護支援センターの職員	ケアマネジャー（介護支援専門員）	介護サービスを利用する施設 の職員
要支援1	307	52.4	14.7	4.2	4.2	3.9	4.2	13.0	3.9
要支援2	154	59.7	17.5	5.8	1.3	8.4	5.2	10.4	3.9
要介護1	101	66.3	17.8	3.0	5.9	7.9	<u>13.9</u>	21.8	1.0
要介護2	88	60.2	15.9	3.4	1.1	2.3	6.8	25.0	3.4
要介護3	57	61.4	12.3	8.8	5.3	8.8	3.5	40.4	12.3
要介護4	47	57.4	19.1	6.4	10.6	4.3	2.1	27.7	8.5
要介護5	58	55.2	13.8	3.4	12.1	5.2	—	31.0	12.1
わからない	12	83.3	—	—	—	33.3	—	8.3	8.3

相談先 要介護度	民生委員	かかりつけ医	薬局（薬剤師）や介護用品店（店員）	家族会	インターネット上のコミュニティ・サイト	その他	相談したいが、相談する相手がいない	だれにも相談しない	無回答
要支援1	1.6	14.7	0.7	—	0.7	1.6	3.9	6.5	24.8
要支援2	2.6	21.4	1.3	—	1.3	1.3	1.9	2.6	18.8
要介護1	—	28.7	—	1.0	—	—	3.0	3.0	9.9
要介護2	—	19.3	—	4.5	—	4.5	5.7	5.7	10.2
要介護3	—	28.1	—	3.5	—	5.3	—	—	17.5
要介護4	—	17.0	—	—	—	2.1	—	4.3	19.1
要介護5	—	10.3	—	—	—	—	3.4	5.2	12.1
わからない	16.7	16.7	8.3	—	—	—	—	—	8.3

問 25 あなた（主に介護している方）は、今後ご本人に対してどのように介護したいと思いますか。（○はひとつ）

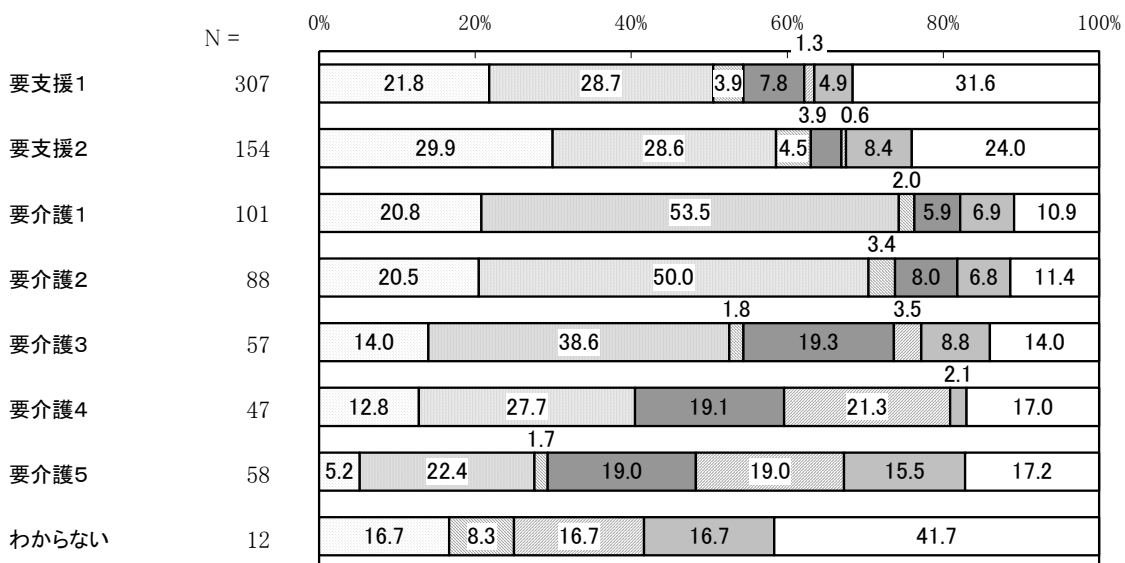
「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」が 32.7%と最も高く、次いで「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が 20.2%となっています。半数の人が自宅での介護を望んでおり、本人の意向と同じ傾向となっています。

- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護したい
- ☐ 介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい
- ☐ 介護保険サービスの付いた高齢者向けの住宅に入居させたい
- ☐ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所させたい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



【本人の要介護度別】

要介護 1 以上では、要介護度が上がるほど自宅での介護を望む割合が低下しています。また、要介護 3 以上では施設入所を望む割合が高くなっています。

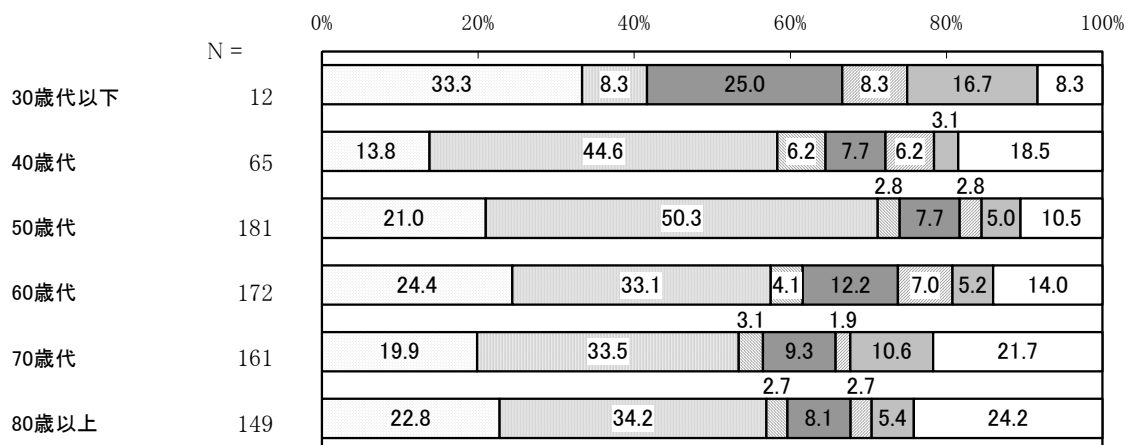


Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

【介護者の年齢別】

40 歳代、50 歳代で「介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」の割合が高くなっています。

- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護したい
- ☐ 介護保険サービス（ホームヘルパーやデイサービスなど）や保健福祉サービス（緊急通報サービスなど）を使いながら自宅で介護したい
- ☐ 介護保険サービスの付いた高齢者向けの住宅に入居させたい
- ☐ 特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに入所させたい
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



【要介護者との同居状況別】

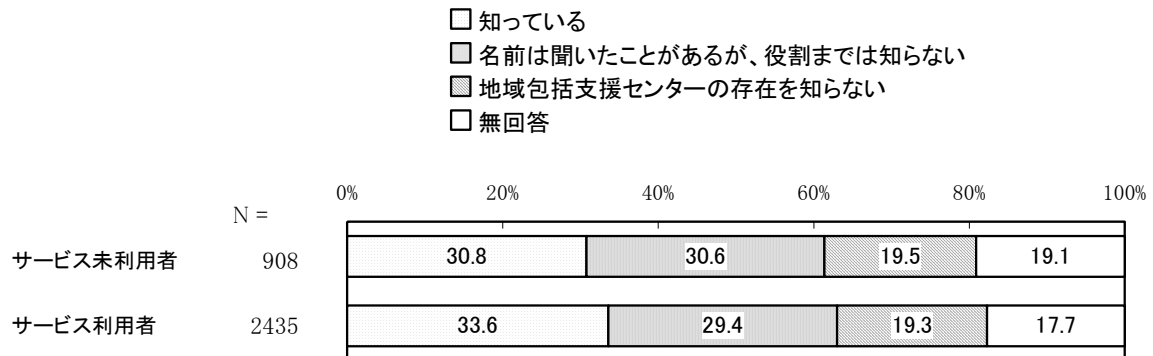
同居しているで「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」の割合が高くなっています。



問 26 地域包括支援センターは、高齢者の方々が住みなれた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康など、さまざまな面から総合的に相談や支援を行う機関です。あなた（主に介護している方）は地域包括支援センターの役割を知っていますか。（○はひとつ）

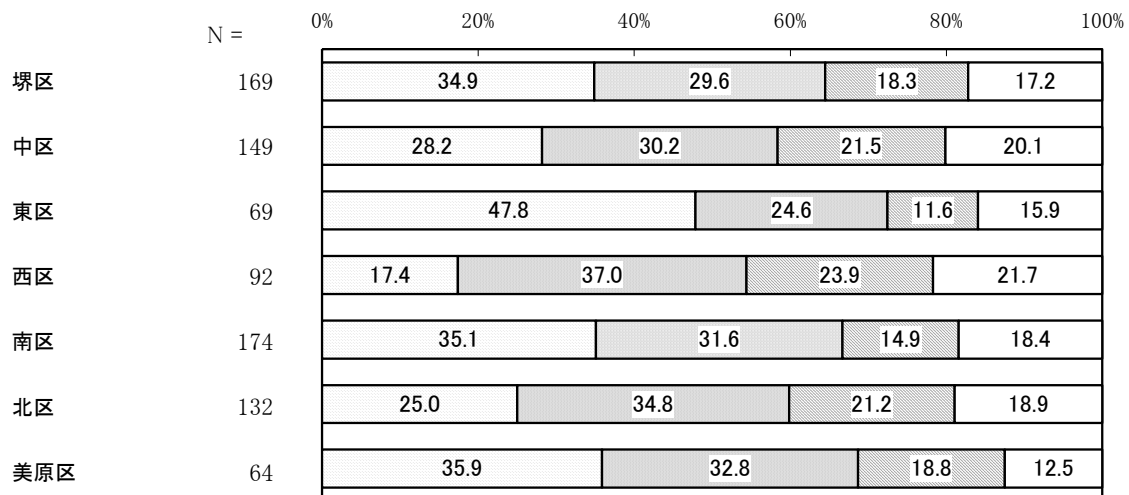
「知っている」が 30.8%と最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」が 30.6%、「地域包括支援センターの存在を知らない」が 19.5%となっています。

サービス利用者と比べても大きな差異はみられません。



【区域別】

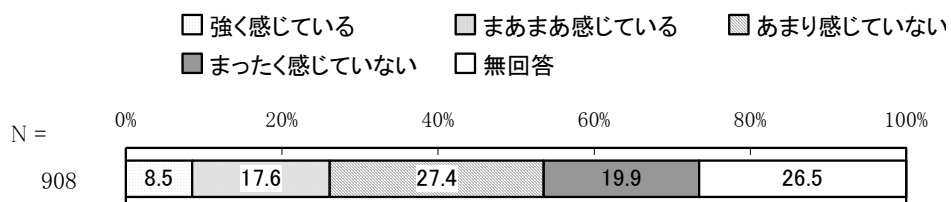
東区で「知っている」の割合が高くなっています。



Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

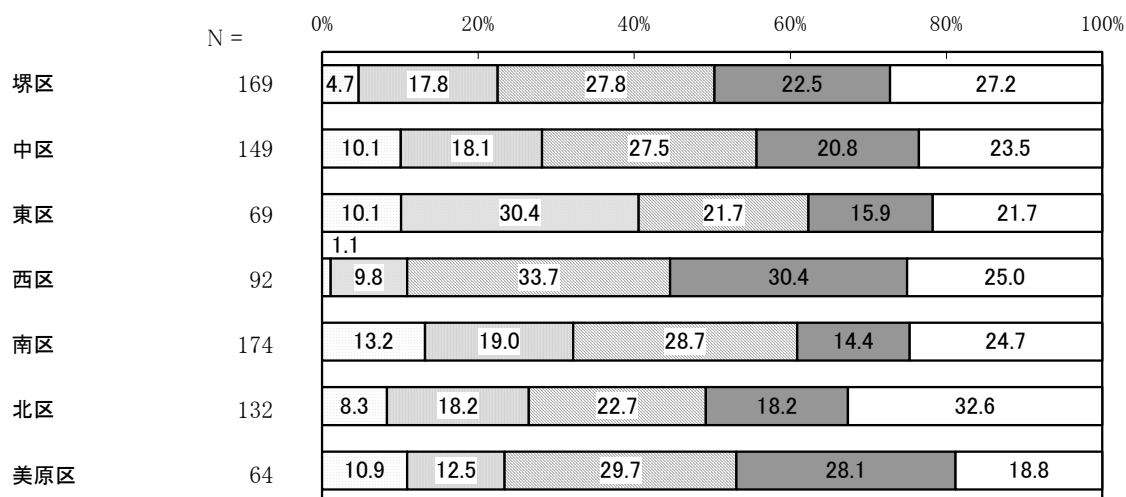
問 27 あなた（主に介護している方）にとって、地域包括支援センターは身近に感じていますか。（○はひとつ）

「あまり感じていない」が 27.4%と最も高く、「まったく感じていない」が 19.9%、「まあまあ感じている」が 17.6%となっています。



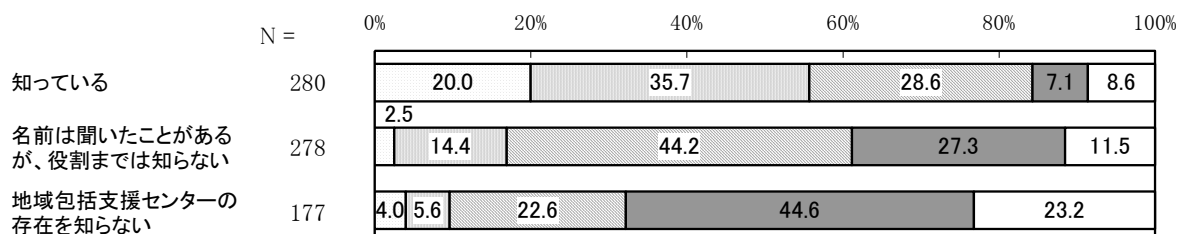
【区域別】

「強く感じている」と「まあまあ感じている」を合わせた地域包括支援センターを“身近に感じている”人の割合は東区、南区で高く、西区で低くなっています。



【地域包括支援センターの認知度別】

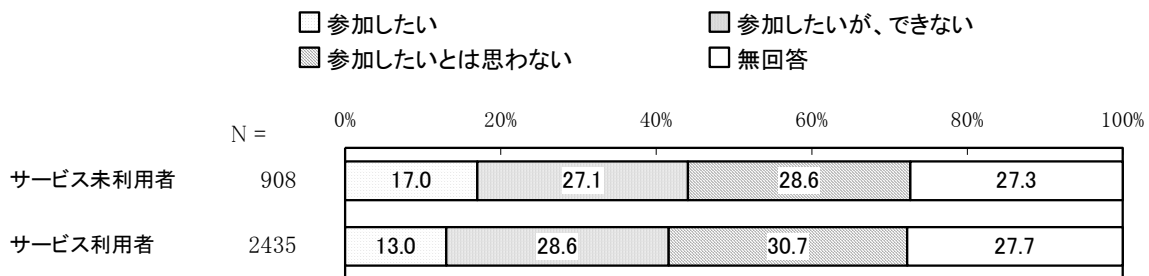
地域包括支援センターの存在を知っている人は、半数以上が「身近に感じている」と回答しています。



問 28 家族を介護する人が集まって、日頃感じていることを話しあったり、疲れをとるような教室を開催した場合、あなた（主に介護している方）は参加されますか。（○はひとつ）

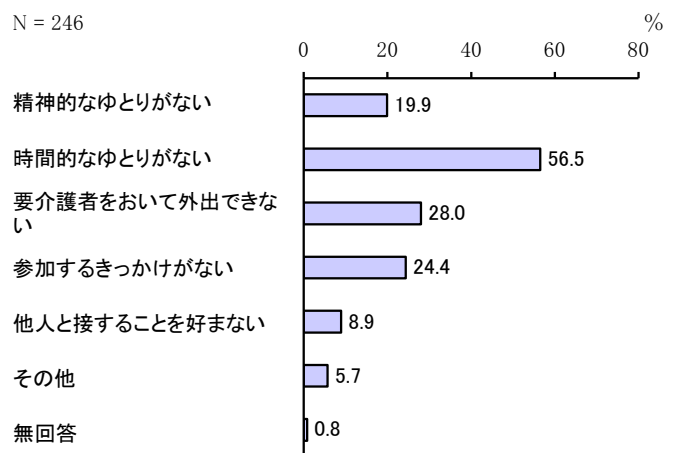
「参加したいとは思わない」が 28.6%と最も高い一方で、「参加したいが、できない」が 27.1%、「参加したい」が 17.0%となっており、参加意向のある人は合わせて約 4 割となっています。

サービス利用者と比べ、参加意向がある人の割合はやや高くなっています。



問 28－1 問 28 で「2. 参加したいが、できない」と回答した方にお伺いします。参加できない理由は何ですか。（○はいくつでも）

「時間的なゆとりがない」が 56.5%と最も高く、「要介護者をおいて外出できない」が 28.0%などとなっています。一方で「参加するきっかけがない」も 24.4%と、介護とは直接関係がないものの、参加できない要因のひとつとなっています。

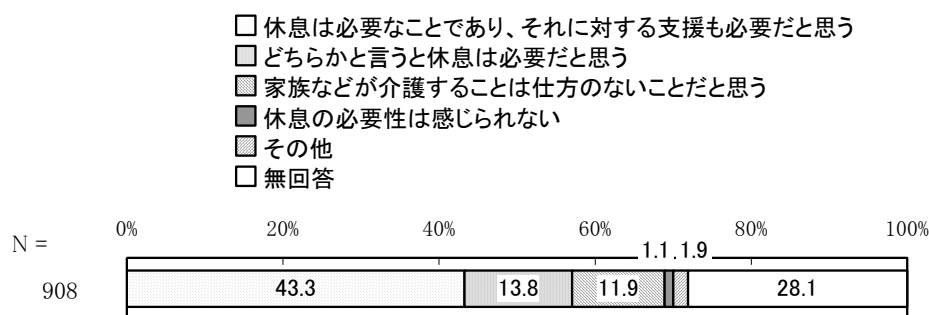


Ⅲ 3 介護保険サービス未利用者調査

問 29 あなた（主に介護している方）は、在宅介護をしている家族などが一時的に介護を離れ、リフレッシュすること（レスパイト）についてどう思いますか。（○はひとつ）

「休息は必要なことであり、それに対する支援も必要だと思う」が 43.3%と最も高く、「どちらかと言うと休息は必要だと思う」が 13.8%、「家族などが介護することは仕方のないことだと思う」が 11.9%となっています。

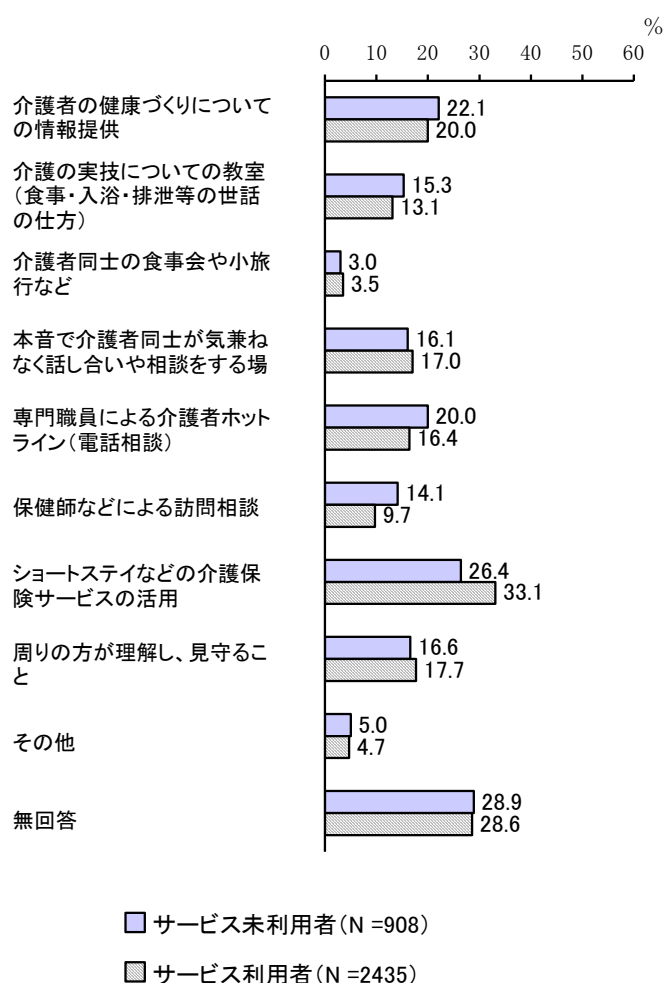
※一般高齢者との比較は 75 ページ参照



問 30 あなた（主に介護している方）は、家族を介護する人の介護疲れやストレスのケアをするためには、何が必要だと思いますか。（○は3つまで）

「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」が 26.4%と最も高く、次いで「介護者の健康づくりについての情報提供」が 22.1%、「専門職員による介護者ホットライン（電話相談）」が 20.0%となっています。

サービス利用者と比べて「ショートステイなどの介護保険サービスの活用」の割合が低くなっています。



4 介護事業者調査

(1) 法人や実施事業について

問1 貴法人の事業運営体制について、サービス種別ごとに記入してください。

※サービス種別

- ・居宅介護支援
- ・居宅サービス : 訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与、特定福祉用具販売 など
- ・地域密着型サービス : 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、複合型サービス など
- ・施設サービス : 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設 など

居宅介護支援事業者が堺区に集積している傾向がみられます。また、西区では地域密着型サービス事業者がやや多くなっています。

①現在堺市内で運営している事業所

単位：件

区域 サービス種別	合計	堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区
居宅介護支援	435	<u>90</u>	61	46	68	67	63	40
居宅サービス	829	154	133	99	137	114	127	65
地域密着型サービス	76	11	12	6	<u>18</u>	10	14	5
施設サービス	62	9	9	10	9	9	10	6

②過去に堺市内で運営していた事業所

単位：件

区域 サービス種別	合計	堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区
居宅介護支援	78	14	9	9	8	13	17	8
居宅サービス	65	12	8	7	8	12	13	5
地域密着型サービス	2	－	－	1	－	1	－	－
施設サービス	0	－	－	－	－	－	－	－

Ⅲ 4 介護事業者調査

問2 今後、堺市内で事業運営を行いたいサービスはありますか、また現在は事業運営しているが今後廃止を予定しているサービスはありますか。

今後、事業運営を行いたいサービスについて意向を示している事業者は58法人あります。また、居宅サービス、地域密着型サービス事業者では新たな事業運営を行いたい理由として「利用者から他の介護サービスの要望があったため」の割合が高くなっています。

今後廃止を予定しているサービスについては、訪問介護や通所介護において、「利用者確保ができなくなった（できなくなる）ため」「経営が悪化してきているため」などの理由から廃止を予定している事業所が若干みられますが、数件のため図表での掲載は省略します。

① 今後堺市で事業運営を行いたいサービス

【予定地域】

単位：件

区域 サービス種別	合計	堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区
居宅介護支援	30	7	5	2	5	3	4	4
居宅サービス	49	7	7	6	8	5	13	3
地域密着型サービス	22	5	2	3	2	7	2	1
施設サービス	4	0	0	2	0	1	1	0

【理由】

単位：％

理由 サービス種別	有効回答数	土地・建物の確保ができた（できる）ため	建築等の整備にあたり資金の確保ができた（できる）ため	利用者確保の見込みがあった（ある）ため	事業経営に見合った介護報酬が得られるため	市で既に他の介護サービスを行っているため	職員確保の見込みがあった（ある）ため	事業経営が安定しており余力があるため	利用者から他の介護サービスの要望があったため	特になし	その他	無回答
居宅介護支援	25	28.0	4.0	20.0	-	24.0	8.0	4.0	8.0	16.0	24.0	4.0
居宅サービス	69	26.1	10.1	18.8	11.6	24.6	5.8	5.8	33.3	5.8	10.1	15.9
地域密着型サービス	34	20.6	11.8	17.6	2.9	0.0	5.9	11.8	50.0	0.0	35.3	17.6
施設サービス	8	50.0	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	37.5

問3 貴法人の職員状況について、サービス種別ごとにそれぞれ該当する職員数を記入してください。

居宅サービス、地域密着型サービスでは、正規職員に比べ非正規職員の採用が多くなっています。

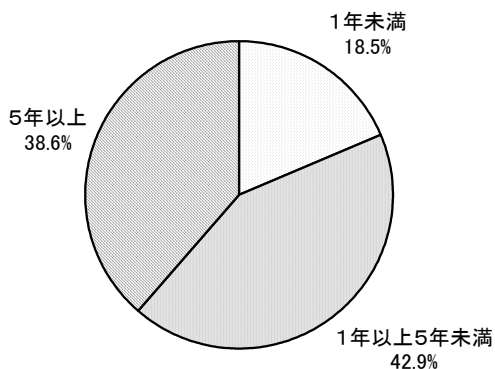
※1 事業所あたりの平均人数

サービス種別 (介護予防サービス含む)	平成 24 年度 採用者数(人)		平成 24 年度 退職者数(人)	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
居宅介護支援	1.2	0.6	0.6	0.4
居宅サービス	2.2	<u>5.1</u>	1.3	3.4
地域密着型サービス	1.9	<u>4.9</u>	1.8	4.2
施設サービス	8.0	9.5	6.6	6.9

【勤続年数別】

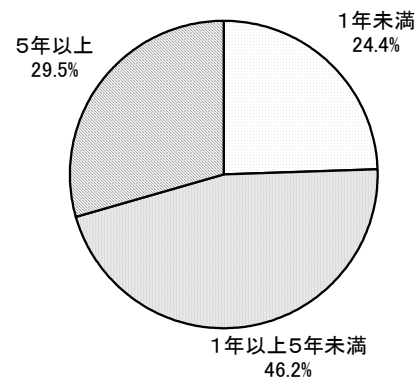
非正規職員に比べ、正規職員で「5年以上」が38.6%と高くなっています。

正規職員



N = 4440

非正規職員

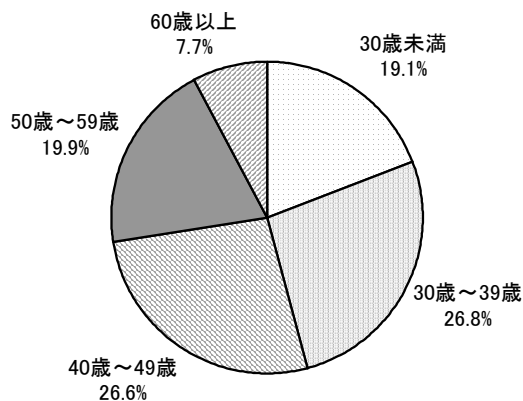


N = 5518

【年代別】

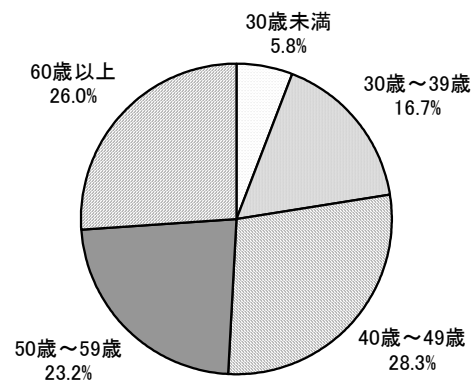
正規職員に比べ非正規職員で「60歳以上」が26.0%と高くなっています。

正規職員



N = 4590

非正規職員

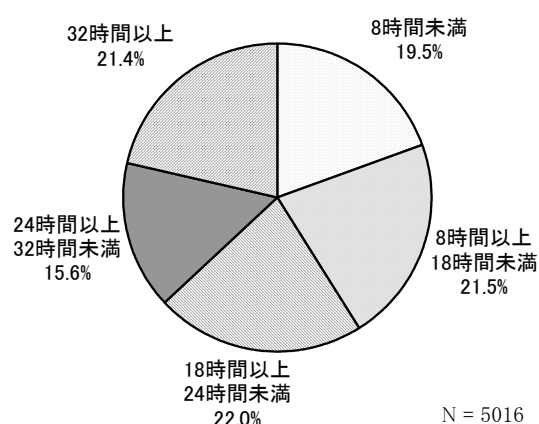


N = 5438

Ⅲ 4 介護事業者調査

【週勤務時間別非正規職員数】

「18 時間以上 24 時間未満」が 22.0%と最も高く、次いで「8 時間以上 18 時間未満」が 21.5%、「32 時間以上」が 21.4%となっています。



【有資格職員数】

非正規職員では、「ヘルパー 2 級」が多くなっています。正規職員では、特に施設サービスにおいて「介護福祉士」が多くなっています。

※1 事業所あたりの平均人数（平成 25 年 4 月 1 日現在）

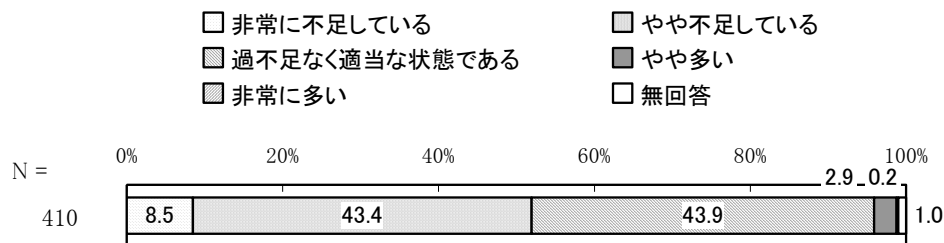
サービス種別 (介護予防サービス含む)	資格別職員数（人）									
	正 規 職 員									
	介護福祉士	介護職員基礎研修課程修了	ヘルパー 1 級	ヘルパー 2 級	看護師 准看護師	介護支援専門員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他
居宅介護支援	2.0	0.6	0.7	1.7	0.9	2.6	1.2	0.0	0.0	1.7
居宅サービス	3.0	1.2	0.7	3.1	2.3	1.4	1.5	1.1	0.5	2.6
地域密着型サービス	4.9	1.4	0.4	4.5	1.0	1.9	0.0	0.0	0.0	1.3
施設サービス	<u>19.1</u>	1.5	1.0	9.4	5.1	3.4	3.4	1.3	0.0	6.5

※1 事業所あたりの平均人数（平成 25 年 4 月 1 日現在）

サービス種別 (介護予防サービス含む)	資格別職員数（人）									
	非 正 規 職 員									
	介護福祉士	介護職員基礎研修課程修了	ヘルパー 1 級	ヘルパー 2 級	看護師 准看護師	介護支援専門員	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	その他
居宅介護支援	1.6	0.5	0.4	4.1	0.7	1.4	0.0	0.3	0.0	1.0
居宅サービス	2.9	1.1	1.0	<u>9.2</u>	2.8	0.5	2.4	0.9	0.3	2.7
地域密着型サービス	3.9	1.0	0.7	<u>9.2</u>	2.0	1.3	0.0	0.0	0.0	2.0
施設サービス	3.7	0.7	0.6	8.9	3.1	0.8	0.7	0.5	0.0	4.2

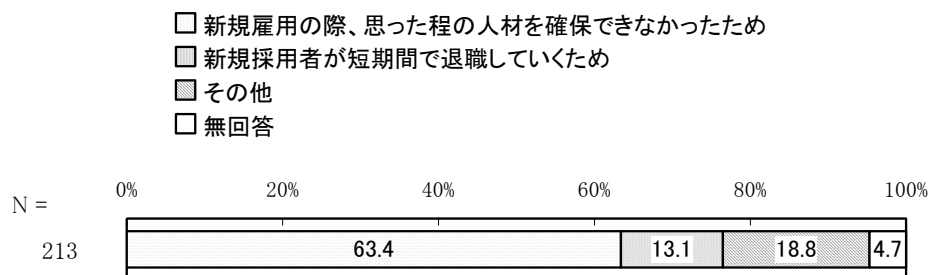
問4 現在のサービス提供状況からみて、職員数の過不足はありますか。(○はひとつ)

「過不足なく適当な状態である」が43.9%と最も高い一方で、「非常に不足している」「やや不足している」を合わせると51.9%となり、半数以上の法人で職員数が不足しています。



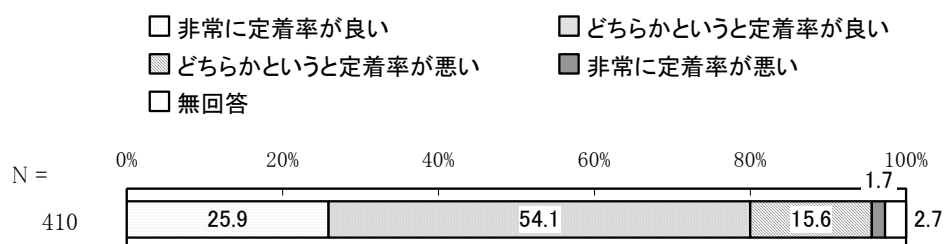
問4で「1.」「2.」(不足している)と回答した法人にお伺いします。問4-1 職員数が不足している主な理由は何ですか。(○はひとつ)

「新規雇用の際、思った程の人材を確保できなかったため」が63.4%、「新規採用者が短期間で退職していくため」が13.1%となっています。



問5 貴法人の職員の定着率をどう感じていますか。(○はひとつ)

「どちらかという而定着率が良い」が54.1%、「非常に定着率が良い」が25.9%となっており、合わせると約8割の法人が定着率が良いと感じています。



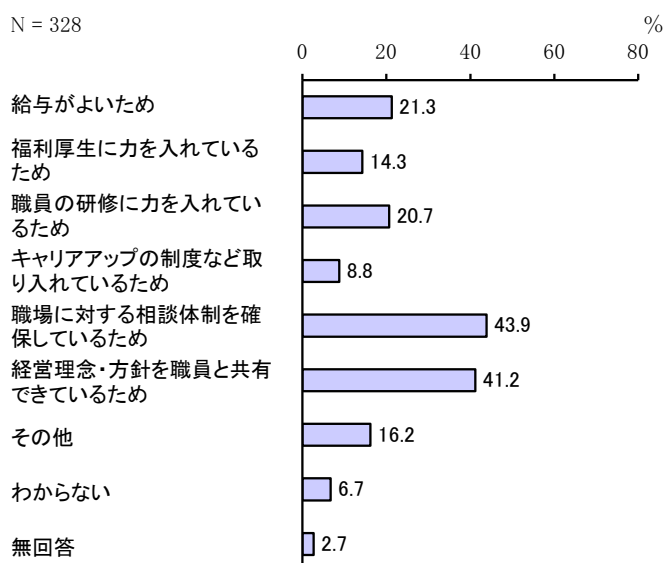
Ⅲ 4 介護事業者調査

問5で「非常に定着率が良い」「どちらかという而定着率が良い」と回答した法人にお伺いします。

問5-1 職員の定着率が良い主な理由は何だと思いますか。(〇は3つまで)

「職場に対する相談体制を確保しているため」が43.9%と最も高く、次いで「経営理念・方針を職員と共有できているため」が41.2%、「給与がよいため」が21.3%となっています。

N = 328

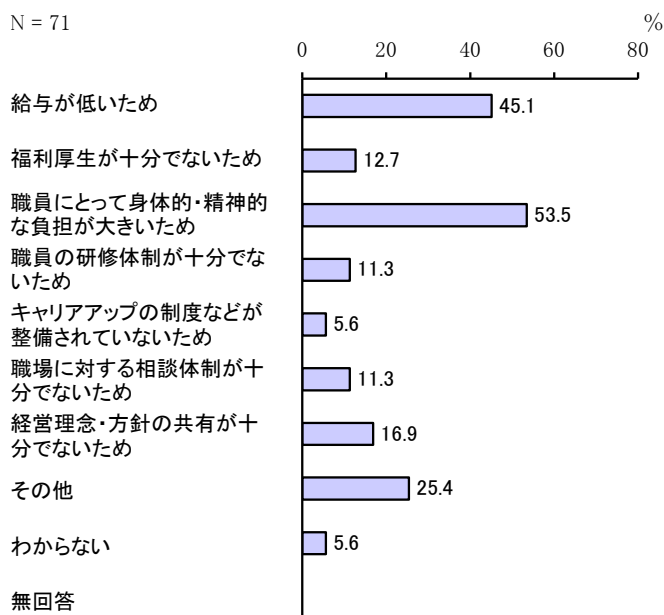


問5で「どちらかという而定着率が悪い」「非常に定着率が悪い」と回答した法人にお伺いします。

問5-2 職員の定着率が悪い主な理由は何だと思いますか。(〇は3つまで)

「職員にとって身体的・精神的な負担が大きい」が53.5%と最も高く、次いで「給与が低いため」が45.1%、「経営理念・方針の共有が十分でない」が16.9%となっています。

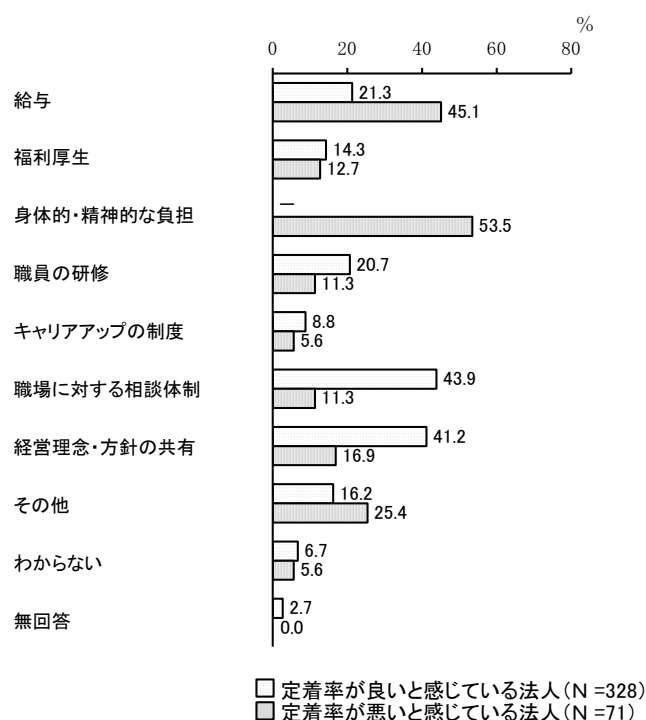
N = 71



【定着率が良い／悪いと感じている理由の比較】

「給与」「相談体制」「経営理念等の共有」において、定着率がよいと感じている法人の認識と定着率が悪いと感じている法人の認識に大きな差がみられます。

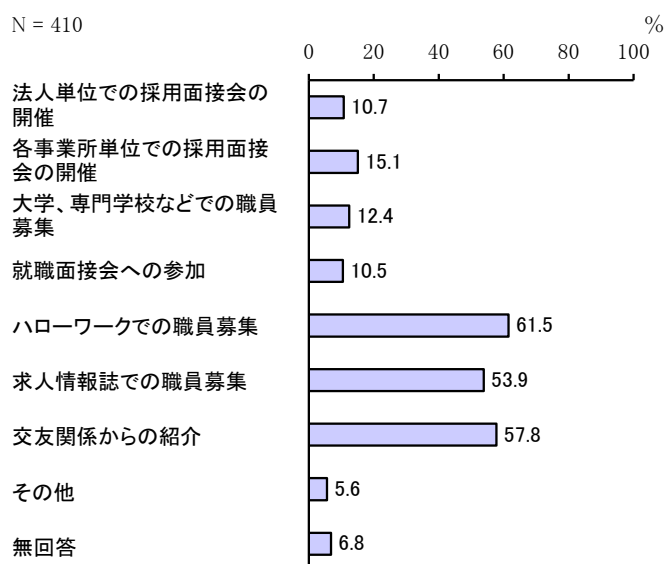
※定着率が良いと感じる理由では、「身体的・精神的な負担」はありません。



問6 貴法人の職員の採用方法は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

「ハローワークでの職員募集」が61.5%と最も高く、次いで「交友関係からの紹介」が57.8%、「求人情報誌での職員募集」が53.9%となっています。

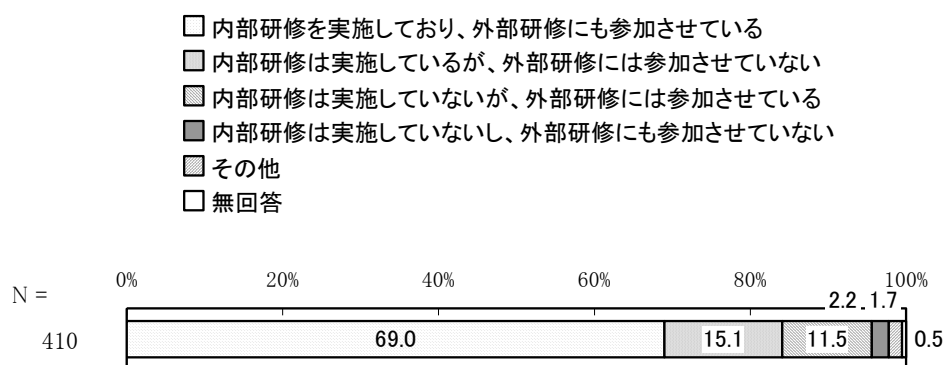
N = 410



Ⅲ 4 介護事業者調査

問7 職員に対する社内・社外研修について、あてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

「内部研修を実施しており、外部研修にも参加させている」が69.0%と最も高く、「内部研修は実施しているが、外部研修には参加させていない」が15.1%、「内部研修は実施していないが、外部研修には参加させている」が11.5%となっています。合わせると95.6%の法人で職員を研修に参加させています。



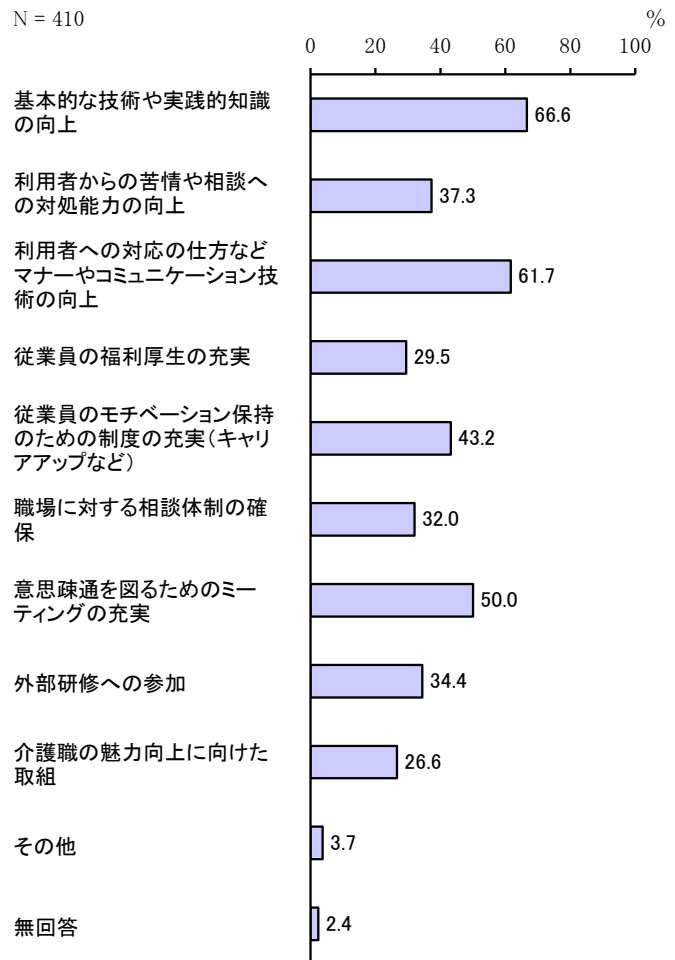
問7で「内部研修は実施していないし、外部研修にも参加させていない」と回答した法人にお伺いします。

問7-1 研修等を実施していない理由は何ですか。(○は3つまで)

「時間的余裕がないため」が6件、「費用が高額であるため」が3件、「参加させたい外部研修がないため」が2件となっています。

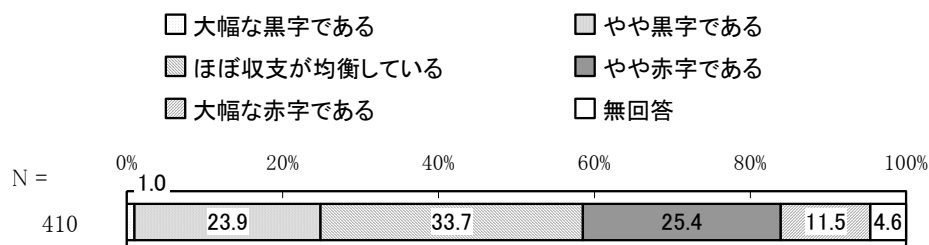
問8 職員の確保や質の向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「基本的な技術や実践的知識の向上」が66.6%と最も高く、次いで「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が61.7%、「意思疎通を図るためのミーティングの充実」が50.0%となっています。



問9 平成24年度の貴法人の介護事業会計についてお伺いします。介護事業収支は、どのような状況ですか。(〇はひとつ)

「ほぼ収支が均衡している」が33.7%と最も高く、次いで「やや赤字である」が25.4%、「やや黒字である」が23.9%となっています。



Ⅲ 4 介護事業者調査

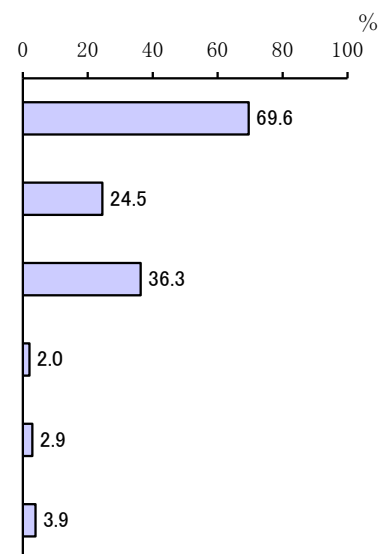
問9で「1.」「2.」（黒字である）を選んだ法人にお伺いします。

問9-1 その主な理由は何だと思えますか。（○は2つまで）

「一定以上の利用者数を確保できたため」が69.6%と最も高く、「人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため」が36.3%、「利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため」が24.5%となっています。

N = 102

一定以上の利用者数を確保できたため
利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため
人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため
介護報酬が改定されたため
その他
無回答



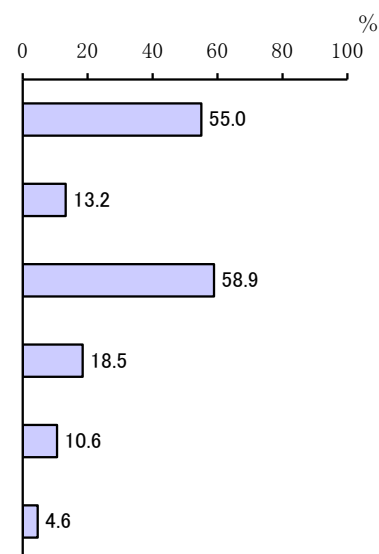
問9で「4.」「5.」（赤字である）を選んだ法人にお伺いします。

問9-2 その主な理由は何だと思えますか。（○は2つまで）

「人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため」が58.9%と最も高く、次いで「当初見込んだ利用者数を確保できなかったため」が55.0%、「見込んだ利用者1人当たりのサービス量を確保できなかったため」が13.2%、「介護報酬が改定されたため」が18.5%となっています。

N = 151

当初見込んだ利用者数を確保できなかったため
見込んだ利用者1人当たりのサービス量を確保できなかったため
人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため
介護報酬が改定されたため
その他
無回答



(2) 災害時の対策について

問 10 貴法人の災害に対する対策の実施状況について、それぞれサービス種別ごとに下欄の表から該当するものをすべて選び、その番号を記入してください。

ここでは各サービス種別を「訪問型サービス」「通所型サービス」「入所型サービス」に分類して集計しています。

訪問型サービス：訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、定期巡回・随時対応型訪問介護看護

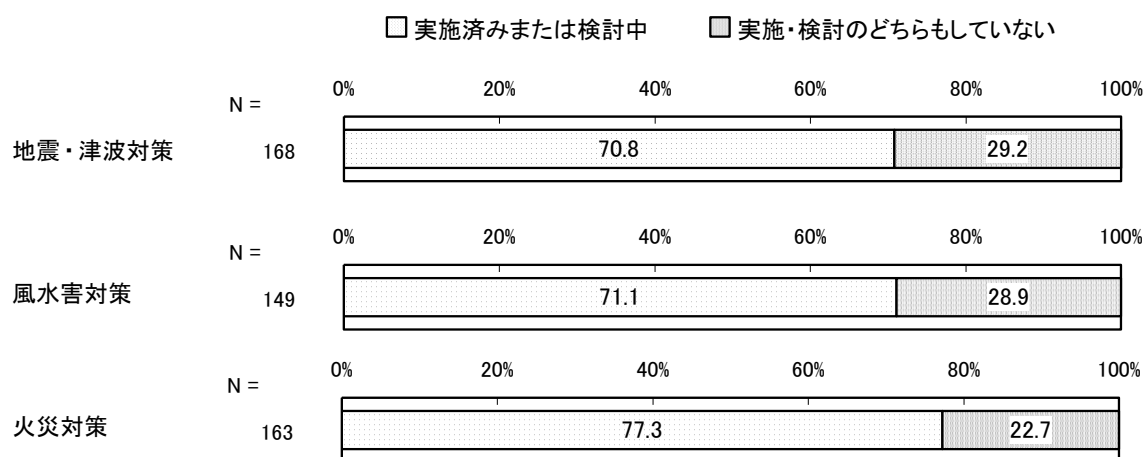
通所型サービス：通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、複合型サービス

入所型サービス：短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

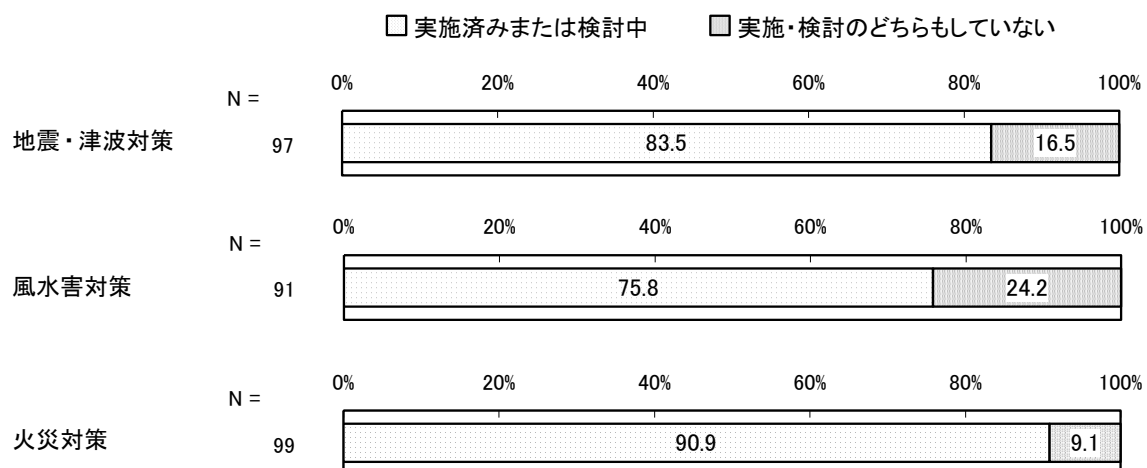
1. 実施状況

訪問型サービスに比べ、通所型サービス、入所型サービスでは災害対策を実施済みまたは検討中の事業所が多く、特に火災対策は約9割の事業所が実施しています。

①訪問型サービス

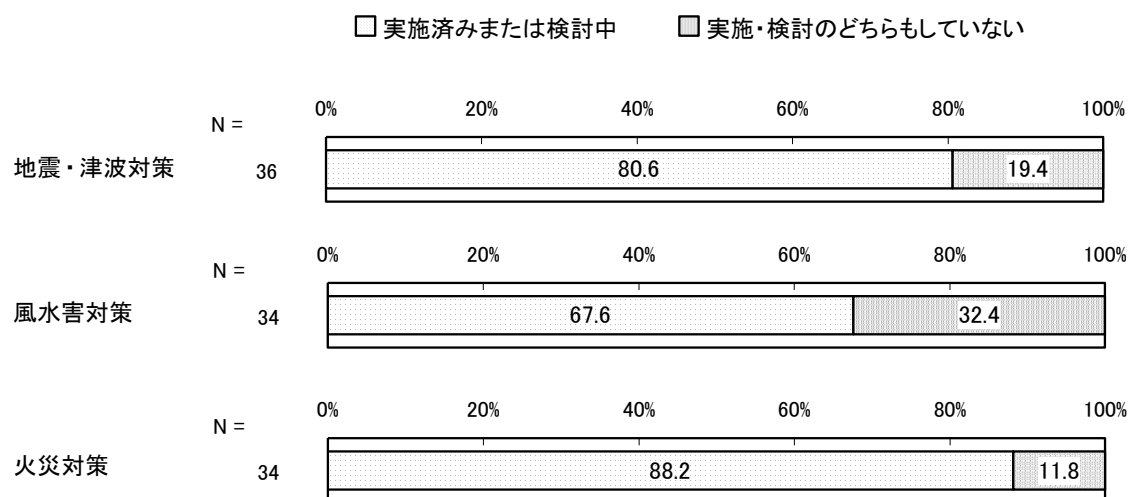


②通所型サービス



Ⅲ 4 介護事業者調査

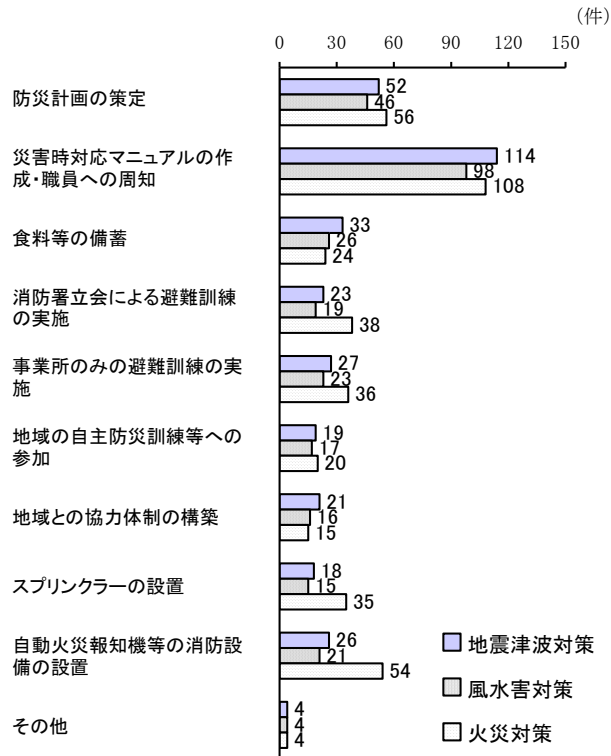
③入所型サービス



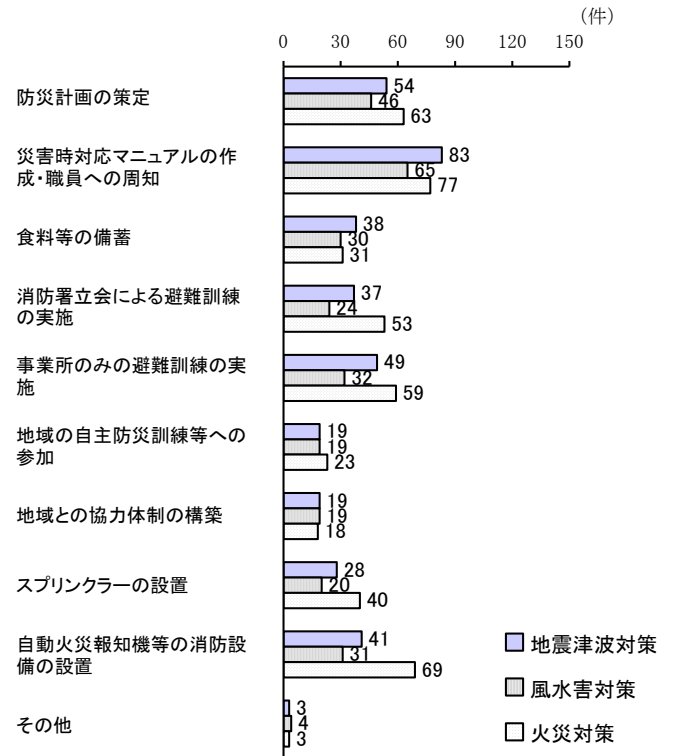
2. 実施済みまたは検討中の対策

いずれのサービス、災害の種類においても「災害時対応マニュアルの作成・職員への周知」が比較的多くなっています。

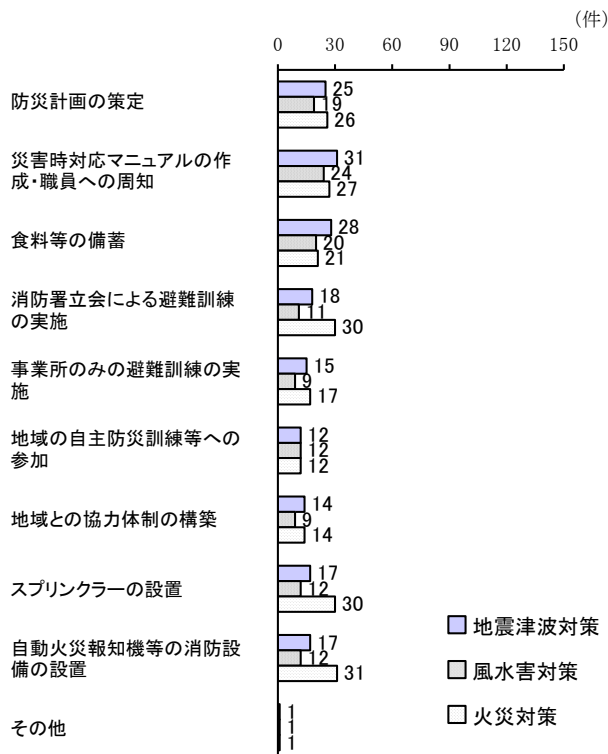
①訪問型サービス（有効回答の事業所数：254 件）



②通所型サービス（有効回答の事業所数：142 件）



③入所型サービス（有効回答の事業所数：52 件）

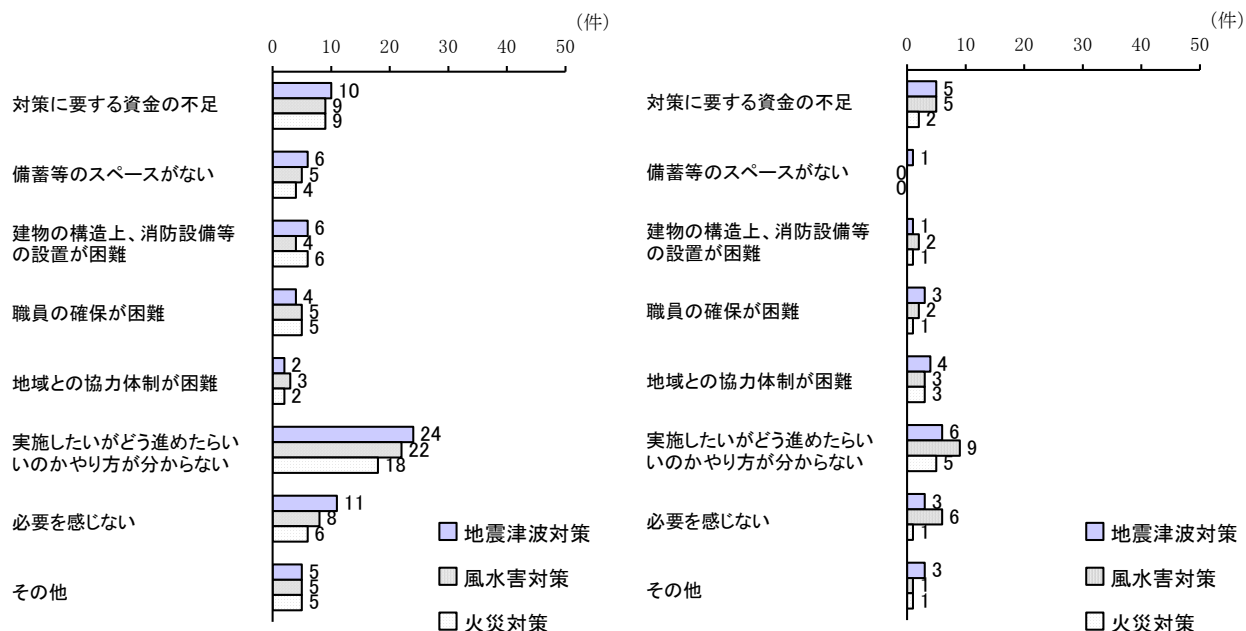


Ⅲ 4 介護事業者調査

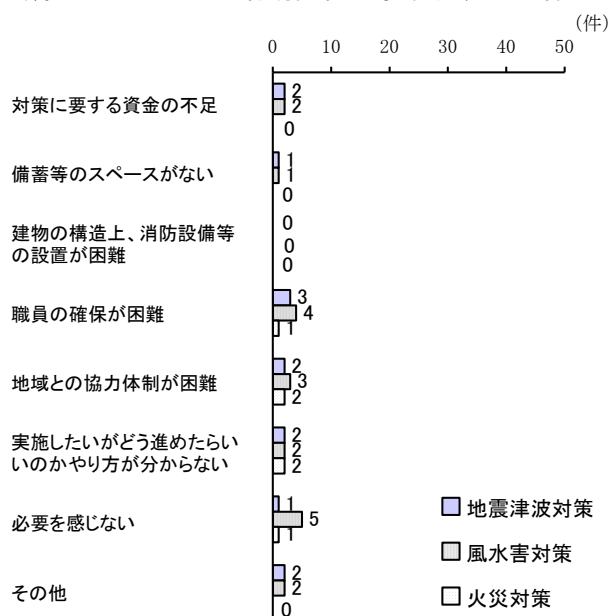
3. 「実施」・「検討」のどちらもしていない理由

訪問型サービスにおいて、「実施したいがどう進めたらいいのかやり方が分からない」が多くなっています。

①訪問型サービス（有効回答の事業所数：254 件） ②通所型サービス（有効回答の事業所数：142 件）



③入所型サービス（有効回答の事業所数：52 件）

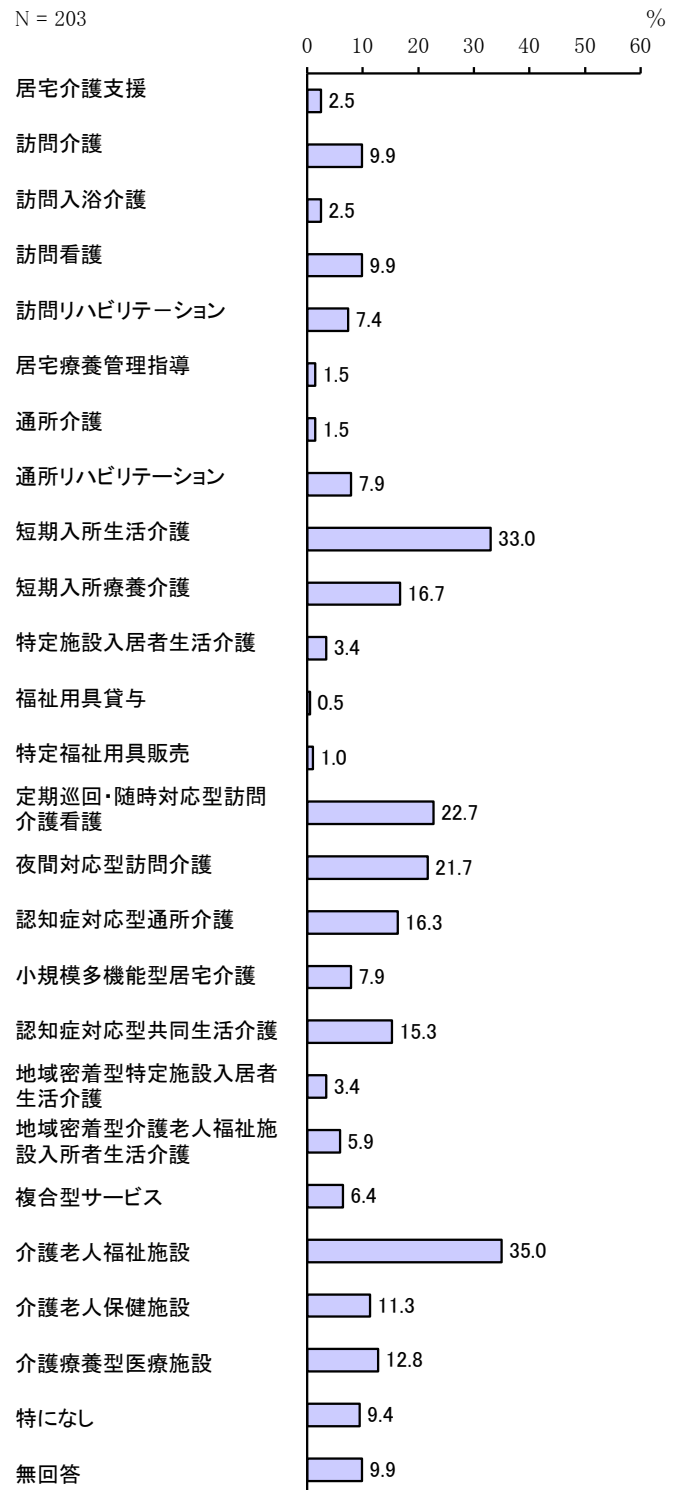


(3) 居宅介護支援事業所を運営している法人対象

問 11 貴法人からみて、堺市の要介護者（要介護 1～5）にとって不足していると感じるサービスは何ですか。（〇はいくつでも）

「介護老人福祉施設」が 35.0%と最も高く、次いで「短期入所生活介護」が 33.0%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が 22.7%となっています。

N = 203

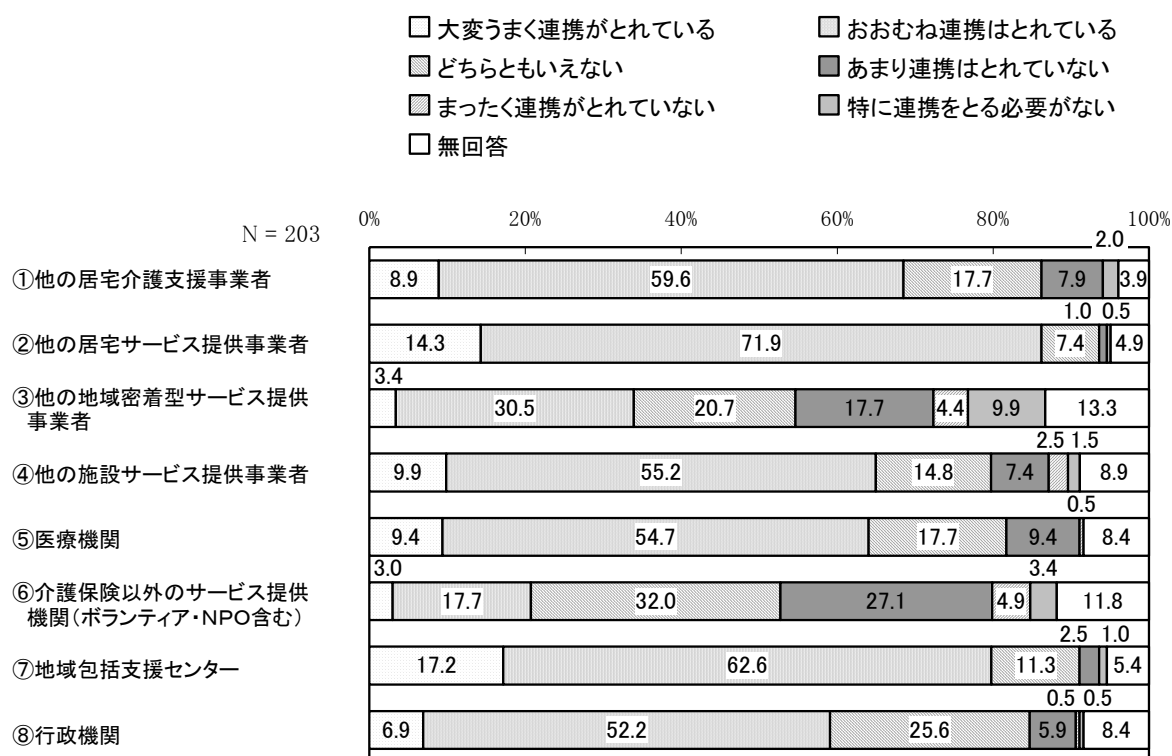


Ⅲ 4 介護事業者調査

問 12 サービスを実施するにあたって、外部の諸機関との連携はどの程度とれていますか。下記の項目ごとに、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ○はひとつ）

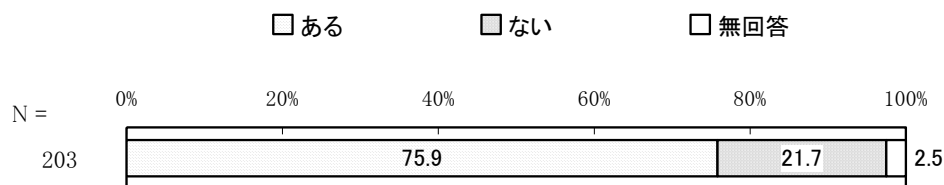
「他の居宅サービス提供事業者」及び「地域包括支援センター」との連携で「大変うまく連携がとれている」と「おおむね連携はとれている」を合わせた“連携がとれている”事業者の割合が高くなっています。一方、「他の地域密着型サービス提供事業者」との連携で「特に連携をとる必要がない」の割合が高くなっています。

また、「介護保険以外のサービス提供機関（ボランティア・NPO含む）」との連携については、「あまり連携はとれていない」「まったく連携がとれていない」を合わせた“連携がとれていない”事業者の割合が高くなっています。



問 13 困難ケースなどについて地域包括支援センターへ相談したことはありますか。（○はひとつ）

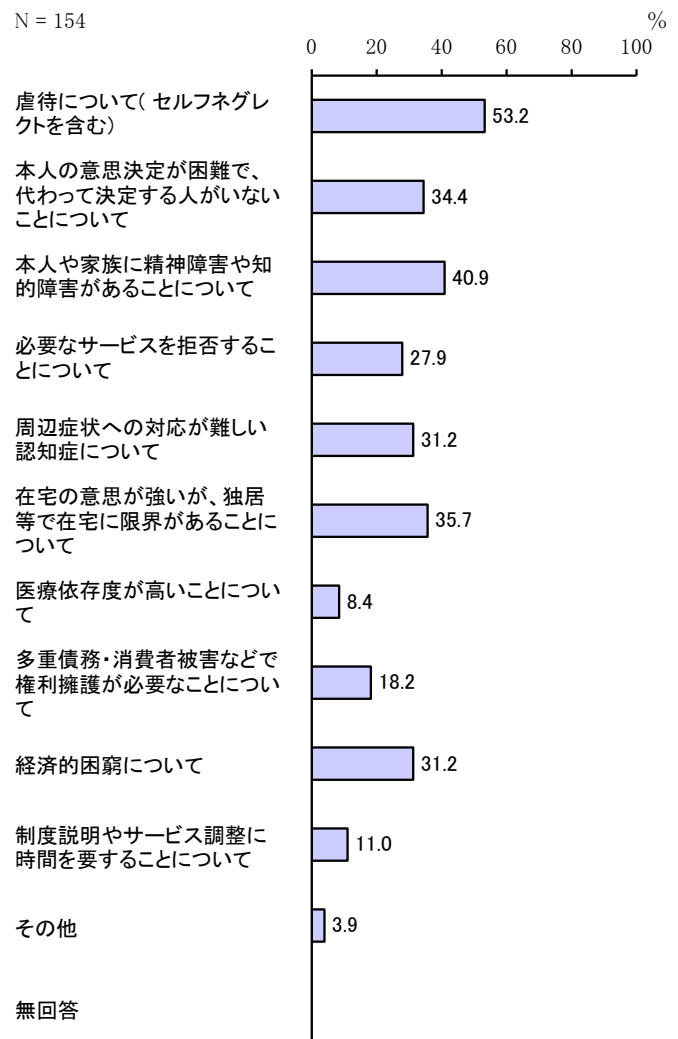
「ある」が 75.9%、「ない」が 21.7%となっています。



問 13 で「地域包括支援センターに相談したことがある」と回答した法人にお伺いします。
 問 13-1 地域包括支援センターに相談した内容について、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

「虐待について(セルフネグレクトを含む)」が 53.2%と最も高く、次いで「本人や家族に精神障害や知的障害があることについて」が 40.9%、「在宅の意思が強いが、独居等で在宅に限界があることについて」が 35.7%となっています。

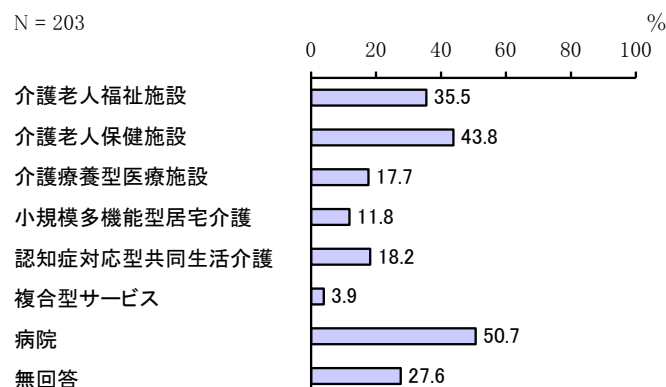
N = 154



Ⅲ 4 介護事業者調査

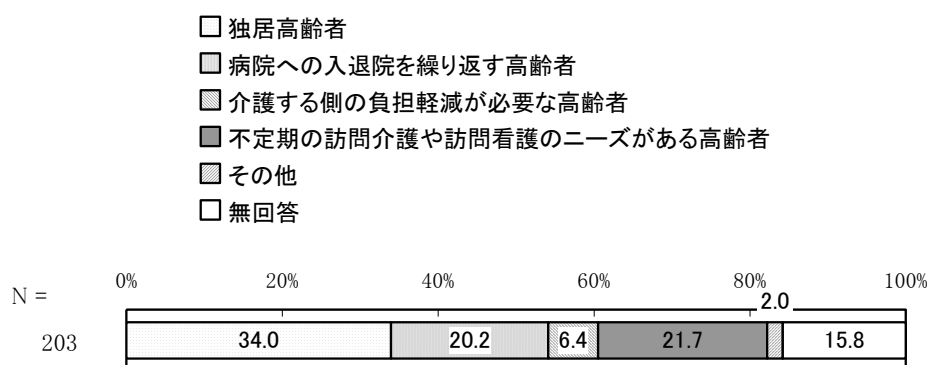
問 14 居宅介護支援事業所の利用者に対し、下記のサービスを案内したり、引き継いだりした事例はありますか。ある場合は、() 内に平成 25 年 4 月 1 日から現在までの件数を記入してください。

「病院」が 50.7%と最も高く、次いで「介護老人保健施設」が 43.8%、「介護老人福祉施設」が 35.5%となっています。引き継いだ件数については、いずれの項目でも「5 件未満」が大半となっています。



問 15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスが最も有効な方はどのような方だと思いますか。(○はひとつ)

「独居高齢者」が 34.0%と最も高く、次いで「不規則の訪問介護や訪問看護のニーズがある高齢者」が 21.7%、「病院への入退院を繰り返す高齢者」が 20.2%となっています。

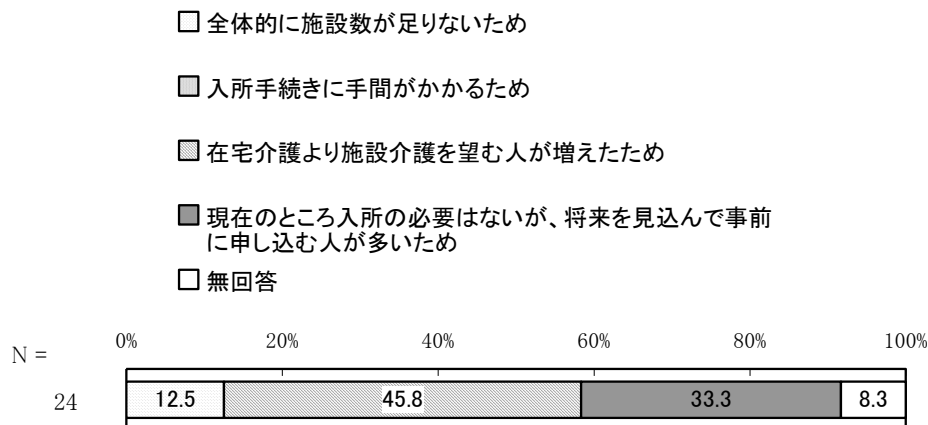


(4) 施設サービス（特養・老健・介護療養型）を運営している法人対象

問 16 施設に入所待機者がいる状況について、考えられる主な要因は何だと思いますか。
(○はひとつ)

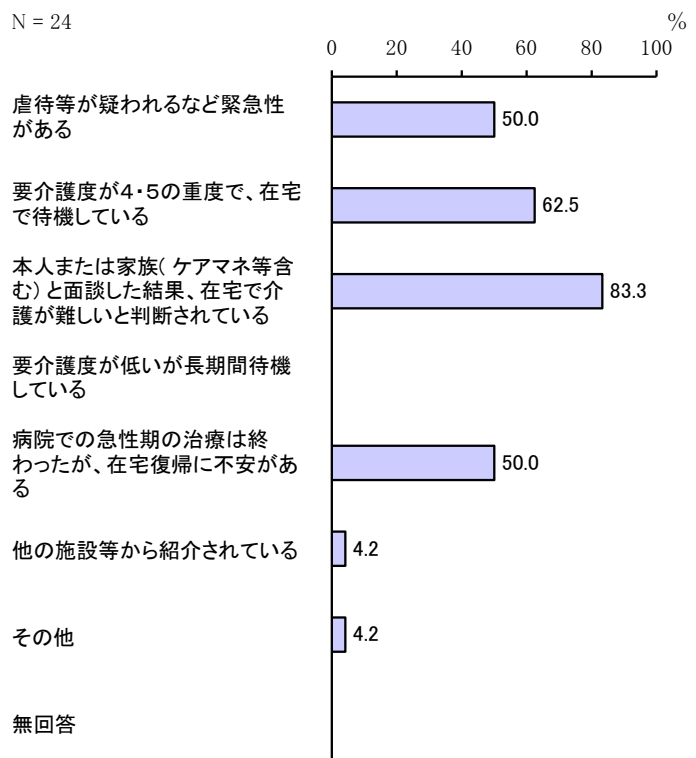
「在宅介護より施設介護を望む人が増えたため」が 45.8%と最も高く、次いで「現在のところ入所の必要はないが、将来を見込んで事前に申し込む人が多いため」が 33.3%、「全体的に施設数が足りないため」が 12.5%となっています。

なお、「入所手続きに手間がかかるため」の回答はみられません。



問 17 施設への入所を決定するにあたり、特に入所判定委員会等で重点をおいていることは何ですか。(○は3つまで)

「本人または家族(ケアマネ等含む)と面談した結果、在宅で介護が難しいと判断されている」が 83.3%と最も高く、次いで「要介護度が4・5の重度で、在宅で待機している」が 62.5%、「虐待等が疑われるなど緊急性がある」、「病院での急性期の治療は終わったが、在宅復帰に不安がある」が 50.0%となっています。

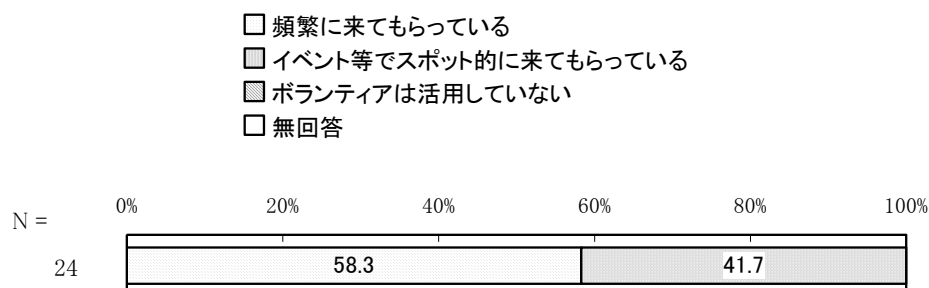


Ⅲ 4 介護事業者調査

問 18 ボランティアをどのくらい活用されていますか。(○はひとつ)

「頻繁に来てもらっている」が 58.3%と最も高く、次いで「イベント等でスポット的に来てもらっている」が 41.7%となっています

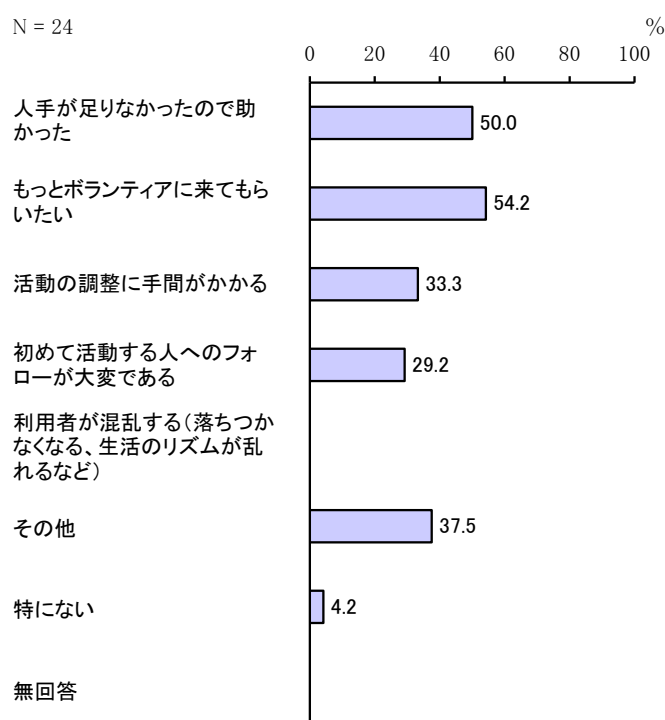
なお、「ボランティアは活用していない」の回答はみられません。



問 18 で「1.」「2.」(ボランティアを活用している)と回答した法人にお伺いします。

問 18-1 ボランティアの活用にあたって感じていることは何ですか。(○はいくつでも)

「もっとボランティアに来てもらいたい」が 54.2%と最も高く、次いで「人手が足りなかったのが助かった」が 50.0%、「活動の調整に手間がかかる」が 33.3%となっています。



問 18 で「3. ボランティアは活用していない」と回答した法人にお伺いします。

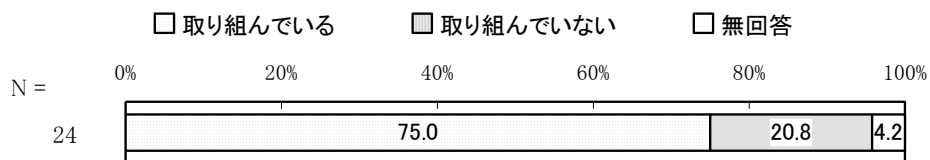
問 18-2 ボランティアを活用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

該当者はいません。

問 19 介護者支援について何か取り組んでいますか。(○はひとつ)

「取り組んでいる」が 75.0%、「取り組んでいない」が 20.8%となっています。

具体的な取り組み内容については「介護予防教室の開催」「家族介護者との交流会」「認知症サポーター養成講座」「居宅介護支援相談会」などの回答がみられます。



IV 生活機能評価結果

1 生活機能評価の目的

国の日常生活圏域ニーズ調査の趣旨を踏まえ、「基本チェックリスト」の項目を活用して高齢者の要介護リスク指標を把握することにより、生活機能の面から地域に在住する高齢者の生活状況を把握し、本市の課題の明確化や次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に向けた客観的基礎データの整備を行うことを目的としています。

2 集計データ

①一般高齢者

要介護等認定を受けていない堺市内のすべての高齢者を対象に平成 23～25 年度に実施した、「介護予防のための基本チェックリスト」の回答データを集計しています。

※平成 25 年度は平成 26 年 1 月回収分までを集計

	対象者 年齢	郵送にて実施			対面にて 実施	回収数 合計
		送付数	有効回収数	有効回収率	回収数	
平成 23 年度	70 歳以上 75 歳未満	49,336 件	20,392 件	41.3%	209 件	20,601 件
平成 24 年度	75 歳以上	50,450 件	21,539 件	42.7%	1,279 件	22,818 件
平成 25 年度 (～1 月)	63 歳以上 70 歳未満	69,121 件	26,979 件	39.0%	216 件	27,195 件
合計		168,907 件	68,910 件	40.8%	1,704 件	70,614 件

※対象者の年齢は平成 23 年 4 月 1 日現在

②要介護認定者

平成 25 年 12 月に実施した高齢者等実態調査における基本チェックリスト項目の回答データを集計しています（介護保険サービス利用者調査：問 15、介護保険サービス未利用者調査：問 14）。

3 生活機能評価手法の概要

各項目は「介護予防のための生活機能評価に関するマニュアル」に従い判定しています。なお各項目の該当設問及び評価基準は以下のとおりです。なお各評価については基本チェックリストのすべての項目に回答した方のみを対象としています。

基本チェックリスト：日常生活に必要な生活機能の低下がみられないかどうかをチェックするためのものです。足腰の筋肉などに関する運動器関係、食生活に関する栄養関係、歯などに関する口腔機能関係など、25 項目の質問に「はい」「いいえ」で答えることで、心身の状態がチェックできます。

①虚弱

※①から⑥の 20 項目中の 10 項目以上に該当 ⇒ 該当者

調査表別 問番号			項目	評 価
一般 高齢者	要介護認定者			
	サービス 利用者 調査	サービス 未利用者 調査		
H23 ～ 25 年度実施 基本チェ ッリスト	問 15. 1	問 14. 1	バスや電車で外出	「2. いいえ」⇒該当
	問 15. 2	問 14. 2	日用品の買物	「2. いいえ」⇒該当
	問 15. 3	問 14. 3	預貯金のおし入れ	「2. いいえ」⇒該当
	問 15. 4	問 14. 4	友人の家への訪問	「2. いいえ」⇒該当
	問 15. 5	問 14. 5	家族や友人の相談	「2. いいえ」⇒該当

②運動器の機能向上

※5 項目中の 3 項目以上に該当 ⇒ 該当者

調査表別 問番号			項目	評 価
一般 高齢者	要介護認定者			
	サービス 利用者 調査	サービス 未利用者 調査		
H23 ～ 25 年度実施 基本チェ ッリスト	問 15. 6	問 14. 6	階段	「2. いいえ」⇒該当
	問 15. 7	問 14. 7	椅子からの立ち上がり	「2. いいえ」⇒該当
	問 15. 8	問 14. 8	15 分歩行	「2. いいえ」⇒該当
	問 15. 9	問 14. 9	転倒経験	「1. はい」⇒該当
	問 15.10	問 14.10	転倒不安	「1. はい」⇒該当

③栄養改善

※2 項目いずれにも該当 ⇒ 該当者

調査表別 問番号			項目	評 価
一般 高齢者	要介護認定者			
	サービス 利用者 調査	サービス 未利用者 調査		
H23 ～ 25 年度実施 基本チェ ッリスト	問 15. 11	問 14. 11	体重減少	「１．はい」⇒該当
	問 15. 12	問 14. 12	身長・体重	B M I 18.5 未満 ⇒該当

IV 生活機能評価結果

④口腔機能の向上 ※3項目中の2項目以上に該当 ⇒ 該当者

調査表別 問番号			項目	評 価
一般 高齢者	要介護認定者			
	サービス 利用者 調査	サービス 未利用者 調査		
H23 ～ 25 年度実施 基本チェ ッリスト	問 15.13	問 14.13	固いもの	「１．はい」⇒該当
	問 15.14	問 14.14	お茶や汁物	「１．はい」⇒該当
	問 15.15	問 14.15	口の渇き	「１．はい」⇒該当

⑤閉じこもり予防・支援 ※16に該当 ⇒ 該当者（かつ17該当 ⇒ 要注意者）

調査表別 問番号			項目	評 価
一般 高齢者	要介護認定者			
	サービス 利用者 調査	サービス 未利用者 調査		
H23 ～ 25 年度実施 基本チェ ッリスト	問 15. 16	問 14. 16	週 1 回以上の外出	「 2 . いいえ」⇒該当
	問 15. 17	問 14. 17	外出回数減少	「 1 . はい」⇒該当

⑥認知症予防・支援 ※3項目中の1項目以上に該当 ⇒ 該当者

調査表別 問番号			項目	評 価
一般 高齢者	要介護認定者			
	サービス 利用者 調査	サービス 未利用者 調査		
H23 ～ 25 年度実施 基本チェ ッリスト	問 15.18	問 14.18	物忘れ	「１．はい」⇒該当
	問 15.19	問 14.19	電話	「２．いいえ」⇒該当
	問 15.20	問 14.20	今日の日付	「１．はい」⇒該当

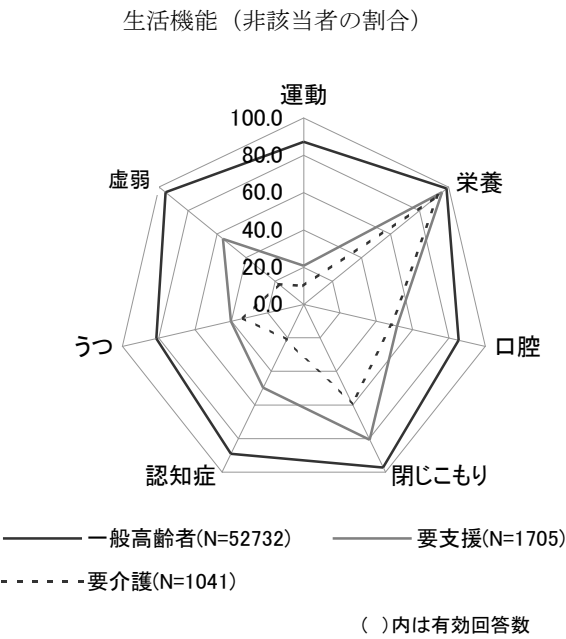
⑦うつ予防・支援 ※5項目中の2項目以上に該当 ⇒ 該当者

調査表別 問番号			項目	評 価
一般 高齢者	要介護認定者			
	サービ ス利用 者調 査	サービ ス未 利用 者調 査		
H23 ～ 25 年度実施 基本チェ ッリスト	問 15. 21	問 14. 21	充実感がない	「 1 . はい」⇒該当
	問 15. 22	問 14. 22	楽しめない	「 1 . はい」⇒該当
	問 15. 23	問 14. 23	おっくう	「 1 . はい」⇒該当
	問 15. 24	問 14. 24	役に立つ人間	「 1 . はい」⇒該当
	問 15. 25	問 14. 25	疲労	「 1 . はい」⇒該当

4 項目別評価結果

(1) 各項目の比較

生活機能の非該当者（リスクなし）の割合は、一般高齢者、要支援認定者、要介護認定者の順に図形が中心に向かって小さくなっていくことから、一般高齢者から要支援認定者、要介護認定者へとなるにつれ、生活機能が低下していくことがうかがえます。生活機能の評価項目ごとの非該当者の割合をみると、特に「運動」について、一般高齢者と要支援認定者、要介護認定者との非該当者の割合の開きが大きく、要介護認定の要因となっていることがうかがえます。



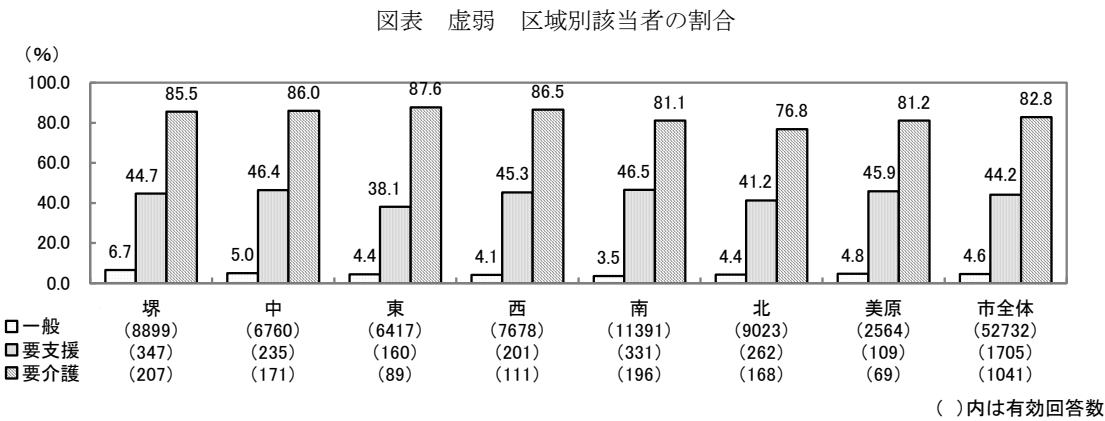
(2) 虚弱（生活機能全般）

基本チェックリストのうち、うつ予防に関する5項目を除く20項目で判定する「虚弱」（生活機能全般）における該当者は、市全体では、一般高齢者が4.6%、要支援認定者が44.2%、要介護認定者が82.8%と、一般高齢者から要支援認定者、要介護認定者になるにつれ、該当者の割合が高くなっています。

区域別でみると、一般高齢者において、堺区で該当者が6.7%と最も高くなっている一方、南区は3.5%と最も低くなっています。要支援認定者では中区や南区、要介護認定者では東区で該当者割合がやや高くなっています。

一般高齢者の性別年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど該当者割合が高くなる傾向にあります。また、85歳以上の女性では男性との差がややみられます。

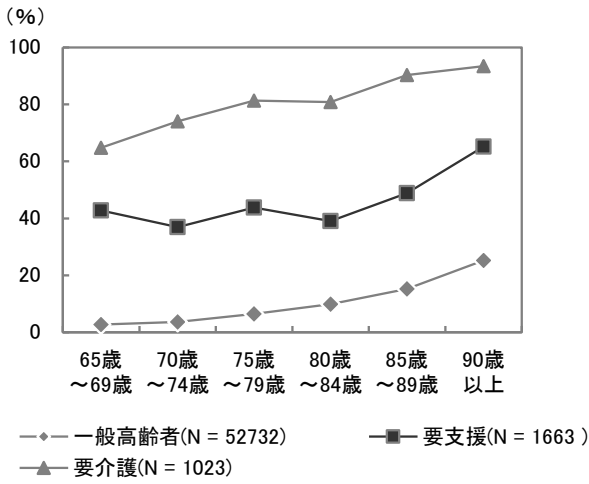
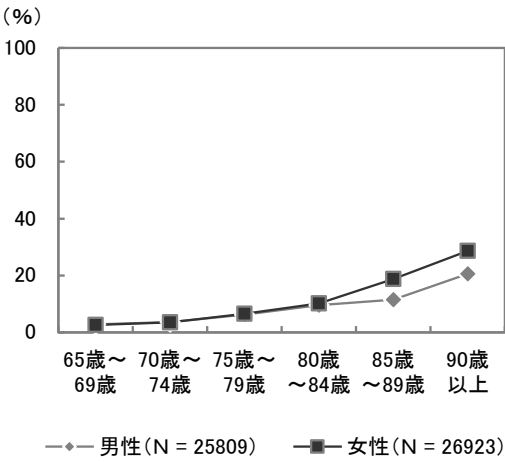
要支援認定者、要介護認定者についても、年齢が上がるほど該当者割合が高くなる傾向がみられます。



IV 生活機能評価結果

図表 虚弱 性別年齢別該当者の割合（一般高齢者）及び要支援認定者、要介護認定者との比較

○市全体



(3) 運動器の機能向上

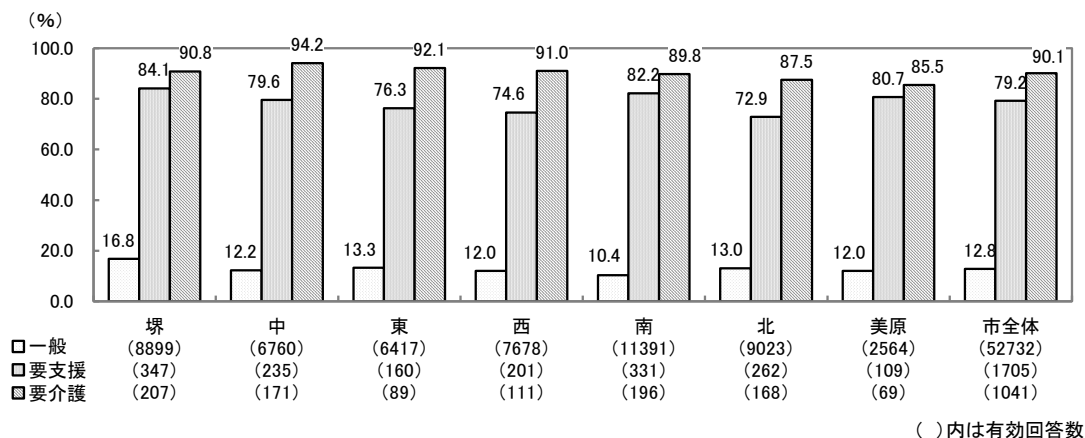
「運動器の機能向上」における該当者は、市全体では、一般高齢者が 12.8%、要支援認定者が 79.2%、要介護認定者が 90.1% となっており、一般高齢者と要支援認定者、要介護認定者との開きが大きくなっています。

区域別でみると、一般高齢者において堺区で該当者が 16.8% と最も高くなっている一方、南区は 10.4% と最も低くなっています。要支援認定者では堺区、要介護認定者では中区で該当者割合がやや高くなっています。

一般高齢者の性別年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど該当者割合が高くなる傾向にあります。また、どの年齢階層においても女性で割合が高い傾向にあります。

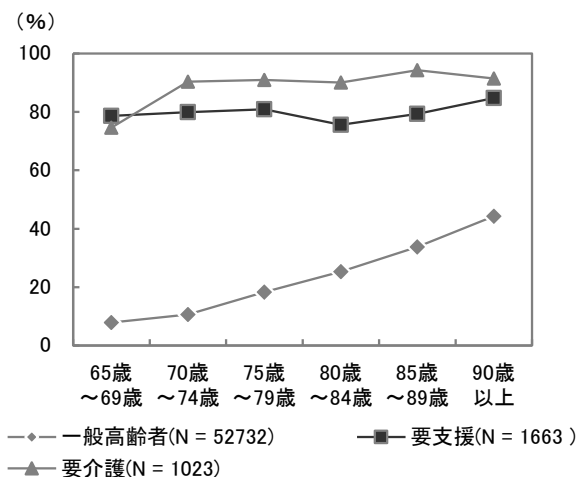
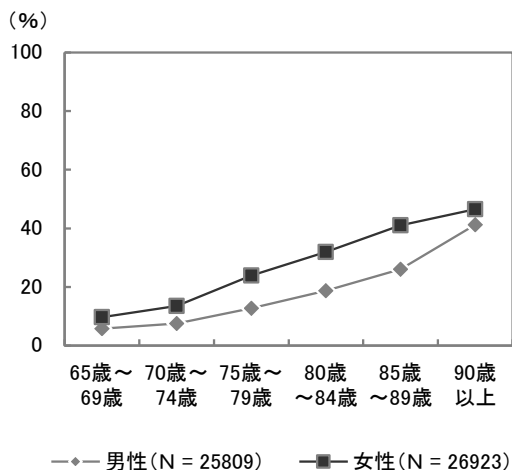
要支援認定者、要介護認定者については、年齢による該当者割合の傾向はあまりみられず、運動器における機能低下が若い段階から顕在化しています。

図表 運動器の機能向上 区域別該当者の割合



図表 運動器の機能向上 性別年齢別該当者の割合（一般高齢者）及び要支援認定者、要介護認定者との比較

○市全体



IV 生活機能評価結果

(4) 栄養改善

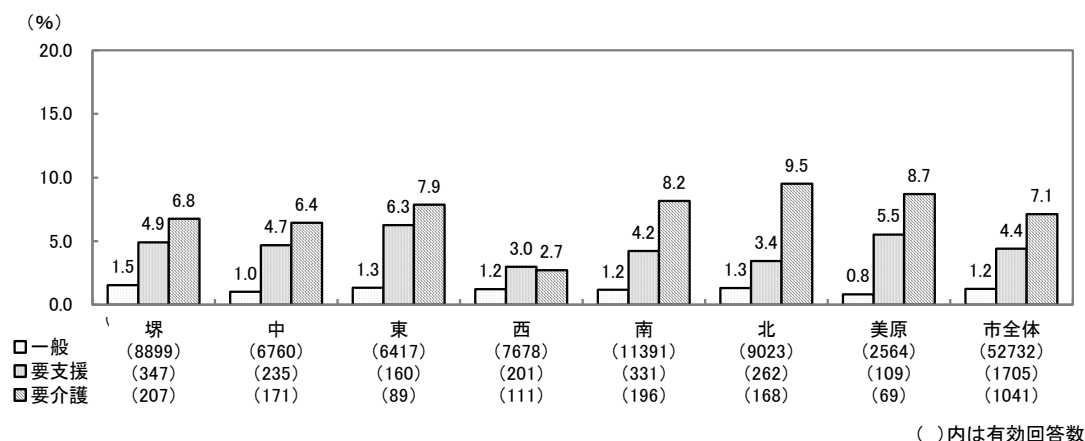
「栄養改善」における該当者は比較的少なく、市全体では、一般高齢者が1.2%、要支援認定者が4.4%、要介護認定者が7.1%となっており、一般高齢者と要支援認定者、要介護認定者との開きも小さくなっています。

区域別でみると、一般高齢者においては、区ごとの差はほとんどありませんが、要支援認定者では東区、要介護認定者では北区で該当者割合がやや高くなっています。

一般高齢者の性別年齢別にみても、性別や年齢による該当者割合の傾向はあまりみられません。

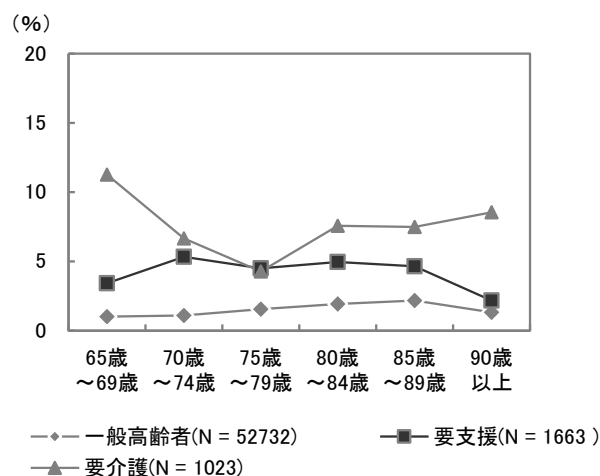
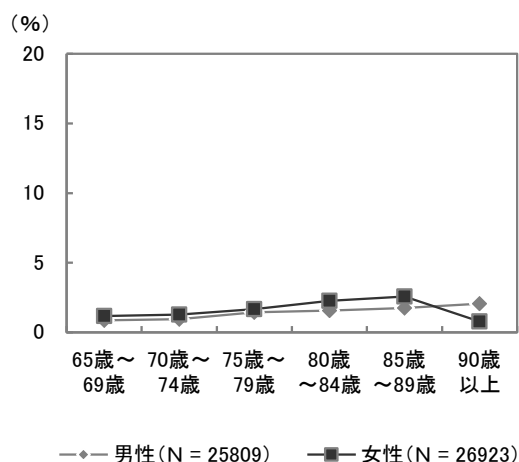
なお、要介護認定者の65～69歳において、該当者の割合が高くなっています。

図表 栄養改善 区域別該当者の割合



図表 栄養改善 性別年齢別該当者の割合（一般高齢者）及び要支援認定者、要介護認定者との比較

○市全体



(5) 口腔機能の向上

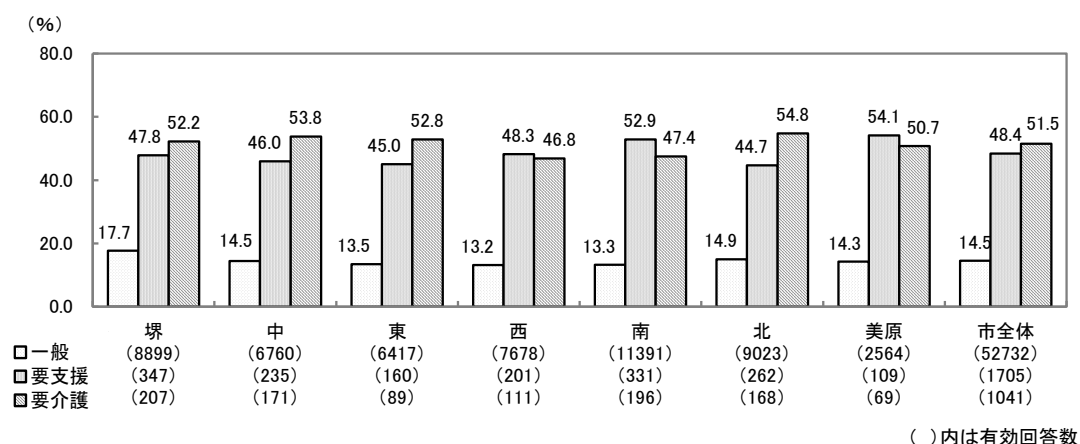
「口腔機能の向上」における該当者は、市全体では、一般高齢者が 14.5%、要支援認定者が 48.4%、要介護認定者が 51.5%となっています。

区域別でみると、一般高齢者において堺区で該当者が 17.7%と最も高くなっている一方、西区は 13.2%と最も低くなっています。要支援認定者では南区や美原区、要介護認定者では中区や北区で該当者割合がやや高くなっています。

一般高齢者の性別年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど該当者割合が高くなる傾向にあります。また、90歳以上の女性では男性との差がややみられます。

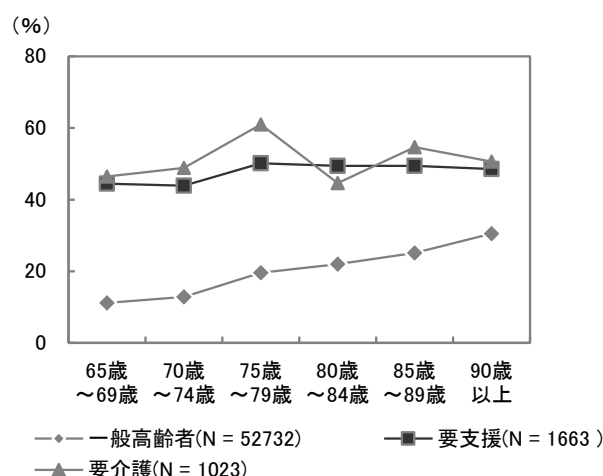
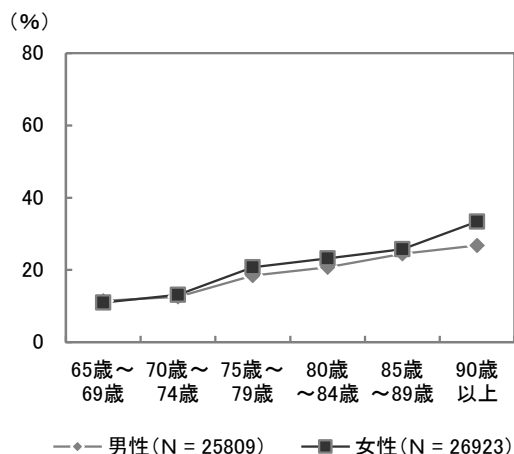
要支援認定者、要介護認定者については、年齢による該当者割合の傾向はあまりみられず、口腔機能の低下が若い段階から顕在化しています。

図表 口腔機能の向上 区域別該当者の割合



図表 口腔機能の向上 性別年齢別該当者の割合（一般高齢者）及び要支援認定者、要介護認定者との比較

○市全体



(6) 閉じこもり予防・支援

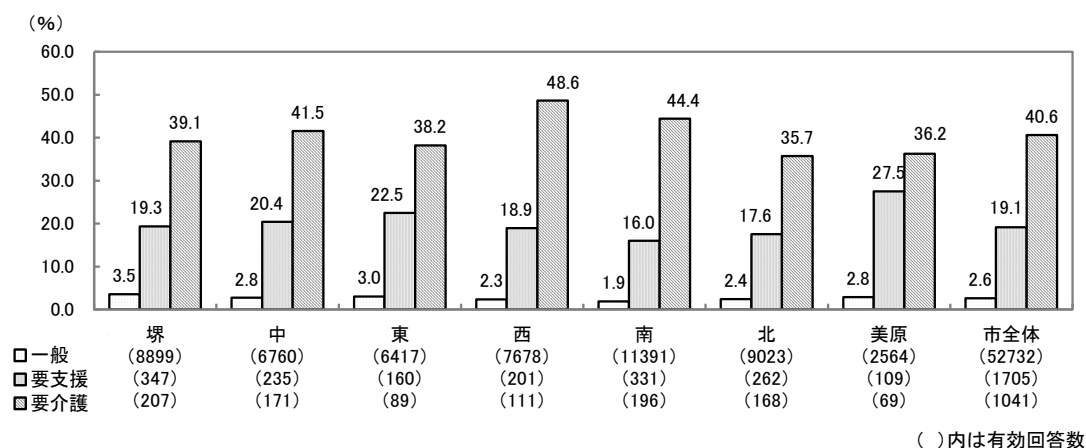
「閉じこもり予防・支援」における該当者は、市全体では、一般高齢者が2.6%、要支援認定者が19.1%、要介護認定者が40.6%となっており、一般高齢者から要支援認定者、要介護認定者になるにつれ、該当者の割合が高くなっています。

区域別でみると、一般高齢者においては、区ごとの差はほとんどありませんが、要支援認定者では美原区、要介護認定者では西区で該当者割合が高くなっています。

一般高齢者の性別年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど該当者割合が高くなる傾向にあります。また、85歳以上の女性では男性との差がややみられます。

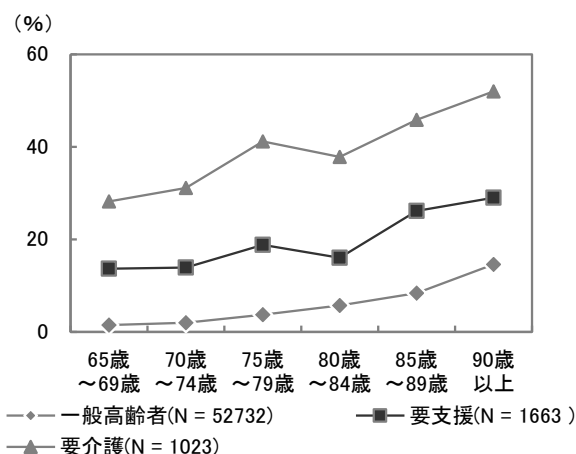
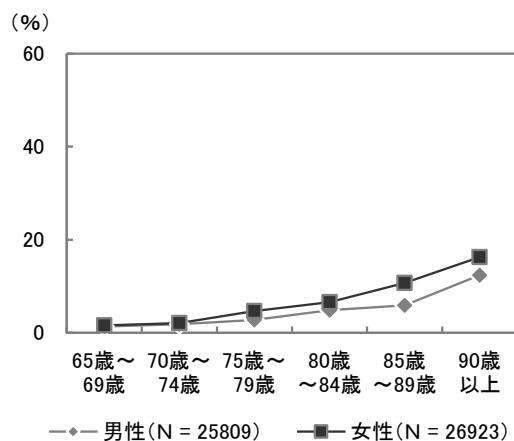
要支援認定者、要介護認定者についても、年齢が上がるほど該当者割合が高くなる傾向がみられます。

図表 閉じこもり予防・支援 区域別該当者の割合



図表 閉じこもり予防・支援 性別年齢別該当者の割合（一般高齢者）及び要支援認定者、要介護認定者との比較

○市全体



(7) 認知症予防・支援

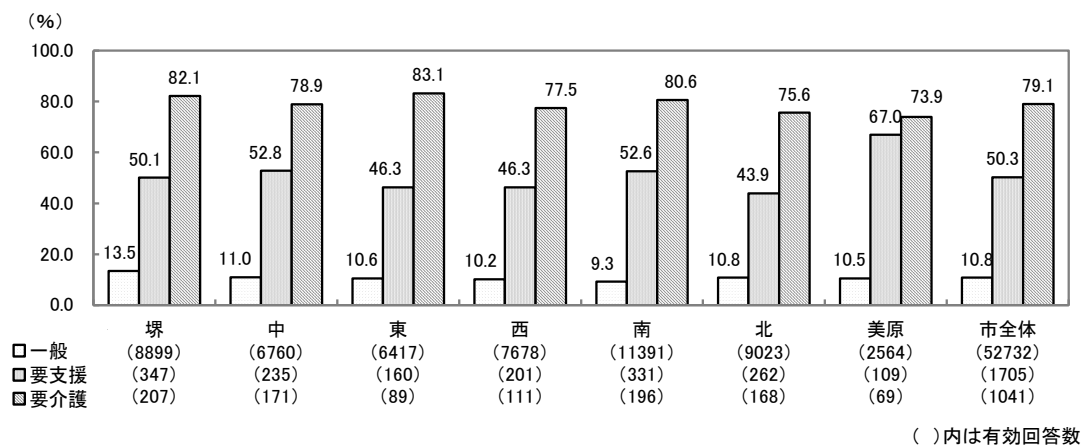
「認知症予防・支援」における該当者は、市全体では、一般高齢者が 10.8%、要支援認定者が 50.3%、要介護認定者が 79.1%となっており、一般高齢者から要支援認定者、要介護認定者になるにつれ、該当者の割合が高くなっています。

区域別でみると、一般高齢者において堺区で該当者が 13.5%と最も高くなっている一方、南区は 9.3%と最も低くなっています。要支援認定者では美原区、要介護認定者では堺区や東区で該当者割合が高くなっています。

一般高齢者の性別年齢別にみると、性別による該当者割合の傾向はあまりみられず、男女ともに年齢が上がるほど割合が高くなる傾向にあります。

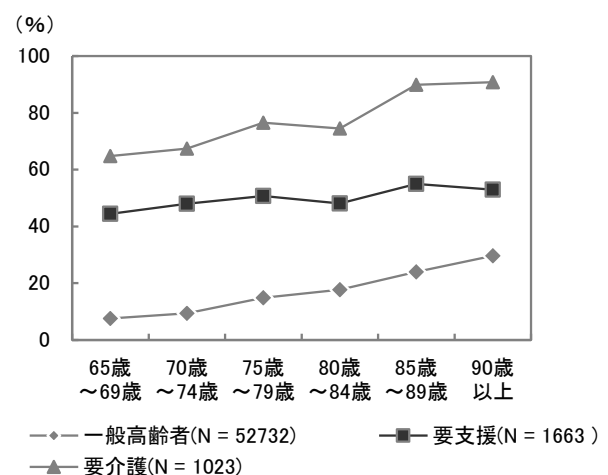
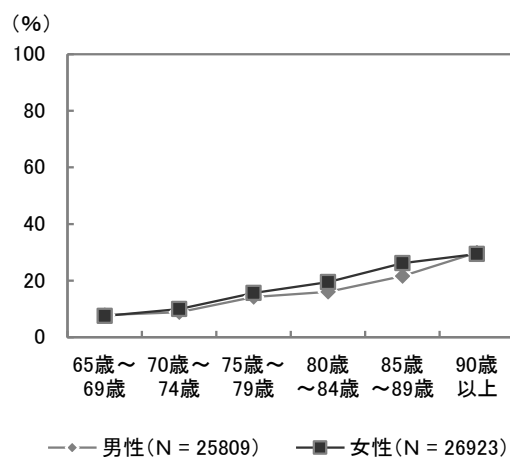
要支援認定者については年齢による該当者割合の傾向があまりみられない一方、要介護認定者については、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向がみられます。

図表 認知症予防・支援 区域別該当者の割合



図表 認知症予防・支援 性別年齢別該当者の割合（一般高齢者）及び要支援認定者、要介護者認定者との比較

○市全体



(8) うつ予防・支援

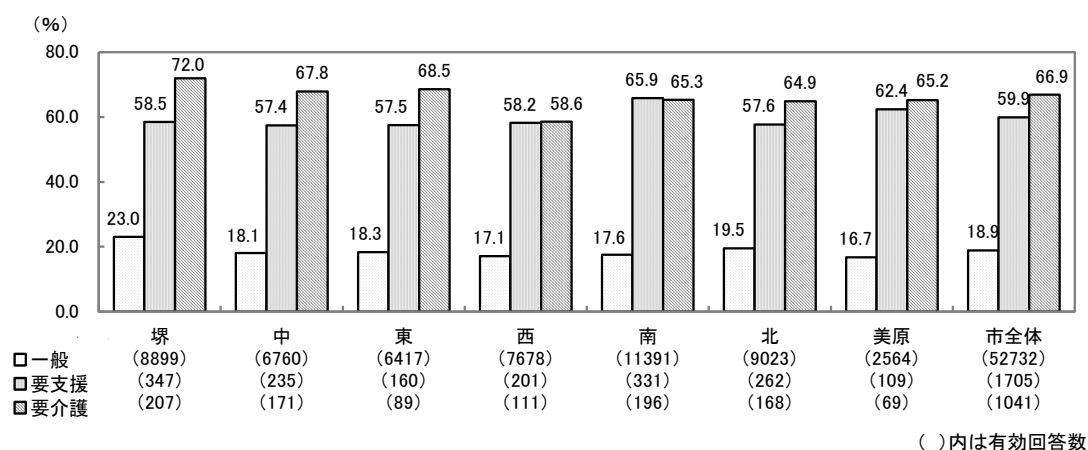
「うつ予防・支援」における該当者は、市全体では、一般高齢者が 18.9%、要支援認定者が 59.9%、要介護認定者が 66.9% となっており、一般高齢者と要支援認定者、要介護認定者との開きが大きくなっています。

区域別でみると、一般高齢者において堺区で該当者が 23.0% と最も高くなっている一方、美原区は 16.7% と最も低くなっています。要支援認定者では南区や美原区、要介護認定者では堺区で該当者割合がやや高くなっています。

一般高齢者の性別年齢別にみると、性別による該当者割合の傾向はあまりみられず、男女ともに年齢が上がるほど割合が高くなる傾向にあります。

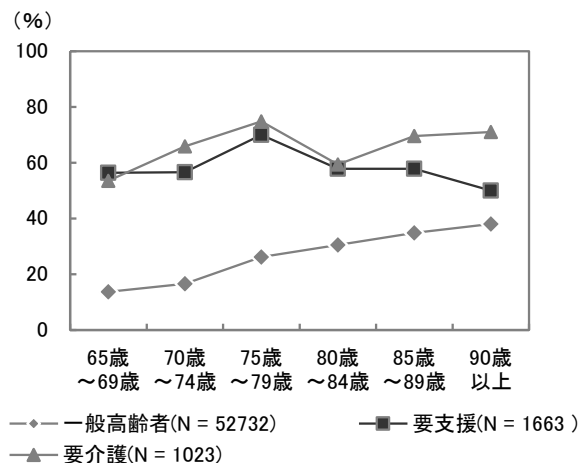
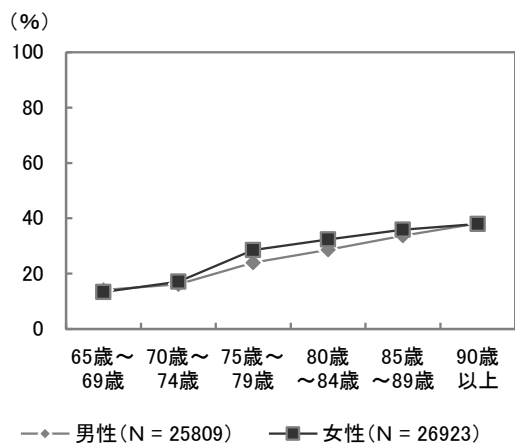
要支援認定者、要介護認定者については、75～79 歳において、該当者の割合が高くなっています。

図表 うつ予防・支援 区域別該当者の割合（一般高齢者）



図表 うつ予防・支援 性別年齢別該当者の割合（一般高齢者）及び要支援認定者、要介護認定者との比較

○市全体



堺市高齢者等実態調査報告書

平成 26 年 3 月 発行

編集・発行 堺市 健康福祉局 長寿社会部

高齢施策推進課 TEL : 072 (228) 8347

介護保険課 TEL : 072 (228) 7513

介護事業者課 TEL : 072 (275) 6235

〒590-0078 堺市堺区南瓦町 3 番 1 号